

履修要項

(人文学部編)

2024 年度

2022 年度以降 入学生用

武蔵大学

教務上の伝達事項について

教務上の伝達事項（授業、試験、休講、行事予定等）は、3 Sにてお知らせします。3 Sに掲示した事項については、すべて確認したものとして扱いますので、毎日機会あるごとに3 Sにアクセスして確認してください。

また、用件に応じて大学メールアドレス(s+学籍番号 @st.musashi.ac.jp 例:s1234567@st.musashi.ac.jp)や3 Sに登録されている個人メールアドレスに連絡することもあります。こちらも適宜確認してください。内容に疑問がある場合は、教務課に問い合わせてください。

3 Sのログイン URL : <https://3s.musashi.ac.jp/>

- ・ ID とパスワードは、入学時に学生証と一緒に交付しています。
- ・ 質問は教務課までお願いします。

3Sスマートフォン版



【Musashi-ID・パスワードの貸し借りは禁止です！】

自分の Musashi-ID とパスワードを他人に教えること、あるいは、他人の Musashi-ID とパスワードを教えてもらうことは、厳禁です。

※ルールを違反した場合は、Musashi-ID の停止、利用資格の制限など、処分や懲戒の対象になります。また、法律に抵触する可能性があります。

履修要項（人文学部編） 目次

はじめに	1
1 人文学部の教育研究上の目的	2
2 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	2
3 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	2
第1章 授業科目の履修	5
【科目表の見方】	6
【英語英米文化学科】	
1 英語英米文化学科 卒業要件	8
2 英語英米文化学科 コース制度	9
3 英語英米文化学科 履修モデル	10
4 英語英米文化学科 総合科目	16
5 英語英米文化学科 外国語科目	20
6 英語英米文化学科 専門科目（共通専門科目）	30
7 英語英米文化学科 専門科目（専攻科目）	39
8 英語英米文化学科 卒業論文履修資格	44
9 グローバル・チャレンジ（GC）英語モジュール	46
10 グローバル・チャレンジ（GC）ドイツ語／フランス語アソシエイトプログラム	47
11 グローバル・チャレンジ（GC）中国語／韓国・朝鮮語アソシエイトプログラム	49
【ヨーロッパ文化学科】	
1 ヨーロッパ文化学科 卒業要件	52
2 ヨーロッパ文化学科 コース制度とプログラム	53
3 ヨーロッパ文化学科 履修モデル	54
4 ヨーロッパ文化学科 総合科目	62
5 ヨーロッパ文化学科 外国語科目	66
6 ヨーロッパ文化学科 専門科目（共通専門科目）	75
7 ヨーロッパ文化学科 専門科目（専攻科目）	83
8 ヨーロッパ文化学科 卒業論文履修資格	89
9 グローバル・チャレンジ（GC）ドイツ語／フランス語プログラム	91
10 グローバル・チャレンジ（GC）英語プログラム	97
11 グローバル・チャレンジ（GC）中国語／韓国・朝鮮語アソシエイトプログラム	101
【日本・東アジア文化学科】	
1 日本・東アジア文化学科 卒業要件	104
2 日本・東アジア文化学科 コース制度とプログラム	105
3 日本・東アジア文化学科 履修モデル	106
4 日本・東アジア文化学科 総合科目	113
5 日本・東アジア文化学科 外国語科目	117
6 日本・東アジア文化学科 専門科目（共通専門科目）	126
7 日本・東アジア文化学科 専門科目（専攻科目）	134
8 日本・東アジア文化学科 卒業論文履修資格	139

9 グローバル・チャレンジ (GC) 中国語／韓国・朝鮮語プログラム	142
10 グローバル・チャレンジ (GC) 英語プログラム	145
11 グローバル・チャレンジ (GC) ドイツ語／フランス語アソシエイトプログラム	149

【3学科共通】

1 自然科学 / 身体運動科学 / 教育学 / 心理学分野での卒業論文の執筆について	152
2 学修プログラム (グローバル・ヒューマニティーズ (GH)、日本語教員、自然・環境)	154
3 留学・国際交流関連科目	157

第2章 教職課程、学芸員課程	161
-----------------------	------------

はじめに

1 人文学部の教育研究上の目的

人文学部は、武蔵大学の「教育の基本目標」に基づき、幅広い識見、深い教養、言語能力及び国際感覚を培い、人文学の各分野における専門的知識と応用力を修得させることを教育研究上の目的とし、これを踏まえて現代的な課題の解決に向けて真摯に主体的に取り組む人物を育成することを人材養成の目的とします。

2 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

人文学部は、武蔵大学の「教育の基本目標」を実現するために、本学部が設定した履修すべき科目と卒業必要単位124単位を修得し、以下の知識・技能、態度等を身につけた学生に学士（人文学）の学位を授与します。

1. 幅広い知識、深い教養、グローバルな視野、人権尊重及び他者との協調の精神を身につけていること
2. 外国語の実践的な運用能力を身につけていること
3. 言語・文学・歴史・民俗・思想・芸術・社会等の分野に関する専門的かつ横断的な知識を修得していること
4. 個人またはグループで主体的にテーマを選んで調べ、データの整理・分析・総合を行い、文章を論理的に構成し、現代的ツールを用いて能動的に表現し、自説の客観性を高めるために対話する力を身につけていること
5. 現代社会の特徴である多文化・多言語環境のなかで異文化間の理解・共感・連帯を求め、在学中に得た知識や技能をグローバルな枠組みで社会生活に応用しうる力を身につけていること

3 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人文学部の教育課程は、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・技能、態度等を修得させるために全学のカリキュラム・ポリシーに基づき総合科目、外国語科目、専門科目の3区分で編成しています。総合科目では幅広い知識、深い教養、他者と協働する力・実践力を、外国語科目では自らの考えを様々な言語で表現することができる外国語運用能力を、それぞれ修得します。また専門科目では、専門的な知識・技能、手法を修得するための「専攻科目」と所属の専門分野以外の知識・技能等を修得する「共通専門科目」を1年次から4年次まで体系的に配置し、ゼミナールによって問題解決力や思考力・判断力・表現力を修得します。

【学部共通】

1. 総合科目では、総合的視野と幅広い知識、深い教養、他者と協働する力・実践力を得させるために「情報とコミュニケーション」「歴史と文化」「現代社会」「自然と環境」「心と体」「ライフマネジメントとキャリアデザイン」の各分野にわたり、1年次から4年次にかけて卒業までに修得すべき単位を定める
2. 各学科での学びに必要な外国語科目は、1～2年次を中心に設ける
3. ゼミナールの履修は、1年次から4年次まで必修とし、学修の根幹とする
4. 初年次に各自が専攻する地域文化について学ぶための基礎的な技術・方法（資料収集、発表・議論の方法、論文の書き方等）を習得する「基礎ゼミナール」を設ける
5. 2～3年次に学科ごとに「専門ゼミナール」を設けて高度な調査研究能力を得させる。4年次の「卒業論文ゼミナール」において卒業論文の技法を身につけさせ、執筆のための具体的指導を行う
6. 4年次に「卒業論文」を必修とし、学部教育の集大成と位置づける
7. 講義科目には、各自の研究テーマを深めるために必要な幅広い知識を習得するための科目を配し、ゼミナールを補完する
8. 共通専門科目は、専攻分野やコースの枠組みを超えて多様な専門領域に接し、多元的な学びを可能にする科目群から編成される。またグローバル・チャレンジ（GC）とグローバル・ヒューマニティーズ（GH）というプログラムの科目群を置く。GCには、より高度で実践的な外国語運用能力の習得を目指す演習科目を設け、深化するグローバル社会に対応できる主体性と協調性を培う。GHには、各学科での学びを補完し、地域別の専門性を超えたより広い視野から批判的な眼を養う講義やゼミナールを配置する

9. 他学部・他分野の科目を学ぶことができる「全学対象専門科目」を設ける
10. 教職課程科目を専門科目のなかに組み込み、教員免許状の取得を促進する。また、学芸員課程科目についても専門教育と位置づける
11. ナンバリングにより積み上げ式の学修を促し、科目を体系的に配置して履修系統図を提示する
12. 学修成果については、科目種別により、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性・協調性等を総合的に評価する。評価方法については、シラバス等に当該授業で問われる知識と力、配点等を明らかにし、具体的な評価手段として、小テスト、各種の中間課題、発表、実地調査、学期終了時の試験やレポート等を用い、同時に各要素の評価割合を提示する。なお、卒業論文に関しては、最終の成果について、評価方法をシラバスや履修要項で提示する

【英語英米文化学科】

1. 実践的な言語運用能力を習得するとともに、専門学修に必要な英語力を身につけるため、1年次から2年次にかけて外国語科目として英語を必修科目とする
2. 英語力向上の観点から、技能別・学習目標別の実習科目を選択科目として設け、留学の契機となるように1・2年次に到達度判定試験を実施する
3. 多言語・多文化学習の推進のために、ドイツ語・フランス語・スペイン語を選択外国語として設置する
4. より高いレベルの英語力獲得を目指す学生のために、1・2年次に行われる必修英語・必修専門科目をすべて英語で行うグローバル・チャレンジ（GC）英語強化クラスを設置する
5. 1年次に「基礎ゼミナール」に加えて、実習科目「英語ワークショップ」を必修科目とし、2年次以降の専門学修に必要な基礎力を養成する
6. 専門分野を意識し、体系的な学修を進めるため「英語・英語教育」「文学・芸術・メディア」「歴史・社会・思想」「交流文化・観光」という4コースを設け、履修モデルを学生に提示する
7. 専門分野の学修は、4年次必修の卒業論文が集大成となるよう、講義科目とゼミナール科目を連関させて配置する
8. 講義科目については、各自の学修分野を明確にするため、上記「6」に示した4つの領域に多様な分野やテーマに関する科目を設ける
9. 2～3年次のゼミナール科目は、講義で学んだ知識をもとに、自ら調べ、考えた内容をまとめ、報告する力を養成する

【ヨーロッパ文化学科】

1. 外国語科目として、1～2年次にドイツ語・フランス語のいずれかを学習させ、その言語を専門的な研究に活用する能力を身につけさせる。2年次以降では、会話、読解、論述の力を伸ばす実習を設ける
2. 1年次に実践的な言語運用能力の習得のため英語を必修科目とする。またさらに高度な英語力の習得を目的とした選択科目も設ける
3. 2年次に多言語・多文化学習の推進のために、英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語を選択外国語として設置する
4. 1年次に「基礎ゼミナール」に加えて、複数教員のリレー形式による「ヨーロッパ文化入門講座」を設け、ヨーロッパ文化に関する基礎的知識を多角的に習得する機会を設ける
5. 専門分野を意識し、体系的な学修を進めるため「言語と文学」「芸術と生活」「歴史と思想」「環境と社会」という4つのコースを設け、2年次からいずれかのコースに所属することとする。またそれぞれの履修モデルを学生に提示する
6. 専門分野の学修は、4年次必修の卒業論文が集大成となるよう、講義科目とゼミナール科目を連関させて配置する
7. 講義科目については、上記「5」に示した4つの領域に多様な分野やテーマに関する科目を設ける
8. 2年次に「中級ゼミナール」を設け、ヨーロッパ文化の研究に必要な発展的な知識、調査・分析能力等を養成する

9. 3年次の「専門ゼミナール」では、講義で習得した内容をもとに、自ら選択した関心分野について主体的に調べ、考えた内容をまとめ、報告する力を養成する
10. 留学に必要な高度な語学力の獲得と語学検定試験の高スコア取得を目的とし、指定された科目群からなるプログラムとして、グローバル・チャレンジ（GC）ドイツ語プログラム／フランス語プログラム／英語プログラムを設置する

【日本・東アジア文化学科】

1. 外国語科目として、1～2年次に実践的な英語運用能力の習得のために、英語を必修科目とする
2. 1～2年次に英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語（外国人学生特別入学試験入学者のみ）のなかから1つを選択させ、多言語・多文化に触れる機会を設ける
3. 1年次に「基礎ゼミナール」を必修科目とし、文献や資料の調べ方、テキストの読み方、フィールドワークの方法、発表の技法など、基礎的な能力を養成する
4. 研究対象地域を意識した学修を進めるため、「日本文化コース」「東アジア文化コース」「比較・交流文化コース」という3コースを設置し、履修モデルとして学生に提示する
5. 専門分野の学修は、4年次必修の卒業論文が集大成となるよう、講義科目とゼミナール科目を連関させて配置する
6. 講義科目とゼミナール科目が一对になっており、講義で習得された知識が演習形式でより深く理解され、体得されるカリキュラム編成とする
7. 講義科目については、各自の学修分野を明確にするため「ことば・文学・思想」「芸術・身体・環境」「歴史・民俗・宗教」の3つの領域に多様な分野やテーマに関する科目を設置する
8. 2年次以降のゼミナール科目は、講義科目に設けた上記「7」で示した3つの領域に「スキル科目」を加え、4つの領域で編成する。スキル科目は、専攻の基礎となるスキルの習得や語学の熟達を促す
9. 留学に必要な高度な語学力の獲得と語学検定試験の高スコア取得を目的とし、指定された科目群からなるプログラムとして、グローバル・チャレンジ（GC）中国語プログラム／韓国・朝鮮語プログラム／英語プログラムを設置する

第1章 授業科目の履修

【科目表の見方】

① 分野	② ナンバリング	③ 科目名	④ 単位	⑤ 配当年次	⑥ 授業形態	⑦ 備考
A 情報とコミュニケーション	GEA02020	情報技術と人間社会	2	1～4	講義	
	GEA02030	メディアと社会	2	1～4	講義	
	GEA02040	データ分析の基礎	2	1～4	講義	
	GEA02050	データ分析の応用	2	1～4	講義	
	GEA02060	Information Technology and Global Communication	2	1～4	講義	* ※ (1)

- ① 分野 区分（総合科目、外国語科目、専門科目）ごとに分野やジャンルに分類されています。
- ② ナンバリング 科目ナンバリングは、武蔵大学で開講している科目に番号付けを行い、科目の分野、履修可能年次、履修順序などをあらわしたものです。詳しくは、履修要項（共通編）を確認してください。
- ③ 科目名 授業科目名
（※授業内容については、シラバスを参照してください。）
- ④ 単位 科目ごとに単位数が決められています。卒業要件をよく読み、必要な単位を修得してください。
- ⑤ 配当年次 科目ごとに履修可能年次が指定されています。一部、システム上履修登録できる年次が異なる科目もあります。
- ⑥ 授業形態 履修要項（共通編）8頁参照
- ⑦ 備考 その科目に対する条件・案内等が記載されています。
【*印について】
- ・備考欄に*印のない科目は、原則として毎年開講する予定の科目です。
 - ・備考欄に*印のある科目は、原則として2年に一度開講する予定の科目です。このため開講された翌年度は欠講となる可能性があります。ただし、履修の便宜のため、年度により、2年連続で開講される場合もあります。
- 【その他】
- ・上記以外に注意すべき条件・案内等が記載されています。備考欄に直接記載されているものと、*印がついて欄外に説明が記載されているものがあります。

【開欠講について】

当年度に開講している科目は、3Sの授業＞シラバス検索＞カリキュラムツリー照会から確認できます。入学年度、学科組織（●●学部●●学科●●コースなど）を選択して「表示」を押すと、選択したカリキュラムに沿った形で当年度開講している科目のシラバスが表示されます。開講期は「すべて対象」「春学期」「秋学期」を選択できます。なお、自身のIDとパスワードでログインすると、あらかじめ入学年度と学科組織が入力された状態で表示されます。科目名が表示されない場合は、当年度欠講となります。欠講科目は、3Sトップ画面＞履修要項＞学部欠講科目一覧からも確認できます。

英語英米文化学科

1 英語英米文化学科 卒業要件

本学に4年以上在学し、履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。16頁以降に各区分の履修方法が記載されていますので、よく読んで間違いのないように履修してください。

また、以下のことにも注意して計画的に単位を修得してください。

- ・2年次外国語を履修するためには、必要な単位を1年次に修得しなければなりません。詳細は21頁に記載してあります。
- ・2年次終了時点で、卒業に必要な修得単位が28単位未満かつ、履修登録単位制限の緩和措置対象とならない等の場合には、4年間での卒業が不可能となります。
- ・4年次の必修科目である「卒業論文」を履修するには、3年の在学期間を充足した上で、必要な科目と単位を修得しなければなりません。詳細は44頁に記載してあります。なお、3年次終了時点で卒業論文履修資格を満たさない場合は、4年間での卒業が不可能となります。

[英語英米文化学科]

区分	修得すべき 単位数	内訳		
総合科目	20単位	6分野(A～F)すべてからセクションを問わず最低2単位を修得し(計12単位)、さらに分野を問わず8単位以上修得すること。ただし、実践セクションの科目を必ず1科目(1単位)以上含むこと。		
外国語科目	14単位	必修外国語(英語)	12単位	
	(自由選択)	選択外国語Ⅰ(学科指定) (英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語)*英語強化クラス所属者は英語しか選択できません。英語強化クラスに所属していない者は英語を選択できません。 選択外国語Ⅱ(修得単位は総合科目の「分野を問わない8単位」に含めることができる) 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語	2単位 -	
専門科目	20単位	(指定された人文学部の他学科の専攻科目、他学部の専門科目などより選択) ※「学芸員課程関連科目」の修得単位は、8単位まで共通専門科目に算入することができる。 ※「日本語ワークショップ」は、8単位まで共通専門科目に算入することができる。 ※「GCドイツ語」「GCフランス語」「GC中国語」「GC韓国・朝鮮語」及び「ドイツ語/フランス語実習科目」を除く(これらの修得単位を卒業に必要な単位のうちに含めることはできない)。		20単位
		専攻基礎科目 14単位	必修科目	英語英米文化基礎ゼミナール1 英語英米文化基礎ゼミナール2 英語ワークショップ1 英語ワークショップ2 2年次ゼミナール1 2年次ゼミナール2
	選択科目(実習)		4単位	
	専攻専門科目 56単位	必修科目	卒業論文 卒業論文ゼミナール1 卒業論文ゼミナール2	4単位 2単位 2単位
選択科目			分野①～④の講義 ※「教職の教科に関する概説科目」を除く 分野①～④の演習、フィールドワークゼミナール、 卒業論文準備ゼミナール	34単位 14単位
合計	124単位			

※ 以下の科目に関しては、同じ科目を重複して履修することができます。重複履修をした場合、2度目以降の修得単位も卒業要件に算入できます。ただし、一部の共通専門科目の合計修得単位数には上記の制限があります。

- ・共通専門科目の「GHゼミナール」「日本語ワークショップ」及びGlobal Challenge分野の科目
- ・専攻基礎科目の選択科目(実習)
- ・専攻専門科目の選択科目(ゼミナール) ※ただし、「卒業論文準備ゼミナール」は除く

【注意】

表の合計124単位は最小限必要な単位数であり、これ以上の単位を余裕をもって履修することを勧めます。

2 英語英米文化学科 コース制度

人文学部では学科ごとに複数のコースが用意されています。これらのコースは、自分の興味や関心がどこに向いているかを自覚し、その関心に従って科目履修や卒業論文のテーマ選択をしていく際に参照すべき学修上の指針と考えてください。また、次項の履修モデルはコースごとに作成されていますので、こちらも参考にしてください。

いったんコースを決めても、その後の関心の変化によってコースを変更することは自由ですし、特定のコースによって履修できない科目が生じるということもありませんので、安心して選択してください。

1. 開講コース

英語英米文化学科では、卒業までの学習計画を立てる際の一助となるように、自分の興味・関心に基づいてコースを選択します。各コースの概要は以下のとおりです。専門科目（講義科目・ゼミナール科目）の4つの領域に対応していますが、どのコースを選択した場合でも、コース区分を越えて自由に科目を履修できます。

◇ 英語・英語教育コース

英語をはじめとする言語学、英語教育学の観点から学びます。言語の諸相、英語教育、異文化コミュニケーションなど様々なテーマの科目が用意されています。最終的には自分が興味をもったテーマで日本語または英語による卒業論文を作成します。

◇ 文学・芸術・メディアコース

アメリカ・イギリスをはじめとする英語圏の国々の、文学、芸術、メディアについて学びます。最終的には自分が興味をもったテーマで日本語または英語による卒業論文を作成します。

◇ 歴史・社会・思想コース

アメリカ・イギリスをはじめとする英語圏の国々の、歴史、社会、文化、思想、宗教について学びます。最終的には自分が興味をもったテーマで日本語または英語による卒業論文を作成します。

◇ 交流文化・観光コース

英語圏や他地域との関係も対象として、観光や文化的交流という身近で実践的な観点から、その諸相を学びます。英語で行われる講義やゼミナール科目も提供されています。最終的には自分が興味をもったテーマで日本語または英語による卒業論文を作成します。

2. コース選択手続き日程（詳細は3Sにて周知します）

コース希望届を1年次秋学期に提出します。正式に所属コースが決まるのは2年次4月です。

【注意】

- ① 原則的に本人の希望にしたがってコース配属をおこなうため、選考はありません。
- ② コース希望届未提出者は、文学・芸術・メディアコースに配属されます。

3. コース変更について

所属コース決定後に変更を希望する場合は、所定の用紙にて教務課に願い出てください。手続期間は毎年度4月、履修登録期間開始前までを締め切りとします。

コース変更は個人の判断でおこなえますが、必要に応じて指導教授や教務委員に相談してください。

3 英語英米文化学科 履修モデル

◆英語・英語教育コース

このコースではディプロマ・ポリシー(DP)のうち「専門的・学際的な知識」「論理的に表現する力」「外国語を運用する力」が特に育成される。

区分	総合科目 20単位	外国語科目 14単位	専門科目		専門科目		専門科目		専門科目		専門科目		合計 単位数
			基礎専門科目 20単位	英語英米文化基礎ゼミナール1 英語ワークショップ1	英語英米文化基礎ゼミナール2 英語ワークショップ2	英語英米文化基礎ゼミナール1 英語ワークショップ1	英語英米文化基礎ゼミナール2 英語ワークショップ2	英語英米文化基礎ゼミナール1 英語ワークショップ1	英語英米文化基礎ゼミナール2 英語ワークショップ2	英語英米文化基礎ゼミナール1 英語ワークショップ1	英語英米文化基礎ゼミナール2 英語ワークショップ2	英語英米文化基礎ゼミナール1 英語ワークショップ1	
卒業要件													
1年次 春学期	現代の世界と人々(B) 2 現代社会とジェンダー(C) 2	英語 2 ドイツ語 2	英語英米文化基礎ゼミナール1 2 英語ワークショップ1 1	英語英米文化基礎ゼミナール1 2 英語ワークショップ1 1	英語英米文化基礎ゼミナール2 2 英語ワークショップ2 1	英語英米文化基礎ゼミナール1 2 英語ワークショップ1 1	英語英米文化基礎ゼミナール2 2 英語ワークショップ2 1	①英語学概論1 2 ①英語教育学1 2 ①異文化コミュニケーション論1 2	①英語学概論1 2 ①英語教育学1 2 ①異文化コミュニケーション論1 2	①英語学概論2 2 ①英語教育学2 2 ①異文化コミュニケーション論2 2	①英語学概論2 2 ①英語教育学2 2 ①異文化コミュニケーション論2 2	2 2 2	18
1年次 秋学期													
2年次 春学期													
2年次 秋学期													
3年次 春学期													
3年次 秋学期													
4年次 春学期													
4年次 秋学期													
小計	20	14	20	14	20	14	20	14	20	14	20	14	124

◆文学・芸術・メディアコース

このコースではDPのうち「専門的・学際的な知識」「論理的に批評する力」「多様な文化を理解する力」が特に育成される。

区分	総合科目 20単位	外国語科目 14単位	共通専門科目 20単位		専門科目 10単位		専門科目 4単位		専門科目 8単位		専門科目 34単位		専門科目 14単位		合計 単位数
			英語	フランス語	英語 英米文化基礎ゼミナール1 英語ワーキングショップ1	英語 英米文化基礎ゼミナール2 英語ワーキングショップ2	英音クリニック1	英音クリニック2	専攻基礎科目 選択科目(英語)	専攻基礎科目 選択科目(英語)	専攻専門科目 選択科目(論議)	専攻専門科目 選択科目(ゼミナール科目)			
卒業要件	現代の世界と人々(B)	2	英語	3	英語	2	英音クリニック1	1	②アメリカの文学1	2	②アメリカの文学1	2	②アメリカの文学1	2	18
	現代社会とアート(C)	2	フランス語	1	英語	1	英語ワーキングショップ1	1	②イギリスの文学2	2	②イギリスの文学2	2	②イギリスの文学2	2	
	小計	4		4	小計	3	小計	3	小計	0	小計	6	小計	0	
1年次 春学期	メディアと社会(A)	2	英語	3	英語	2	英語英米文化基礎ゼミナール2	1	②アメリカの文学2	2	②アメリカの文学2	2	②アメリカの文学2	2	18
	スポーツの心理学(E)	2	フランス語	1	英語	1	英語ワーキングショップ2	1	②イギリスの文学2	2	②イギリスの文学2	2	②イギリスの文学2	2	
	小計	4		4	小計	0	小計	3	小計	0	小計	6	小計	0	
1年次 秋学期	現代アート・ワーキングショップ(G)(実践)	2	英語	2	英語	2	2年次ゼミナール1	2	②英語圏文学特講1	2	②英語圏文学特講1	2	②アメリカ文学ゼミナール1	2	23
	人文学入門(B)	2	フランス語	1	英語	1	2年次ゼミナール2	2	②映画文化論1	2	②映画文化論1	2	②アメリカ文学ゼミナール2	2	
	小計	4		4	小計	0	小計	3	小計	0	小計	6	小計	0	
2年次 春学期	自己理解の哲学(F)	2	英語	2	英語	2	2年次ゼミナール2	2	②英語圏文学特講2	2	②英語圏文学特講2	2	②アメリカ文学ゼミナール2	2	21
	小計	4		4	小計	6	小計	2	小計	0	小計	6	小計	2	
	小計	2		2	小計	6	小計	2	小計	0	小計	6	小計	2	
3年次 春学期	現代社会とグローバル化セッション(C)	2	英語	2	英語	2	2年次ゼミナール2	2	②英語圏文学特講2	2	②英語圏文学特講2	2	②アメリカ文学ゼミナール2	2	19
	生物学と現代社会(D)	2	フランス語	1	英語	1	2年次ゼミナール2	2	②映画文化論2	2	②映画文化論2	2	②アメリカ文学ゼミナール2	2	
	小計	4		4	小計	4	小計	0	小計	0	小計	6	小計	4	
3年次 秋学期	多文化共生の現在(B)	2	英語	2	英語	2	2年次ゼミナール2	2	②英語圏文学特講2	2	②英語圏文学特講2	2	②アメリカ文学ゼミナール2	2	17
	小計	2		2	小計	4	小計	0	小計	0	小計	6	小計	2	
	小計	0		0	小計	4	小計	0	小計	0	小計	4	小計	6	
4年次 春学期	卒業論文準備ゼミナール	2	英語	2	英語	2	卒業論文ゼミナール1	2	卒業論文ゼミナール1	2	卒業論文ゼミナール1	2	卒業論文準備ゼミナール	2	2
	小計	0		0	小計	0	小計	0	小計	2	小計	0	小計	0	
	小計	0		0	小計	0	小計	0	小計	2	小計	0	小計	0	
4年次 秋学期	卒業論文	4	英語	4	英語	4	卒業論文ゼミナール2	4	卒業論文ゼミナール2	4	卒業論文ゼミナール2	4	卒業論文準備ゼミナール	4	6
	小計	0		0	小計	0	小計	0	小計	6	小計	0	小計	0	
	小計	0		0	小計	0	小計	0	小計	6	小計	0	小計	0	
合計	20		14	小計	20	小計	10	小計	4	小計	8	小計	34	124	

第1章 授業科目の履修

◆歴史・社会・思想コース

このコースではDPのうち「専門的・学際的な知識」「論理的に表現する力」「多様な文化を理解する力」が特に養成される。

区分	総合科目		外国語科目		共通専門科目		専門科目		専門科目		専門科目		専門科目		専門科目		合計 単位数	
	20単位		14単位		20単位		10単位		4単位		8単位		34単位		14単位			
卒業要件							専攻基礎科目 必修科目		専攻基礎科目 選択科目(実習)		専攻専門科目 必修科目		専攻専門科目 選択科目(講義)		専攻専門科目 選択科目(ゼミナール科目)			
1年次 春学期	20世紀の世界(B)	2	英語	3	英語英米文化基礎ゼミナール1	2	英会話初級1	1										
	社会学概論(C)	2	フランス語	1	英語ワーキングショップ1	1												
		小計		小計		小計		小計										18
1年次 秋学期	メディアと社会(A)	2	英語	3	英語英米文化基礎ゼミナール2	2	英会話初級2	1										
	多文化共生の現在(B)	2	フランス語	1	英語ワーキングショップ2	1												
		小計		小計		小計		小計										18
2年次 春学期	キャリアデザイン論A(F)	2	英語	3	ヨーロッパ思想史	2	2年次ゼミナール1	2										
	現代社会とグローバル化ゼミナール(C)	2			ヨーロッパ統合論	2												
					フランス史	2												
		小計		小計		小計		小計										23
2年次 秋学期	キャリアデザイン演習(F)(実履)	2	英語	3	歴史・記憶・アーカイブ	2	2年次ゼミナール2	2										
					ドイツ近現代史	2												
					ヨーロッパ交流史	2												
		小計		小計		小計		小計										21
3年次 春学期	世界の名著(B)(実履)	2			現代ヨーロッパ社会論	2	実作文中級1	1										
	環境論(D)	2			Global Civics 1	2												
		小計		小計		小計		小計										19
3年次 秋学期	スポーツの歴史と文化(E)	2			地中海文明論	2	実作文中級2	1										
					Global Civics 2	2												
		小計		小計		小計		小計										17
4年次 春学期																		
		小計		小計		小計		小計										2
4年次 秋学期																		
		小計		小計		小計		小計										6
		小計		小計		小計		小計										124

第1章 授業科目の履修

◆GHプログラムの修了を目指す場合(所属コース:文学・芸術・メディア)

区分	総合科目 20単位	外国語科目 14単位	未選専門科目 20単位	専門科目		専門科目		専門科目		専門科目		専門科目		合計 単位数
				専攻基礎科目 必修科目 10単位	専攻基礎科目 選択科目(英語) 4単位	専攻専門科目 必修科目 8単位	専攻専門科目 選択科目(講義) 34単位	専攻専門科目 選択科目(ゼミナール科目) 14単位	専攻専門科目 選択科目(ゼミナール科目) 14単位					
卒業要件	現代の世界と人々(B)	2 英語	3	英語英米文化基礎ゼミナール1	2 発音クニック1	1	②アメリカの文学1	2						
	現代社会とアート(C)	2 フランス語	1	英語ワーキングショップ1	1		②イギリスの文学1	2						18
		小計 4	小計 4	小計 0	小計 3	小計 1	小計 0	②英米の芸術1	2				小計 6	小計 0
1年次 春学期	メディアと社会(A)	2 英語	3	英語英米文化基礎ゼミナール2	2 発音クニック2	1	②アメリカの文学2	2						
	スポーツの心理学(E)	2 フランス語	1	英語ワーキングショップ2	1		②イギリスの文学2	2						18
		小計 4	小計 4	小計 0	小計 3	小計 1	小計 0	②英米の芸術2	2				小計 6	小計 0
1年次 秋学期	現代アート・ワーキングショップ(G)(実践)	2 英語	4	2 2年次ゼミナール1	2		②英語圏文学特講1	2						
	人文学入門(B)	2		身体と芸術	2		②映像文化論1	2						2
		小計 4	小計 4	小計 0	小計 3	小計 1	小計 0	③英語圏の宗教と文化1	2				小計 6	小計 0
2年次 春学期	自己理解の哲学(F)	2 英語	3	歴史・記憶・アークタイプ	2		②英語圏文学特講2	2						
		小計 4	小計 3	人文批評入門	2		②映像文化論2	2						2
				フランス文学史1	2		③英語圏の宗教と文化2	2						2
2年次 秋学期														21
		小計 2	小計 3	小計 6	小計 2	小計 0	小計 0	小計 0				小計 6	小計 2	
														2
3年次 春学期	現代社会とグローバル化セッション(C)	2		GHゼミナール[アート&テクニカル]	2		②英語圏文学特講2	2						
	生物學と現代社会(D)	2		Global Literatures in English 1	2		②芸術文化論1	2						2
		小計 4	小計 0	小計 4	小計 0	小計 1	小計 0	③アメリカ史1	2					2
3年次 秋学期	多文化共生の現在(B)	2		GHゼミナール2[アート&テクニカル]	2		③英米の思想1	2						
		小計 2	小計 0	小計 4	小計 0	小計 1	小計 0	②芸術文化論2	2					2
								③アメリカ史2	2					2
4年次 春学期														
		小計 0	小計 0	小計 0	小計 0	小計 0	小計 0	卒業論文準備ゼミナール	2					2
								卒業論文準備ゼミナール	2					2
4年次 秋学期														
		小計 0	小計 0	小計 0	小計 0	小計 0	小計 0	卒業論文準備ゼミナール1	2					2
								卒業論文準備ゼミナール2	2					2
	小計 0	小計 0	小計 0	小計 0	小計 0	小計 0	小計 0	卒業論文準備ゼミナール	2				2	
	小計 20	小計 14	小計 20	小計 10	小計 4	小計 8	小計 34	小計 14	小計 14	小計 14	小計 14	小計 14	小計 14	124

◆GC英語強化クラスに所属し、かつ英語モジュールおよびグローバルスタディーズ副専攻の修了を目指す場合(所属コース:交流文化・観光)

区分	総合科目 20単位	外国語科目 14単位	共通専門科目 20単位	専門科目 専攻基礎科目 10単位		専門科目 専攻基礎科目 4単位		専門科目 専攻専門科目 8単位		専門科目 専攻専門科目 34単位		専門科目 専攻専門科目 14単位		合計 単位数
				必修科目 10単位	選択科目 0単位	選択科目(実習) 4単位	必修科目 8単位	選択科目(講義) 34単位	選択科目(ゼミナール科目) 14単位					
卒業要件														
1年次 春学期	Introduction to Race, Ethnicity and Nation (B) 2 英語 世界の名著 (B)(英読) 2 英語 (選択外国語) 1	2 英語 英語 (選択外国語) 1	3 英語 英語 (選択外国語) 1	英語英米文化基礎ゼミナール1 2 Listening & Note-taking1 1 英語ワークショップ1 1	2 Listening & Note-taking1 1	2 Listening & Note-taking1 1	④観光文化論(英米)1 2 ④広域英語圏文化論1 2 ①異文化コミュニケーション論1 2	④観光文化論(英米)1 2 ④広域英語圏文化論1 2 ①異文化コミュニケーション論1 2	④観光文化論(英米)1 2 ④広域英語圏文化論1 2 ①異文化コミュニケーション論1 2	④観光文化論(英米)1 2 ④広域英語圏文化論1 2 ①異文化コミュニケーション論1 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	18
1年次 秋学期	Introduction to Human Rights (C) 2 英語 Global Environmental Issues (D) 2	2 英語 英語 (選択外国語) 1	3 英語 英語 (選択外国語) 1	英語英米文化基礎ゼミナール2 2 英語ワークショップ2 2	2 Listening & Note-taking2 1	2 Listening & Note-taking2 1	④観光文化論(英米)2 2 ④広域英語圏文化論2 2 ①異文化コミュニケーション論2 2	④観光文化論(英米)2 2 ④広域英語圏文化論2 2 ①異文化コミュニケーション論2 2	④観光文化論(英米)2 2 ④広域英語圏文化論2 2 ①異文化コミュニケーション論2 2	④観光文化論(英米)2 2 ④広域英語圏文化論2 2 ①異文化コミュニケーション論2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	18
2年次 春学期	Introduction to Personal Health and Wellness (E) 2 英語 Information Technology and Global Communication (A) 2	2 英語 英語 (選択外国語) 1	3 英語 英語 (選択外国語) 1	2 2年次ゼミナール1 2	2 Listening & Note-taking2 1	2 Listening & Note-taking2 1	④英語圏の対外交渉史1 2 ④The Anglosphere in Global Perspective 1 2 ③英米の歴史と社会1 2	④英語圏の対外交渉史1 2 ④The Anglosphere in Global Perspective 1 2 ③英米の歴史と社会1 2	④英語圏の対外交渉史1 2 ④The Anglosphere in Global Perspective 1 2 ③英米の歴史と社会1 2	④英語圏の対外交渉史1 2 ④The Anglosphere in Global Perspective 1 2 ③英米の歴史と社会1 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	23
2年次 秋学期	Career Design in a Global Age (F) 2 英語	2 英語	3 英語 英語 (選択外国語) 1	2 2年次ゼミナール2 2	2 Listening & Note-taking2 1	2 Listening & Note-taking2 1	④英語圏の対外交渉史2 2 ④The Anglosphere in Global Perspective2 2 ③英米の歴史と社会2 2	④英語圏の対外交渉史2 2 ④The Anglosphere in Global Perspective2 2 ③英米の歴史と社会2 2	④英語圏の対外交渉史2 2 ④The Anglosphere in Global Perspective2 2 ③英米の歴史と社会2 2	④英語圏の対外交渉史2 2 ④The Anglosphere in Global Perspective2 2 ③英米の歴史と社会2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	21
3年次 春学期	Introduction to Gender and Sexuality Studies (G) 2 英語 Introduction to Human Geography (D) 2	2 英語 英語 (選択外国語) 1	3 英語 英語 (選択外国語) 1	2 2年次ゼミナール1 2 2 2年次ゼミナール2 2	2 English Composition (Advanced)1 1	2 English Composition (Advanced)2 1	④英語圏の観光地理学 2 ③英米の地域文化と社会1 2 ③イギリス文化論1 2	④英語圏の観光地理学 2 ③英米の地域文化と社会1 2 ③イギリス文化論1 2	④英語圏の観光地理学 2 ③英米の地域文化と社会1 2 ③イギリス文化論1 2	④英語圏の観光地理学 2 ③英米の地域文化と社会1 2 ③イギリス文化論1 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	19
3年次 秋学期	Japan in the Modern World (B) 2 英語	2 英語	3 英語 英語 (選択外国語) 1	2 2年次ゼミナール1 2 2 2年次ゼミナール2 2	2 English Composition (Advanced)2 1	2 English Composition (Advanced)2 1	④ケームハークの文化史 2 ③英米の地域文化と社会2 2	④ケームハークの文化史 2 ③英米の地域文化と社会2 2	④ケームハークの文化史 2 ③英米の地域文化と社会2 2	④ケームハークの文化史 2 ③英米の地域文化と社会2 2	2 2	2 2	2 2	17
4年次 春学期							卒業論文ゼミナール1 2	卒業論文ゼミナール1 2	卒業論文ゼミナール1 2	卒業論文ゼミナール1 2	2	2	2	2
4年次 秋学期							卒業論文ゼミナール2 2	卒業論文ゼミナール2 2	卒業論文ゼミナール2 2	卒業論文ゼミナール2 2	2	2	2	6
合計	20	14	14	20	10	10	4	8	34	14	34	14	14	124

4 英語英米文化学科 総合科目

1. 目的と特徴

総合科目は幅広い教養と知識、豊かな人間性と良識、柔軟な思考力、判断力、そして創造的な実践力を養うことを目的としています。総合科目の特徴は、全学部および関係するセンターが協力して企画、運営している共通科目（スタンダード科目）であること、全学部の学生が同じ教室で受講することです。総合科目は、価値の多様化、異文化およびダイバーシティ理解、男女共同参画をはじめとする 21 世紀を生きる私たちが直面している状況や取り組むべき課題を具体的に意識して精選されたものです。

なお、それぞれの授業群における独自の目標を、以下のように定めています。

- (A) 情報とコミュニケーション : 情報化社会で学び、生活し、仕事をするための知識と力を養う
- (B) 歴史と文化 : 日本と世界各地の伝統文化や思想、宗教などへの理解を深める
- (C) 現代社会 : 政治、法、経済、社会構造など、多様な視点から現代をとらえる
- (D) 自然と環境 : 地球環境や生物環境の基礎知識を身につけ、自然と人間の共生を考える
- (E) 心と体 : 人間の心と体をトータルにとらえ、健康づくりのスキルと姿勢を身につける
- (F) ライフマネジメントとキャリアデザイン : 大学卒業後の進路に夢を描き、具体化するための力を養う

2. 学年配当

ほとんどの科目は 1 年次から 4 年次までいつでも履修できますが、学年が限定されている科目も一部にありますので、一覧表をよく確認してください。

3. 授業科目の編成、分類、単位数など

総合科目は 6 分野（A～F）からなり、それぞれの授業科目は講義セクションと実践セクションに分かれています。講義セクションには総合的内容の講義（講義科目）が置かれ、実践セクションには演習・実習・実技・実験その他の体験授業（実践科目）が置かれています。講義セクションで得た知識を実践的レベルでも追究したい場合に実践セクションの科目を履修すると効果的です。それぞれの分野は、知と実践（知ることとおこなうこと）の循環・統合を実感できるように構成されています。ただし、総合科目の授業内容は、一部のセット科目を除いてそれぞれ独立していますので、各人の興味と必要に応じて、セクションを気にせず個々に履修することもできます。単位数については授業の形態や密度、学修時間に応じて 1 単位・2 単位の区別があります。一覧表でよく確認してください。

4. 修得すべき単位数

6 分野（A～F）すべてからセクションを問わず最低 2 単位を修得し（計 12 単位）、かつ分野を問わずさらに 8 単位以上を修得すること。ただし、実践セクションの科目を 1 単位以上含めなければなりません（総合科目全体として合計 20 単位以上が卒業に必要な条件です）。なお、後述する外国語科目の選択外国語Ⅱを 8 単位まで「分野を問わない 8 単位」に含めることができます。

【注意】

同一科目（同一名称の科目）を履修した場合、2 度目以降は重複履修として自由科目の扱いになるため卒業に必要な単位に算入することができません。ただし同一名称でありながら、記号や番号で区別がなされている科目については別科目として扱う場合があります。詳細については教務課に問い合わせてください。

区分	修得すべき単位数	詳細		注意
総合科目	20 単位	(A) 情報とコミュニケーション	2 単位以上	<ul style="list-style-type: none"> 各分野最低 2 単位（合計 12 単位）と分野を問わず 8 単位、合わせて 20 単位を修得すること。 分野を問わず実践セクションの科目を最低 1 単位以上含めること。 「分野を問わない 8 単位」の中に、選択外国語 II を 8 単位まで算入できる。
		(B) 歴史と文化	2 単位以上	
		(C) 現代社会	2 単位以上	
		(D) 自然と環境	2 単位以上	
		(E) 心と体	2 単位以上	
		(F) ライフマネジメントとキャリアデザイン	2 単位以上	

5. 「(E) 心と体」分野のスポーツ実践

総合科目のうち、**スポーツ実践**を履修する際には以下の事項に注意してください。

- ① 成績評価にあたっては、授業への参加度および履修態度（平常点）を主要なものとし、欠席数が多い場合や履修態度が著しく悪い場合は不合格となり、単位の認定がおこなわれません。ただし、特別な事情がある場合は別に考慮することがあるので、その旨を申し出てください。
- ② 健康診断を受けていない場合は、速やかに大学保健室および身体運動科学研究室に申し出て、指示を受けてください。健康診断では、健康状態をはじめ、疾病・異常の有無を確認しています。スポーツ活動、身体活動を通して、健康の維持増進を図るためにも、自身の健康状態を把握しておくことは非常に重要です。
- ③ スポーツ実践は実技です。必ず運動に適した服装で授業を受けてください。
- ④ 実技科目であるため、履修者数を制限します。

6. 実践セクションの特殊な履修手続きについて

実践セクションの授業のうち F 群の「海外フィールド実習」は、通常の履修登録の手続きとは異なり、ガイダンスを実施するなどしたのちに、授業担当者に直接履修登録の申請をおこないます。通常の履修登録期間・履修取消期間外におこなわれるため、履修取消の対象外ですので、注意してください。

総合科目は、下表の通りです。

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	
(A) 情報とコミュニケーション	講義	GEOA02020	情報技術と人間社会	2	1～4	講義	
		GEOA02030	メディアと社会	2	1～4	講義	
		GEOA02040	データ分析の基礎	2	1～4	講義	
		GEOA02050	データ分析の応用	2	1～4	講義	
		GEOA02060	Information Technology and Global Communication	2	1～4	講義	* ※ (1)
	実践	GEOA01010	表現技法とインタラクション	2	1～4	演習	
		GEOA01020	問題解決とコンピューティング	2	1～4	演習	
		GEOA01030	デジタル協働学	2	1～4	演習	
		GEOA01040	データマイニング入門	2	1～4	演習	
		GEOA01050	インターネット・イングリッシュ	2	1～4	演習	
		GEOA01060	クリエイティブ・ライティング	2	1～4	演習	
		GEOA01070	アカデミック・ディベート	2	1～4	演習	
		GEOA01080	クリティカル・シンキング	2	1～2	演習	※ (2)
GEOA01090	Digital Media Training	2	1～4	演習	※ (1)、(3)		
GEOA01100	Accounting and Finance (a)	4	1	演習	※ (4)		
(B) 歴史と文化	講義	GEB02010	グローバル時代の歴史認識	2	1～4	講義	
		GEB02020	20世紀の世界	2	1～4	講義	
		GEB02030	20世紀の日本	2	1～4	講義	
		GEB02040	社会思想の歴史	2	1～4	講義	*
		GEB02050	人文学入門	2	1～4	講義	
		GEB02060	日本と世界の宗教	2	1～4	講義	
		GEB02070	日本の伝統と文化	2	1～4	講義	
		GEB02080	現代の世界と人々	2	1～4	講義	
		GEB02090	多文化共生の現在	2	1～4	講義	
		GEB02100	Japan in the Modern World	2	1～4	講義	* ※ (1)
		GEB02110	Introduction to Race, Ethnicity and Nation	2	1～4	講義	* ※ (1)
	実践	GEB01010	世界の名著	2	1～4	演習	
		GEB01020	日本の名著	2	1～4	演習	
		GEB01030	サイエンスラボ講座 (文理融合)	2	1～4	演習	
		GEB01040	リベラルアーツの名著	2	1～4	演習	
GEB01050	分野横断型アカデミック・リーディング	2	1～4	演習			
(C) 現代社会	講義	GEC02010	日本国憲法	2	1～4	講義	
		GEC02020	現代社会と政治	2	1～4	講義	
		GEC02030	現代社会と法	2	1～4	講義	
		GEC02040	現代社会と経済	2	1～4	講義	*
		GEC02050	現代社会と人権	2	1～4	講義	
		GEC02070	現代社会とジェンダー	2	1～4	講義	*
		GEC02080	現代社会とアート	2	1～4	講義	*
		GEC02090	国際社会における紛争と協調	2	1～4	講義	*
		GEC02100	現代社会とグローバル化	2	1～4	講義	*
		GEC02110	現代日本の課題	2	1～4	講義	
		GEC02140	Introduction to Human Rights	2	1～4	講義	* ※ (1)
		GEC02150	Introduction to Gender and Sexuality Studies	2	1～4	講義	※ (1)
	GEC02160	社会学概論	2	1～4	講義		
	実践	GEC01030	現代アート・ワークショップ	2	1～4	演習	
		GEC01060	Politics (a)	4	1	演習	* ※ (4)
		GEC01070	International Relations (a)	4	1	演習	* ※ (4)
(D) 自然と環境	講義	GED02010	地球の自然史	2	1～4	講義	
		GED02020	環境論	2	1～4	講義	
		GED02030	人間と環境	2	1～4	講義	
		GED02040	数学の世界	2	1～4	講義	
		GED02050	自然と生活のなかの物理	2	1～4	講義	
		GED02060	化学と現代社会	2	1～4	講義	
		GED02070	生物の進化	2	1～4	講義	
		GED02080	生物学と現代社会	2	1～4	講義	
		GED02090	科学と歴史	2	1～4	講義	
		GED02100	先進の科学技術	2	1～4	講義	
		GED02110	Global Environmental Issues	2	1～4	講義	* ※ (1)
		GED02120	Introduction to Human Geography	2	1～4	講義	* ※ (1)
	実践	GED01010	武威・環境フィールドワーク	2	1～4	演習	
		GED01020	サイエンスラボ集中講座 A	2	1～4	演習	
		GED01030	サイエンスラボ集中講座 B	2	1～4	演習	
		GED01050	サイエンスラボ講座 (物理学) A	2	1～4	演習	
		GED01060	サイエンスラボ講座 (物理学) B	2	1～4	演習	
		GED01070	サイエンスラボ講座 (化学) A	2	1～4	演習	
		GED01080	サイエンスラボ講座 (化学) B	2	1～4	演習	
		GED01090	サイエンスラボ講座 (生物学) A	2	1～4	演習	
GED01100	サイエンスラボ講座 (生物学) B	2	1～4	演習			
GED01040	Mathematics and Statistics (a)	4	1	演習	※ (4)		
GED01110	Pure Mathematics (a)	4	1	演習	* ※ (4)		

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
(E) 心と体	講義	GEE02010	2	1～4	講義	
		GEE02020	2	1～4	講義	
		GEE02030	2	1～4	講義	
		GEE02040	2	1～4	講義	
		GEE02050	2	1～4	講義	
		GEE02060	2	1～4	講義	
		GEE02070	2	1～4	講義	
	GEE02080	2	1～4	講義	※ (1)	
	実践	GEE01010	2	1～4	演習	
		GEE01020	2	1～4	演習	
		GEE06010	1	1～4	実技	
		GEE06020	1	1～4	実技	
		GEE06030	1	1～4	実技	*
		GEE06040	1	1～4	実技	
GEE06050		1	1～4	実技		
GEE06060		1	1～4	実技		
GEE06070		1	1～4	実技	*	
GEE06080		1	1～4	実技		
GEE06090		1	1～4	実技		
GEE06100		1	1～4	実技		
GEE06110		1	1～4	実技		
GEE06120	1	1～4	実技			
GEE06130	1	1～4	実技	*		
GEE06140	1	1～4	実技	*		
(F) キャリアデザイン	講義	GEF02010	2	1～4	講義	
		GEF02020	2	1～4	講義	
		GEF02030	2	1～4	講義	
		GEF22010	2	2～4	講義	
		GEF02040	2	1～4	講義	
		GEF02050	2	1～4	講義	
		GEF02060	2	1～4	講義	※ (1)
	GEF02070	2	1～4	講義		
	実践	GEF21010	2	2～4	演習	
		GEF06010	1	1～4	実習	*
		GEF01040	4	1	演習	※ (4)
		GEF31010	1	3・4	演習	
		GEF36010	1	3・4	実習	
GEF01050		2	1～4	演習		

注意事項

- ※ (1) 授業で用いられる主要言語は英語です。授業内容をシラバスでよく確認したうえで、履修を決定して下さい。
- ※ (2) 原則として社会学部のグローバル・データサイエンスコース所属者の履修を優先します。
- ※ (3) 原則として国際教養学部グローバルスタディーズ専攻の学生の履修を優先します。
- ※ (4) PDP 科目となります。履修にあたり、IELTS overall5.5 以上（各項目 5.0 以上）の取得および、ロンドン大学への登録が必要となります。
これらの科目は週 2 回、英語で行われます。

5 英語英米文化学科 外国語科目

本学科の卒業に必要な外国語科目の単位は以下のとおりです。外国語科目は特に出席が重視され、授業回数の3分の1以上を欠席した場合、単位が与えられません。また、外国語科目を指定された年次で修得できない場合、専門科目の履修に制限を受けたり、卒業論文履修資格を得られなくなることがあります。場合によっては4年間での卒業ができなくなることもあるので十分に注意してください。

英語学内試験 (CASEC) について

自宅等からも受験できるオンライン方式のテストです。英語英米文化学科の1年次生および、2年次生は、全員受験することが必須です。必ず受験してください。

詳細は3Sで別途指示します。

1. 必修外国語と選択外国語 I

「学科基本クラス」と「英語強化クラス」があります。「英語強化クラス」は希望者多数の場合に選考があり、選考に漏れた場合には「学科基本クラス」所属となります。「英語強化クラス」への所属を希望しない場合も「学科基本クラス」所属です。

◇ 外国語修得必要単位数

必修外国語 (英語)	12 単位	計 14 単位
選択外国語 I (英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語から 1 言語) * 英語は英語強化クラスのみ選択できます。	2 単位	

<学科基本クラス>

= クラス編成表 =

- ① 1年次では、英語は二つのクラスで、選択外国語 I は一つのクラスで下表の授業数を履修します。
- ② 2年次では、英語は新たに編成されるクラスのもとで、下表の授業数を履修します。
- ③ 選択外国語ではクラスを増やすことがあります。そのときはクラス名に - 1、- 2 を付記します。〈例 A1G - 2〉

種類 履修年次	クラス名	必修外国語 授業名 (必要数)	クラス名	必修外国語 授業名 (必要数)	クラス名	選択外国語 I 授業名 (必要数)
1 年次	A1B	英語 I (2 授業 2 単位)	A1c	英語 I (4 授業 4 単位)	A1G	ドイツ語 I (2 授業 2 単位)
	A1C		A1d		A1F	フランス語 I (2 授業 2 単位)
	A1D		A1e		A1S	スペイン語 I (2 授業 2 単位)
			A1f			
		A1g				
			A1h			
2 年次	A2B	英語 II (2 授業 2 単位)	A2c	英語 II (4 授業 4 単位)	/	
	A2C		A2d			
	A2D		A2e			
	A2E		A2f			
			A2g			
			A2h			
			A2i			
	A2j					

<英語強化クラス>

留学および学内で開講される英語による授業を履修できる程度の高い英語力 (English for Academic Purposes) を身につけることを目的とした選抜クラスです。

* 2年次から所属することになるコースについては、「英語・英語教育コース」、「文学・芸術・メディアコース」「歴史・社会・思想コース」、「交流文化・観光コース」のいずれにも所属可能です。

* 専攻基礎科目の「英語英米文化基礎ゼミナール 1」「英語英米文化基礎ゼミナール 2」「英語ワークショップ 1」「英

語ワークショップ2」「2年次ゼミナール1」「2年次ゼミナール2」も英語強化クラス用の特別クラスとし、英語力をより強化できる内容とします。

- ・ 学生本人が希望する場合等には、2年次から通常クラスに移ることがあります。

= クラス編成表 =

- ① 1年次では、英語は二つのクラスで、選択外国語は一つのクラスで下表の授業数を履修します。
- ② 2年次では、英語は新たに編成されるクラスのもとで、下表の授業数を履修します。

種類 履修年次	クラス名	必修外国語 授業名 (必要数)	クラス名	必修外国語 授業名 (必要数)	クラス名	選択外国語 I 授業名 (必要数)
1年次	A1A	英語 I (4 授業 4 単位)	A1a A1b	英語 I (2 授業 2 単位)	A1H	英語 I (2 授業 2 単位)
2年次	A2A	英語 II (4 授業 4 単位)	A2a A2b	英語 II (2 授業 2 単位)		

外国語科目の履修にあたっては以下の注意をよく読んでください

- ① 必修外国語と選択外国語 I は、必ず自分の配属されているクラスで履修してください。
- ② 必修外国語と選択外国語 I は、必要な単位を超えて履修することはできません。
- ③ 外国語の授業は出席が特に重視されるので注意してください。
- ④ 高等学校等ですでにドイツ語、フランス語、スペイン語を履修した者については、本人の希望に基づき審査を経て、他の科目を履修してその単位を読み替えることを認めます。希望者は選択外国語希望届提出時に、教務課に申し出て指示を受けてください。

◆ 2年次外国語履修条件

<学科基本クラス><英語強化クラス>

- ◎ 1年次必修外国語（英語）6 授業（6 単位）のうち、4 授業（4 単位）以上を修得していること。

1年次終了の段階で条件を満たしていない場合は、2年次外国語を履修することができず、翌年度に再び1年次クラスで未修得分の授業を履修しなければなりません。その際、履修すべき授業は年度初めに指定します。また、2年次外国語履修条件を満たすまでは、専攻専門科目のうち、ゼミナールを履修することはできません。ただし講義科目や実習については履修制限はありません。

2. 選択外国語Ⅱ

- ① 以下の表に示されているのは「選択外国語Ⅱ」と呼ばれる科目群です。
- ② 卒業のために単位修得が必要とされる科目ではありませんが、最大8単位まで総合科目の履修単位として、卒業必要単位に算入することができます。
- ③ 春季・夏季休暇を利用して短期留学を実施する外国語現地実習（英語）は英語の学習にとって重要ですので、積極的に履修してください。
- ④ 日本語科目は主として外国人留学生のために開講されています。日本語を母語とする学生で履修を希望する者は教務課に問い合わせてください。外国語科目として日本語を履修できるのは、協定留学生や外国人学生特別入学試験によって入学した学生、外国語の高校を卒業した学生などに限定されています。詳細は「【3学科共通】3 留学・国際交流関連科目」のEAS科目一覧の注（158頁）を参照してください。

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LEN26011	プラクティカル・イングリッシュ 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26012	プラクティカル・イングリッシュ 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26021	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26022	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26031	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ 1	1	1～4	実習 (外国語)	*
LEN26032	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ 2	1	1～4	実習 (外国語)	*
LEN26041	ディスカッション・ディベート英語 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26042	ディスカッション・ディベート英語 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26051	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 1	1	1～4	実習 (外国語)	*
LEN26052	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 2	1	1～4	実習 (外国語)	*
LEN26061	ビジネス・コミュニケーション英語 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26062	ビジネス・コミュニケーション英語 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26071	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26072	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26081	TOEIC 対策英語 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26082	TOEIC 対策英語 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LGE16031	ドイツ語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LGE16032	ドイツ語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LGE26021	ドイツ語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LGE26022	ドイツ語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LGE26031	ドイツ語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LGE26032	ドイツ語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LFR16031	フランス語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LFR16032	フランス語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LFR26021	フランス語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LFR26022	フランス語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LFR26031	フランス語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LFR26032	フランス語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LIA16031	イタリア語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LIA16032	イタリア語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LIA26011	イタリア語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LIA26012	イタリア語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LIA26021	イタリア語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LIA26022	イタリア語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LRU16011	ロシア語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LRU16012	ロシア語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LRU26011	ロシア語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LRU26012	ロシア語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LRU26021	ロシア語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LRU26022	ロシア語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LSP16031	スペイン語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LSP16032	スペイン語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LSP26021	スペイン語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LSP26022	スペイン語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LSP26031	スペイン語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LSP26032	スペイン語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LCH16031	中国語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LCH16032	中国語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LCH26021	中国語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LCH26022	中国語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LCH26031	中国語コミュニケーション1	1	2～4	実習(外国語)	*
LCH26032	中国語コミュニケーション2	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO16031	韓国・朝鮮語入門1	1	1～4	実習(外国語)	
LKO16032	韓国・朝鮮語入門2	1	1～4	実習(外国語)	
LKO26021	韓国・朝鮮語中級1	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO26022	韓国・朝鮮語中級2	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO26031	韓国・朝鮮語コミュニケーション1	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO26032	韓国・朝鮮語コミュニケーション2	1	2～4	実習(外国語)	*
LEN06010	外国語現地実習(英語)1	2	1～4	実習	
LEN06020	外国語現地実習(英語)2	2	1～4	実習	
LGE06010	外国語現地実習(ドイツ語)1	2	1～4	実習	
LGE06020	外国語現地実習(ドイツ語)2	2	1～4	実習	
LFR06010	外国語現地実習(フランス語)1	2	1～4	実習	
LFR06020	外国語現地実習(フランス語)2	2	1～4	実習	
LCH06010	外国語現地実習(中国語)1	2	1～4	実習	
LCH06020	外国語現地実習(中国語)2	2	1～4	実習	
LKO06010	外国語現地実習(韓国・朝鮮語)1	2	1～4	実習	
LKO06020	外国語現地実習(韓国・朝鮮語)2	2	1～4	実習	
LJA16020	日本語(コンプリートビギナー)	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA16040	日本語(入門)	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA26010	日本語(初級)	1	1～4	実習(外国語)	
LJA26030	日本語(初中級)	1	1～4	実習(外国語)	
LJA36010	日本語(中級)	1	1～4	実習(外国語)	
LJA46010	日本語(上級)	1	1～4	実習(外国語)	

※ 各国語の入門1・2(「〇〇語入門1」「〇〇語入門2」)以外の科目は、履修に先だって、当該外国語の初級文法の学習を終えていることが条件となります。初級文法授業とは、各学部学科の当該外国語の1年次配当授業のうち初級文法の内容を含むもの、全学共通の入門授業、もしくは高等学校や大学等で入学前に受けた授業(初級文法を含むと判断できるもの)です。1年次生や編転入学者など、入学1年目の学生については、入学前に受けた初級文法授業がある場合のみ、申請によって履修登録をおこなうことができます。

3. 外国語学習の手引き

(1) 英語について

大学で学ぶ英語は、入学時まで学習してきた内容を確かなものとするという側面と、それをふまえてより発展的な学習をおこなうという二つの性格をあわせ持っています。様々な学習・研究のなかで英語文献や資料を読む必要が出てくる場合に備えて、的確に英文の内容をつかむことができるだけの英語力を身につけておかなければなりません。それと同時に、異文化コミュニケーションの現場で必要とされる英語を聞く力・話す力の養成も重視するという観点から、実践的な英語力をつけるための学習にも力をいれるようにしてください。

まず、入学時に英語クラス分け試験を受験し、その結果に基づいて配属された到達度別クラスで授業を受けます(英語強化クラスは希望に基づき、英語クラス分け試験で選抜を行います)。授業のための学習、及び自主学習の成果をはかるために、1年次、2年次の秋学期には全員が英語学内試験を受験します。これにより、皆さんは自分の英語能力を知ることができ、その後の進路選択や学習計画に活用することができます。英語英米文化学科における専攻の学習・研究に必要な「アカデミック英語(English for Academic Purpose (EAP))」の力を向上させるため、また実社会において異文化間のコミュニケーションをおこなうのに必要な英語力を身につけるため、以下のような英語学習プログラムが用意されています。

① 1年次:

<学科基本クラス>

- ・リーディングの力を伸ばすためのクラス春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業(2単位)
- ・ライティングの力をつけるための少人数クラス春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業(2単位)
- ・スピーキング・リスニング学習用少人数クラス春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業(2単位)
- ・「英語ワークショップ1」「英語ワークショップ2」(プレゼンテーションに基づくディスカッションを通じ、2年次ゼミナールに向けた基礎的スキルを身につける)春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業(2単位)

＜英語強化クラス（以下のすべての授業をネイティブ・スピーカーが担当します）＞

- ・リーディングの力を伸ばすためのクラス春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業（2単位）
- ・ライティングの力をつけるためのクラス春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業（2単位）
- ・スピーキング・リスニング学習用少人数クラス春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業（2単位）
- ・「選択外国語Ⅰ」としての英語クラス春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業（2単位）
- ・「英語ワークショップ1」「英語ワークショップ2」（プレゼンテーションに基づくディスカッションを通じ、2年次ゼミナールに向けた基礎的スキルを身につける）春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業（2単位）

②2年次：

＜学科基本クラス＞

- ・リーディングの力を伸ばすためのクラス春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業（2単位）
- ・ライティングの力をつけるための少人数クラス春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業（2単位）
- ・ネイティブ・スピーカーによるスピーキング・リスニング学習用少人数クラス春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業（2単位）
- ・「2年次ゼミナール1」「2年次ゼミナール2」（英語で書かれた教材を用い、担当教員の専門分野と関連する特定トピックスを演習的に学びながら、英語の技能をバランスよく向上させる）春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業（4単位）

＜英語強化クラス（以下のすべての授業をネイティブ・スピーカーが担当します）＞

- ・リーディングの力を伸ばすためのクラス春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業（2単位）
- ・ライティングの力をつけるためのクラス春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業（2単位）
- ・スピーキング・リスニング学習用少人数クラス春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業（2単位）
- ・「2年次ゼミナール1」「2年次ゼミナール2」（英語で書かれた教材を用い、担当教員の専門分野と関連する特定トピックスを演習的に学びながら、英語の技能をバランスよく向上させる）春学期、秋学期それぞれ週1回、合計2授業（4単位）

③実習：英会話、英作文、発音練習など英語の実践的能力を高めるために設けられた少人数構成の授業。主に2年次から履修可能（※一部1年次から履修できます。「第1章7 英語英米文化学科専門科目（専攻科目）」の「1年次生のための履修案内」を参照）。

④1・2年次の秋学期に全学の学生が英語学内試験を受験し、日頃の英語学習の成果を把握するシステムとなっておりますが、英語英米文化学科の学生は、上記①～③の学習をすることがそのままテストの準備をすることにもなると理解してください。

◇ 選択外国語科目Ⅱとしての英語

必修科目としての英語の他に、選択外国語科目Ⅱとしての英語科目である「プラクティカル・イングリッシュ1」「プラクティカル・イングリッシュ2」、「イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング1」「イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング2」「イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ1」「イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ2」「ディスカッション・ディベート英語1」「ディスカッション・ディベート英語2」「クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ1」「クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ2」「ビジネス・コミュニケーション英語1」「ビジネス・コミュニケーション英語2」「イングリッシュ・ライティング・ワークショップ1」「イングリッシュ・ライティング・ワークショップ2」「TOEIC 対策英語1」「TOEIC 対策英語2」「外国語現地実習（英語）1」「外国語現地実習（英語）2」を履修することができます。選択外国語科目Ⅱ全体で8単位まで卒業単位の総合科目20単位の中に含めることができます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座科目」の英語

「グローバル・コミュニケーション1」「グローバル・コミュニケーション2」、「留学のための英語講座A1」「留学のための英語講座A2」「留学のための英語講座B1」「留学のための英語講座B2」など留学を希望する学生、あるいはより高い英語学習を求める学生のためのクラスが設けられています（A1・A2がTOEFL対策、B1・B2がIELTS対

策のクラスです)。

(2) ドイツ語について

ドイツ語はほとんどの学生にとって大学ではじめて学ぶ言語です。

選択外国語Ⅰとして1年次に春学期・秋学期合わせて2授業(2単位)履修します(週1回)。内容は、文法読本です。ドイツ語の基礎を身につけます。

なお、選択外国語Ⅰのドイツ語を履修し終えて、さらに上のレベルに進みたい場合は、選択外国語Ⅱの「ドイツ語中級1」「ドイツ語中級2」「ドイツ語コミュニケーション1」「ドイツ語コミュニケーション2」を履修できます。

◇ 選択外国語Ⅱのドイツ語

「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」:

はじめてドイツ語を学ぶ人のための初級文法の授業です。選択外国語Ⅰとしてドイツ語を履修していない人が、第3の外国語としてドイツ語を学べるようになっています。

「ドイツ語中級1」「ドイツ語中級2」:

上記の「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」ないし選択外国語Ⅰのドイツ語授業を履修した人のための授業です。

「ドイツ語コミュニケーション1」「ドイツ語コミュニケーション2」:

上記の「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」ないし選択外国語Ⅰのドイツ語授業を履修した人のための授業です。

「外国語現地実習(ドイツ語)1」「外国語現地実習(ドイツ語)2」:

選択外国語ⅠまたはⅡとしてドイツ語を履修した人にお勧めします。「外国語現地実習(ドイツ語)1」は春季に、「外国語現地実習(ドイツ語)2」は夏季にドイツで実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座科目」のドイツ語

「ドイツ語論述実習1」「ドイツ語論述実習2」、「ドイツ語圏の社会と文化1」「ドイツ語圏の社会と文化2」:

ドイツに長期留学したい人や高度なドイツ語の運用能力を身につけたい人のための授業です。授業はドイツ語でおこないます。

(3) フランス語について

フランス語は、ほとんどの学生にとってはじめて出会う外国語です。

選択外国語Ⅰとして1年次に春学期、秋学期合わせて2授業(2単位)履修します(週1回)。内容は文法読本で、フランス語の基礎を学びます。

なお、選択外国語Ⅰのフランス語を履修し終えて、さらに上のレベルに進みたい場合は、選択外国語Ⅱの「フランス語中級1」「フランス語中級2」「フランス語コミュニケーション1」「フランス語コミュニケーション2」を履修できます。

◇ 選択外国語Ⅱのフランス語

「フランス語入門1」「フランス語入門2」:

はじめてフランス語を学ぶ人のための初級文法の授業です。選択外国語Ⅰとしてフランス語を履修していない人が、第3の外国語として学べるようになっています。

「フランス語中級1」「フランス語中級2」:

上記の「フランス語入門1」「フランス語入門2」ないし選択外国語Ⅰのフランス語授業を履修した人のための授業です。

「フランス語コミュニケーション1」「フランス語コミュニケーション2」:

上記の「フランス語入門1」「フランス語入門2」ないし選択外国語Ⅰのフランス語授業を履修した人のための授業です。

「外国語現地実習(フランス語)1」「外国語現地実習(フランス語)2」:

選択外国語ⅠまたはⅡとしてフランス語を履修した人にお勧めします。「外国語現地実習(フランス語)1」は春季に、「外国語現地実習(フランス語)2」は夏季にフランスで実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座科目」のフランス語

「フランス語論述実習1」「フランス語論述実習2」、「フランスの歴史と社会1」「フランスの歴史と社会2」:

フランスに長期留学したい人、また高度なフランス語の運用能力を身につけたい人のための授業です。授業はフランス語でおこないます。

(4) スペイン語について

スペイン語はドイツ語、フランス語とならんで英語英米文化学科の選択外国語Ⅰの1つで、教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力を身につけることを目標としています。

選択外国語Ⅰとして1年次に春学期・秋学期合わせて2授業(2単位)履修します(週1回)。内容は文法読本です。スペイン語の基礎を身につけます。

◇ 選択外国語Ⅱのスペイン語

「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」:

はじめてスペイン語を学ぶ人のための初級文法の授業です。選択外国語Ⅰとしてスペイン語を履修していない人が、第3の外国語としてスペイン語を学べるようになっています。

「スペイン語中級1」「スペイン語中級2」:

上記の「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」ないし選択外国語Ⅰのスペイン語授業を履修した人のための授業です。

「スペイン語コミュニケーション1」「スペイン語コミュニケーション2」:

上記の「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」ないし選択外国語Ⅰのスペイン語授業を履修した人のための授業です。

(5) 中国語について

英語英米文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱの中国語です。

◇ 選択外国語Ⅱの中国語

「中国語入門1」「中国語入門2」「中国語中級1」「中国語中級2」「中国語コミュニケーション1」「中国語コミュニケーション2」は、第3の外国語として中国語も学習したいという学生のために開設されている、それぞれ週1回の授業です。「外国語現地実習(中国語)1」「外国語現地実習(中国語)2」は、春季および夏季に中国または台湾でおこなわれる短期留学です。

「中国語入門1」「中国語入門2」:

はじめて中国語を学ぶ人のための初級クラス。

「中国語中級1」「中国語中級2」:

入門を終えた人が履修する中級レベルの授業。

「中国語コミュニケーション1」「中国語コミュニケーション2」:

入門を終えた人が履修する会話の授業。

「外国語現地実習(中国語)1」「外国語現地実習(中国語)2」:

選択外国語Ⅱとして中国語を履修した人にお勧めします。武蔵大学の中国語のカリキュラムで1年間学習した学生ならば、これに参加できる能力が充分に持っているでしょう。「外国語現地実習(中国語)1」「外国語現地実習(中国語)2」は、春季および夏季に中国または台湾で集中的に実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座」の中国語

「中国の社会と文化1」「中国の社会と文化2」「中国語論述実習1」「中国語論述実習2」:

中国語圏に長期留学したい人や高度な中国語能力を身につけたい人のための授業です。授業は中国語でおこないます。

(6) 韓国・朝鮮語について

英語英米文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱの韓国・朝鮮語です。

◇ 選択外国語Ⅱの韓国・朝鮮語

「韓国・朝鮮語入門1」「韓国・朝鮮語入門2」「韓国・朝鮮語中級1」「韓国・朝鮮語中級2」「韓国・朝鮮語コミュニケーション1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション2」は、第3の外国語として韓国・朝鮮語も学習したいという学生のために開設されている、それぞれ週1回の授業です。「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」は、春季および夏季に韓国でおこなわれる短期留学です。

「韓国・朝鮮語入門1」「韓国・朝鮮語入門2」:

はじめて韓国・朝鮮語を学ぶ人のための初級クラス。

「韓国・朝鮮語中級1」「韓国・朝鮮語中級2」:

入門を終えた人が履修する中級レベルの授業。

「韓国・朝鮮語コミュニケーション1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション2」:

入門を終えた人が履修する会話の授業。

「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」:

選択外国語Ⅱとして韓国・朝鮮語を履修した人にお勧めします。武蔵大学の韓国・朝鮮語のカリキュラムで1年間学習した学生ならば、これに参加できる能力が充分についているでしょう。「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」は春季に、「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」は夏季に集中的に韓国で実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座」の韓国・朝鮮語

「韓国・朝鮮の社会と文化1」「韓国・朝鮮の社会と文化2」「韓国・朝鮮語論述実習1」「韓国・朝鮮語論述実習2」:

韓国に長期留学したい人や高度な韓国語能力を身につけたい人のための授業です。授業は韓国語でおこないます。

(7) イタリア語について

英語英米文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱのイタリア語です。教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力を身につけることを目標としています。

◇ 選択外国語Ⅱのイタリア語

「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」:

はじめてイタリア語を学ぶ人のための初級文法の授業です。第3の外国語として学べるようになっています。

「イタリア語中級1」「イタリア語中級2」:

上記の「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」を履修し終えた人のための授業です。

「イタリア語コミュニケーション1」「イタリア語コミュニケーション2」:

上記の「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」を履修し終えた人のための授業です。

(8) ロシア語について

英語英米文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱのロシア語です。教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力を身につけることを目標としています。

「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」:

はじめてロシア語を学ぶ人のための初級文法の授業です。

「ロシア語中級1」「ロシア語中級2」:

上記の「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」の単位を修得した人のための授業です。

「ロシア語コミュニケーション1」「ロシア語コミュニケーション2」:

上記の「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」の単位を修得した人のための授業です。

【注意】

選択外国語Ⅱの科目は、どの言語のどの科目を履修しても8単位までは卒業単位の総合科目20単位の中に含めることができます。

(9) グローバル教育センターによる外国語学習プログラム他

グローバル教育センターでは、以下のような様々な異文化体験や外国語学習の機会を用意しています。正課の授業で基礎力を確保し、さらにそれを発展させるような機会を積極的に利用して、実力をアップさせていくことが望まれます。

(1) 武蔵大学外国語学習褒賞制度

対象の言語は、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語（日本語教育能力検定試験）等です。それぞれの基準や条件については、3Sや武蔵大学ウェブサイトで確認してください。

(2) Musashi Communication Village (MCV) 1号館3階

MCVは、武蔵大学にある参加体験型学習スペースで、英会話や異文化イベント等の参加を通じて他者と「コミュニケーション」することで主に語学力を上げたり、異文化を体験・理解することを目的とした施設です。MCV内には、語学やコミュニケーションが堪能な学生スタッフや、多様な国のスタッフが常駐し、利用者の語学学習や異文化体験のために手厚くサポートしてくれます。本施設は学部学年問わず、武蔵大学生に無料で開放しており、基本的に予約も必要ないので気軽に利用できます。「留学」や「国際交流」、「語学学習」に興味がある方はもちろん、学生生活を通じてあらゆる人と繋がりたい、日本とは異なる文化、芸術、言語を知りたいという方にもぜひ来てもらいたいおすすめのエリアです。

● フリートーク（予約不要）

様々な国出身のフロアスタッフや学生スタッフと授業の空き時間に気軽に英会話を楽しむことができます。

● イベント（予約不要）

MCVでは、世界の文化や言語を学べるイベントを開催し、様々な形で留学生と交流することで異文化を体験できます。ぜひ、学内にいながら、海外の文化について学び、肌で体感し、自分の視野を広げてみませんか。

● 英語学習サポート（予約制）

1コマ45分制でネイティブスピーカーの講師があなたの英語学習のお手伝いをします。「語学試験のスコアをもっと上げたい」、「SpeakingやWritingのコツが知りたい」など一人一人の希望に合った学習方法や目標達成のためのアドバイスを受けられます。予約は3Sから行えます。

(3) 日本語チューター制度

日本語チューターが留学生の日本語学習や日本文化の体験をお手伝いします。

【注意】

MCVでおこなわれるプログラムは年度ごとに変わります。また、状況に応じて一部内容の変更等生じる可能性があります。プログラムの詳細やスケジュールについてはグローバル教育センターに確認してください。

4. 外国語現地実習

「外国語現地実習」は海外でおこなう語学の集中授業です。イギリス、オーストラリア、フィリピン、ドイツ、フランス、中国、台湾、韓国において、集中授業として実施します。実施時期が春季と夏季の2種類あり、夏季集中授業は実施年度の秋学期科目、春季集中授業は次年度の春学期科目となります。授業内容についてはシラバスを参照してください。

外国語現地実習の授業科目には、「外国語現地実習（英語）」、「外国語現地実習（ドイツ語）」、「外国語現地実習（フランス語）」、「外国語現地実習（中国語）」、「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）」があります。国際情勢によっては一部変更や中止となる可能性があります。

(1) 外国語現地実習の履修条件

これらの科目を履修するには、グローバル教育センターの定めた規則に従い、参加の手続をグローバル教育センターでとるとともに、履修の詳細、スケジュールに注意して履修登録をしなければなりません。規則を守れない場合、履修登録は完了せず、すでに登録していたとしても無効となりますので、十分注意してください。

(2) 外国語現地実習の履修の詳細

下記(5)外国語現地実習のスケジュール(予定)を参照してください。各科目は履修取消制度および履修登録科目制限の対象外とします。なお、履修期に休学、退学をすると、単位認定はおこなわれません。

(3) 外国語現地実習の成績評価

成績評価は「P」を合格とし、単位は2単位です。帰国後に提出するレポートと現地での学習成果に基づいて評価します。

(4) 外国語現地実習のガイダンス

履修を希望する場合はグローバル教育センターのガイダンスに出席してください。

(5) 外国語現地実習のスケジュール(予定)

① 夏季集中授業スケジュール

4月	グローバル教育センターによる募集ガイダンス
5～7月	参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス、事前学習
8～9月	現地実習 レポート提出
9月	履修登録確認 (履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自、登録内容を確認してください。)
翌3月上旬	成績確認

② 春季集中授業スケジュール

単位認定を希望する4年次生の春季現地実習への参加は認められませんので、注意してください。

10月	グローバル教育センターによる募集ガイダンス
11～1月	参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス、事前学習
2～3月	現地実習
4月	履修登録確認 (履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自、登録内容を確認してください。)
	レポート提出
9月	成績確認

6 英語英米文化学科 専門科目 (共通専門科目)

人文学部では、所属学科の専門分野にとどまらず、幅広く深い知識を修得できるよう、人文学部他学科の専攻専門科目、グローバル・ヒューマニティーズやグローバル・チャレンジなどの3学科共通科目、学部横断型のプロジェクト科目、他学部の専門科目(全学対象専門科目)、留学・国際交流関連科目、教職課程関連科目、学芸員課程関連科目などを共通専門科目に指定し、定められた数の単位修得を求めています。科目によっては特別な履修条件が定められているので、記されている注意事項をよく読んでください。

なお、「GHゼミナール」と「日本語ワークショップ」は、同じ科目を重複して履修することができます。この場合、2度目以降に修得した単位も、卒業に必要な単位に含めることができます。ただし、「日本語ワークショップ」は、合計8単位までになります。

卒業に必要な共通専門科目単位	
英語英米文化学科	20単位

◆ 学部共通科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
Global Humanities	LIT02000	世界の中の日本文学	2	1～4	講義	*
	JPS02000	日本の表象文化	2	1～4	講義	*
	ISC02000	デジタル・ヒューマニティーズ	2	1～4	講義	*
	GLS02000	世界の言語と社会	2	1～4	講義	*
	GSS02000	ジェンダー研究入門	2	1～4	講義	*
	ART02000	身体と芸術	2	1～4	講義	*
	HST02000	歴史・記憶・アーカイブ	2	1～4	講義	*
	CST02000	人文批評入門	2	1～4	講義	*
	GLS21000	GHゼミナール1 [国際日本学]	2	2～4	演習	* 左記は同一科目として扱う
	GLS21020	GHゼミナール1 [人文フィールドワーク]	2	2～4	演習	
	GLS21040	GHゼミナール1 [身体文化と実践]	2	2～4	演習	
	GLS21060	GHゼミナール1 [アート&テキスト]	2	2～4	演習	
	GLS21080	GHゼミナール1 [現代社会と政治思想]	2	2～4	演習	
	GLS21010	GHゼミナール2 [国際日本学]	2	2～4	演習	
	GLS21030	GHゼミナール2 [人文フィールドワーク]	2	2～4	演習	* 左記は同一科目として扱う
	GLS21050	GHゼミナール2 [身体文化と実践]	2	2～4	演習	
	GLS21070	GHゼミナール2 [アート&テキスト]	2	2～4	演習	
	GLS21090	GHゼミナール2 [現代社会と政治思想]	2	2～4	演習	
JPS01000	日本語ワークショップ [文章表現論]	2	1～4	演習	* 左記は同一科目として扱う 日本語ワークショップは、 合計8単位まで算入可	
JPS01010	日本語ワークショップ [クリティカル・ディベート]	2	1～4	演習		
JPS01020	日本語ワークショップ [ロジカル・ライティング]	2	1～4	演習		
JPS01030	日本語ワークショップ [文芸批評]	2	1～4	演習		
比較文化と異文化交流	LIT02390	比較文学論 (日欧)	2	2～4	講義	*
	HST02340	ヨーロッパ対外交流史	2	2～4	講義	*
	ART02380	比較芸術論 1	2	2～4	講義	*
	ART02390	比較芸術論 2	2	2～4	講義	*
	ART02400	イメージ文化論	2	2～4	講義	*
	ART22410	ヨーロッパ建築史	2	2～4	講義	*
	ART22420	音響文化論	2	2～4	講義	*
	PHI02370	比較思想 (日欧)	2	2～4	講義	*
	EUS02350	テクノロジー文化論	2	2～4	講義	*
	EUS02360	観光文化論 (ヨーロッパ)	2	2～4	講義	*
	IAS02610	イスラーム文化論 1	2	2～4	講義	*
	IAS02620	イスラーム文化論 2	2	2～4	講義	*
	IAS21610	イスラーム文化演習 1	2	2～4	演習	*
	IAS21620	イスラーム文化演習 2	2	2～4	演習	*
	GLS02310	越境文化論	2	2～4	講義	*
	HST02710	東アジアの美術工芸史 1	2	2～4	講義	*
	HST02720	東アジアの美術工芸史 2	2	2～4	講義	*
	ARE02610	比較文化論 1	2	2～4	講義	*
ARE02620	比較文化論 2	2	2～4	講義	*	
OTH02040	芸術の科学	2	1～4	講義	*	

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
欧米の文化 (言語・文学)	LIT02350	ヨーロッパ古典文学	2	2～4	講義	*
	LIT02360	ヨーロッパ小説論	2	2～4	講義	*
	LIT02370	ヨーロッパの文学	2	2～4	講義	*
	LNG02370	ギリシア語学 1	2	2～4	講義	*
	LNG02380	ギリシア語学 2	2	2～4	講義	*
	LNG02350	ラテン語学 1	2	2～4	講義	*
	LNG02360	ラテン語学 2	2	2～4	講義	*
	LNG02310	ドイツ語の世界 1	2	2～4	講義	*
	LNG02320	ドイツ語の世界 2	2	2～4	講義	*
	LNG02330	フランス語の世界 1	2	2～4	講義	*
	LNG02340	フランス語の世界 2	2	2～4	講義	*
	LIT02310	ドイツ文学史 1	2	2～4	講義	*
	LIT02320	ドイツ文学史 2	2	2～4	講義	*
	LIT02330	フランス文学史 1	2	2～4	講義	*
	LIT02340	フランス文学史 2	2	2～4	講義	*
(芸術・思想・宗教) 欧米の文化	ART02310	ドイツ語圏の芸術	2	2～4	講義	*
	ART02340	ヨーロッパの芸術 1	2	2～4	講義	*
	ART02320	ヨーロッパの芸術 2	2	2～4	講義	*
	EUS02370	比較文化史	2	2～4	講義	*
	EUS02380	ヨーロッパの神話と伝説	2	2～4	講義	*
	ART02330	フランスの芸術	2	2～4	講義	*
	PHI02360	ヨーロッパ思想史	2	2～4	講義	*
	PHI02310	ドイツ語圏の思想と文化	2	2～4	講義	*
	PHI02330	フランス思想史 1	2	2～4	講義	*
	PHI02340	フランス思想史 2	2	2～4	講義	*
	PHI02350	ヨーロッパの哲学	2	2～4	講義	*
欧米の歴史と現在	HST02350	ギリシア・ローマ史	2	2～4	講義	*
	HST02310	ドイツ中世史	2	2～4	講義	*
	HST02320	ドイツ近現代史	2	2～4	講義	*
	HST02330	フランス史	2	2～4	講義	*
	FRS02310	フランス語圏の文化と社会	2	2～4	講義	*
	GLS02320	地中海文明論	2	2～4	講義	*
	ARE02310	北欧文化論	2	2～4	講義	*
	ARE02320	オーストリア・東欧文化論	2	2～4	講義	*
	EUS02390	ヨーロッパ統合論	2	2～4	講義	*
	EUS02400	ヨーロッパ都市論	2	2～4	講義	*
	EUS02410	現代ヨーロッパ社会論	2	2～4	講義	*
	HST02360	ヨーロッパ形成史	2	2～4	講義	*
	HST02370	ヨーロッパ交流史	2	2～4	講義	*
	EUS02420	ルネサンス文化論	2	2～4	講義	*
HIS02380	国際関係史	2	2～4	講義	*	
東アジアの文化と社会	LIT02710	中国文学史 1	2	2～4	講義	*
	LIT02720	中国文学史 2	2	2～4	講義	*
	PHI02650	中国思想史 1	2	2～4	講義	*
	PHI02660	中国思想史 2	2	2～4	講義	*
	CHS02610	現代中国論 1	2	2～4	講義	
	CHS02620	現代中国論 2	2	2～4	講義	
	KOS02710	現代韓国論 1	2	2～4	講義	
	KOS02720	現代韓国論 2	2	2～4	講義	
	KOS02730	朝鮮文化論 1	2	2～4	講義	*
	KOS02740	朝鮮文化論 2	2	2～4	講義	*
	LIT02730	朝鮮文学史 1	2	2～4	講義	*
	LIT02740	朝鮮文学史 2	2	2～4	講義	*
	日本の歴史と文化	LNG02610	日本の言語文化 1	2	2～4	講義
LNG02620		日本の言語文化 2	2	2～4	講義	
LIT02610		日本古典文学史 1	2	2～4	講義	
LIT02620		日本古典文学史 2	2	2～4	講義	
LIT02630		日本近現代文学史 1	2	2～4	講義	
LIT02640		日本近現代文学史 2	2	2～4	講義	
HST02690		日本芸能史 1	2	2～4	講義	*
HST02700		日本芸能史 2	2	2～4	講義	*
JPS02610		日本文化論 1	2	2～4	講義	
JPS02620		日本文化論 2	2	2～4	講義	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
日本の歴史と文化	HST02670	日本美術工芸史 1	2	2～4	講義	
	HST02680	日本美術工芸史 2	2	2～4	講義	
	HST02630	日本建築史 1	2	2～4	講義	
	HST02640	日本建築史 2	2	2～4	講義	
	FOL02630	民俗宗教論 1	2	2～4	講義	*
	FOL02640	民俗宗教論 2	2	2～4	講義	*
	FOL02610	日本民俗史 1	2	2～4	講義	
	FOL02620	日本民俗史 2	2	2～4	講義	
	HST02610	日本服飾文化史 1	2	2～4	講義	
	HST02620	日本服飾文化史 2	2	2～4	講義	
	JPS02630	日本の身体文化 1	2	2～4	講義	*
	JPS02640	日本の身体文化 2	2	2～4	講義	*
	AST02610	琉球文化論 1	2	2～4	講義	
	AST02620	琉球文化論 2	2	2～4	講義	
	LIT02690	日本近代文学 1	2	2～4	講義	*
	LIT02700	日本近代文学 2	2	2～4	講義	*
	LIT02670	日本現代文学 1	2	2～4	講義	*
	LIT02680	日本現代文学 2	2	2～4	講義	*
	PHI02610	日本思想史 1	2	2～4	講義	*
	PHI02620	日本思想史 2	2	2～4	講義	*
	REL02610	日本の仏教 1	2	2～4	講義	*
	REL02620	日本の仏教 2	2	2～4	講義	*
	HST02650	日本文化史 1	2	2～4	講義	*
	HST02660	日本文化史 2	2	2～4	講義	*
	LIT02650	日本古典文学（上代・中古）1	2	2～4	講義	*
	LIT02660	日本古典文学（上代・中古）2	2	2～4	講義	*
	LIT02810	日本古典文学（中世・近世）1	2	2～4	講義	*
	LIT02820	日本古典文学（中世・近世）2	2	2～4	講義	*
	HST21630	日本文化史演習 1	2	2～4	演習	*
	HST21640	日本文化史演習 2	2	2～4	演習	*
日本語教育	LED02610	日本語の教授法 1	2	1～4	講義	
	LED02620	日本語の教授法 2	2	1～4	講義	
	LED21610	日本語の教授法演習 1	2	1～4	演習	
	LED21620	日本語の教授法演習 2	2	1～4	演習	
人間科学と環境	OTH02020	現代スポーツ論	2	1～4	講義	
	OTH02070	スポーツ身体論	2	1～4	講義	*
	OTH02030	スポーツイメージ文化論	2	1～4	講義	*
	OTH02050	生物多様性の科学	2	1～4	講義	
	OTH02060	生物学のフロンティア	2	1～4	講義	
	ENV12310	地球と宇宙のフロンティア	2	1～4	講義	
	OTH02010	宇宙観の歴史	2	1～4	講義	
	ENV02320	都市環境論	2	1～4	講義	
	ENV02310	ヨーロッパ環境論	2	2～4	講義	*
MCC11010	人文情報リテラシー	2	1～4	演習		
Global Challenge (卒業に必要な単位のうちに 含めることはできません)	GES01000	GC ドイツ語 A1	2	1～4	演習	
	GES01010	GC ドイツ語 A2	2	1～4	演習	
	GES01020	GC ドイツ語 B1	2	1～4	演習	
	GES01030	GC ドイツ語 B2	2	1～4	演習	
	FRS01000	GC フランス語 A1	2	1～4	演習	
	FRS01010	GC フランス語 A2	2	1～4	演習	
	FRS01020	GC フランス語 B1	2	1～4	演習	
	FRS01030	GC フランス語 B2	2	1～4	演習	
	CHS01000	GC 中国語 A1	2	1～4	演習	
	CHS01010	GC 中国語 A2	2	1～4	演習	
	CHS01020	GC 中国語 B1	2	1～4	演習	
	CHS01030	GC 中国語 B2	2	1～4	演習	
	KOS01000	GC 韓国・朝鮮語 A1	2	1～4	演習	
	KOS01010	GC 韓国・朝鮮語 A2	2	1～4	演習	
	KOS01020	GC 韓国・朝鮮語 B1	2	1～4	演習	
KOS01030	GC 韓国・朝鮮語 B2	2	1～4	演習		

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
ドイツ語／フランス語 実習科目（中級・上級） （卒業に必要な単位のうちに 含めることはできない）	GES26380	中級ドイツ語作文1	1	2～4	実習	
	GES26390	中級ドイツ語作文2	1	2～4	実習	
	GES26340	中級ドイツ語会話1	1	2～4	実習	
	GES26350	中級ドイツ語会話2	1	2～4	実習	
	GES26430	上級ドイツ語講読1	1	2～4	実習	*
	GES26440	上級ドイツ語講読2	1	2～4	実習	*
	FRS26380	中級フランス語作文1	1	2～4	実習	
	FRS26390	中級フランス語作文2	1	2～4	実習	
	FRS26340	中級フランス語会話1	1	2～4	実習	
	FRS26350	中級フランス語会話2	1	2～4	実習	
	FRS26430	上級フランス語講読1	1	2～4	実習	*
	FRS26440	上級フランス語講読2	1	2～4	実習	*
	プロジェクト科目	CRO21010	学部横断型課題解決プロジェクト	4	1～4	演習

◆ 全学対象専門科目

◇ 経済学部提供科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
国際経済・経営	ECO22040	アジア経済	2	3・4	講義	
	ECO32010	開発経済学 1	2	3・4	講義	*
	ECO32020	開発経済学 2	2	3・4	講義	*
	ECO22850	国際法 1	2	3・4	講義	*
	ECO22860	国際法 2	2	3・4	講義	*
	ECO22460	世界経済	2	3・4	講義	*
経済学と現代経済	ECO22260	ゲーム理論入門	2	3・4	講義	
	ECO22200	経済政策 1	2	3・4	講義	*
	ECO22210	経済政策 2	2	3・4	講義	*
	ECO22290	憲法 1	2	3・4	講義	
	ECO22300	憲法 2	2	3・4	講義	
	ECO22100	行政法 1	2	3・4	講義	*
	ECO22110	行政法 2	2	3・4	講義	*
	ECO22370	産業組織論 1	2	3・4	講義	
	ECO22380	産業組織論 2	2	3・4	講義	
	ECO22440	西洋経済史 1	2	3・4	講義	
	ECO22450	西洋経済史 2	2	3・4	講義	
	ECO32030	日本経済史 1	2	3・4	講義	
	ECO32040	日本経済史 2	2	3・4	講義	
	ECO22640	労働経済 1	2	3・4	講義	
ECO22650	労働経済 2	2	3・4	講義		
ビジネス	MAN22080	イノベーション論	2	3・4	講義	
	MAN12020	経営管理論 1	2	3・4	講義	
	MAN22090	経営管理論 2	2	3・4	講義	
	MAN22130	国際経営論	2	3・4	講義	
	MAN22150	人事管理論 1	2	3・4	講義	
	MAN22160	人事管理論 2	2	3・4	講義	
	MAN22170	組織論 1	2	3・4	講義	
	MAN22180	組織論 2	2	3・4	講義	
MAN22140	多国籍企業論	2	3・4	講義	*	
ビジネスデザイン	MIS22030	情報ネットワーク基礎	2	3・4	講義	
	MIS22090	コンピュータシステム基礎	2	3・4	講義	
	MIS22010	サービスマネジメント	2	3・4	講義	
	MAN22240	ベンチャー企業論 1	2	3・4	講義	
	MAN22250	ベンチャー企業論 2	2	3・4	講義	*
	MIS12010	経営情報基礎	2	2～4	講義	
	MIS12020	情報と職業	2	2～4	講義	*
	MAN12040	経営統計学	2	3・4	講義	
企業会計	ACC22070	企業法	2	3・4	講義	
	ACC12050	企業法基礎	2	2～4	講義	
	ACC12020	簿記演習 1	2	2～4	講義	
	ECO22590	民法 1	2	3・4	講義	*
	ECO22600	民法 2	2	3・4	講義	*
	ACC12040	会計学基礎	2	2～4	講義	
	ACC22080	財務会計論 1	2	3・4	講義	
	ACC22090	財務会計論 2	2	3・4	講義	
	ACC22130	経営分析論	2	3・4	講義	
金融	FIN22010	ファイナンス 1	2	3・4	講義	
	FIN22020	ファイナンス 2	2	3・4	講義	
	FIN32110	ファイナンス 3	2	3・4	講義	
	FIN22030	財務報告論 1	2	2～4	講義	
	FIN22040	財務報告論 2	2	2～4	講義	
	FIN22050	証券市場論 1	2	3・4	講義	
	FIN22060	証券市場論 2	2	3・4	講義	
	FIN32150	信託論	2	3・4	講義	*
	FIN32400	保険・年金論	2	3・4	講義	
	FIN32030	金融法 1	2	3・4	講義	

◇ 社会学部提供科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
社会学部方法科目	ISC24020	コンピューティング応用 B	2	2～4	講義	*
	ISC24030	コンピューティング応用 C	2	2～4	講義	*
	ISC24050	プログラミング基礎 A	2	2～4	講義	*
	ISC24060	プログラミング基礎 B	2	2～4	講義	*
	ISC24070	プログラミング応用 A	2	2～4	講義	*
	ISC24080	プログラミング応用 B	2	2～4	講義	*
	ISC14020	データサイエンス基礎	2	2～4	講義	*
	ISC24090	データサイエンス応用	2	3・4	講義	*
	ISC34010	ビッグデータ解析方法論	2	2～4	講義	*
	ISC34030	定量データ分析方法論	2	2～4	講義	*
	STA24020	社会統計学 1	2	2～4	講義	*
	STA24030	社会統計学 2	2	2～4	講義	*
	社会問題とエンパワーメント	ANT33010	開発と社会	2	3・4	講義
ANT33020		多文化共生の人類学	2	3・4	講義	*
SOC33010		家族社会学	2	3・4	講義	*
SOC33020		教育社会学	2	3・4	講義	*
SOC33030		ケアの社会学	2	3・4	講義	*
SOC33040		ジェンダーの社会学	2	3・4	講義	*
SOC33050		仕事の社会学	2	3・4	講義	*
SOC33060		社会問題の社会学	2	3・4	講義	*
SOC33070		人口問題の社会学	2	3・4	講義	*
SOC33080		福祉社会学	2	3・4	講義	*
SOC33090	不平等の社会学	2	3・4	講義	*	
文化とアイデンティティ	ANT33030	家族と結婚の人類学	2	3・4	講義	*
	ANT33040	宗教と社会	2	3・4	講義	*
	ANT33050	文化人類学	2	3・4	講義	*
	SOC33100	アイデンティティの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33110	カルチュラルスタディーズ	2	3・4	講義	*
	SOC33120	コミュニケーションの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33130	消費社会論	2	3・4	講義	*
	SOC33320	恋愛の社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33150	セクシュアリティの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33160	文化社会学	2	3・4	講義	*
SOC33170	若者の社会学	2	3・4	講義	*	
国際社会とネットワーク	ANT33060	観光と社会	2	3・4	講義	*
	SOC33180	エスニシティの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33190	現代社会と科学	2	3・4	講義	*
	SOC33200	グローバリゼーションの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33210	社会運動論	2	3・4	講義	*
	SOC33220	政治社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33230	地域とコミュニティの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33240	都市社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33250	ナショナリズムの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33330	国際比較社会学	2	3・4	講義	*
SOC33270	歴史社会学	2	3・4	講義	*	
メディアコミュニケーション	MCC33010	映画研究	2	3・4	講義	*
	MCC33020	エレクトリックメディア論	2	3・4	講義	*
	MCC33030	グローバリゼーションとメディア	2	3・4	講義	*
	MCC33040	デジタル社会論	2	3・4	講義	*
	MCC33050	ポピュラー音楽論	2	3・4	講義	*
	MCC33060	マスコミュニケーション論	2	3・4	講義	*
	PSY33010	情報とネットワークの社会心理	2	3・4	講義	*
	SOC33280	音楽文化の社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33290	活字メディアの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33300	サブカルチャーの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33310	放送メディアの社会学	2	3・4	講義	*

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
パブリックコミュニケーション	MCC33070	コンピューティング社会論	2	3・4	講義	*
	MCC33080	エスニシティとメディア	2	3・4	講義	*
	MCC33090	NPO・NGOとメディア	2	3・4	講義	*
	MCC33270	ゲーミフィケーション論	2	3・4	講義	*
	MCC33110	広告論	2	3・4	講義	*
	MCC33120	広報論	2	3・4	講義	*
	MCC33130	スポーツとメディア	2	3・4	講義	*
	MCC33140	電子コミュニケーション論	2	3・4	講義	*
	MCC33150	メディアリテラシー論	2	3・4	講義	*
	PSY33020	ファッションと流行の社会心理	2	3・4	講義	*
PSY33030	社会心理学	2	3・4	講義	*	
メディアプロデューサー	MCC33160	映像アーカイブ論	2	3・4	講義	*
	MCC33170	映像メディア制作論	2	3・4	講義	*
	MCC33180	国際ニュース研究	2	3・4	講義	*
	MCC33190	CM企画・制作論	2	3・4	講義	*
	MCC33200	デジタルアーカイブ論	2	3・4	講義	*
	MCC33210	ジャーナリズム論	2	3・4	講義	*
	MCC33280	知とデータ	2	3・4	講義	*
	MCC33230	地域メディア論	2	3・4	講義	*
	MCC33240	データ社会のガバナンス	2	3・4	講義	*
	MCC33250	ドキュメンタリー研究	2	3・4	講義	*
MCC33260	メディア倫理と法制	2	3・4	講義	*	
社会学部特講	SOC35020	現代社会の諸相	2	3・4	講義	*
	SOC35030	グローバル社会の諸相	2	3・4	講義	*
	SOC35040	ホットトピック特別講義	2	3・4	講義	*
	MCC35020	メディア社会の諸相	2	3・4	講義	*
	ISC35010	データサイエンス特別講義	2	3・4	講義	*

◇ 国際教養学部提供科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
学部共通科目	HST12010	Introduction to Global History 1	2	1～4	講義	※
	HST12020	Introduction to Global History 2	2	1～4	講義	※
	IRL12010	Transnational Issues 1	2	1～4	講義	※
	IRL12020	Transnational Issues 2	2	1～4	講義	※
	IRL12030	Understanding Foreign Affairs and the Global Economy	2	1～4	講義	※
	GLS16010	Global Service Learning A1	1	1～4	実習	※
	GLS16020	Global Service Learning A2	1	1～4	実習	※
	GLS16030	Global Service Learning B1	2	1～4	実習	※
	GLS16040	Global Service Learning B2	2	1～4	実習	※
	GLS16050	Global Service Learning C1	4	1～4	実習	※
	GLS16060	Global Service Learning C2	4	1～4	実習	※
	ECO22030	Introduction to Economics (a)	4	2～4	講義	※
専攻科目 経済経営学	POL12030	Foundations of Political Science	2	1～4	講義	※
	MAN12010	Introduction to Management	2	1～4	講義	※
	ECO22230	Trade Economics	2	2～4	講義	* ※
	ECO22240	International Finance	2	2～4	講義	* ※
	MAN22010	Industrial Organization	2	2～4	講義	※
	MAN22060	Business and Society	2	2～4	講義	※
グローバルスタディーズ専攻科目	GLS12010	Survey of Global Studies 1	2	1	講義	※
	GLS12020	Survey of Global Studies 2	2	1	講義	※
	GLS12030	Survey of Transcultural Studies 1	2	1	講義	※
	GLS12040	Survey of Transcultural Studies 2	2	1	講義	※
	IRL22010	Topics in Foreign Policy and Diplomacy 1	2	2～4	講義	※
	IRL22020	Topics in Foreign Policy and Diplomacy 2	2	2～4	講義	※
	GLS22010	Survey of Futures Studies 1	2	2～4	講義	※
	GLS22020	Survey of Futures Studies 2	2	2～4	講義	※
	POL32060	Survey of Comparative Politics 1	2	2～4	講義	* ※
	POL32070	Survey of Comparative Politics 2	2	2～4	講義	* ※
	GLS32010	Global Civics 1	2	2～4	講義	* ※
	GLS32020	Global Civics 2	2	2～4	講義	* ※
	POL32080	Survey of Political Ideas 1	2	2～4	講義	* ※
	POL32090	Survey of Political Ideas 2	2	2～4	講義	* ※
	IRL32010	Peace Studies 1	2	2～4	講義	* ※
IRL32020	Peace Studies 2	2	2～4	講義	* ※	

第1章 授業科目の履修

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
グローバルスタディーズ専攻科目	COM22010	Communication Studies 1	2	2～4	講義	※
	COM22020	Communication Studies 2	2	2～4	講義	※
	LNG22010	Second Language Studies 1	2	2～4	講義	※
	LNG22020	Second Language Studies 2	2	2～4	講義	※
	LNG32010	World Englishes 1	2	2～4	講義	* ※
	LNG32020	World Englishes 2	2	2～4	講義	* ※
	COM32010	Media Communications 1	2	2～4	講義	* ※
	COM32020	Media Communications 2	2	2～4	講義	* ※
	LNG32030	Language & Communication Barriers 1	2	2～4	講義	* ※
	LNG32040	Language & Communication Barriers 2	2	2～4	講義	* ※
	COM32030	Translation & Interpretation Studies 1	2	2～4	講義	* ※
	COM32040	Translation & Interpretation Studies 2	2	2～4	講義	* ※
	CST22010	Cultural Representations 1	2	2～4	講義	※
	CST22020	Cultural Representations 2	2	2～4	講義	※
	LIT22010	Global Literatures in English 1	2	2～4	講義	※
	LIT22020	Global Literatures in English 2	2	2～4	講義	※
	JPS22010	Japanese Studies 1	2	2～4	講義	※
	JPS22020	Japanese Studies 2	2	2～4	講義	※
	JPS32010	Topics in Japanese Culture 1	2	2～4	講義	* ※
	JPS32020	Topics in Japanese Culture 2	2	2～4	講義	* ※
	HST32010	Japanese History in Global Perspective 1	2	2～4	講義	* ※
	HST32020	Japanese History in Global Perspective 2	2	2～4	講義	* ※
	HST32030	Transnational Cultures 1	2	2～4	講義	* ※
	HST32040	Transnational Cultures 2	2	2～4	講義	* ※
LIT32010	Diversity in Stories and Societies 1	2	2～4	講義	* ※	
LIT32020	Diversity in Stories and Societies 2	2	2～4	講義	* ※	
SEM31040	副専攻ゼミナール 1	2	3・4	演習	※	
SEM31050	副専攻ゼミナール 2	2	3・4	演習	※	

※ ※印の科目は、履修するにあたり、IELTS5.0相当の英語力が必要となります。

◇ 留学・国際交流関連科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
EAS科目	JPS32040	Japan and International Society	4	2～4	講義	
	AST32160	Studies of Asian Economies	2	2～4	講義	
	AST32150	Politics in Asia	2	2～4	講義	
	JPS32010	Japanese History	4	2～4	講義	*
	JPS32030	Survey of Japanese Literature	4	2～4	講義	*
	JPS32020	Japanese Culture and Society	4	2～4	講義	*
	AST32170	Traditional Arts of Asia	2	2～4	講義	*
	AST32180	Modern Arts of Asia	2	2～4	講義	*
	AST32040	Comparative Perspectives on Asian Societies	4	2～4	講義	*
	AST32050	Comparative Cultures and Histories	4	2～4	講義	*
	AST32070	Asian Philosophies & Thought	4	2～4	講義	*
	AST32080	Survey in Comparative Literatures	2	2～4	講義	*
	AST32060	Globalization and Asia	4	2～4	講義	
	AST32140	Environmental Issues in a Global Context	4	2～4	講義	
	AST32030	Topics in Global Business	4	2～4	講義	
	AST32020	Topics in Technology & Society	2	2～4	講義	
	AST32010	Special Topics in Global Asia	2	2～4	講義	*
	AST32090	Survey of Global Media & Communication	2	2～4	講義	
	AST32100	Topics in Gender & Sexuality	4	2～4	講義	
	AST32110	Survey of Identities in Asia	4	2～4	講義	
	AST32120	Global Asia in the 21st Century	4	2～4	講義	
	AST32130	Survey of Global Issues	2	2～4	講義	
	JPS31010	Seminar in Entrepreneurship	2	2～4	演習	
AST31020	Seminar in Visual Cultures	2	2～4	演習		
AST31010	Seminar in Global Asia Issues	2	2～4	演習	*	
JPS31020	Fieldwork in Japan	2	2～4	演習		
留学準備講座	IRL01010	留学入門ゼミナール	2	1～4	演習	
	AMS02011	アメリカの社会と文化 1	2	1～4	講義	
	AMS02012	アメリカの社会と文化 2	2	1～4	講義	
	BRS02011	イギリスの社会と文化 1	2	1～4	講義	
	BRS02012	イギリスの社会と文化 2	2	1～4	講義	
	GES22310	ドイツ語圏の社会と文化 1	2	2～4	講義	ドイツ語による授業
GES22320	ドイツ語圏の社会と文化 2	2	2～4	講義	ドイツ語による授業	

第1章 授業科目の履修

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
留学準備講座	FRS22320	フランスの歴史と社会 1	2	2～4	講義	フランス語による授業
	FRS22330	フランスの歴史と社会 2	2	2～4	講義	フランス語による授業
	JPS02071	日本の社会と文化 1	2	1～4	講義	*
	JPS02072	日本の社会と文化 2	2	1～4	講義	*
	AST02171	中国の社会と文化 1	2	2～4	講義	*
	AST02172	中国の社会と文化 2	2	2～4	講義	*
	AST02181	韓国・朝鮮の社会と文化 1	2	2～4	講義	*
	AST02182	韓国・朝鮮の社会と文化 2	2	2～4	講義	*
	IRL02011	現代世界の諸問題 1	2	1～4	講義	
	IRL02012	現代世界の諸問題 2	2	1～4	講義	
	LED02011	インターカルチュラルスキル養成講座 1	2	1～4	講義	
	LED02012	インターカルチュラルスキル養成講座 2	2	1～4	講義	
	IRL02021	グローバル・リーダーシップ養成講座 1	2	1～4	講義	
	IRL02022	グローバル・リーダーシップ養成講座 2	2	1～4	講義	
	LED06011	グローバル・コミュニケーション 1	1	1～4	実習	*
	LED06012	グローバル・コミュニケーション 2	1	1～4	実習	*
	LED06013	イングリッシュ・サマースクール 1	1	1～4	実習	
	LED06014	イングリッシュ・サマースクール 2	1	1～4	実習	
	LED06041	留学のための英語講座 A1 (TOEFL)	1	1～4	実習	
	LED06042	留学のための英語講座 A2 (TOEFL)	1	1～4	実習	
	LED06051	留学のための英語講座 B1 (IELTS)	1	1～4	実習	
	LED06052	留学のための英語講座 B2 (IELTS)	1	1～4	実習	
	GES26410	ドイツ語論述実習 1	1	2～4	実習	ドイツ語による授業
	GES26420	ドイツ語論述実習 2	1	2～4	実習	ドイツ語による授業
	FRS26410	フランス語論述実習 1	1	2～4	実習	フランス語による授業
	FRS26420	フランス語論述実習 2	1	2～4	実習	フランス語による授業
	LED06061	中国語論述実習 1	1	2～4	実習	*
	LED06062	中国語論述実習 2	1	2～4	実習	*
LED06071	韓国・朝鮮語論述実習 1	1	2～4	実習	*	
LED06072	韓国・朝鮮語論述実習 2	1	2～4	実習	*	

※「EAS 科目」および「留学準備講座」の履修についての詳細は、「【3 学科共通】3 留学・国際交流関連科目」を参照してください。

※「留学準備講座」で備考欄に記載がない科目は英語による授業となります。

◇ 教職課程関連科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
教職課程 関連科目	EDU12010	教職入門	2	1～4	講義	
	EDU12020	教育基礎論	2	1～4	講義	
	EDU22010	教育心理学 1	2	2～4	講義	履修条件:「教職入門」又は「教育基礎論」を修得済であること。
	EDU32040	教育方法論	2	3～4	講義	

※ 教職課程登録者は、各授業科目の配当年次が異なります。詳細は「教職課程」の頁を参照してください。

※ 履修登録希望者が定員を超過した場合は教職課程登録者を優先し、残枠については抽選により履修者を決定します。

◇ 学芸員課程関連科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
学芸員課程 関連科目	CTP02010	生涯学習概論	2	1～4	講義	
	CTP02020	博物館概論	2	1～4	講義	
	CTP02030	博物館経営論	2	1～4	講義	
	CTP02070	博物館情報・メディア論	2	1～4	講義	
	CTP02040	博物館資料論	2	1～4	講義	
	CTP02050	博物館資料保存論	2	1～4	講義	
	CTP02060	博物館展示論	2	1～4	講義	

※「学芸員課程関連科目」の修得単位のうち、8 単位まで共通専門科目として卒業に必要な単位に算入することができます。8 単位を超えて修得した単位は自由科目扱いとなり、卒業に必要な単位の中に算入することはできません。

7 英語英米文化学科 専門科目（専攻科目）

1. 履修上の注意

本学科の学生は、以下の条件に従って、卒業時まで専攻科目を70単位以上修得しなければなりません。履修に際しては配当年次に注意してください。

- ① 専攻基礎科目の必修科目「英語英米文化基礎ゼミナール1」「英語英米文化基礎ゼミナール2」「英語ワークショップ1」「英語ワークショップ2」を、必ず1年次に履修しなければなりません。
- ② 専攻基礎科目の必修科目「2年次ゼミナール1」「2年次ゼミナール2」を、必ず2年次に履修しなければなりません。これらは指定されたクラスで受ける必修授業で、④のゼミナール科目には含まれません。
- ③ 専攻基礎科目の選択科目（実習）を、4単位以上修得しなければなりません。
- ④ 専攻専門科目・選択科目のゼミナール科目（授業形態に「演習」とある科目）を、14単位以上修得しなければなりません。履修に際しては、留学など特別な理由がある場合を除き、2年次に4単位、3年次に10単位修得することを強く推奨します。ただし、2年次外国語クラスに進むまでは、専攻専門科目のうち、ゼミナールを履修することはできません。なお、1つのゼミナールに履修登録できる人数には上限（原則20名程度まで）が定められています。各学生のゼミナールへの配属を決める方法は、年度当初のガイダンスで詳しく説明しますので、ガイダンスに必ず出席してください。
- ⑤ 専攻専門科目・選択科目の講義科目を、①「英語・英語教育」、②「文学・芸術・メディア」、③「歴史・社会・思想」、④「交流文化・観光」の4領域から分野を問わず、合計34単位以上修得しなければなりません。
- ⑥ 専攻専門科目・必修科目の「卒業論文」および「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」は、4年次に必ず履修しなければなりません。ただしこれらの単位を卒業年次に修得したものの、卒業に必要な他の単位を修得できずに留年となった場合はその限りではありません。

2. 再履修と重複履修

◇ 再履修

履修した授業科目の成績評価が不合格となったために、再度同じ科目を履修することを再履修といいます。必修科目が不合格となった場合、必ず再履修し、単位を修得しなければ卒業することができませんので十分注意してください。再履修をする場合、クラス（授業科目）は事前に指定される場合があります。その場合には指定されたクラス（授業科目）を履修しなければなりません。他の必修科目と重なっているような場合には速やかに教務課に申し出て指示を受けてください。

◇ 重複履修

単位がすでに認定された授業科目を再び履修することを重複履修といいます。重複履修した場合、2回目以降に修得した単位は、原則として卒業要件に含まれません。ただし、以下の科目に関しては、同じ科目を重複して履修することができます。重複履修をした場合、2回目以降の修得単位も卒業要件に算入できます（ただし、上限があります）。

- ・ 共通専門科目の「GHゼミナール」「日本語ワークショップ」及びGlobal Challenge分野の科目
- ・ 専攻基礎科目の選択科目（実習）
- ・ 専攻専門科目の選択科目（ゼミナール） ※ただし、「卒業論文準備ゼミナール」は除く

3. 年次別履修案内

◆ 1年次生のための履修案内

- ① 英語英米文化学科の学生は、下表の専攻基礎科目を指定されたクラスで履修し、合計6単位を1年次に必ず修得しなければなりません。これらの必修科目は、必要な単位数を超えて履修することはできません。また、いずれの

科目についても、1年次に単位を修得できなかった場合には2年次に再履修しなければなりません。

専攻基礎科目	英語英米文化基礎ゼミナール1	2単位	1年次春学期
	英語英米文化基礎ゼミナール2	2単位	1年次秋学期
	英語ワークショップ1	1単位	1年次春学期
	英語ワークショップ2	1単位	1年次秋学期

- ② 専攻科目のうち講義科目と実習科目の一部は、1年次生も履修できます。外国語必修科目や①であげた必修科目の履修に支障がないかぎり、積極的に履修してかまいません。実習科目の中で1年次生が履修できるのは、「英会話初級1」「英会話初級2」「発音クリニック1」「発音クリニック2」「Listening & Note-taking 1」（英語強化クラス）「Listening & Note-taking 2」（英語強化クラス）です。なお、実習科目は、各クラスとも人数制限がありますので、履修希望者は各クラスの授業案内の説明を熟読した上で、春学期の初回の授業に必ず出席してください。
- ③ 「英語英米文化基礎ゼミナール1」「英語英米文化基礎ゼミナール2」以外の「ゼミナール」を1年次に履修することはできません。
- ④ 秋学期の終わりに、2年次から所属するコースを選択することになります。

◆ 2年次生のための履修案内

2年次の必修科目「2年次ゼミナール1」「2年次ゼミナール2」を履修すること。

◆ 3年次生のための履修案内

3年次秋学期には、自分の専門的な研究分野を明確にし、卒論指導教授（原則的に4年次の卒業論文ゼミナール指導教授となる）を選びます。

3年次秋学期に開講される「卒業論文準備ゼミナール」を履修し、指導教授のもとで、テーマの設定や資料の調査など、卒業論文作成の具体的な準備を始めます。

3年次終了時点で「卒業論文」「卒業論文ゼミナール1」および「卒業論文ゼミナール2」の履修資格（44頁参照）がない場合、4年間では卒業できません。

◆ 4年次生のための履修案内

- ① 必修科目「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を履修すること。
- ② 「卒業論文」を指定の期日までに提出すること。
- ③ 卒業に必要な単位の修得を確認し、余裕をもって必要単位を確保するように履修すること。

英語英米文化学科卒業までの4年間

各項目の詳細（様式、配付、提出日、提出方法等）は3Sで掲示します。また、各ガイダンスにて指示します。

1年次

- 3月 英語クラス分け試験
- 4月 ガイダンス
- 1月 CASECテスト（オンライン）
- 1月 コース選択希望届提出

2年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出
- 1月 CASECテスト（オンライン）

3年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出
- 7月 卒業論文指導教授選択ガイダンス
- 9月 卒業論文指導教授選択希望届提出
- 1月 卒業論文仮題目届提出
- 1月 卒業論文報告会参加
- 3月 卒業論文履修有資格者発表

4年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出（卒業論文指導教授が未定の者および卒業論文指導教授が学科外の教員の場合のみ）
- 6月 卒業論文題目届（6月）提出
- 11月 卒業論文題目届（11月）提出
- 12月 卒業論文提出
- 1月 卒業論文口述試験
- 1月 卒業論文報告会
- 3月 卒業資格充足者発表
- 3月 卒業式

◆ 専攻基礎科目

◇ 必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
BAS11011	英語英米文化基礎ゼミナール1	2	1	演習	
BAS11012	英語英米文化基礎ゼミナール2	2	1	演習	
LNG16071	英語ワークショップ1	1	1	実習	
LNG16072	英語ワークショップ2	1	1	実習	
LNG21131	2年次ゼミナール1	2	2	演習	
LNG21132	2年次ゼミナール2	2	2	演習	

◇ 選択科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LNG16010	英会話初級1	1	1～4	実習	*
LNG16020	英会話初級2	1	1～4	実習	*
LNG26010	英会話中級1	1	2～4	実習	*
LNG26020	英会話中級2	1	2～4	実習	*
LNG16030	発音クリニック1	1	1～4	実習	*
LNG16040	発音クリニック2	1	1～4	実習	*
LNG26030	英作文中級1	1	2～4	実習	*
LNG26040	英作文中級2	1	2～4	実習	*
LNG26110	English Composition (Advanced) 1	1	2～4	実習	*
LNG26120	English Composition (Advanced) 2	1	2～4	実習	*
LNG26050	通訳翻訳実習(英語)1	1	2～4	実習	*
LNG26060	通訳翻訳実習(英語)2	1	2～4	実習	*
LNG26070	TOEIC イングリッシュ1	1	2～4	実習	*
LNG26080	TOEIC イングリッシュ2	1	2～4	実習	*
LNG26090	ジャパノロジー・イングリッシュ1	1	2～4	実習	*
LNG26100	ジャパノロジー・イングリッシュ2	1	2～4	実習	*
LNG26130	Discussion and Presentation 1	1	2～4	実習	*
LNG26140	Discussion and Presentation 2	1	2～4	実習	*
LNG16050	Listening & Note-taking 1	1	1～4	実習	
LNG16060	Listening & Note-taking 2	1	1～4	実習	

◆ 専攻専門科目

◇ 必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
THE41011	卒業論文ゼミナール1	2	4	演習	
THE41012	卒業論文ゼミナール2	2	4	演習	
THE41030	卒業論文	4	4	演習	

◇ 選択科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
科目 門 選択 専攻 専	THE31010	卒業論文準備ゼミナール	2	3	演習	
	BAS21130	フィールドワークゼミナール1	2	2～4	演習	*
	BAS21140	フィールドワークゼミナール2	2	2～4	演習	*
① 英語・英語教育 選択科目 専攻専門	LNG12030	英語学概論1	2	1～4	講義	
	LNG12040	英語学概論2	2	1～4	講義	
	LED12010	英語教育学1	2	1～4	講義	
	LED12020	英語教育学2	2	1～4	講義	
	LNG12010	異文化コミュニケーション論1	2	1～4	講義	*
	LNG12020	異文化コミュニケーション論2	2	1～4	講義	*
	LNG22010	言語(英語)文化特講1	2	2～4	講義	*
	LNG22020	言語(英語)文化特講2	2	2～4	講義	*
	LNG22030	英語音声学1	2	2～4	講義	*
	LNG22040	英語音声学2	2	2～4	講義	*
	LED22011	英語教育方法論1	2	2～4	講義	
	LED22012	英語教育方法論2	2	2～4	講義	
	LNG22070	応用言語学1	2	2～4	講義	*
	LNG22080	応用言語学2	2	2～4	講義	*
	LNG21010	英語学ゼミナール1	2	2～4	演習	*
LNG21020	英語学ゼミナール2	2	2～4	演習	*	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	
① 英語・英語教育	選択科目 専攻専門	LNG21030	Academic Presentation Seminar	2	2～4	演習	*
		LNG21040	Academic Writing Seminar	2	2～4	演習	*
		LED21030	英語教育ゼミナール1	2	2～4	演習	*
		LED21040	英語教育ゼミナール2	2	2～4	演習	*
		LNG21060	応用言語学ゼミナール1	2	2～4	演習	*
		LNG21080	応用言語学ゼミナール2	2	2～4	演習	*
② 文学・芸術・メディア	選択科目 専門専門	LIT12010	アメリカの文学1	2	1～4	講義	
		LIT12020	アメリカの文学2	2	1～4	講義	
		LIT12030	イギリスの文学1	2	1～4	講義	*
		LIT12040	イギリスの文学2	2	1～4	講義	*
		LIT12050	英語圏文学入門1	2	1～4	講義	*
		LIT12060	英語圏文学入門2	2	1～4	講義	*
		ART12010	英米の芸術1	2	1～4	講義	*
		ART12020	英米の芸術2	2	1～4	講義	*
		LIT22010	英語圏文学特講1	2	2～4	講義	*
		LIT22020	英語圏文学特講2	2	2～4	講義	*
		ART22010	劇場文化論1	2	2～4	講義	*
		ART22020	劇場文化論2	2	2～4	講義	*
		ART22030	芸術文化論1	2	2～4	講義	*
		ART22040	芸術文化論2	2	2～4	講義	*
		ART22050	映像文化論1	2	2～4	講義	*
		ART22060	映像文化論2	2	2～4	講義	*
		ART22070	音楽文化論1	2	2～4	講義	*
		ART22080	音楽文化論2	2	2～4	講義	*
		LIT21010	アメリカ文学ゼミナール1	2	2～4	演習	*
		LIT21020	アメリカ文学ゼミナール2	2	2～4	演習	*
		LIT21030	イギリス文学ゼミナール1	2	2～4	演習	*
		LIT21040	イギリス文学ゼミナール2	2	2～4	演習	*
		LIT21050	英語圏文学ゼミナール1	2	2～4	演習	*
		LIT21060	英語圏文学ゼミナール2	2	2～4	演習	*
		ART21010	芸術文化ゼミナール1	2	2～4	演習	*
		ART21020	芸術文化ゼミナール2	2	2～4	演習	*
		ART21030	メディア文化ゼミナール1	2	2～4	演習	*
		ART21040	メディア文化ゼミナール2	2	2～4	演習	*
		ART21050	音楽文化ゼミナール1	2	2～4	演習	*
		ART21060	音楽文化ゼミナール2	2	2～4	演習	*
③ 歴史・社会・思想	選択科目 専攻専門	PHI12010	英米の思想1	2	1～4	講義	*
		PHI12020	英米の思想2	2	1～4	講義	*
		HST12010	アメリカ史1	2	1～4	講義	*
		HST12020	アメリカ史2	2	1～4	講義	*
		HST12030	イギリス史1	2	1～4	講義	*
		HST12040	イギリス史2	2	1～4	講義	*
		AMS12010	アメリカ文化論1	2	1～4	講義	*
		AMS12020	アメリカ文化論2	2	1～4	講義	*
		BRS12010	イギリス文化論1	2	1～4	講義	*
		BRS12020	イギリス文化論2	2	1～4	講義	*
		HST22030	英米の歴史と社会1	2	1～4	講義	*
		HST22040	英米の歴史と社会2	2	1～4	講義	*
		BAS22010	英語圏文化特講1	2	2～4	講義	*
		BAS22020	英語圏文化特講2	2	2～4	講義	*
		BAS22030	英米の地域文化と社会1	2	2～4	講義	*
		BAS22040	英米の地域文化と社会2	2	2～4	講義	*
		HST22050	英語圏の生活文化史1	2	2～4	講義	*
		HST22060	英語圏の生活文化史2	2	2～4	講義	*
		REL12010	英語圏の宗教と文化1	2	1～4	講義	*
		REL12020	英語圏の宗教と文化2	2	1～4	講義	*
		PHI21010	英米の思想ゼミナール1	2	2～4	演習	*
		PHI21020	英米の思想ゼミナール2	2	2～4	演習	*
		HST21010	アメリカ史ゼミナール1	2	2～4	演習	*
		HST21020	アメリカ史ゼミナール2	2	2～4	演習	*
		HST21030	イギリス史ゼミナール1	2	2～4	演習	*
		HST21040	イギリス史ゼミナール2	2	2～4	演習	*
		BAS21030	英米の社会ゼミナール1	2	2～4	演習	*
		BAS21040	英米の社会ゼミナール2	2	2～4	演習	*
		BAS21010	英語圏文化ゼミナール1	2	2～4	演習	*
		BAS21020	英語圏文化ゼミナール2	2	2～4	演習	*

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
④ 交流文化・観光 選択科目 専攻専門	BAS12010	観光文化論(英米)1	2	1～4	講義	*
	BAS12020	観光文化論(英米)2	2	1～4	講義	*
	BAS22050	英米の観光地理学	2	2～4	講義	*
	BAS22060	テーマパークの文化史	2	2～4	講義	*
	HST22070	英語圏の対外交流史1	2	2～4	講義	*
	HST22080	英語圏の対外交流史2	2	2～4	講義	*
	BAS12030	広域英語圏文化論1	2	1～4	講義	*
	BAS12040	広域英語圏文化論2	2	1～4	講義	*
	BAS21050	観光文化ゼミナール1	2	2～4	演習	*
	BAS21060	観光文化ゼミナール2	2	2～4	演習	*
	BAS21070	広域英語圏文化ゼミナール1	2	2～4	演習	*
	BAS21080	広域英語圏文化ゼミナール2	2	2～4	演習	*
	BAS22070	The Anglosphere in Global Perspective 1	2	2～4	講義	*
	BAS22080	The Anglosphere in Global Perspective 2	2	2～4	講義	*
	BAS21090	Anglosphere Studies Seminar A1	2	2～4	演習	*
	BAS21100	Anglosphere Studies Seminar A2	2	2～4	演習	*
BAS21110	Anglosphere Studies Seminar B1	2	2～4	演習	*	
BAS21120	Anglosphere Studies Seminar B2	2	2～4	演習	*	

※2年次外国語クラスに進むまでは、専攻専門科目のうち、ゼミナールを履修することはできません。

[教職の教科に関する概説科目]

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
TCP12010	日本史概説	2	1～4	講義	
TCP12020	外国史概説	2	1～4	講義	
TCP12030	法律学概説(国際法を含む)	2	1～4	講義	
TCP12040	政治学概説(国際政治を含む)	2	1～4	講義	
TCP12050	経済学概説(国際経済を含む)	2	1～4	講義	
TCP12060	社会学概説	2	1～4	講義	
TCP12070	地誌概説	2	1～4	講義	
TCP12080	人文地理学概説	2	1～4	講義	
TCP12090	自然地理学概説	2	1～4	講義	
TCP12100	倫理学概説	2	1～4	講義	
TCP12110	宗教学概説	2	1～4	講義	
TCP12120	哲学概説	2	1～4	講義	
TCP12130	心理学概説	2	1～4	講義	

※[教職の教科に関する概説科目]は、卒業要件に算入することはできません。

8 英語英米文化学科 卒業論文履修資格

「卒業論文」、「卒業論文ゼミナール1」および「卒業論文ゼミナール2」は、以下の条件を満たさない場合は、履修することができません。

- ① 大学に3年以上在学していること。
- ② 1年次必修外国語(英語)および選択外国語Iの計8単位すべてと、2年次必修外国語(英語)6単位のうちの4単位を修得していること。
- ③ 専攻基礎科目(「英語英米文化基礎ゼミナール1」、「英語英米文化基礎ゼミナール2」、「英語ワークショップ1」、「英語ワークショップ2」、「2年次ゼミナール1」、「2年次ゼミナール2」)の計10単位を修得していること。
- ④ 卒業に必要な124単位のうち76単位以上を修得していること。

【注意】

「卒業論文」「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を履修するためには、卒論指導教授選択届の提出が必要となります。届の提出手続きを行わなかった場合は上記資格を満たしても履修できないため、必ず定められた提出手続きを行うこと。

卒業論文および卒業論文ゼミナールの履修に関する注意

1. 卒業論文の準備および「卒業論文準備ゼミナール」の履修

卒業論文執筆のための具体的な準備作業を3年次秋学期に開始します。各自が卒業論文のテーマを決めるとともに、個別面談を経て卒業論文指導教授が決定され、指導教授が担当する「卒業論文準備ゼミナール」を履修します。

【注意】

- ◇ 卒業論文指導教授は英語英米文化学科の専任教員の中から選びます。ただし一定の要件を満たした場合に限り、本学の自然科学担当専任教員・身体運動科学担当専任教員・教職課程専任教員のもとで卒業論文を執筆することができます。ただし、授業担当者や開講状況は年度によって異なります（履修要項 152～154 頁参照）。
- ◇ 留学等の理由で「卒業論文準備ゼミナール」を履修できない場合には、教務委員と相談の上、卒業論文指導教授決定の手続きをします。

2. 「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」の履修

卒業論文の執筆は、「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」において、3年次秋学期の卒業論文の準備の過程で決定された卒業論文指導教授に指導を受けながらおこないます。「卒業論文」（4単位）と「卒業論文ゼミナール1」（2単位）「卒業論文ゼミナール2」（2単位）は、専攻専門科目の必修科目として卒業のために修得すべき単位の中に入っていますので、卒業論文執筆の際には必ず「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を履修しなければなりません。

【注意】

- ◇ 本ゼミナールは卒業論文執筆のための授業です。しっかりと出席し、指導教授の指導を受けながら計画的に卒業論文の作成を進めてください。
- ◇ 卒業論文関連の提出物（題目届 [6月]・題目届 [11月]）を提出する際には事前に指導教授とよく相談してください。
- ◇ 卒業論文作成要領（基準枚数、用紙、文体、注釈、引用等）の詳細も本ゼミナールで指導を受けてください。
- ◇ 自然科学担当専任教員・身体運動科学担当専任教員・教職課程担当専任教員を卒業論文指導教授とする場合の要件については 152～154 頁を参照してください。
- ◇ 協定留学または認定留学により4年次春学期に不在となる場合は、特例として、4年次秋学期に「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を同時履修することを認めます（4年次に1年間不在となる場合は、翌年度春学期の同時履修を認めます。また、休学等により履修学期がそれ以降となる場合も、協定留学を含めて3年半以上の在学を経ていれば同時履修が可能です。詳細は教務課に確認してください）。希望する場合は、留学前に指導教授に相談の上、了承を得てください。また、帰国後は速やかに教務課にて手続きを行ってください。

3. 卒業論文の提出

卒業論文は、3S 掲示や指導教員の指示に従ってオンラインで提出すること。提出期限は公平性の確保のため厳格に定められており、原則としてそれ以降は受理できないので厳守してください。

【注意】

- ◇ 診断書や証明書等を提出しうる学校感染症等の急病、不慮の事故、不測の事態などによって締め切り日時までの本人による提出が困難な場合、または提出できなかった場合には、速やかに教務課に申し出て、指示を受けてください。考慮すべき特別の理由があると学部が認めた場合、代理人による提出や締め切り日後の提出を認めることがあります。

4. 卒業論文作成要領

卒業論文の作成要領（基準枚数、用紙、文体、注釈、引用等）については、4年次4月に配布される「英語英米文化学科 卒業論文マニュアル」をよく読み、「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」にて指導を受けながら卒業論文を作成するようにしてください。

5. 卒業論文口述試験

卒業論文に関する個別の試験で、9月卒業の場合は7月下旬、3月卒業の場合は1月に行われます。この試験を受けない場合、卒業論文が不合格となりますので、必ず受験してください。詳細は、卒業論文提出後に3Sで掲示されます。

6. 卒業論文報告会（1月下旬）

卒業論文報告会では、優れた卒業論文・独創的な卒業論文について研究発表がおこなわれます。卒業論文の準備を開始した3年次の学生は、かならず出席するようにしてください。1、2年生のみなさんももちろん歓迎します。ふるってご参加ください。

7. 『卒業論文成果報告書』

優れた卒業論文・独創的な卒業論文は、卒業論文報告会での研究発表の対象となるだけでなく、当該年度の『卒業論文成果報告書』への抄録掲載の対象となります。『卒業論文成果報告書』はグループスタディールームで閲覧に供されるとともに、オープンキャンパスなどにおいて人文学部の教育の成果として配布されます。

9 グローバルチャレンジ（GC）英語モジュール

英語英米文化学科には、英語の力を十分に伸ばし、留学やグローバルスタディーズ副専攻を目指す人のために、グローバル・チャレンジ（GC）英語モジュールというプログラムが用意されています。英語英米文化学科のカリキュラムのもとで学びながら、英語の学習にとくに力を注ぎたい人を対象とした特訓プログラムです。

(1) 概要

- [1] 英語英米文化学科の全学生を対象とし、英語圏の大学への留学および本学のグローバルスタディーズ副専攻を目指す学生を支援するプログラムです。英語で行われる専門科目において、授業の内容を十分に理解し、英語で活発に発信できる語学能力を身につけます。
- [2] GC 英語モジュールを構成する科目のうち、「英語強化クラス」（必修英語、選択外国語、英語ワークショップ、英語英米文化基礎ゼミナール、2年次ゼミナール）については入学時に選抜を行います。それ以外の授業は英語英米文化学科の全学生が自由に履修できます（ただし抽選が行われる科目や語学スコアの条件がある科目については授業毎に定められている条件によります）。
- [3] 留学やグローバルスタディーズ副専攻の他、海外で行われる各種のプログラム（現地実習やインターンシップ、ボランティア）を体験し、高度な英語力と実践力を身につけることも目的の1つです。

(2) 修了要件

以下の推奨科目リストにある授業科目のうちから合計20単位以上修得し、必要な認定申請を行うと卒業時に修了証が授与されます。

推奨科目

- ・総合科目：英語名の科目
- ・共通専門科目：国際教養学部提供の英語による講義科目、留学準備講座、EAS 科目
- ・専攻専門科目：「The Anglosphere in Global Perspective 1」「The Anglosphere in Global Perspective 2」「Anglosphere Studies Seminar A1」「Anglosphere Studies Seminar A2」「Anglosphere Studies Seminar B1」「Anglosphere Studies Seminar B2」
- ・英語強化クラス対象科目（英語強化クラス所属者のみ履修可能）：必修英語、選択外国語Ⅰ英語、「英語ワークショップ1」、「英語ワークショップ2」、「英語英米文化基礎ゼミナール1」、「英語英米文化基礎ゼミナール2」、「2年次ゼミナール1」「2年次ゼミナール2」

(3) GC 英語モジュール修了証の申請手続きについて

GC 英語モジュール修了の認定申請は卒業する年度に提出しなければなりません。認定された場合には、卒業式当日に「GC 英語モジュール修了証」が授与されます。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。卒業後に授与を希望する場合は証明書（有料）が発行されます。

4 年次	9月卒業予定者	GC 英語モジュール 認定申請書提出	申請書提出期限：授業終了日
	7月 3月卒業予定者 12月		

10 グローバルチャレンジ (GC) ドイツ語／フランス語アソシエイトプログラム**1. GC ドイツ語アソシエイトプログラム**

人文学部の英語英米文化学科および日本・東アジア文化学科の学生を対象とした、ドイツ語とドイツ文化を深く学びたい人のためのプログラムです。以下の条件を満たした者については、「GC ドイツ語アソシエイトプログラム修了証」が発行されます。

(1) 修了要件

以下の3要件を満たし、必要な認定申請を行うと、卒業時に修了証が授与されます。

- [1] 下表の必修科目から8単位以上修得すること。
- [2] 下表の関連科目から6単位以上修得すること。
- [3] 下表の準関連科目から5単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分	CEFR 合格目標レベル
GC ドイツ語 必修科目	8	GC ドイツ語 A1	2	共通専門科目	CEFR A1 合格目標
		GC ドイツ語 A2	2	共通専門科目	CEFR A2 合格目標
		GC ドイツ語 B1	2	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		GC ドイツ語 B2	2	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
GC ドイツ語 関連科目	6	ドイツ語論述実習 1	1	共通専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		ドイツ語論述実習 2	1	共通専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		ドイツ語圏の社会と文化 1	2	共通専門科目	CEFR A2 合格目標
		ドイツ語圏の社会と文化 2	2	共通専門科目	CEFR A2 合格目標
GC ドイツ語 準関連科目	5	中級ドイツ語作文 1	1	共通専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		中級ドイツ語作文 2	1	共通専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		中級ドイツ語会話 1	1	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		中級ドイツ語会話 2	1	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		上級ドイツ語講読 1	1	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		上級ドイツ語講読 2	1	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標

- * 必修科目は重複履修が可能です。卒業に必要な単位への算入は、英語英米文化学科では不可、日本・東アジア文化学科では10単位まで可能です。
- * 準関連科目は、英語英米文化学科では卒業に必要な単位に算入できません。
- * 長期留学をした学生は、留学中に修得した語学科目の単位を各科目の学習内容に合った上記科目に読み替えることが可能です。
- * CEFR 合格レベルについては、ヨーロッパ文化学科の「GC ドイツ語／フランス語プログラム」のページ (91、92 頁) を参照してください。
- * 入学後に B1 / 2 級以上に合格した場合は、外国語学習褒賞制度への申請が可能です。グローバル教育センターのホームページや3Sなどで申請時期を事前に確認してください。

(2) GC ドイツ語アソシエイトプログラム修了時の申請手続きについて

プログラム修了の認定申請は卒業する年度に行わなければなりません。認定された場合には、卒業式当日に「GC ドイツ語アソシエイトプログラム修了証」が授与されます。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合には、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。卒業に授与を希望する場合は証明書（有料）が発行されます。

4年次	9月卒業予定者 7月	GC ドイツ語アソシエイトプログラム 認定申請書提出	申請書提出期限：授業終了日
	3月卒業予定者 12月		

2. GC フランス語アソシエイトプログラム

人文学部の英語英米文化学科および日本・東アジア文化学科の学生を対象とした、フランス語とフランス文化を深く学びたい人のためのプログラムです。以下の条件を満たした者については、「GC フランス語アソシエイトプログラム修了証」が発行されます。

(1) 修了要件

以下の3要件を満たし、必要な認定申請を行うと、卒業時に修了証が授与されます。

- [1] 下表の必修科目から8単位以上修得すること。
- [2] 下表の関連科目から6単位以上修得すること。
- [3] 下表の準関連科目から5単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分	CFR 合格目標レベル
GC フランス語 必修科目	8	GC フランス語 A1	2	共通専門科目	CEFR A1 合格目標
		GC フランス語 A2	2	共通専門科目	CEFR A2 合格目標
		GC フランス語 B1	2	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		GC フランス語 B2	2	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
GC フランス語 関連科目	6	フランス語論述実習 1	1	共通専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		フランス語論述実習 2	1	共通専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		フランスの歴史と社会 1	2	共通専門科目	CEFR A2 合格目標
		フランスの歴史と社会 2	2	共通専門科目	CEFR A2 合格目標
GC フランス語 準関連科目	5	中級フランス語作文 1	1	共通専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		中級フランス語作文 2	1	共通専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		中級フランス語会話 1	1	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		中級フランス語会話 2	1	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		上級フランス語講読 1	1	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		上級フランス語講読 2	1	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標

- * 必修科目は重複履修が可能です。卒業に必要な単位への算入は、英語英米文化学科では不可、日本・東アジア文化学科では10単位まで可能です。
- * 準関連科目は、英語英米文化学科では卒業に必要な単位に算入できません。
- * 長期留学をした学生は、留学中に修得した語学科目の単位を各科目の学習内容に合った上記科目に読み替えることが可能です。
- * CEFR 合格レベルについては、ヨーロッパ文化学科の「GC ドイツ語／フランス語プログラム」のページ(91,92頁)を参照してください。
- * 入学後にB1 / 2級以上に合格した場合は、外国語学習褒賞制度への申請が可能です。グローバル教育センターのホームページや3Sなどで申請時期を事前に確認してください。

(2) GC フランス語アソシエイトプログラム修了時の申請手続きについて

プログラム修了の認定申請は卒業する年度に行わなければなりません。認定された場合には、卒業式当日に「GC フランス語アソシエイトプログラム修了証」が授与されます。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。卒業後に授与を希望する場合は証明書(有料)が発行されます。

4年次	9月卒業予定者 7月	GC フランス語アソシエイトプログラム 認定申請書提出	申請書提出期限：授業終了日
	3月卒業予定者 12月		

11 グローバルチャレンジ (GC) 中国語／韓国・朝鮮語アソシエイトプログラム

1. GC 中国語アソシエイトプログラム

人文学部の英語英米文化学科およびヨーロッパ文化学科の学生を対象とした、中国語と中国語圏の文化を深く学びたい人のためのプログラムです。以下の条件を満たした者については、「GC 中国語アソシエイトプログラム修了証」が発行されます。

(1) 修了条件

[1] 以下に定める「GC 中国語必修科目」から 8 単位以上修得すること。

[2] 以下に定める「GC 中国語関連科目」から 6 単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目	単位	種別
GC 中国語 必修科目	8	GC 中国語 A1	2	共通専門科目
		GC 中国語 A2	2	共通専門科目
		GC 中国語 B1	2	共通専門科目
		GC 中国語 B2	2	共通専門科目
GC 中国語 関連科目	6	中国の社会と文化 1	2	共通専門科目 (中国語による授業)
		中国の社会と文化 2	2	共通専門科目 (中国語による授業)
		中国語論述実習 1	1	共通専門科目 (中国語による授業)
		中国語論述実習 2	1	共通専門科目 (中国語による授業)

*必修科目は重複履修が可能です。卒業に必要な単位への算入は、英語英米文化学科では不可、ヨーロッパ文化学科では 8 単位まで可能です。

*長期留学をした学生は、留学中に修得した語学科目の単位を各科目の学習内容に合った上記科目に読み替えることが可能です。

(2) GC 中国語アソシエイトプログラム修了証の申請手続きについて

プログラム修了の認定申請は卒業する年度に行わなければなりません。認定された場合には、卒業式当日に「GC 中国語アソシエイトプログラム修了証」が授与されます。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。卒業後に授与を希望する場合は証明書 (有料) が発行されます。

4 年次	9 月卒業予定者	GC 中国語アソシエイトプログラム 認定申請書提出	申請書提出期限：授業終了日
	7 月 3 月卒業予定者 12 月		

2. GC 韓国・朝鮮語アソシエイトプログラム

人文学部の英語英米文化学科およびヨーロッパ文化学科の学生を対象とした、韓国・朝鮮語と韓国・朝鮮文化を深く学びたい人のためのプログラムです。以下の条件を満たした者については、「GC 韓国・朝鮮語アソシエイトプログラム修了証」が発行されます。

(1) 修了条件

[1] 以下に定める「GC 韓国・朝鮮語必修科目」から 8 単位以上修得すること。

[2] 以下に定める「GC 韓国・朝鮮語関連科目」から 6 単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目	単位	種別
GC 韓国・朝鮮語 必修科目	8	GC 韓国・朝鮮語 A1	2	共通専門科目
		GC 韓国・朝鮮語 A2	2	共通専門科目
		GC 韓国・朝鮮語 B1	2	共通専門科目
		GC 韓国・朝鮮語 B2	2	共通専門科目
GC 韓国・朝鮮語 関連科目	6	韓国・朝鮮の社会と文化 1	2	共通専門科目 (韓国・朝鮮語による授業)
		韓国・朝鮮の社会と文化 2	2	共通専門科目 (韓国・朝鮮語による授業)
		韓国・朝鮮語論述実習 1	1	共通専門科目 (韓国・朝鮮語による授業)
		韓国・朝鮮語論述実習 2	1	共通専門科目 (韓国・朝鮮語による授業)

*必修科目は重複履修が可能です。卒業に必要な単位への算入は、英語英米文化学科では不可、ヨーロッパ文化学科では 8 単位まで可能です。

*長期留学をした学生は、留学中に修得した語学科目の単位を各科目の学習内容に合った上記科目に読み替えることが可能です。

(2) GC 韓国・朝鮮語アソシエイトプログラム修了証の申請手続きについて

プログラム修了の認定申請は卒業する年度に行わなければなりません。認定された場合には、卒業式当日に「GC 韓国・朝鮮語アソシエイトプログラム修了証」が授与されます。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。卒業後に授与を希望する場合は証明書（有料）が発行されます。

4 年次	9月卒業予定者 7月	GC 韓国・朝鮮語アソシエイトプログラム 認定申請書提出	申請書提出期限：授業終了日
	3月卒業予定者 12月		

ヨーロッパ文化学科

1 ヨーロッパ文化学科 卒業要件

本学に4年以上在学し、履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。62頁以降に各区分の履修方法が記載されていますので、よく読んで間違いのないように履修してください。

また、以下のことにも注意して計画的に単位を修得してください。

- ・2年次外国語を履修するためには、必要な単位を1年次に修得しなければなりません。詳細は67頁に記載してあります。
- ・2年次終了時点で、卒業に必要な修得単位が28単位未満かつ、履修登録単位制限の緩和措置対象とならない等の場合には、4年間での卒業が不可能となります。
- ・4年次の必修科目である「卒業論文」を履修するには、3年の在学期間を充足した上で、必要な科目と単位を修得しなければなりません。「卒業論文ゼミナール登録届」の提出も必要です。詳細は89頁に記載してあります。なお、3年次終了時点で卒業論文履修資格を満たさない場合は、4年間での卒業が不可能となります。

[ヨーロッパ文化学科]

区分	修得すべき 単位数	内訳		
総合科目	20単位	6分野(A～F)すべてからセクションを問わず最低2単位を修得し(計12単位)、さらに分野を問わず8単位以上修得すること。ただし、実践セクションの科目を必ず1科目(1単位)以上含むこと。		
外国語科目	20単位	必修外国語(英語) 2単位 選択外国語Ⅰ(学科指定) (1A) ドイツ語、フランス語 4単位 (1B) ドイツ語、フランス語、英語 10単位 (2) ドイツ語、フランス語、英語、イタリア語 4単位		
	(自由選択)	選択外国語Ⅱ(修得単位は総合科目の「分野を問わない8単位」に含めることができる) 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語 —		
専門科目	共通専門科目	24単位	(指定された人文学部の他学科の専攻科目、他学部の専門科目などより選択) ※「学芸員課程関連科目」の修得単位は、8単位まで共通専門科目に算入することができる。 ※「GCドイツ語」「GCフランス語」は各10単位まで、「GC英語」は16単位まで、「GC中国語」「GC韓国・朝鮮語」は各8単位まで、修得単位を共通専門科目に算入することができる。 ※「日本語ワークショップ」は、8単位まで共通専門科目に算入することができる。	
	専攻科目	60単位	専攻基礎科目 6単位	必修科目 ヨーロッパ文化入門講座 2単位 ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1 2単位 ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2 2単位
			専攻専門科目 54単位	必修科目 中級ゼミナール1 2単位 中級ゼミナール2 2単位 卒業論文 4単位 卒業論文ゼミナール1 2単位 卒業論文ゼミナール2 2単位 選択科目 実習 4単位 専門ゼミナール 8単位 講義①～⑥、卒業論文準備ゼミナール 30単位 ※⑤「教職の教科に関する概説科目」の修得単位は、4単位まで算入することができる。
合計	124単位			

※ 共通専門科目のうち、「GHゼミナール」「日本語ワークショップ」「GCドイツ語」「GCフランス語」「GC英語」「GC中国語」「GC韓国・朝鮮語」については、同じ科目を重複して履修することができます。この場合、2度目以降の修得単位も卒業に必要な単位に算入できます。ただし、「GHゼミナール」を除く各科目の合計修得単位数には上記の制限があります。

【注意】

表中の単位数は最小限必要な単位数であり、余裕をもってより多くの科目を履修することを勧めます。

2 ヨーロッパ文化学科 コース制度とプログラム

人文学部では学科ごとに複数のコースが用意されています。これらのコースは、自分の興味や関心がどこに向いているかを自覚し、その関心に従って科目履修や卒業論文のテーマ選択をしていく際に参照すべき学修上の指針と考えてください。また、次項の履修モデルはコースごとに作成されていますので、こちらも参考にしてください。

いったんコースを決めても、その後の関心の変化によってコースを変更することは自由ですし、特定のコースによって履修できない科目が生じるということもありませんので、安心して選択してください。

1. 開講コース

ヨーロッパ文化学科では、卒業までの学習計画を立てる際の一助となるように、自分の興味・関心に基づいてコースを選択します。専門科目（講義科目）の分類に沿って、以下の4コースが用意されています。

◇ 言語と文学コース

フランス語学、ドイツ語学、ギリシア語・ラテン語学、ヨーロッパ各地の伝統的文学、現代文学、日欧比較文学などを中心に学ぶコースです。

◇ 芸術と生活コース

ヨーロッパの絵画や建築物、音楽、音響、映画、モダン・アート、生活文化等を研究対象とするコースです。

◇ 歴史と思想コース

ヨーロッパの古代から中世、近現代の歴史を学びます。神話や伝説、思想・宗教（キリスト教）に注目した研究もできます。

◇ 環境と社会コース

ヨーロッパの成り立ちや域内交流の歴史、EU 統合と拡大の現状など、ヨーロッパ社会全体にかかわる問題や、東欧、北欧、地中海などの地域研究、自然環境と文化のかかわりについて学ぶコースです。

2. コース選択手続き日程（詳細は3Sにて周知します）

コース希望届を1年次秋学期に提出します。正式に所属コースが決まるのは2年次4月です。

【注意】

- ① 原則的に本人の希望にしたがってコース配属をおこなうため、選考はありません。
- ② コース希望届未提出者は、いずれかのコースに自動配属されます。

3. コース変更について

所属コース決定後に変更を希望する場合は、所定の用紙にて教務課に願い出てください。手続期間は毎年度4月、履修登録期間開始前までとします。

コース変更は個人の判断でおこなえますが、必要に応じて指導教授や教務委員に相談してください。

4. 設置プログラム

3 学科共通の学修プログラム（154 頁）に加えて、ヨーロッパ文化学科には、グローバル・チャレンジ（GC）ドイツ語／フランス語プログラム（91 頁）、英語プログラム（97 頁）、中国語／韓国・朝鮮語アソシエイトプログラム（101 頁）が設置されています。どのプログラムにも、誰でも参加できます。詳細は各頁を参照してください。

3 ヨーロッパ文化学科履修モデル

◆言語と文学コース(選択外国語Ⅰ(1A)(1B)でドイツ語選択、選択外国語Ⅱ(2)でフランス語選択の場合)

このコースではドイツロマン・ポリシー(DP)のうち「専門的・学際的な知識」「論理的に表現する力」「外国語を運用する力」「学びを社会のなかで活用する力」が特に育成される。

区分	総合科目 20単位	外国語科目 20単位		共通専門科目 24単位		専門科目 専攻基礎科目 必修科目 6単位		専門科目 専攻専門科目 必修科目 12単位		専門科目 専攻専門科目 選択科目 42単位		合計 単位数
		2	2	1	4	2	2	2	2	2	2	
卒業要件	メデアと社会(A) 人文学入門(B) こころの科学と健康(E) キャリアデザイン論A(F) 小計 8	英語 選択外国語Ⅰ(1A)(1B)(ドイツ語)	2	2	世界の日本の日本文学 1	2	ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1 2	ドイツ文学史1 ドイツ語の世界1 ヨーロッパの文学 小計 6	2	2	2	23
1年次 春学期	日本国憲法(C) 多文化共生の現在(B) 地球の自然史(D) 心理学ワークセッション(E)(実履) 小計 8	英語 選択外国語Ⅰ(1A)(1B)(ドイツ語)	2	2	人文批評入門 1	2	ヨーロッパ文化入門講座 ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2 2	ドイツ文学史2 ドイツ語の世界2 小計 4	2	2	2	23
1年次 秋学期	現代社会とジェンダー(C) 小計 2	選択外国語Ⅰ(1B)(ドイツ語) 選択外国語Ⅰ(2)(フランス語)	2	2	英語学概論1 イギリスの文学1 小計 5	2	中級ゼミナール1 2	フランス文学史1 ラテン語学1 ヨーロッパ小説論 ドイツ語検定対策講座 初級ドイツ語作文1 小計 8	2	2	2	21
2年次 春学期	小計 0	選択外国語Ⅰ(1B)(ドイツ語) 選択外国語Ⅰ(2)(フランス語) 外国語現地実習(ドイツ語)2 小計 7	2	2	英語学概論2 イギリスの文学2 小計 4	2	中級ゼミナール2 2	フランス文学史2 ラテン語学2 ヨーロッパ古典文学 初級ドイツ語作文2 小計 7	2	2	2	20
2年次 秋学期	小計 0	日本の言語文化1 異文化コミュニケーション論1 比較文化論1 小計 3	2	2	日本の言語文化1 異文化コミュニケーション論1 比較文化論1 小計 3	2	専門ゼミナールA1[言語と文化] 専門ゼミナールB1[文学と文化] ヨーロッパの中世文化 ドイツ近現代史 ドイツ語コミュニケーション総合1 小計 9	2	2	2	15	
3年次 春学期	小計 0	日本の言語文化2 異文化コミュニケーション論2 比較文化論2 小計 3	2	2	日本の言語文化2 異文化コミュニケーション論2 比較文化論2 小計 3	2	専門ゼミナールA2[言語と文化] 専門ゼミナールB2[文学と文化] 卒業論文準備ゼミナール 小計 6	2	2	2	12	
3年次 秋学期	小計 0	小計 0	0	0	卒業論文ゼミナール1 2	2	卒業論文ゼミナール1 2	比較文学論(日欧) 2	2	2	4	
4年次 春学期	小計 0	小計 0	0	0	卒業論文ゼミナール2 卒業論文 小計 4	4	卒業論文ゼミナール2 卒業論文 小計 6	卒業論文ゼミナール 2	2	2	6	
4年次 秋学期	小計 0	小計 0	0	0	小計 24	24	計 6	計 12	12	42	124	
	※1 計 18	計 22	22	24	計 24	24	計 6	計 12	12	42	124	

※1 外国語科目の「選択外国語Ⅱ」は8単位まで総合科目の単位として算入できる。ここでは「外国語現地実習(ドイツ語)2」がそれに該当する。

◆芸術と生活コース(選択外国語I(1A)(1B)でフランス語選択、選択外国語(2)でイタリア語選択の場合)

このコースではDPのうち「専門的・学際的に表現する力」「多様な文化を理解する力」「学びを社会のなかで活用する力」が特に育成される。

区分	総合科目		外国語科目		共通専門科目		専門科目		専門科目		合計 単位数	
	20単位		20単位		24単位		6単位		12単位			
卒業要件	20単位		20単位		24単位		6単位		12単位		合計 単位数	
1年次 春学期	情報技術と人間社会(A)	2	英語	2	世界の言語と社会	2	ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1	2	ヨーロッパの芸術1	2		21
	現代社会とアート(C)	2	選択外国語 I (1A)(1B)(フランス語)	4				比較芸術論1	2			
	臨床心理学と人間理解(E)	2										
	自己理解の哲学(F)	2										
	小計	8	小計	5	小計	2	小計	2	小計	4		
1年次 秋学期	グローバル時代の歴史認識(B)	2	英語	2	身体と芸術	2	ヨーロッパ文化入門講座	2	ヨーロッパの芸術2	2	21	
	現代アートワークショップ(G)(実職)	2	選択外国語 I (1A)(1B)(フランス語)	4				比較芸術論2	2			
	人間と環境(D)	2										
	心理学と社会(F)	2	小計	5	小計	2	小計	4	小計	4		
	小計	6	小計	5	小計	2	小計	4	小計	4		
2年次 春学期	日本と世界の宗教(B)	2	選択外国語 I (1B)(フランス語)	3	英米の芸術1	2	中級ゼミナール1	2	ヨーロッパ生活文化論	2	22	
		2	選択外国語 I (2)(イタリア語)	2	英語圏の宗教と文化1	2		観光文化論(ヨーロッパ)	2			
								ヨーロッパ建築史	2			
								フランス語コミュニケーション総合1	1			
	小計	4	小計	5	小計	4	小計	0	小計	7		
2年次 秋学期			選択外国語 I (1B)(フランス語)	3	英米の芸術2	2	中級ゼミナール2	2	音楽文化論	2	20	
			選択外国語 I (2)(イタリア語)	2	英語圏の宗教と文化2	2		ヨーロッパの舞台芸術	2			
								ドイツ語圏の芸術	2			
								フランスの芸術	2			
	小計	0	小計	5	小計	4	小計	0	小計	9		
3年次 春学期			外国語現地実習(フランス語)1	2	英米の思想1	2	専門ゼミナールE1[芸術と文化]	2	専門ゼミナールF1[芸術と文化]	2	17	
					日本の身体文化1	2		専門ゼミナールF2[芸術と文化]	2			
					スポーツ身体論	2		ヨーロッパの映画	2			
								イメーჯ文化論	2			
	小計	0	小計	2	小計	6	小計	0	小計	9		
3年次 秋学期					英米の思想2	2	専門ゼミナールE2[芸術と文化]	2	専門ゼミナールF2[芸術と文化]	2	13	
					日本の身体文化2	2		卒業論文準備ゼミナール	2			
								越境文化論	2			
								中級フランス語会話2	1			
	小計	0	小計	0	小計	4	小計	0	小計	9		
4年次 春学期					芸術の科学	2	卒業論文ゼミナール1	2			4	
	小計	0	小計	0	小計	2	小計	0	小計	0		
4年次 秋学期											6	
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	6		
	※1 計	18	計	22	計	24	計	6	計	12	計	42
※1 外国語科目の「選択外国語Ⅱ」は8単位まで総合科目の単位として算入できる。ここでは「外国語現地実習(フランス語)」がそれに該当する。												

◆歴史と思想コース(選択外国語I(1A)(1B)でドイツ語選択、選択外国語(2)で英語選択の場合)

このコースではDPのうち「専門的・学際的に表現する力」「グローバルに思考する力」「学びを社会のなかで活用する力」が特に育成される。

区分	総合科目		外国語科目		共通専門科目		専門科目		専門科目		合計 単位数
	20単位		20単位		24単位		6単位		12単位		
卒業要件	20単位		20単位		24単位		6単位		12単位		
1年次 春学期	メディアと社会(A)	2	英語	1	ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1	2	ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1	2	ギリシア・ローマ史	2	2
	世界の名著(B)(実践)	2	選択外国語 I (1A)(1B)(ドイツ語)	4					ドイツ語圏の思想と文化	2	2
	スポーツの歴史と文化(E)	2							ドイツ近現代史	2	2
	自己理解の哲学(F)	2									
	小計	8	小計	5	小計	0	小計	0	小計	6	6
1年次 秋学期	20世紀の世界(B)	2	英語	1	ヨーロッパ文化入門講座	2	ヨーロッパ文化入門講座	2	ドイツ中世史	2	2
	現代社会とグローバル化(C)	2	選択外国語 I (1A)(1B)(ドイツ語)	4	ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2	2	ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2	2	ヨーロッパ形成史	2	2
	数学の世界(D)	2							比較文化史	2	2
	小計	6	小計	5	小計	0	小計	4	小計	6	6
2年次 春学期	現代社会と人権(C)	2	選択外国語 I (1B)(ドイツ語)	3	イギリス史1	2	イギリス史1	2	ヨーロッパ対外交流史	2	2
	日本と世界の宗教(B)	2	選択外国語 I (2)(英語)	2	都市環境論	2	歴史・記憶・アーカイブ	2	初級ドイツ語作文1	1	1
	小計	4	小計	5	小計	8	小計	0	小計	3	3
2年次 秋学期	心理学と社会(F)	2	選択外国語 I (1B)(ドイツ語)	3	イギリス史2	2	イギリス史2	2	中級ゼミナール2	2	2
			選択外国語 I (2)(英語)	2	GHゼミナール2[A文フィールドワーク]	2	GHゼミナール2[A文フィールドワーク]	2			
	小計	2	小計	5	小計	4	小計	0	小計	9	9
3年次 春学期			アメリカ史1	2	アメリカ史1	2	アメリカ史1	2	専門ゼミナールH1[歴史と文化]	2	2
			宇宙観の歴史	2	宇宙観の歴史	2	宇宙観の歴史	2	専門ゼミナールG1[宗教・思想と文化]	2	2
			イスラーム文化論1	2	イスラーム文化論1	2	イスラーム文化論1	2	国際関係史	2	2
	小計	0	小計	6	小計	6	小計	0	小計	9	9
3年次 秋学期			アメリカ史2	2	アメリカ史2	2	アメリカ史2	2	専門ゼミナールH2[歴史と文化]	2	2
			英語圏の宗教と文化2	2	英語圏の宗教と文化2	2	英語圏の宗教と文化2	2	専門ゼミナールO2[宗教・思想と文化]	2	2
			イスラーム文化論2	2	イスラーム文化論2	2	イスラーム文化論2	2	卒業論文準備ゼミナール	2	2
	小計	0	小計	6	小計	6	小計	0	小計	7	7
4年次 春学期			卒業論文文ゼミナール1	2	卒業論文文ゼミナール1	2	卒業論文文ゼミナール1	2	卒業論文文ゼミナール1	2	2
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	2	2
4年次 秋学期			卒業論文文ゼミナール2	2	卒業論文文ゼミナール2	2	卒業論文文ゼミナール2	2	卒業論文文ゼミナール2	2	2
			卒業論文文	4	卒業論文文	4	卒業論文文	4	卒業論文文	4	4
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	6	小計	0	6
	計	20	計	20	計	24	計	6	計	42	124

◆環境と社会コース(選択外国語I(1A)(1B)でフランス語選択、選択外国語(2)で英語選択の場合)

このコースではDPのうち「専門的・学際的な知識」「論理的な表現する力」「他者を受け入れる力」「学びを社会のなかで活用する力」が特に育成される。

区分	総合科目		外国語科目		共通専門科目		専門科目		専門科目		合計	
	20単位	20単位	24単位	6単位	12単位	42単位	12単位	12単位	6単位	42単位	単位数	単位数
卒業要件	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
1年次 春学期	2	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2
1年次 秋学期	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2年次 春学期	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2年次 秋学期	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3年次 春学期	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3年次 秋学期	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
4年次 春学期	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
4年次 秋学期	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
※1 計	18	18	22	24	6	12	42	124				

※1 外国語科目の「選択外国語II」は8単位まで総合科目の単位として算入できる。ここでは「外国語現地実習(フランス語)2」がそれに該当する。

◆GCドイツ語プログラム修了を目指し、3年次に1年間留学する場合(選択外国語I(1A)(1B)でドイツ語選択、選択外国語(2)でフランス語を選択し、コースは言語と文学)

区分	総合科目	外国語科目		共通専門科目		専門科目		専門科目		合計 単位数
		20単位	24単位	6単位	12単位	42単位	42単位			
卒業要件	メディアと社会(A)	2	英語	1	世界の言語と社会	2	ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1	2	ドイツ文学史1	2
	人文学入門(B)	2	選択外国語 I(1A)(1B)(ドイツ語)	4	GCドイツ語A1	2		2	ドイツ語の世界1	2
	こころの科学と健康(E)	2								
	キャリアデザイン論A(F)	2								
	小計	8	小計	5	小計	4	小計	2	小計	4
1年次 春学期	日本国憲法(C)	2	英語	1	GCドイツ語A1	2	ヨーロッパ文化入門講座	2	ドイツ文学史2	2
	多文化共生の現在(B)	2	選択外国語 I(1A)(1B)(ドイツ語)	4		ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2	2	ドイツ語の世界2	2	
	地球の自然史(D)	2								
	心理学ワークショップ(E)(実践)	2								
	小計	8	小計	5	小計	4	小計	0	小計	4
1年次 秋学期	現代社会とジェンダー(C)	2	選択外国語 I(1B)(ドイツ語)	3	GCドイツ語A2	2	中級ゼミナール1	2	フランス文学史1	2
			選択外国語 I(2)(フランス語)	2	イギリスの文学1	2			ドイツ語圏の社会と文化1	2
			外国語現地実習(ドイツ語)1	2					ヨーロッパ小説論	2
									中級ドイツ語会話1	1
	小計	2	小計	7	小計	4	小計	0	小計	9
2年次 春学期			選択外国語 I(1B)(ドイツ語)	3	GCドイツ語B1	2	中級ゼミナール2	2	ドイツ語圏の社会と文化2	2
			選択外国語 I(2)(フランス語)	2	イギリスの文学2	2			ドイツ語圏の思想と文化	2
									ドイツ語圏の芸術	2
									フランス文学史2	2
	小計	0	小計	5	小計	4	小計	0	小計	11
3年次 春学期 ※3			日本の言語文化1	2					専門ゼミナールA1[言語と文化]	2
			比較文化論1	2					専門ゼミナールB1[文学と文化]	2
									ドイツ近現代史	2
									小計	6
	小計	0	小計	0	小計	4	小計	0	小計	6
3年次 秋学期 ※3			日本の表象文化	2					専門ゼミナールA2[言語と文化]	2
			GCドイツ語B2	2					専門ゼミナールB2[文学と文化]	2
									卒業論文準備ゼミナール	2
									小計	6
	小計	0	小計	0	小計	2	小計	0	小計	6
4年次 春学期			日本の表象文化	2					卒業論文ゼミナール1	2
			GCドイツ語B1	2					比較文学論(日欧)	2
									上級ドイツ語講読1	1
									小計	3
	小計	0	小計	0	小計	4	小計	0	小計	3
4年次 秋学期									卒業論文ゼミナール2	2
									卒業論文	4
									小計	6
									小計	0
	※1 小計	18	※2 小計	22	※2 小計	26	小計	6	小計	43
										127

※1 外国語科目の「選択外国語 II」は8単位まで総合科目の単位として算入できる。ここでは「外国語現地実習(ドイツ語)1」がそれに該当する。

※2 GCプログラム修了のために、必修科目から8単位以上、関連科目から6単位以上、準関連科目5単位以上修得するモデルにしている。

※3 協定留学先で修得した単位を、本学の単位で読み替えることができる。ここでは、3年次に1年間留学し、留学先で18単位修得したと想定し、規定に応じて換算している。

◆GCフランス語プログラム修了を目指し、3年次秋学期～4年次春学期に協定留学する場合(選択外国語I(1A)(1B)でフランス語選択、選択外国語(2)でイタリア語を選択し、コースは芸術と生活)

区分	総合科目	外国語科目	共通専門科目		専門科目		専門科目		合計 単位数
			20単位	24単位	6単位	12単位	42単位		
卒業要件	20単位	20単位	24単位	6単位	12単位	42単位			
	情報技術と人間社会(A)	英語	1 身体と芸術	2 ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1	2 ヨーロッパの芸術1	2			2
	現代社会とアート(C)	選択外国語I(1A)(1B)(フランス語)	4 GCフランス語A1	2	比較芸術論1	2			2
	臨床心理学と人間理解(E)	2							
1年次 春学期	自己理解の哲学(F)	2							
	小計	8	小計	4	小計	2	小計	0	4
1年次 秋学期	グローバル時代の歴史認識(B)	2	1 GCフランス語A1	2	2 ヨーロッパ文化入門講座	2	2 ヨーロッパの芸術2	2	2
	現代アートワークショップ(O)(実践)	2	2 選択外国語I(1A)(1B)(フランス語)	4	2 ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2	2	比較芸術論2	2	2
	人間と環境(D)	2							
	小計	6	小計	2	小計	4	小計	0	4
2年次 春学期	心理学と社会(F)	2	2 選択外国語I(1B)(フランス語)	2	3 英米の芸術1	2	2 ヨーロッパ建築史	2	2
	日本と世界の宗教(B)	2	2 選択外国語I(2)(イタリア語)	2	2 GCフランス語A2	2	中級フランス語作文1	1	1
			2 外国語現地実習(フランス語)1	2			フランス語論述実習1	1	1
	小計	4	小計	4	小計	0	小計	2	4
2年次 秋学期			2 選択外国語I(1B)(フランス語)	2	3 英米の芸術2	2	2 音響文化論	2	2
			2 選択外国語I(2)(イタリア語)	2	2 GCフランス語B1	2	2 ヨーロッパの舞台芸術	2	2
							2 フランスの芸術	2	2
							2 フランスの歴史と社会2	2	2
3年次 春学期							2 中級フランス語作文2	1	1
							2 フランス語論述実習2	1	1
							2 中級フランス語会話1	1	1
	小計	0	小計	5	小計	4	小計	2	10
3年次 秋学期							2 専門ゼミナールE1[芸術と文化]	2	2
							2 専門ゼミナールF1[芸術と文化]	2	2
							2 ドイツ語圏の芸術	2	2
							2 フランスの歴史と社会1	2	2
3年次 秋学期 ※3							2 上級フランス語講読1	1	1
							2 中級フランス語会話1	1	1
							2 専門ゼミナールE2[芸術と文化]	2	2
	小計	0	小計	0	小計	6	小計	0	10
4年次 春学期 ※3							2 専門ゼミナールF2[芸術と文化]	2	2
							2 卒業論文準備ゼミナール	2	2
							2 越境文化論	2	2
	小計	0	小計	0	小計	2	小計	0	8
4年次 秋学期 ※3							2 卒業論文ゼミナール1	2	2
							2 卒業論文ゼミナール2	2	2
							4 卒業論文	4	4
	小計	0	小計	0	小計	2	※4 小計	8	11
							2 小計	1	1
							2 小計	12	129

※1 外国語科目の「選択外国語II」は8単位まで総合科目の単位として算入できる。ここでは「外国語現地実習(フランス語)1」がそれに該当する。
 ※2 GCプログラム修了のために、必修科目から8単位以上、関連科目から6単位以上、関連科目から5単位以上修得するモデルにしている。
 ※3 協定留学先で修得した単位を、本学の単位で読み替えることができる。ここでは、3年次秋学期～4年次春学期に留学し、留学先で16単位修得したと想定し、規定に応じて換算している。
 ※4 協定留学により4年次春学期に不在となる場合は、特例として、4年次秋学期に「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を同時履修することができる。

◆GC英語プログラム修了を旨とし、英語強化クラスに所属する場合(選択外国語I(1A)はドイツ語を選択し、コースは歴史と思想)

区分	総合科目	外国語科目		共通専門科目		専門科目		専門科目		合計 単位数
		20単位	20単位	24単位	6単位	12単位	42単位	12単位		
卒業要件										
1年次 春学期	メディアと社会(A)	2	英語	1	GC英語A1	2	ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1	2	ギリシア・ローマ史	2
	世界の名著(B)(実践)	2	選択外国語 I (1A)(ドイツ語)	2					ドイツ語圏の思想と文化	2
	スポーツの歴史と文化(E)	2	選択外国語 I (1B)(英語)	2					ドイツ近現代史	2
	自己理解の哲学(F)	2	小計	5	小計	2	小計	0	小計	6
1年次 秋学期	20世紀の世界(B)	2	英語	1	GC英語A2	2	ヨーロッパ文化入門講座	2	ドイツ中世史	2
	現代社会とグローバル化ゼミナール(O)	2	選択外国語 I (1A)(ドイツ語)	2					ヨーロッパ形成史	2
	20世紀の世界(B)	2	選択外国語 I (1B)(英語)	2					ヨーロッパ中世史	2
	現代社会と人権(C)	2	選択外国語 I (2)(ドイツ語)	2					ヨーロッパ形成史	2
2年次 春学期	現代社会と人権(C)	2	外国語現地実習(英語)1	2					ヨーロッパの哲学	2
	心理学と社会(F)	2	小計	7	小計	2	小計	0	英会話中級1	1
	現代社会と人権(C)	2	選択外国語 I (1B)(英語)	3	GC英語B1	2	中級ゼミナール1	2	ヨーロッパ対外交流史	2
	心理学と社会(F)	2	選択外国語 I (2)(ドイツ語)	2					比較文化史	2
2年次 秋学期	心理学と社会(F)	2	小計	5	小計	2	小計	4	英会話中級2	1
	現代社会と人権(C)	2	選択外国語 I (1B)(英語)	3	GC英語B2	2	中級ゼミナール2	2	ヨーロッパの神話と伝説	2
	心理学と社会(F)	2	選択外国語 I (2)(ドイツ語)	2					ヨーロッパ思想史	2
	現代社会と人権(C)	2	小計	7	小計	2	小計	0	比較思想(日欧)	2
3年次 春学期	現代社会と人権(C)	2	小計	5	小計	2	小計	0	キリスト教文化論	2
	現代社会と人権(C)	2	小計	5	小計	2	小計	0	英会話中級2	1
	現代社会と人権(C)	2	小計	5	小計	2	小計	0	英作文中級1	1
	現代社会と人権(C)	2	小計	5	小計	2	小計	0	英作文中級2	1
3年次 秋学期	現代社会と人権(C)	2	小計	5	小計	2	小計	0	小計	9
	現代社会と人権(C)	2	小計	5	小計	2	小計	0	小計	9
	現代社会と人権(C)	2	小計	5	小計	2	小計	0	小計	9
	現代社会と人権(C)	2	小計	5	小計	2	小計	0	小計	9
4年次 春学期	現代社会と人権(C)	2	小計	5	小計	2	小計	0	小計	9
	現代社会と人権(C)	2	小計	5	小計	2	小計	0	小計	9
	現代社会と人権(C)	2	小計	5	小計	2	小計	0	小計	9
	現代社会と人権(C)	2	小計	5	小計	2	小計	0	小計	9
4年次 秋学期	現代社会と人権(C)	2	小計	5	小計	2	小計	0	小計	9
	現代社会と人権(C)	2	小計	5	小計	2	小計	0	小計	9
	現代社会と人権(C)	2	小計	5	小計	2	小計	0	小計	9
	現代社会と人権(C)	2	小計	5	小計	2	小計	0	小計	9
卒業要件										
※1	計	18	※3	計	20	※2	計	24	計	6
※2	計	42	計	12	計	42	計	124	計	124

※1 外国語科目の「選択外国語II」は8単位まで総合科目の単位として算入できる。ここでは「外国語現地実習(英語)1」がそれに該当する。

※2 GC英語プログラム修了のため、必修科目を12単位以上、関連科目を8単位以上修得するモデルにしている。

※3 選択外国語 I (1)をドイツ語にした場合はフランス語とする場合は外国語科目・実習科目の「ドイツ語」を「フランス語」に入れ替えるモデルを想定している。

◆GHプログラム修了を目指す場合(選択外国語Ⅰ(1A)(1B)でフランス語選択、選択外国語(2)で英語を選択し、コースは環境と社会)

区分	総合科目	外国語科目		共通専門科目		専門科目		専門科目		専門科目		合計 単位数	
		20単位	24単位	24単位	6単位	12単位	42単位	専攻専門科目 選択科目	専攻専門科目 選択科目				
卒業要件	20単位	英語	1	日本語ワークショップ[文章表現論]	2	ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1	2	フランス語圏の文化と社会	2			23	
	データ分析の基礎(A)	2	選択外国語Ⅰ(1A)(1B)(フランス語)	4			ヨーロッパ都市論	2					
	人文学入門(B)	2	選択外国語Ⅰ(1A)(1B)(フランス語)	4			ヨーロッパの哲学	2					
1年次 春学期	2	グローバル社会環境(E)	2									23	
	2	心理学と社会(F)	2										
	小計	8	小計	5	小計	2	小計	0	小計	0	小計		6
1年次 秋学期	2	データ分析の応用(A)	1				地中海文明論	2				21	
	2	現代社会と法(C)	4			ヨーロッパ文化入門講座	2						
	2	現代社会と経済(C)	4			ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2	2						
2年次 春学期	2	キャリアデザイン演習(F)(実践)	6									24	
	2	選択外国語Ⅰ(1B)(フランス語)	3	人文情報リテラシー	2		中級ゼミナール1	2					
	2	選択外国語Ⅰ(2)(英語)	2	アメリカ文化論1	2								
2年次 秋学期	2	生物学と現代社会(D)	2	デジタル・ヒューマニティーズ	2							18	
	2	選択外国語Ⅰ(2)(英語)	2	日本語ワークショップ[ロジカル・ライティング]	2								
	2	外国語現地実習(フランス語)2	2	小計	8	小計	0	小計	2	小計	0		小計
3年次 春学期	2	小計	2	小計	5	小計	2	小計	2	小計	2	15	
	2	選択外国語Ⅰ(1B)(フランス語)	3	アメリカ文化論2	2		中級ゼミナール2	2					
	2	選択外国語Ⅰ(2)(英語)	2										
3年次 秋学期	2	小計	2	小計	7	小計	2	小計	0	小計	2	13	
	2	広域英語圏文化論1	2										
	2	歴史・記憶・アーカイブ	2										
4年次 春学期	2	GHゼミナール[現代社会と政治思想]	2									4	
	2	小計	0	小計	6	小計	0	小計	0	小計	0		
	2	広域英語圏文化論2	2										
4年次 秋学期	2	GHゼミナール2[身体文化と実践]	2									6	
	2	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0		
	2	都市環境論	2										
4年次 秋学期	2	卒業論文ゼミナール1	2									124	
	2	卒業論文ゼミナール2	2										
	2	卒業論文	4										
小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	計	42
※1	計	18	計	22	※2	計	24	計	6	計	12	計	124

※1 外国語科目の「選択外国語Ⅱ」は8単位まで総合科目の単位として算入できる。ここでは「外国語現地実習(フランス語)2」がそれに該当する。
 ※2 GHプログラム修了のため、人文学入門2単位、GH講義・日本語ワークショップ6単位以上、GHゼミナール4単位以上修得するモデルにしている。

4 ヨーロッパ文化学科 総合科目

1. 目的と特徴

総合科目は幅広い教養と知識、豊かな人間性と良識、柔軟な思考力、判断力、そして創造的な実践力を養うことを目的としています。総合科目の特徴は、全学部および関係するセンターが協力して企画、運営している共通科目（スタンダード科目）であること、全学部の学生が同じ教室で受講することです。総合科目は、価値の多様化、異文化およびダイバーシティ理解、男女共同参画をはじめとする 21 世紀を生きる私たちが直面している状況や取り組むべき課題を具体的に意識して精選されたものです。

なお、それぞれの授業群における独自の目標を、以下のように定めています。

- (A) 情報とコミュニケーション : 情報化社会で学び、生活し、仕事をするための知識と力を養う
- (B) 歴史と文化 : 日本と世界各地の伝統文化や思想、宗教などへの理解を深める
- (C) 現代社会 : 政治、法、経済、社会構造など、多様な視点から現代をとらえる
- (D) 自然と環境 : 地球環境や生物環境の基礎知識を身につけ、自然と人間の共生を考える
- (E) 心と体 : 人間の心と体をトータルにとらえ、健康づくりのスキルと姿勢を身につける
- (F) ライフマネジメントとキャリアデザイン : 大学卒業後の進路に夢を描き、具体化するための力を養う

2. 学年配当

ほとんどの科目は 1 年次から 4 年次までいつでも履修できますが、学年が限定されている科目も一部にありますので、一覧表をよく確認してください。

3. 授業科目の編成、分類、単位数など

総合科目は 6 分野（A～F）からなり、それぞれの授業科目は講義セクションと実践セクションに分かれています。講義セクションには総合的内容の講義（講義科目）が置かれ、実践セクションには演習・実習・実技・実験その他の体験授業（実践科目）が置かれています。講義セクションで得た知識を実践的レベルでも追究したい場合に実践セクションの科目を履修すると効果的です。それぞれの分野は、知と実践（知ることとおこなうこと）の循環・統合を実感できるように構成されています。ただし、総合科目の授業内容は、一部のセット科目を除いてそれぞれ独立していますので、各人の興味と必要に応じて、セクションを気にせずに個々に履修することもできます。単位数については授業の形態や密度、学修時間に応じて 1 単位・2 単位の区別があります。一覧表でよく確認してください。

4. 修得すべき単位数

6 分野（A～F）すべてからセクションを問わず最低 2 単位を修得し（計 12 単位）、さらに分野を問わず 8 単位以上を修得すること。ただし実践セクションの科目を 1 単位以上含めなければなりません（総合科目全体として合計 20 単位以上が卒業に必要な条件です）。なお、後述する外国語科目の選択外国語Ⅱを 8 単位まで「分野を問わない 8 単位」に含めることができます。

【注意】

同一科目（同一名称の科目）を履修した場合、2 度目以降は重複履修として自由科目の扱いになるため、卒業に必要な単位に算入することができません。ただし同一名称でありながら、記号や番号で区別がなされている科目については別科目として扱う場合があります。詳細については教務課に問い合わせてください。

区分	修得すべき単位数	詳細		注意
総合科目	20 単位	(A) 情報とコミュニケーション	2 単位以上	<ul style="list-style-type: none"> 各分野最低 2 単位（合計 12 単位）と分野を問わず 8 単位、合わせて 20 単位を修得すること。 分野を問わず実践セクションの科目を最低 1 単位以上含めること。 「分野を問わない 8 単位」の中に、選択外国語Ⅱを 8 単位まで算入できる。
		(B) 歴史と文化	2 単位以上	
		(C) 現代社会	2 単位以上	
		(D) 自然と環境	2 単位以上	
		(E) 心と体	2 単位以上	
		(F) ライフマネジメントとキャリアデザイン	2 単位以上	

5. 「(E) 心と体」分野のスポーツ実践

総合科目のうち、**スポーツ実践**を履修する際には以下の事項に注意してください。

- ① 成績評価にあたっては、授業への参加度および履修態度（平常点）を主要なものとし、欠席数が多い場合や履修態度が著しく悪い場合は不合格となり、単位の認定がおこなわれません。ただし、特別な事情がある場合は別に考慮することがあるので、その旨を申し出てください。
- ② 健康診断を受けていない場合は、速やかに大学保健室および身体運動科学研究室に申し出て、指示を受けてください。健康診断では、健康状態をはじめ、疾病・異常の有無を確認しています。スポーツ活動、身体活動を通して、健康の維持増進を図るためにも、自身の健康状態を把握しておくことは非常に重要です。
- ③ スポーツ実践は実技です。必ず運動に適した服装で授業を受けてください。
- ④ 実技科目であるため、履修者数を制限します。

6. 実践セクションの特殊な履修手続きについて

実践セクションの授業のうち F 群の「海外フィールド実習」は、通常の履修登録の手続きとは異なり、ガイダンスを実施するなどしたのちに、授業担当者に直接履修登録の申請をおこないます。通常の履修登録期間・履修取消期間外におこなわれるため、履修取消の対象外ですので、注意してください。

総合科目は、下表の通りです。

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	
(A) 情報とコミュニケーション	講義	GEOA02020	情報技術と人間社会	2	1～4	講義	
		GEOA02030	メディアと社会	2	1～4	講義	
		GEOA02040	データ分析の基礎	2	1～4	講義	
		GEOA02050	データ分析の応用	2	1～4	講義	
		GEOA02060	Information Technology and Global Communication	2	1～4	講義	* ※ (1)
	実践	GEOA01010	表現技法とインタラクション	2	1～4	演習	
		GEOA01020	問題解決とコンピューティング	2	1～4	演習	
		GEOA01030	デジタル協働学	2	1～4	演習	
		GEOA01040	データマイニング入門	2	1～4	演習	
		GEOA01050	インターネット・イングリッシュ	2	1～4	演習	
		GEOA01060	クリエイティブ・ライティング	2	1～4	演習	
		GEOA01070	アカデミック・ディベート	2	1～4	演習	
		GEOA01080	クリティカル・シンキング	2	1～2	演習	※ (2)
GEOA01090	Digital Media Training	2	1～4	演習	※ (1)、(3)		
GEOA01100	Accounting and Finance (a)	4	1	演習	※ (4)		
(B) 歴史と文化	講義	GEB02010	グローバル時代の歴史認識	2	1～4	講義	
		GEB02020	20世紀の世界	2	1～4	講義	
		GEB02030	20世紀の日本	2	1～4	講義	
		GEB02040	社会思想の歴史	2	1～4	講義	*
		GEB02050	人文学入門	2	1～4	講義	
		GEB02060	日本と世界の宗教	2	1～4	講義	
		GEB02070	日本の伝統と文化	2	1～4	講義	
		GEB02080	現代の世界と人々	2	1～4	講義	
		GEB02090	多文化共生の現在	2	1～4	講義	
		GEB02100	Japan in the Modern World	2	1～4	講義	* ※ (1)
		GEB02110	Introduction to Race, Ethnicity and Nation	2	1～4	講義	* ※ (1)
	実践	GEB01010	世界の名著	2	1～4	演習	
		GEB01020	日本の名著	2	1～4	演習	
		GEB01030	サイエンスラボ講座 (文理融合)	2	1～4	演習	
		GEB01040	リベラルアーツの名著	2	1～4	演習	
GEB01050	分野横断型アカデミック・リーディング	2	1～4	演習			
(C) 現代社会	講義	GEC02010	日本国憲法	2	1～4	講義	
		GEC02020	現代社会と政治	2	1～4	講義	
		GEC02030	現代社会と法	2	1～4	講義	
		GEC02040	現代社会と経済	2	1～4	講義	*
		GEC02050	現代社会と人権	2	1～4	講義	
		GEC02070	現代社会とジェンダー	2	1～4	講義	*
		GEC02080	現代社会とアート	2	1～4	講義	*
		GEC02090	国際社会における紛争と協調	2	1～4	講義	*
		GEC02100	現代社会とグローバル化	2	1～4	講義	*
		GEC02110	現代日本の課題	2	1～4	講義	
		GEC02140	Introduction to Human Rights	2	1～4	講義	* ※ (1)
		GEC02150	Introduction to Gender and Sexuality Studies	2	1～4	講義	※ (1)
	GEC02160	社会学概論	2	1～4	講義		
	実践	GEC01030	現代アート・ワークショップ	2	1～4	演習	
		GEC01060	Politics (a)	4	1	演習	* ※ (4)
		GEC01070	International Relations (a)	4	1	演習	* ※ (4)
(D) 自然と環境	講義	GED02010	地球の自然史	2	1～4	講義	
		GED02020	環境論	2	1～4	講義	
		GED02030	人間と環境	2	1～4	講義	
		GED02040	数学の世界	2	1～4	講義	
		GED02050	自然と生活のなかの物理	2	1～4	講義	
		GED02060	化学と現代社会	2	1～4	講義	
		GED02070	生物の進化	2	1～4	講義	
		GED02080	生物学と現代社会	2	1～4	講義	
		GED02090	科学と歴史	2	1～4	講義	
		GED02100	先進の科学技術	2	1～4	講義	
		GED02110	Global Environmental Issues	2	1～4	講義	* ※ (1)
		GED02120	Introduction to Human Geography	2	1～4	講義	* ※ (1)
	実践	GED01010	武威・環境フィールドワーク	2	1～4	演習	
		GED01020	サイエンスラボ集中講座 A	2	1～4	演習	
		GED01030	サイエンスラボ集中講座 B	2	1～4	演習	
		GED01050	サイエンスラボ講座 (物理学) A	2	1～4	演習	
		GED01060	サイエンスラボ講座 (物理学) B	2	1～4	演習	
		GED01070	サイエンスラボ講座 (化学) A	2	1～4	演習	
		GED01080	サイエンスラボ講座 (化学) B	2	1～4	演習	
		GED01090	サイエンスラボ講座 (生物学) A	2	1～4	演習	
		GED01100	サイエンスラボ講座 (生物学) B	2	1～4	演習	
GED01040	Mathematics and Statistics (a)	4	1	演習	※ (4)		
GED01110	Pure Mathematics (a)	4	1	演習	* ※ (4)		

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
(E) 心と体	講義	GEE02010	2	1～4	講義	
		GEE02020	2	1～4	講義	
		GEE02030	2	1～4	講義	
		GEE02040	2	1～4	講義	
		GEE02050	2	1～4	講義	
		GEE02060	2	1～4	講義	
		GEE02070	2	1～4	講義	
	GEE02080	2	1～4	講義	※ (1)	
	実践	GEE01010	2	1～4	演習	
		GEE01020	2	1～4	演習	
		GEE06010	1	1～4	実技	
		GEE06020	1	1～4	実技	
		GEE06030	1	1～4	実技	*
		GEE06040	1	1～4	実技	
GEE06050		1	1～4	実技		
GEE06060		1	1～4	実技		
GEE06070		1	1～4	実技	*	
GEE06080		1	1～4	実技		
GEE06090		1	1～4	実技		
GEE06100		1	1～4	実技		
GEE06110		1	1～4	実技		
GEE06120	1	1～4	実技			
GEE06130	1	1～4	実技	*		
GEE06140	1	1～4	実技	*		
(F) キャリアデザイン	講義	GEF02010	2	1～4	講義	
		GEF02020	2	1～4	講義	
		GEF02030	2	1～4	講義	
		GEF22010	2	2～4	講義	
		GEF02040	2	1～4	講義	
		GEF02050	2	1～4	講義	
		GEF02060	2	1～4	講義	※ (1)
	GEF02070	2	1～4	講義		
	実践	GEF21010	2	2～4	演習	
		GEF06010	1	1～4	実習	*
		GEF01040	4	1	演習	※ (4)
		GEF31010	1	3・4	演習	
		GEF36010	1	3・4	実習	
		GEF01050	2	1～4	演習	

注意事項

- ※ (1) 授業で用いられる主要言語は英語です。授業内容をシラバスでよく確認したうえで、履修を決定して下さい。
- ※ (2) 原則として社会学部のグローバル・データサイエンスコース所属者の履修を優先します。
- ※ (3) 原則として国際教養学部グローバルスタディーズ専攻の学生の履修を優先します。
- ※ (4) PDP 科目となります。履修にあたり、IELTS overall5.5 以上 (各項目 5.0 以上) の取得および、ロンドン大学への登録が必要となります。
これらの科目は週 2 回、英語で行われます。

5 ヨーロッパ文化学科 外国語科目

本学科の卒業に必要な外国語科目の単位は以下のとおりです。外国語科目は特に出席が重視され、授業回数の3分の1以上を欠席した場合、単位が与えられません。また、外国語科目を指定された年次で修得できない場合、専門科目の履修に制限を受けたり、卒業論文履修資格を得ることができなかつたりと、卒業に支障をきたすこともあるので注意してください。

1. 必修外国語と選択外国語 I

「学科基本クラス」と「英語強化クラス」があります。「英語強化クラス」は希望者多数の場合に選考があり、選考に漏れた場合には「学科基本クラス」所属となります。「英語強化クラス」への所属を希望しない場合も「学科基本クラス」所属です。

◇ 外国語修得必要単位数 (①学科基本クラス/②英語強化クラス共通)

必修外国語 (英語)	2 単位	20 単位
選択外国語 I (1A) (ドイツ語、フランス語から 1 言語)	4 単位	
選択外国語 I (1B) (ドイツ語、フランス語、英語から 1 言語)	10 単位	
選択外国語 I (2) (ドイツ語、フランス語、英語、イタリア語から 1 言語)	4 単位	

= クラス編成表 =

① 学科基本クラス

- ① 1 年次では、必修外国語 2 授業 2 単位、選択外国語 I (1A) 4 授業 4 単位、選択外国語 I (1B) 4 授業 4 単位を履修します。必修外国語の英語 I は、人文学部・経済学部・社会学部合同の到達度別クラスです。選択外国語 I (1A) と選択外国語 I (1B) は、入学前に選択したドイツ語かフランス語です。
- ② 2 年次では、選択外国語 I (1B) 6 授業 6 単位、選択外国語 I (2) 4 授業 4 単位を履修します。選択外国語 I (2) は、選択外国語 I (1A) (1B) とは異なる言語を選択して履修します。

1 年次

区分	授業名	内容	授業数	単位数	クラス名	授業名	内容	授業数	単位数	クラス名
必修外国語	英語 I	総合	2	2						
選択外国語 I (1A)	ドイツ語 I	会話	2	2	Y1G-a, b, c	フランス語 I	会話	2	2	Y1F-a, b, c, d
		単語・読本	2	2	Y1G-1, 2, 3		単語・読本	2	2	Y1F-1, 2, 3
選択外国語 I (1B)	ドイツ語 I	文法	4	4	Y1G-1, 2, 3	フランス語 I	文法	4	4	Y1F-1, 2, 3

2 年次

区分	授業名	内容	授業数	単位数	クラス名	授業名	内容	授業数	単位数	クラス名
選択外国語 I (1B)	ドイツ語 II	会話	2	2	Y2G-a, b, c	フランス語 II	会話	2	2	Y2F-a, b, c, d
		講読	2	2	Y2G-a, b, c		講読	2	2	Y2F-e, f, g
		文法	2	2	Y2G-1, 2, 3		文法	2	2	Y2F-1, 2, 3
選択外国語 I (2)	英語 II [選択]	総合・講読	4	4	Y2A-1, 2	英語 II [選択]	総合・講読	4	4	Y2A-1, 2
	フランス語 [選択]	文法・会話	4	4	Y2C	ドイツ語 [選択]	文法・会話	4	4	Y2B
	イタリア語 [選択]	文法・読解	4	4	Y2D-1, 2	イタリア語 [選択]	文法・読解	4	4	Y2D-1, 2

② 英語強化クラス

- ① 1 年次では、必修外国語 2 授業 2 単位、選択外国語 I (1A) 4 授業 4 単位、選択外国語 I (1B) 4 授業 4 単位を履修します。必修外国語と選択外国語 I (1B) の英語 (強化) I は、日本・東アジア文化学科との合同クラスです。選択外国語 I (1A) は、入学前に選択したドイツ語かフランス語です。
- ② 2 年次では、選択外国語 I (1B) 6 授業 6 単位、選択外国語 I (2) 4 授業 4 単位を履修します。選択外国語 I (2) は、選択外国語 I (1A) と同じ言語です。

1年次

区分	授業名	内容	授業数	単位数	クラス名	授業名	内容	授業数	単位数	クラス名
必修外国語	英語Ⅰ [強化]	Workshop	2	2	Y1Ae					
選択外国語Ⅰ (1A)	ドイツ語Ⅰ [選択]	文法・会話	4	4	Y1Be	フランス語Ⅰ [選択]	文法・会話	4	4	Y1Ce
選択外国語Ⅰ (1B)	英語Ⅰ [強化]	R&W, L&S	4	4	Y1Ae					

2年次

区分	授業名	内容	授業数	単位数	クラス名	授業名	内容	授業数	単位数	クラス名
選択外国語Ⅰ (1B)	英語Ⅱ [強化]	Workshop	2	2	Y2Ae					
		R&W	2	2	Y2Ae					
		L&S	2	2	Y2Ae					
選択外国語Ⅰ (2)	ドイツ語Ⅱ [選択]	文法・会話	4	4	Y2Be	フランス語Ⅱ [選択]	文法・会話	4	4	Y2Ce

外国語科目の履修にあたっては以下の注意をよく読んでください

- ① 必修外国語と選択外国語Ⅰは、必ず自分の配属されているクラスで履修してください。
- ② 必修外国語と選択外国語Ⅰは、必要な単位を超えて履修することはできません。
- ③ 外国語の授業は出席が特に重視されるので注意してください。
- ④ 高等学校等ですでにドイツ語、フランス語を履修した者については、本人の希望に基づき審査を経て、選択外国語の単位を当該言語に関わる他の関連科目等で読み替えることを認めます。1年次生の希望者は選択外国語希望届提出時に申し出て指示を受けてください。2年次生に関しては、該当者に教員から指示します。
- ⑤ 学科基本クラスの2年次に履修する選択外国語Ⅰ (2) は、以下の日程に従い手続きをしてください。

手続時期	手続内容	連絡等
1年次 6月中旬	履修希望届提出	希望届の提出に関する詳細は、別途3Sにて指示する
2年次 4月	所属発表	3Sにて

◆ 2年次外国語履修条件

1年次終了の段階で以下の条件を満たしていない場合は、2年次外国語を履修することができず、翌年度に再び1年次クラスで未修得分の授業を履修しなければなりません。その際、履修すべき授業は翌年度初めに指定します。

① 学科基本クラス

選択外国語Ⅰ (1B) の2年次科目については、1年次選択外国語Ⅰ (1A) (1B) 8授業 (8単位) のうち、5授業 (5単位) 以上を修得していること (選択外国語Ⅰ (2) 4授業 (4単位) については、上記を満たしていなくても2年次に履修できることとする)。

② 英語強化クラス

選択外国語Ⅰ (2) については、1年次選択外国語Ⅰ (1A) 4授業 (4単位) のうち1単位以上修得していること。選択外国語Ⅰ (1B) の2年次科目については、英語科目 (必修及び選択外国語Ⅰ (1B) 1年次科目) 6授業 (6単位) のうち1単位以上修得していること。ただし、修得単位が1～2単位の場合、選択外国語Ⅰ (1B) 2年次科目のうち履修できるのは4単位までとする (この場合、残りの2年次配当授業 (2単位) は3年次に履修する)。

2. 選択外国語Ⅱ

- ① 以下の表に示されているのは「選択外国語Ⅱ」と呼ばれる科目群です。
- ② 卒業のために単位修得が必要とされる科目ではありませんが、最大8単位まで総合科目の履修単位として、卒業必要単位に算入することができます。ただし、学科基本クラスの学生は、選択外国語Ⅰと同一言語の科目（外国語現地実習を除く）を履修することができません。
- ③ 「外国語現地実習（ドイツ語）」・「外国語現地実習（フランス語）」は、ドイツ語・フランス語の学習にとって重要ですので、積極的に履修してください。
- ④ 日本語科目は主として外国人留学生のために開講されています。日本語を母語とする学生で履修を希望する者は教務課に問い合わせてください。外国語科目として日本語を履修できるのは、協定留学生や外国人学生特別入学試験によって入学した学生、外国語の高校を卒業した学生などに限定されています。詳細は「【3学科共通】3 留学・国際交流関連科目」のEAS科目一覧の注（158頁）を参照してください。

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LEN26011	プラクティカル・イングリッシュ 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26012	プラクティカル・イングリッシュ 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26021	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26022	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26031	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ 1	1	1～4	実習 (外国語)	*
LEN26032	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ 2	1	1～4	実習 (外国語)	*
LEN26041	ディスカッション・ディベート英語 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26042	ディスカッション・ディベート英語 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26051	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 1	1	1～4	実習 (外国語)	*
LEN26052	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 2	1	1～4	実習 (外国語)	*
LEN26061	ビジネス・コミュニケーション英語 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26062	ビジネス・コミュニケーション英語 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26071	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26072	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26081	TOEIC 対策英語 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26082	TOEIC 対策英語 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LGE16031	ドイツ語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LGE16032	ドイツ語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LGE26021	ドイツ語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LGE26022	ドイツ語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LGE26031	ドイツ語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LGE26032	ドイツ語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LF16031	フランス語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LF16032	フランス語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LF26021	フランス語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LF26022	フランス語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LF26031	フランス語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LF26032	フランス語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LIA16031	イタリア語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LIA16032	イタリア語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LIA26011	イタリア語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LIA26012	イタリア語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LIA26021	イタリア語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LIA26022	イタリア語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LRU16011	ロシア語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LRU16012	ロシア語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LRU26011	ロシア語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LRU26012	ロシア語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LRU26021	ロシア語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LRU26022	ロシア語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LSP16031	スペイン語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LSP16032	スペイン語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LSP26021	スペイン語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LSP26022	スペイン語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LSP26031	スペイン語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LSP26032	スペイン語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LCH16031	中国語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LCH16032	中国語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LCH26021	中国語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LCH26022	中国語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LCH26031	中国語コミュニケーション1	1	2～4	実習(外国語)	*
LCH26032	中国語コミュニケーション2	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO16031	韓国・朝鮮語入門1	1	1～4	実習(外国語)	
LKO16032	韓国・朝鮮語入門2	1	1～4	実習(外国語)	
LKO26021	韓国・朝鮮語中級1	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO26022	韓国・朝鮮語中級2	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO26031	韓国・朝鮮語コミュニケーション1	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO26032	韓国・朝鮮語コミュニケーション2	1	2～4	実習(外国語)	*
LEN06010	外国語現地実習(英語)1	2	1～4	実習	
LEN06020	外国語現地実習(英語)2	2	1～4	実習	
LGE06010	外国語現地実習(ドイツ語)1	2	1～4	実習	
LGE06020	外国語現地実習(ドイツ語)2	2	1～4	実習	
LF06010	外国語現地実習(フランス語)1	2	1～4	実習	
LF06020	外国語現地実習(フランス語)2	2	1～4	実習	
LCH06010	外国語現地実習(中国語)1	2	1～4	実習	
LCH06020	外国語現地実習(中国語)2	2	1～4	実習	
LKO06010	外国語現地実習(韓国・朝鮮語)1	2	1～4	実習	
LKO06020	外国語現地実習(韓国・朝鮮語)2	2	1～4	実習	
LJA16020	日本語(コンプリートビギナー)	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA16040	日本語(入門)	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA26010	日本語(初級)	1	1～4	実習(外国語)	
LJA26030	日本語(初中級)	1	1～4	実習(外国語)	
LJA36010	日本語(中級)	1	1～4	実習(外国語)	
LJA46010	日本語(上級)	1	1～4	実習(外国語)	

※ 各国語の入門1・2(「〇〇語入門1」「〇〇語入門2」)以外の科目は、履修に先だって、当該外国語の初級文法の学習を終えていることが条件となります。初級文法授業とは、各学部学科の当該外国語の1年次配当授業のうち初級文法の内容を含むもの、全学共通の入門授業、もしくは高等学校や大学等で入学前に受けた授業(初級文法を含むと判断できるもの)です。1年次生や編転入学者など、入学1年目の学生については、入学前に初級文法授業を受けたことがある場合にのみ、申請によって履修登録をおこなうことができます。

3. 外国語学習の手引き

(1) 英語について

大学で学ぶ英語は、入学時まで学習してきた内容を確かなものとするという側面と、それをふまえてより発展的な学習をおこなうという二つの性格をあわせ持っています。様々な学習・研究のなかで英語文献や資料を読む必要が出てくる場合に備えて、的確に英文の内容をつかむことができるだけの英語力を身につけておかなければなりません。それと同時に、異文化コミュニケーションの現場で必要とされる英語を聞く力・話す力の養成も重視するという観点から、実践的な英語力をつけるための学習にも力をいれるようにしてください。

まず、入学時に英語クラス分け試験を受験し、その結果に基づいて配属された到達度別クラスで授業を受けます。英語強化クラスの選考も原則として同じ試験の結果に基づきます。

① 学科基本クラスの学生は、1年次に必修外国語の英語Iとして「総合英語」を受講します。入学時に受験する英語クラス分け試験の成績に基づいたクラスに配属され、履修者の英語力の現状に応じた英語授業を受けることになります。また2年次に選択外国語I(2)として英語を選択する人には、英語IIの4授業が用意されており、総合英語の授業と、中級レベルの講読の授業で英語学習を継続します。

② 英語強化クラスの学生は、1年次に必修外国語および選択外国語I(1B)として、Reading&Writing、Listening&Speaking、Workshopなど、基本的な英語力を高めるための6授業を受講します。2年次には選択外国語I(1B)として、1年次の内容をさらに発展させた6授業を受講して、より高度な英語運用能力の獲得を目指します。いずれも、日本・東アジア文化学科との合同クラスです。

◇ 選択外国語IIとしての英語

必修科目、または学科指定の選択科目としての英語の他に、選択外国語IIとして、「プラクティカル・イングリッシュ1」「プラクティカル・イングリッシュ2」、「イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング1」「イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング2」「イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ1」「イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ2」「ディスカッション・ディベート英語1」「ディスカッション・ディベート英語2」「クリ

エイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 1」「クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 2」「ビジネス・コミュニケーション英語 1」「ビジネス・コミュニケーション英語 2」「イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 1」「イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 2」「TOEIC 対策英語 1」「TOEIC 対策英語 2」「外国語現地実習（英語） 1」「外国語現地実習（英語） 2」を履修することができます。8 単位までは卒業単位の総合科目 20 単位の中に含めることができます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座科目」の英語

「グローバル・コミュニケーション 1」「グローバル・コミュニケーション 2」、「留学のための英語講座 A1」「留学のための英語講座 A2」「留学のための英語講座 B1」「留学のための英語講座 B2」など留学を希望する学生、あるいはより高い英語学習を求める学生のためのクラスが設けられています（A1・A2 が TOEFL 対策、B1・B2 が IELTS 対策のクラスです）。

(2) ドイツ語について

ドイツ語は、ほとんどの学生にとってはじめて出会う外国語ですから、基礎から学びます。ヨーロッパ文化学科では、専門の勉強につながる高度な語学力の修得を目指します。

① 学科基本クラスの学生は、1 年次に選択外国語 I（1A）として会話と単語・読本を各 2 授業、選択外国語 I（1B）として文法を 4 授業履修します。計 8 授業です。2 年次には選択外国語 I（1B）として会話、講読、文法を各 2 授業、計 6 授業を履修します。いずれも、会話は原則としてドイツ語を母語とする教員による授業です。

また選択外国語 I（2）として 2 年次にドイツ語を履修する場合は、文法 2 授業、会話 2 授業の計 4 授業を履修します。日本・東アジア文化学科との合同クラスです。

② 英語強化クラスの学生は、1 年次に選択外国語 I（1A）として文法 2 授業、会話 2 授業の計 4 授業を履修します。2 年次にも選択外国語 I（2）として文法 2 授業、会話 2 授業の計 4 授業を履修します。いずれも、日本・東アジア文化学科との合同クラスです。

◇ 選択外国語 II のドイツ語

「ドイツ語入門 1」「ドイツ語入門 2」:

はじめてドイツ語を学ぶ人のための初級文法の授業です。選択外国語 I（1A）（1B）としてフランス語を履修している学科基本クラスの学生や英語強化クラスの学生が、第 3 ないし第 4 の外国語としてドイツ語を学べるようになっています。

「ドイツ語中級 1」「ドイツ語中級 2」:

上記の「ドイツ語入門 1」「ドイツ語入門 2」ないし選択外国語 I（2）のドイツ語授業を履修した人のための授業です。

「ドイツ語コミュニケーション 1」「ドイツ語コミュニケーション 2」:

上記の「ドイツ語入門 1」「ドイツ語入門 2」ないし選択外国語 I（2）のドイツ語授業を履修した人のための授業です。

「外国語現地実習（ドイツ語） 1」「外国語現地実習（ドイツ語） 2」:

選択外国語 I または II としてドイツ語を履修した人にお勧めします。「外国語現地実習（ドイツ語） 1」は春季に、「外国語現地実習（ドイツ語） 2」は夏季にドイツで実施されます。

(注意) 選択外国語 I（1A）（1B）としてドイツ語を履修している学科基本クラスの学生は、「外国語現地実習（ドイツ語） 1」「外国語現地実習（ドイツ語） 2」のみ履修できます。それ以外の上記科目は履修できません。

◇ ドイツ語による授業

「ドイツ語論述実習 1」「ドイツ語論述実習 2」、「ドイツ語圏の社会と文化 1」「ドイツ語圏の社会と文化 2」は、ドイツに長期留学したい人や高度なドイツ語の運用能力を身につけたい人のための授業です。授業はドイツ語でおこないます。

(3) フランス語について

フランス語は、ほとんどの学生にとってはじめて出会う外国語ですから、基礎から学びます。ヨーロッパ文化学科では、専門の勉強につながる高度な語学力の修得を目指します。

① 学科基本クラスの学生は、1 年次に選択外国語 I（1A）として会話と単語・読本を各 2 授業、選択外国語 I（1B）として文法を 4 授業履修します。計 8 授業です。2 年次には選択外国語 I（1B）として会話、講読、文法を各 2 授業、

計6授業を履修します。いずれも、会話は原則としてフランス語を母語とする教員による授業です。

また選択外国語Ⅰ(2)として2年次にフランス語を履修する場合は、文法2授業、会話2授業の計4授業を履修します。日本・東アジア文化学科との合同クラスです。

②英語強化クラスの学生は、1年次に選択外国語Ⅰ(1A)として文法2授業、会話2授業の計4授業を履修します。2年次にも選択外国語Ⅰ(2)として文法2授業、会話2授業の計4授業を履修します。いずれも、日本・東アジア文化学科との合同クラスです。

◇ 選択外国語Ⅱのフランス語

「フランス語入門1」「フランス語入門2」:

はじめてフランス語を学ぶ人のための初級文法の授業です。選択外国語Ⅰ(1A)(1B)としてドイツ語を履修している学科基本クラスの学生や英語強化クラスの学生が、第3ないし第4の外国語として学べるようになっています。

「フランス語中級1」「フランス語中級2」:

上記の「フランス語入門1」「フランス語入門2」ないし選択外国語Ⅰ(2)のフランス語授業を履修した人のための授業です。

「フランス語コミュニケーション1」「フランス語コミュニケーション2」:

上記の「フランス語入門1」「フランス語入門2」ないし選択外国語Ⅰ(2)のフランス語授業を履修した人のための授業です。

「外国語現地実習(フランス語)1」「外国語現地実習(フランス語)2」:

選択外国語ⅠまたはⅡとしてフランス語を履修した人にお勧めします。「外国語現地実習(フランス語)1」は春季に、「外国語現地実習(フランス語)2」は夏季にフランスで実施されます。

(注意) 選択外国語Ⅰ(1A)(1B)としてフランス語を履修している学科基本クラスの学生は、「外国語現地実習(フランス語)1」「外国語現地実習(フランス語)2」のみ履修できます。それ以外の上記科目は履修できません。

◇ フランス語による授業

「フランス語論述実習1」「フランス語論述実習2」、「フランスの歴史と社会1」「フランスの歴史と社会2」は、フランスに長期留学したい人、また高度なフランス語の運用能力を身につけたい人のための授業です。授業はフランス語でおこないます。

(4) 中国語について

ヨーロッパ文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱの中国語です。

◇ 選択外国語Ⅱの中国語

「中国語入門1」「中国語入門2」:

はじめて中国語を学ぶ人のための初級クラス。

「中国語中級1」「中国語中級2」:

入門を終えた人が履修する中級レベルの授業。

「中国語コミュニケーション1」「中国語コミュニケーション2」:

入門を終えた人が履修する会話の授業。

「外国語現地実習(中国語)1」「外国語現地実習(中国語)2」:

選択外国語Ⅱとして中国語を履修した人にお勧めします。武蔵大学の中国語のカリキュラムで1年間学習した学生ならば、これに参加できる能力が充分についているでしょう。「外国語現地実習(中国語)1」「外国語現地実習(中国語)2」は、春季および夏季に中国または台湾で、集中的に実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座」の中国語

「中国の社会と文化1」「中国の社会と文化2」「中国語論述実習1」「中国語論述実習2」:

中国語圏に長期留学したい人や高度な中国語能力を身につけたい人のための授業です。授業は中国語でおこないます。

(5) 韓国・朝鮮語について

ヨーロッパ文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱの韓国・朝鮮語です。

◇ 選択外国語Ⅱの韓国・朝鮮語

「韓国・朝鮮語入門1」「韓国・朝鮮語入門2」「韓国・朝鮮語中級1」「韓国・朝鮮語中級2」「韓国・朝鮮語コミュニケーション1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション2」は、第3の外国語として韓国・朝鮮語も学習したいという学生のために開設されている、それぞれ週1回の授業です。「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」は、春季および夏季に韓国でおこなわれる短期留学です。

「韓国・朝鮮語入門1」「韓国・朝鮮語入門2」:

はじめて韓国・朝鮮語を学ぶ人のための初級クラス。

「韓国・朝鮮語中級1」「韓国・朝鮮語中級2」:

入門を終えた人が履修する中級レベルの授業。

「韓国・朝鮮語コミュニケーション1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション2」:

入門を終えた人が履修する会話の授業。

「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」:

選択外国語Ⅱとして韓国・朝鮮語を履修した人にお勧めします。武蔵大学の韓国・朝鮮語のカリキュラムで1年間学習した学生ならば、これに参加できる能力が充分についているでしょう。「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」は春季に、「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」は夏季に集中的に韓国で実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座」の韓国・朝鮮語

「韓国・朝鮮の社会と文化1」「韓国・朝鮮の社会と文化2」「韓国・朝鮮語論述実習1」「韓国・朝鮮語論述実習2」:

韓国に長期留学したい人や高度な韓国語能力を身につけたい人のための授業です。授業は韓国語でおこないます。

(6) イタリア語について

イタリア語は、英語、ドイツ語、フランス語とならんでヨーロッパ文化学科の選択外国語Ⅰ(2)の1つとして履修できます。教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力の習得を目標としています。選択外国語Ⅱのイタリア語も履修できます。

選択外国語Ⅰ(2)としては、2年次に4授業(4単位)あります。内容は文法2授業、初級の読解2授業です。文法の時間には初級文法の教科書を用い、アルファベット、単語の発音から始めて、1年間で文法の基礎知識を身につけます。読解の時間は、文法事項の確認と平易な例文・短い読み物からなる教科書を用い、読解の基礎を身につけます。

◇ 選択外国語Ⅱのイタリア語

「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」:

はじめてイタリア語を学ぶ人のための初級文法の授業です。選択外国語Ⅰ(2)としてイタリア語を履修しない学生が、第3ないし第4の外国語として学べるようになっていきます。

「イタリア語中級1」「イタリア語中級2」:

上記の「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」ないし選択外国語Ⅰ(2)のイタリア語の初級文法授業を履修し終えた人のための授業です。

「イタリア語コミュニケーション1」「イタリア語コミュニケーション2」:

上記の「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」ないし選択外国語Ⅰ(2)のイタリア語の初級文法授業を履修し終えた人のための授業です。

(7) スペイン語について

ヨーロッパ文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱのスペイン語です。教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力を身につけることを目標としています。

◇ 選択外国語Ⅱのスペイン語

「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」:

はじめてスペイン語を学ぶ人のための初級文法の授業です。第3ないし第4の外国語としてスペイン語を学べるようになっています。

「スペイン語中級1」「スペイン語中級2」:

上記の「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」を履修した人のための授業です。

スペイン語コミュニケーション1」「スペイン語コミュニケーション2」:

上記の「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」を履修した人のための授業です。

(8) ロシア語について

ロシア語は選択外国語Ⅱの1つで、第3ないし第4の外国語として学ぶことができます。教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力を身につけることを目標としています。

「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」:

はじめてロシア語を学ぶ人のための初級文法の授業です。

「ロシア語中級1」「ロシア語中級2」:

上記の「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」の単位を修得した人のための授業です。

「ロシア語コミュニケーション1」「ロシア語コミュニケーション2」:

上記の「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」の単位を修得した人のための授業です。

(9) グローバル教育センターによる外国語学習プログラム他

グローバル教育センターでは、以下のような様々な異文化体験や外国語学習の機会を用意しています。正課の授業で基礎力を確保し、さらにそれを発展させるような機会を積極的に利用して、実力をアップさせていくことが望まれます。

(1) 武蔵大学外国語学習褒賞制度

対象の言語は、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語（日本語教育能力検定試験）等です。それぞれの基準や条件については、3Sや武蔵大学ウェブサイトでご確認ください。

(2) Musashi Communication Village (MCV) 1号館3階

MCVは、武蔵大学にある参加体験型学習スペースで、英会話や異文化イベント等の参加を通じて他者と「コミュニケーション」することで主に語学力を上げたり、異文化を体験・理解することを目的とした施設です。MCV内には、語学やコミュニケーションが堪能な学生スタッフや、多様な国のスタッフが常駐し、利用者の語学学習や異文化体験のために手厚くサポートしてくれます。本施設は学部学年問わず、武蔵大学生に無料で開放しており、基本的に予約も必要ないので気軽に利用できます。「留学」や「国際交流」、「語学学習」に興味がある方はもちろん、学生生活を通じてあらゆる人と繋がりたい、日本とは異なる文化、芸術、言語を知りたいという方にもぜひ来てもらいたいおすすめのエリアです。

● フリートーク（予約不要）

様々な国出身のフロアスタッフや学生スタッフと授業の空き時間に気軽に英会話を楽しむことができます。

● イベント（予約不要）

MCVでは、世界の文化や言語を学べるイベントを開催し、様々な形で留学生と交流することで異文化を体験できます。ぜひ、学内にいながら、海外の文化について学び、肌で体感し、自分の視野を広げてみませんか。

● 英語学習サポート（予約制）

1コマ45分制でネイティブスピーカーの講師があなたの英語学習のお手伝いをします。「語学試験のスコアをもっと上げたい」、「SpeakingやWritingのコツが知りたい」など一人一人の希望に合った学習方法や目標達成のためのアドバイスを受けられます。予約は3Sから行えます。

(3) 日本語チューター制度

日本語チューターが留学生の日本語学習や日本文化の体験をお手伝いします。

【注意】

MCVでおこなわれるプログラムは年度ごとに変ります。また、状況に応じて一部内容の変更等生じる可能性があります。プログラムの詳細やスケジュールについてはグローバル教育センターに確認してください。

4. 外国語現地実習

「外国語現地実習」は海外でおこなう語学の集中授業です。イギリス、オーストラリア、フィリピン、ドイツ、フランス、中国、台湾、韓国において、集中授業として実施します。実施時期が春季と夏季の2種類あり、春季集中授業は次年度の春学期科目、夏季集中授業は実施年度の秋学期科目となります。授業内容についてはシラバスを参照してください。

外国語現地実習の授業科目には、「外国語現地実習（英語）」、「外国語現地実習（ドイツ語）」、「外国語現地実習（フランス語）」、「外国語現地実習（中国語）」、「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）」があります。国際情勢によっては一部変更や中止となる可能性があります。

（1）外国語現地実習の履修条件

これらの科目を履修するには、グローバル教育センターの定めた規則に従い、参加の手続をグローバル教育センターでとるとともに、履修の詳細、スケジュールに注意して履修登録をしなければなりません。規則を守らない場合、履修登録が完了せず、すでに登録していても無効となるので、十分注意してください。

（2）外国語現地実習の履修の詳細

下記（5）外国語現地実習のスケジュール（予定）を参照してください。各科目は履修取消し制度および履修登録科目制限の対象外とします。なお、履修期に休学、退学をすると、単位認定はおこなわれません。

（3）外国語現地実習の成績評価

成績評価は「P」を合格とし、単位は2単位です。帰国後に提出するレポートと現地での学習成果に基づいて評価します。

（4）外国語現地実習のガイダンス

履修を希望する場合はグローバル教育センターのガイダンスに出席してください。

(5) 外国語現地実習のスケジュール (予定)

① 夏季集中授業スケジュール

- 4月 グローバル教育センターによる募集ガイダンス
- 5～7月 参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス、事前学習
- 8～9月 現地実習
レポート提出
- 9月 履修登録確認
(履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自、登録内容を確認してください。)
- 翌3月上旬 成績確認

② 春季集中授業スケジュール

単位認定を希望する4年次生の春季現地実習への参加は認められないので、注意してください。

- 10月 グローバル教育センターによる募集ガイダンス
- 11～1月 参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス、事前学習
- 2～3月 現地実習
- 4月 履修登録確認
(履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自登録内容を確認してください。)
レポート提出
- 9月 成績確認

6 ヨーロッパ文化学科 専門科目 (共通専門科目)

人文学部では、所属学科の専門分野にとどまらず、幅広く深い知識を修得できるよう、人文学部他学科の専攻専門科目、グローバル・ヒューマニティーズやグローバル・チャレンジなどの3学科共通科目、学部横断型のプロジェクト科目、他学部の専門科目(全学対象専門科目)、留学・国際交流関連科目、教職課程関連科目、学芸員課程関連科目などを共通専門科目に指定し、定められた数の単位修得を求めています。科目によっては特別な履修条件が定められているので、記されている注意事項をよく読んでください。

なお、「GHゼミナール」「日本語ワークショップ」「GCドイツ語」「GCフランス語」「GC英語」「GC中国語」「GC韓国・朝鮮語」については、同じ科目を重複して履修することができます。この場合、2度目以降に修得した単位も、卒業に必要な単位に含めることができます。ただし、「GHゼミナール」を除く各科目の合計修得単位数には所定の制限があります。詳細は各科目の備考欄を参照してください。

卒業に必要な共通専門科目単位	
ヨーロッパ文化学科	24単位

◆ 学部共通科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
H u m a n i t i e s	LIT02000	世界の中の日本文学	2	1～4	講義	*
	JPS02000	日本の表象文化	2	1～4	講義	*
	ISC02000	デジタル・ヒューマニティーズ	2	1～4	講義	*
	GLS02000	世界の言語と社会	2	1～4	講義	*
	GSS02000	ジェンダー研究入門	2	1～4	講義	*
	ART02000	身体と芸術	2	1～4	講義	*
	HST02000	歴史・記憶・アーカイブ	2	1～4	講義	*
	CST02000	人文批評入門	2	1～4	講義	*

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
Global Humanities	GLS21000	GHゼミナール1 [国際日本学]	2	2~4	演習	* 左記は同一科目として扱う
	GLS21020	GHゼミナール1 [人文フィールドワーク]	2	2~4	演習	
	GLS21040	GHゼミナール1 [身体文化と実践]	2	2~4	演習	
	GLS21060	GHゼミナール1 [アート&テキスト]	2	2~4	演習	
	GLS21080	GHゼミナール1 [現代社会と政治思想]	2	2~4	演習	
	GLS21010	GHゼミナール2 [国際日本学]	2	2~4	演習	
	GLS21030	GHゼミナール2 [人文フィールドワーク]	2	2~4	演習	* 左記は同一科目として扱う
	GLS21050	GHゼミナール2 [身体文化と実践]	2	2~4	演習	
	GLS21070	GHゼミナール2 [アート&テキスト]	2	2~4	演習	
	GLS21090	GHゼミナール2 [現代社会と政治思想]	2	2~4	演習	* 左記は同一科目として扱う 日本語ワークショップは、 合計8単位まで算入可
	JPS01000	日本語ワークショップ [文章表現論]	2	1~4	演習	
	JPS01010	日本語ワークショップ [クリティカル・ディベート]	2	1~4	演習	
	JPS01020	日本語ワークショップ [ロジカル・ライティング]	2	1~4	演習	
JPS01030	日本語ワークショップ [文芸批評]	2	1~4	演習		
異文化交流 比較文化と	BAS12010	観光文化論 (英米) 1	2	2~4	講義	*
	BAS12020	観光文化論 (英米) 2	2	2~4	講義	*
	IAS02610	イスラーム文化論 1	2	2~4	講義	
	IAS02620	イスラーム文化論 2	2	2~4	講義	
	IAS21610	イスラーム文化演習 1	2	2~4	演習	
	IAS21620	イスラーム文化演習 2	2	2~4	演習	
	HST02710	東アジアの美術工芸史 1	2	2~4	講義	*
	HST02720	東アジアの美術工芸史 2	2	2~4	講義	*
	ARE02610	比較文化論 1	2	2~4	講義	*
	ARE02620	比較文化論 2	2	2~4	講義	*
OTH02040	芸術の科学	2	1~4	講義		
(言語・文学) 欧米の文化	LNG12030	英語学概論 1	2	2~4	講義	
	LNG12040	英語学概論 2	2	2~4	講義	
	LED12010	英語教育学 1	2	2~4	講義	
	LED12020	英語教育学 2	2	2~4	講義	
	LNG12010	異文化コミュニケーション論 1	2	2~4	講義	*
	LNG12020	異文化コミュニケーション論 2	2	2~4	講義	*
	LIT12030	イギリスの文学 1	2	2~4	講義	*
	LIT12040	イギリスの文学 2	2	2~4	講義	*
	LIT12010	アメリカの文学 1	2	2~4	講義	
	LIT12020	アメリカの文学 2	2	2~4	講義	
	LIT12050	英語圏文学入門 1	2	2~4	講義	*
LIT12060	英語圏文学入門 2	2	2~4	講義	*	
(芸術・思想・宗教) 欧米の文化	ART12010	英米の芸術 1	2	2~4	講義	*
	ART12020	英米の芸術 2	2	2~4	講義	*
	PHI12010	英米の思想 1	2	2~4	講義	*
	PHI12020	英米の思想 2	2	2~4	講義	*
	REL12010	英語圏の宗教と文化 1	2	2~4	講義	*
	REL12020	英語圏の宗教と文化 2	2	2~4	講義	*
欧米の歴史と現在	HST12030	イギリス史 1	2	2~4	講義	*
	HST12040	イギリス史 2	2	2~4	講義	*
	HST12010	アメリカ史 1	2	2~4	講義	*
	HST12020	アメリカ史 2	2	2~4	講義	*
	BRS12010	イギリス文化論 1	2	2~4	講義	*
	BRS12020	イギリス文化論 2	2	2~4	講義	*
	AMS12010	アメリカ文化論 1	2	2~4	講義	*
	AMS12020	アメリカ文化論 2	2	2~4	講義	*
	HST22030	英米の歴史と社会 1	2	2~4	講義	*
	HST22040	英米の歴史と社会 2	2	2~4	講義	*
	BAS12030	広域英語圏文化論 1	2	2~4	講義	*
	BAS12040	広域英語圏文化論 2	2	2~4	講義	*
東アジアの文化と社会	LIT02710	中国文学史 1	2	2~4	講義	*
	LIT02720	中国文学史 2	2	2~4	講義	*
	PHI02650	中国思想史 1	2	2~4	講義	*
	PHI02660	中国思想史 2	2	2~4	講義	*
	CHS02610	現代中国論 1	2	2~4	講義	
	CHS02620	現代中国論 2	2	2~4	講義	
	KOS02710	現代韓国論 1	2	2~4	講義	
	KOS02720	現代韓国論 2	2	2~4	講義	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
文化と社会 東アジアの	KOS02730	朝鮮文化論 1	2	2～4	講義	*
	KOS02740	朝鮮文化論 2	2	2～4	講義	*
	LIT02730	朝鮮文学史 1	2	2～4	講義	*
	LIT02740	朝鮮文学史 2	2	2～4	講義	*
日本の歴史と文化	LNG02610	日本の言語文化 1	2	2～4	講義	
	LNG02620	日本の言語文化 2	2	2～4	講義	
	LIT02610	日本古典文学史 1	2	2～4	講義	
	LIT02620	日本古典文学史 2	2	2～4	講義	
	LIT02630	日本近現代文学史 1	2	2～4	講義	
	LIT02640	日本近現代文学史 2	2	2～4	講義	
	HST02690	日本芸能史 1	2	2～4	講義	*
	HST02700	日本芸能史 2	2	2～4	講義	*
	JPS02610	日本文化論 1	2	2～4	講義	
	JPS02620	日本文化論 2	2	2～4	講義	
	HST02670	日本美術工芸史 1	2	2～4	講義	
	HST02680	日本美術工芸史 2	2	2～4	講義	
	HST02630	日本建築史 1	2	2～4	講義	
	HST02640	日本建築史 2	2	2～4	講義	
	FOL02630	民俗宗教論 1	2	2～4	講義	*
	FOL02640	民俗宗教論 2	2	2～4	講義	*
	FOL02610	日本民俗史 1	2	2～4	講義	
	FOL02620	日本民俗史 2	2	2～4	講義	
	HST02610	日本服飾文化史 1	2	2～4	講義	
	HST02620	日本服飾文化史 2	2	2～4	講義	
	JPS02630	日本の身体文化 1	2	2～4	講義	*
	JPS02640	日本の身体文化 2	2	2～4	講義	*
	AST02610	琉球文化論 1	2	2～4	講義	
	AST02620	琉球文化論 2	2	2～4	講義	
	LIT02690	日本近代文学 1	2	2～4	講義	*
	LIT02700	日本近代文学 2	2	2～4	講義	*
	LIT02670	日本現代文学 1	2	2～4	講義	*
	LIT02680	日本現代文学 2	2	2～4	講義	*
	PHI02610	日本思想史 1	2	2～4	講義	*
	PHI02620	日本思想史 2	2	2～4	講義	*
	REL02610	日本の仏教 1	2	2～4	講義	*
	REL02620	日本の仏教 2	2	2～4	講義	*
	HST02650	日本文化史 1	2	2～4	講義	*
	HST02660	日本文化史 2	2	2～4	講義	*
LIT02650	日本古典文学（上代・中古）1	2	2～4	講義	*	
LIT02660	日本古典文学（上代・中古）2	2	2～4	講義	*	
LIT02810	日本古典文学（中世・近世）1	2	2～4	講義	*	
LIT02820	日本古典文学（中世・近世）2	2	2～4	講義	*	
HST21630	日本文化史演習 1	2	2～4	演習	*	
HST21640	日本文化史演習 2	2	2～4	演習	*	
日本語教育	LED02610	日本語の教授法 1	2	1～4	講義	
	LED02620	日本語の教授法 2	2	1～4	講義	
	LED21610	日本語の教授法演習 1	2	1～4	演習	
	LED21620	日本語の教授法演習 2	2	1～4	演習	
人間科学と環境	OTH02020	現代スポーツ論	2	1～4	講義	
	OTH02070	スポーツ身体論	2	1～4	講義	*
	OTH02030	スポーツイメージ文化論	2	1～4	講義	*
	OTH02050	生物多様性の科学	2	1～4	講義	
	OTH02060	生物学のフロンティア	2	1～4	講義	
	ENV12310	地球と宇宙のフロンティア	2	1～4	講義	
	OTH02010	宇宙観の歴史	2	1～4	講義	
	ENV02320	都市環境論	2	1～4	講義	
MCC11010	人文情報リテラシー	2	1～4	演習		
Challenge Global	GES01000	GC ドイツ語 A1	2	1～4	演習	GC ドイツ語は、合計 10 単位まで算入可
	GES01010	GC ドイツ語 A2	2	1～4	演習	
	GES01020	GC ドイツ語 B1	2	1～4	演習	
	GES01030	GC ドイツ語 B2	2	1～4	演習	
	FRS01000	GC フランス語 A1	2	1～4	演習	GC フランス語は、合計 10 単位まで算入可
	FRS01010	GC フランス語 A2	2	1～4	演習	
	FRS01020	GC フランス語 B1	2	1～4	演習	
	FRS01030	GC フランス語 B2	2	1～4	演習	

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
Challenge Global	BAS01000	GC 英語 A1	2	1～4	演習	*
	BAS01010	GC 英語 A2	2	1～4	演習	*
	BAS01020	GC 英語 B1	2	1～4	演習	* GC 英語は、合計 16 単位 まで算入可
	BAS01030	GC 英語 B2	2	1～4	演習	*
	BAS01040	GC 英語 C1	2	2～4	演習	*
	BAS01050	GC 英語 C2	2	2～4	演習	*
	BAS01060	GC 英語 D1	2	2～4	演習	* GC 英語は、合計 16 単位 まで算入可
	BAS01070	GC 英語 D2	2	2～4	演習	*
	CHS01000	GC 中国語 A1	2	1～4	演習	
	CHS01010	GC 中国語 A2	2	1～4	演習	GC 中国語は、合計 8 単位 まで算入可
	CHS01020	GC 中国語 B1	2	1～4	演習	
	CHS01030	GC 中国語 B2	2	1～4	演習	
	KOS01000	GC 韓国・朝鮮語 A1	2	1～4	演習	
	KOS01010	GC 韓国・朝鮮語 A2	2	1～4	演習	GC 韓国・朝鮮語は、合計 8 単位まで算入可
	KOS01020	GC 韓国・朝鮮語 B1	2	1～4	演習	
KOS01030	GC 韓国・朝鮮語 B2	2	1～4	演習		
ト ジ ェ ク 目	CRO21010	学部横断型課題解決プロジェクト	4	1～4	演習	1年次は秋学期からとする。

◆ 全学対象専門科目

◇ 経済学部提供科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
国際 経済・ 経営	ECO22040	アジア経済	2	3・4	講義	
	ECO32010	開発経済学 1	2	3・4	講義	*
	ECO32020	開発経済学 2	2	3・4	講義	*
	ECO22850	国際法 1	2	3・4	講義	*
	ECO22860	国際法 2	2	3・4	講義	*
	ECO22460	世界経済	2	3・4	講義	*
経済学と現代経済	ECO22260	ゲーム理論入門	2	3・4	講義	
	ECO22200	経済政策 1	2	3・4	講義	*
	ECO22210	経済政策 2	2	3・4	講義	*
	ECO22290	憲法 1	2	3・4	講義	
	ECO22300	憲法 2	2	3・4	講義	
	ECO22100	行政法 1	2	3・4	講義	*
	ECO22110	行政法 2	2	3・4	講義	*
	ECO22370	産業組織論 1	2	3・4	講義	
	ECO22380	産業組織論 2	2	3・4	講義	
	ECO22440	西洋経済史 1	2	3・4	講義	
	ECO22450	西洋経済史 2	2	3・4	講義	
	ECO32030	日本経済史 1	2	3・4	講義	
	ECO32040	日本経済史 2	2	3・4	講義	
	ECO22640	労働経済 1	2	3・4	講義	
ECO22650	労働経済 2	2	3・4	講義		
ビジネス	MAN22080	イノベーション論	2	3・4	講義	
	MAN12020	経営管理論 1	2	3・4	講義	
	MAN22090	経営管理論 2	2	3・4	講義	
	MAN22130	国際経営論	2	3・4	講義	
	MAN22150	人事管理論 1	2	3・4	講義	
	MAN22160	人事管理論 2	2	3・4	講義	
	MAN22170	組織論 1	2	3・4	講義	
	MAN22180	組織論 2	2	3・4	講義	
	MAN22140	多国籍企業論	2	3・4	講義	*
ビジネスデザイン	MIS22030	情報ネットワーク基礎	2	3・4	講義	
	MIS22090	コンピュータシステム基礎	2	3・4	講義	
	MIS22010	サービスマネジメント	2	3・4	講義	
	MAN22240	ベンチャー企業論 1	2	3・4	講義	
	MAN22250	ベンチャー企業論 2	2	3・4	講義	*
	MIS12010	経営情報基礎	2	2～4	講義	
	MIS12020	情報と職業	2	2～4	講義	*
MAN12040	経営統計学	2	3・4	講義		
企業会計	ACC22070	企業法	2	3・4	講義	
	ACC12050	企業法基礎	2	2～4	講義	
	ACC12020	簿記演習 1	2	2～4	講義	
	ECO22590	民法 1	2	3・4	講義	*
	ECO22600	民法 2	2	3・4	講義	*

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
企業会計	ACC12040	会計学基礎	2	2～4	講義	
	ACC22080	財務会計論 1	2	3・4	講義	
	ACC22090	財務会計論 2	2	3・4	講義	
	ACC22130	経営分析論	2	3・4	講義	
金融	FIN22010	ファイナンス 1	2	3・4	講義	
	FIN22020	ファイナンス 2	2	3・4	講義	
	FIN32110	ファイナンス 3	2	3・4	講義	
	FIN22030	財務報告論 1	2	2～4	講義	
	FIN22040	財務報告論 2	2	2～4	講義	
	FIN22050	証券市場論 1	2	3・4	講義	
	FIN22060	証券市場論 2	2	3・4	講義	
	FIN32150	信託論	2	3・4	講義	*
	FIN32400	保険・年金論	2	3・4	講義	
FIN32030	金融法 1	2	3・4	講義		

◇ 社会学部提供科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
社会学部方法科目	ISC24020	コンピューティング応用 B	2	2～4	講義	
	ISC24030	コンピューティング応用 C	2	2～4	講義	*
	ISC24050	プログラミング基礎 A	2	2～4	講義	*
	ISC24060	プログラミング基礎 B	2	2～4	講義	*
	ISC24070	プログラミング応用 A	2	2～4	講義	*
	ISC24080	プログラミング応用 B	2	2～4	講義	*
	ISC14020	データサイエンス基礎	2	2～4	講義	
	ISC24090	データサイエンス応用	2	3・4	講義	
	ISC34010	ビッグデータ解析方法論	2	2～4	講義	*
	ISC34030	定量データ分析方法論	2	2～4	講義	*
	STA24020	社会統計学 1	2	2～4	講義	
	STA24030	社会統計学 2	2	2～4	講義	
社会問題とエンパワーメント	ANT33010	開発と社会	2	3・4	講義	*
	ANT33020	多文化共生の人類学	2	3・4	講義	*
	SOC33010	家族社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33020	教育社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33030	ケアの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33040	ジェンダーの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33050	仕事の社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33060	社会問題の社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33070	人口問題の社会学	2	3・4	講義	*
SOC33080	福祉社会学	2	3・4	講義	*	
SOC33090	不平等の社会学	2	3・4	講義	*	
文化とアイデンティティ	ANT33030	家族と結婚の人類学	2	3・4	講義	*
	ANT33040	宗教と社会	2	3・4	講義	*
	ANT33050	文化人類学	2	3・4	講義	*
	SOC33100	アイデンティティの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33110	カルチュラルスタディーズ	2	3・4	講義	*
	SOC33120	コミュニケーションの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33130	消費社会論	2	3・4	講義	*
	SOC33320	恋愛の社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33150	セクシュアリティの社会学	2	3・4	講義	*
SOC33160	文化社会学	2	3・4	講義	*	
SOC33170	若者の社会学	2	3・4	講義	*	
国際社会とネットワーク	ANT33060	観光と社会	2	3・4	講義	*
	SOC33180	エスニシティの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33190	現代社会と科学	2	3・4	講義	*
	SOC33200	グローバル化の社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33210	社会運動論	2	3・4	講義	*
	SOC33220	政治社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33230	地域とコミュニティの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33240	都市社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33250	ナショナリズムの社会学	2	3・4	講義	*
SOC33330	国際比較社会学	2	3・4	講義	*	
SOC33270	歴史社会学	2	3・4	講義	*	
コミュニケーション メディア	MCC33010	映画研究	2	3・4	講義	*
	MCC33020	エレクトリックメディア論	2	3・4	講義	*
	MCC33030	グローバル化とメディア	2	3・4	講義	*
	MCC33040	デジタル社会論	2	3・4	講義	*

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
コミュニケーション メディア	MCC33050	ポピュラー音楽論	2	3・4	講義	*
	MCC33060	マスコミュニケーション論	2	3・4	講義	*
	PSY33010	情報とネットワークの社会心理	2	3・4	講義	*
	SOC33280	音楽文化の社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33290	活字メディアの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33300	サブカルチャーの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33310	放送メディアの社会学	2	3・4	講義	*
コミュニケーション パブリック	MCC33070	コンピューティング社会論	2	3・4	講義	*
	MCC33080	エスニシティとメディア	2	3・4	講義	*
	MCC33090	NPO・NGOとメディア	2	3・4	講義	*
	MCC33270	ゲーミフィケーション論	2	3・4	講義	*
	MCC33110	広告論	2	3・4	講義	*
	MCC33120	広報論	2	3・4	講義	*
	MCC33130	スポーツとメディア	2	3・4	講義	*
	MCC33140	電子コミュニケーション論	2	3・4	講義	*
	MCC33150	メディアリテラシー論	2	3・4	講義	*
	PSY33020	ファッションと流行の社会心理	2	3・4	講義	*
PSY33030	社会心理学	2	3・4	講義	*	
メディア プロデューサー	MCC33160	映像アーカイブ論	2	3・4	講義	*
	MCC33170	映像メディア制作論	2	3・4	講義	*
	MCC33180	国際ニュース研究	2	3・4	講義	*
	MCC33190	CM企画・制作論	2	3・4	講義	*
	MCC33200	デジタルアーカイブ論	2	3・4	講義	*
	MCC33210	ジャーナリズム論	2	3・4	講義	*
	MCC33280	知とデータ	2	3・4	講義	*
	MCC33230	地域メディア論	2	3・4	講義	*
	MCC33240	データ社会のガバナンス	2	3・4	講義	*
	MCC33250	ドキュメンタリー研究	2	3・4	講義	*
MCC33260	メディア倫理と法制	2	3・4	講義	*	
社会学部特講	SOC35020	現代社会の諸相	2	3・4	講義	*
	SOC35030	グローバル社会の諸相	2	3・4	講義	*
	SOC35040	ホットトピック特別講義	2	3・4	講義	*
	MCC35020	メディア社会の諸相	2	3・4	講義	*
	ISC35010	データサイエンス特別講義	2	3・4	講義	*

◇ 国際教養学部提供科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
学部共通科目	HST12010	Introduction to Global History 1	2	1～4	講義	※
	HST12020	Introduction to Global History 2	2	1～4	講義	※
	IRL12010	Transnational Issues 1	2	1～4	講義	※
	IRL12020	Transnational Issues 2	2	1～4	講義	※
	IRL12030	Understanding Foreign Affairs and the Global Economy	2	1～4	講義	※
	GLS16010	Global Service Learning A1	1	1～4	実習	※
	GLS16020	Global Service Learning A2	1	1～4	実習	※
	GLS16030	Global Service Learning B1	2	1～4	実習	※
	GLS16040	Global Service Learning B2	2	1～4	実習	※
	GLS16050	Global Service Learning C1	4	1～4	実習	※
	GLS16060	Global Service Learning C2	4	1～4	実習	※
	ECO22030	Introduction to Economics (a)	4	2～4	講義	※
専攻科目 経済経営学	POL12030	Foundations of Political Science	2	1～4	講義	※
	MAN12010	Introduction to Management	2	1～4	講義	※
	ECO22230	Trade Economics	2	2～4	講義	* ※
	ECO22240	International Finance	2	2～4	講義	* ※
	MAN22010	Industrial Organization	2	2～4	講義	※
	MAN22060	Business and Society	2	2～4	講義	※
専攻科目 グローバルスタディーズ	GLS12010	Survey of Global Studies 1	2	1	講義	※
	GLS12020	Survey of Global Studies 2	2	1	講義	※
	GLS12030	Survey of Transcultural Studies 1	2	1	講義	※
	GLS12040	Survey of Transcultural Studies 2	2	1	講義	※
	IRL22010	Topics in Foreign Policy and Diplomacy 1	2	2～4	講義	※
	IRL22020	Topics in Foreign Policy and Diplomacy 2	2	2～4	講義	※
	GLS22010	Survey of Futures Studies 1	2	2～4	講義	※
	GLS22020	Survey of Futures Studies 2	2	2～4	講義	※
	POL32060	Survey of Comparative Politics 1	2	2～4	講義	* ※
	POL32070	Survey of Comparative Politics 2	2	2～4	講義	* ※

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
グローバルスタディーズ専攻科目	GLS32010	Global Civics 1	2	2～4	講義	* ※
	GLS32020	Global Civics 2	2	2～4	講義	* ※
	POL32080	Survey of Political Ideas 1	2	2～4	講義	* ※
	POL32090	Survey of Political Ideas 2	2	2～4	講義	* ※
	IRL32010	Peace Studies 1	2	2～4	講義	* ※
	IRL32020	Peace Studies 2	2	2～4	講義	* ※
	COM22010	Communication Studies 1	2	2～4	講義	※
	COM22020	Communication Studies 2	2	2～4	講義	※
	LNG22010	Second Language Studies 1	2	2～4	講義	※
	LNG22020	Second Language Studies 2	2	2～4	講義	※
	LNG32010	World Englishes 1	2	2～4	講義	* ※
	LNG32020	World Englishes 2	2	2～4	講義	* ※
	COM32010	Media Communications 1	2	2～4	講義	* ※
	COM32020	Media Communications 2	2	2～4	講義	* ※
	LNG32030	Language & Communication Barriers 1	2	2～4	講義	* ※
	LNG32040	Language & Communication Barriers 2	2	2～4	講義	* ※
	COM32030	Translation & Interpretation Studies 1	2	2～4	講義	* ※
	COM32040	Translation & Interpretation Studies 2	2	2～4	講義	* ※
	CST22010	Cultural Representations 1	2	2～4	講義	※
	CST22020	Cultural Representations 2	2	2～4	講義	※
	LIT22010	Global Literatures in English 1	2	2～4	講義	※
	LIT22020	Global Literatures in English 2	2	2～4	講義	※
	JPS22010	Japanese Studies 1	2	2～4	講義	※
	JPS22020	Japanese Studies 2	2	2～4	講義	※
	JPS32010	Topics in Japanese Culture 1	2	2～4	講義	* ※
	JPS32020	Topics in Japanese Culture 2	2	2～4	講義	* ※
	HST32010	Japanese History in Global Perspective 1	2	2～4	講義	* ※
	HST32020	Japanese History in Global Perspective 2	2	2～4	講義	* ※
	HST32030	Transnational Cultures 1	2	2～4	講義	* ※
	HST32040	Transnational Cultures 2	2	2～4	講義	* ※
LIT32010	Diversity in Stories and Societies 1	2	2～4	講義	* ※	
LIT32020	Diversity in Stories and Societies 2	2	2～4	講義	* ※	
SEM31040	副専攻ゼミナール 1	2	3・4	演習	※	
SEM31050	副専攻ゼミナール 2	2	3・4	演習	※	

※ ※印の科目は、履修するにあたり、IELTS5.0相当の英語力が必要となります。

◇ 留学・国際交流関連科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
EAS科目	JPS32040	Japan and International Society	4	2～4	講義	
	AST32160	Studies of Asian Economies	2	2～4	講義	
	AST32150	Politics in Asia	2	2～4	講義	
	JPS32010	Japanese History	4	2～4	講義	*
	JPS32030	Survey of Japanese Literature	4	2～4	講義	*
	JPS32020	Japanese Culture and Society	4	2～4	講義	*
	AST32170	Traditional Arts of Asia	2	2～4	講義	*
	AST32180	Modern Arts of Asia	2	2～4	講義	*
	AST32040	Comparative Perspectives on Asian Societies	4	2～4	講義	*
	AST32050	Comparative Cultures and Histories	4	2～4	講義	*
	AST32070	Asian Philosophies & Thought	4	2～4	講義	*
	AST32080	Survey in Comparative Literatures	2	2～4	講義	*
	AST32060	Globalization and Asia	4	2～4	講義	
	AST32140	Environmental Issues in a Global Context	4	2～4	講義	
	AST32030	Topics in Global Business	4	2～4	講義	
	AST32020	Topics in Technology & Society	2	2～4	講義	
	AST32010	Special Topics in Global Asia	2	2～4	講義	*
	AST32090	Survey of Global Media & Communication	2	2～4	講義	
	AST32100	Topics in Gender & Sexuality	4	2～4	講義	
	AST32110	Survey of Identities in Asia	4	2～4	講義	
	AST32120	Global Asia in the 21st Century	4	2～4	講義	
	AST32130	Survey of Global Issues	2	2～4	講義	
	JPS31010	Seminar in Entrepreneurship	2	2～4	演習	
	AST31020	Seminar in Visual Cultures	2	2～4	演習	
	AST31010	Seminar in Global Asia Issues	2	2～4	演習	*
	JPS31020	Fieldwork in Japan	2	2～4	演習	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
留学準備講座	IRL01010	留学入門ゼミナール	2	1～4	演習	
	AMS02011	アメリカの社会と文化 1	2	1～4	講義	
	AMS02012	アメリカの社会と文化 2	2	1～4	講義	
	BRS02011	イギリスの社会と文化 1	2	1～4	講義	
	BRS02012	イギリスの社会と文化 2	2	1～4	講義	
	GES22310	ドイツ語圏の社会と文化 1	2	2～4	講義	ドイツ語による授業
	GES22320	ドイツ語圏の社会と文化 2	2	2～4	講義	ドイツ語による授業
	FRS22320	フランスの歴史と社会 1	2	2～4	講義	フランス語による授業
	FRS22330	フランスの歴史と社会 2	2	2～4	講義	フランス語による授業
	JPS02071	日本の社会と文化 1	2	1～4	講義	*
	JPS02072	日本の社会と文化 2	2	1～4	講義	*
	AST02171	中国の社会と文化 1	2	2～4	講義	* 中国語による授業
	AST02172	中国の社会と文化 2	2	2～4	講義	* 中国語による授業
	AST02181	韓国・朝鮮の社会と文化 1	2	2～4	講義	* 韓国・朝鮮語による授業
	AST02182	韓国・朝鮮の社会と文化 2	2	2～4	講義	* 韓国・朝鮮語による授業
	IRL02011	現代世界の諸問題 1	2	1～4	講義	
	IRL02012	現代世界の諸問題 2	2	1～4	講義	
	LED02011	インターカルチュラルスキル養成講座 1	2	1～4	講義	
	LED02012	インターカルチュラルスキル養成講座 2	2	1～4	講義	
	IRL02021	グローバル・リーダーシップ養成講座 1	2	1～4	講義	
	IRL02022	グローバル・リーダーシップ養成講座 2	2	1～4	講義	
	LED06011	グローバル・コミュニケーション 1	1	1～4	実習	*
	LED06012	グローバル・コミュニケーション 2	1	1～4	実習	*
	LED06013	イングリッシュ・サマースクール 1	1	1～4	実習	
	LED06014	イングリッシュ・サマースクール 2	1	1～4	実習	
	LED06041	留学のための英語講座 A1 (TOEFL)	1	1～4	実習	
	LED06042	留学のための英語講座 A2 (TOEFL)	1	1～4	実習	
	LED06051	留学のための英語講座 B1 (IELTS)	1	1～4	実習	
	LED06052	留学のための英語講座 B2 (IELTS)	1	1～4	実習	
	GES26410	ドイツ語論述実習 1	1	2～4	実習	ドイツ語による授業
	GES26420	ドイツ語論述実習 2	1	2～4	実習	ドイツ語による授業
	FRS26410	フランス語論述実習 1	1	2～4	実習	フランス語による授業
	FRS26420	フランス語論述実習 2	1	2～4	実習	フランス語による授業
	LED06061	中国語論述実習 1	1	2～4	実習	* 中国語による授業
LED06062	中国語論述実習 2	1	2～4	実習	* 中国語による授業	
LED06071	韓国・朝鮮語論述実習 1	1	2～4	実習	* 韓国・朝鮮語による授業	
LED06072	韓国・朝鮮語論述実習 2	1	2～4	実習	* 韓国・朝鮮語による授業	

※「EAS 科目」および「留学準備講座」の履修についての詳細は、「【3 学科共通】3 留学・国際交流関連科目」を参照してください。

※「留学準備講座」で備考欄に記載がない科目は英語による授業となります。

◆「ドイツ語圏の社会と文化 1・2」「フランスの歴史と社会 1・2」「ドイツ語論述実習 1・2」「フランス語論述実習 1・2」は、ヨーロッパ文化学科の学生は共通専門科目としてではなく専攻科目として履修します。

◇ 教職課程関連科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
教職課程 関連科目	EDU12010	教職入門	2	1～4	講義	
	EDU12020	教育基礎論	2	1～4	講義	
	EDU22010	教育心理学 1	2	2～4	講義	履修条件:「教職入門」又は「教育基礎論」を修得済であること。
	EDU32040	教育方法論	2	3～4	講義	

※ 教職課程登録者は、各授業科目の配当年次が異なります。詳細は「教職課程」の頁を参照してください。

※ 履修登録希望者が定員を超過した場合は教職課程登録者を優先し、残枠については抽選により履修者を決定します。

◇ 学芸員課程関連科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
学芸員課程 関連科目	CTP02010	生涯学習概論	2	1～4	講義	
	CTP02020	博物館概論	2	1～4	講義	
	CTP02030	博物館経営論	2	1～4	講義	
	CTP02070	博物館情報・メディア論	2	1～4	講義	
	CTP02040	博物館資料論	2	1～4	講義	
	CTP02050	博物館資料保存論	2	1～4	講義	
	CTP02060	博物館展示論	2	1～4	講義	

※「学芸員課程関連科目」の修得単位のうち、8 単位までを共通専門科目として卒業に必要な単位に算入することができます。8 単位を超えて修得した単位は自由科目扱いとなり、卒業に必要な単位の中に算入することはできません。

7 ヨーロッパ文化学科 専門科目（専攻科目）

1. 履修上の注意

本学科の学生は、以下の条件に従って、卒業時まで専攻科目を60単位以上修得しなければなりません。履修に際しては配当年次に注意してください。

- ① 専攻基礎科目の必修科目「ヨーロッパ文化入門講座」および「ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1」「ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2」は必ず1年次に履修しなければなりません。
- ② 専攻専門科目の必修科目「中級ゼミナール1」「中級ゼミナール2」は、2年次にそれぞれ2単位修得しなければなりません。各学生の「中級ゼミナール1」「中級ゼミナール2」への配属を決める方法は、3Sで事前に案内するか、2年次のガイダンス資料で説明します。3S掲示やガイダンス資料に注意してください。
- ③ 専攻専門科目の選択科目のうち実習科目を、4単位以上修得しなければなりません。
- ④ 専攻専門科目・選択科目のうち「専門ゼミナール」を合計で8単位以上、3年次に修得しなければなりません。「専門ゼミナール」への配属を決める方法は、3Sで事前に案内するか、3年次のガイダンス資料で説明します。3S掲示やガイダンス資料に注意してください。
- ⑤ 専攻専門科目・選択科目の講義科目①～⑤および「卒業論文準備ゼミナール」から、合計30単位以上を修得しなければなりません。ただし、⑤「教職の教科に関する概説科目」の修得単位のうち、卒業に必要な単位に算入することができるのは4単位までです。
- ⑥ 専攻専門科目・必修科目の「卒業論文」および「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」は、4年次に必ず履修しなければなりません。
- ⑦ 専攻専門科目の「中級ゼミナール1」「中級ゼミナール2」、実習、「専門ゼミナール1」「専門ゼミナール2」「卒業論文準備ゼミナール」は、履修登録者が多い場合、人数制限をおこなう場合があります。

2. 再履修と重複履修

◇ 再履修

履修した授業科目の成績評価が不合格となったために、再度同じ科目を履修することを再履修といいます。必修科目が不合格となった場合、必ず再履修し、単位を修得しなければ卒業することができないので十分注意してください。再履修をする場合、クラス（授業科目）は事前に指定される場合があります。その場合には指定されたクラス（授業科目）を履修しなければなりません。他の必修科目と曜日・時限が重なっている場合には速やかに教務課に申し出て指示を受けてください。

◇ 重複履修

単位がすでに認定された授業科目を再び履修することを重複履修といいます。重複履修した場合、2回目以降に修得した単位は、原則として卒業に必要な124単位のうちに含めることができません。ただし、共通専門科目の「GHゼミナール」「日本語ワークショップ」「GCドイツ語」「GCフランス語」「GC英語」「GC中国語」「GC韓国・朝鮮語」は重複履修が認められています。何単位まで卒業に必要な124単位のうちに含めることができるかは、それぞれ異なります。「日本語ワークショップ」は8単位まで、「GCドイツ語」「GCフランス語」は10単位まで、「GC英語」は16単位まで、「GC中国語」「GC韓国・朝鮮語」は8単位までです。「GHゼミナール」には制限はありません。

3. 年次別履修案内

◆ 1年次生のための履修案内

- ①「ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1」「ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2」について：大学で学ぶ上で役立つ基礎的知識を身につけ、また資料調査・資料読解・口頭発表・討論・レポート作成などの技法を学ぶ授業です。どのクラスに配属されるかは、事前に決められています。
- ②「ヨーロッパ文化入門講座」について：ヨーロッパ文化の諸相および異文化比較の具体的なテーマを論じるリレー講義です。1年生全員が必ず履修します。
- ③ 専攻専門科目の選択科目のなかには、1年次生も履修できる科目が多数あります。各自の興味にあわせ、少しずつ履修してください。ただし1年次生は、必修科目や外国語科目、総合科目の履修を優先するよう心がけましょう。

◆ 2年次生のための履修案内

必修科目として「中級ゼミナール1」「中級ゼミナール2」を履修すること。

◆ 3年次生のための履修案内

- ①「専門ゼミナール1」「専門ゼミナール2」「卒業論文準備ゼミナール」を選択して履修すること。
- ② 3年次終了時点で「卒業論文」および「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」の履修資格がない場合は、4年間では卒業できません。卒業論文履修資格の説明（89頁）をよく読み、履修計画を立てること。

◆ 4年次生のための履修案内

- ① 必修科目「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を履修すること。
- ②「卒業論文」を指定の期日までに提出すること。

◇ドイツ語力を伸ばしたい方はGCドイツ語プログラムを、フランス語力を伸ばしたい方はGCフランス語プログラムを、英語力を伸ばしたい方はGC英語プログラムを、それぞれ積極的に履修することを推奨します。早い学年から始める方が効果的ですが、後から始めても力を伸ばすことはできます。意欲が大切です。詳細は91頁以降を参照してください。

ヨーロッパ文化学科卒業までの4年間

各項目の詳細（様式、配付、提出日、提出方法等）は3Sで掲示します。また、各ガイダンスにて指示します。

1年次

- 3月 英語クラス分け試験
- 4月 ガイダンス
- 6月 2年次選択外国語希望届提出
- 1月 コース選択希望届提出

2年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出

3年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出
- 7月 卒業論文準備ゼミナール希望届提出
- 9月 卒業論文準備ゼミナール希望届提出（未決定者）
- 1月 卒業論文・卒業論文ゼミナール1・2登録届
- 1月 卒業論文報告会への参加
- 3月 卒業論文履修資格充足者発表

4年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出（卒業論文指導教授が未定の者および卒業論文指導教授が学科外の教員の場合のみ）
- 6月 卒業論文題目届（6月）提出
- 11月 卒業論文題目届（11月）提出
- 12月 卒業論文提出
- 1月 卒業論文口述試験
- 1月 卒業論文報告会
- 3月 卒業資格充足者発表
- 3月 卒業式

◆ 専攻基礎科目

◇ 必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
EUS12310	ヨーロッパ文化入門講座	2	1	講義	
EUS11311	ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1	2	1	演習	
EUS11322	ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2	2	1	演習	

◆ 専攻専門科目

◇ 必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
EUS21311	中級ゼミナール1	2	2	演習	
EUS21322	中級ゼミナール2	2	2	演習	
THE41011	卒業論文ゼミナール1	2	4	演習	
THE41012	卒業論文ゼミナール2	2	4	演習	
THE41030	卒業論文	4	4	演習	

◇ 選択科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
実習	GES26310	ドイツ語コミュニケーション総合1	1	2～4	実習	*
	GES26400	ドイツ語コミュニケーション総合2	1	2～4	実習	*
	GES26340	中級ドイツ語会話1	1	2～4	実習	
	GES26350	中級ドイツ語会話2	1	2～4	実習	
	GES26360	初級ドイツ語作文1	1	2～4	実習	
	GES26370	初級ドイツ語作文2	1	2～4	実習	
	GES26380	中級ドイツ語作文1	1	2～4	実習	
	GES26390	中級ドイツ語作文2	1	2～4	実習	
	GES06310	ドイツ語検定対策講座	1	1～4	実習	
	GES26410	ドイツ語論述実習1	1	2～4	実習	留学準備講座 (ドイツ語による授業)
	GES26420	ドイツ語論述実習2	1	2～4	実習	留学準備講座 (ドイツ語による授業)
	GES26430	上級ドイツ語講読1	1	2～4	実習	*
	GES26440	上級ドイツ語講読2	1	2～4	実習	*
	FRS26310	フランス語コミュニケーション総合1	1	2～4	実習	*
	FRS26400	フランス語コミュニケーション総合2	1	2～4	実習	*
	FRS26340	中級フランス語会話1	1	2～4	実習	
	FRS26350	中級フランス語会話2	1	2～4	実習	
	FRS26360	初級フランス語作文1	1	2～4	実習	
	FRS26370	初級フランス語作文2	1	2～4	実習	
	FRS26380	中級フランス語作文1	1	2～4	実習	
	FRS26390	中級フランス語作文2	1	2～4	実習	
	FRS06310	フランス語検定対策講座	1	1～4	実習	
	FRS26410	フランス語論述実習1	1	2～4	実習	留学準備講座 (フランス語による授業)
	FRS26420	フランス語論述実習2	1	2～4	実習	留学準備講座 (フランス語による授業)
	FRS26430	上級フランス語講読1	1	2～4	実習	*
	FRS26440	上級フランス語講読2	1	2～4	実習	*
	LNG26090	ジャパノロジー・イングリッシュ1	1	2～4	実習	*
	LNG26100	ジャパノロジー・イングリッシュ2	1	2～4	実習	*
	BAS26310	英会話中級1	1	2～4	実習	*
	BAS26320	英会話中級2	1	2～4	実習	*
	BAS26330	英作文中級1	1	2～4	実習	*
	BAS26340	英作文中級2	1	2～4	実習	*
専門ゼミナール	EUS31310	専門ゼミナールA1	2	3	演習	*
	EUS31320	専門ゼミナールA2	2	3	演習	*
	EUS31370	専門ゼミナールB1	2	3	演習	*
	EUS31390	専門ゼミナールB2	2	3	演習	*
	EUS31410	専門ゼミナールC1	2	3	演習	*
	EUS31430	専門ゼミナールC2	2	3	演習	*
	EUS31450	専門ゼミナールD1	2	3	演習	*
	EUS31470	専門ゼミナールD2	2	3	演習	*
	EUS31880	専門ゼミナールE1	2	3	演習	*
	EUS31890	専門ゼミナールE2	2	3	演習	*
	EUS31900	専門ゼミナールF1	2	3	演習	*
EUS31910	専門ゼミナールF2	2	3	演習	*	

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
専門ゼミナール	EUS31740	専門ゼミナール G1	2	3	演習	*
	EUS31750	専門ゼミナール G2	2	3	演習	*
	EUS31620	専門ゼミナール H1	2	3	演習	*
	EUS31630	専門ゼミナール H2	2	3	演習	*
	EUS31640	専門ゼミナール K1	2	3	演習	*
	EUS31650	専門ゼミナール K2	2	3	演習	*
	EUS31780	専門ゼミナール L1	2	3	演習	*
	EUS31790	専門ゼミナール L2	2	3	演習	*
	EUS31820	専門ゼミナール M1	2	3	演習	*
	EUS31830	専門ゼミナール M2	2	3	演習	*
	EUS31660	専門ゼミナール N1	2	3	演習	*
	EUS31680	専門ゼミナール N2	2	3	演習	*
	EUS31800	専門ゼミナール O1	2	3	演習	*
EUS31810	専門ゼミナール O2	2	3	演習	*	
卒業論文準備ゼミナール	THE31010	卒業論文準備ゼミナール	2	3	演習	
① 言語と文学	LNG02310	ドイツ語の世界 1	2	1～4	講義	*
	LNG02320	ドイツ語の世界 2	2	1～4	講義	*
	LIT02310	ドイツ文学史 1	2	1～4	講義	*
	LIT02320	ドイツ文学史 2	2	1～4	講義	*
	LNG02330	フランス語の世界 1	2	1～4	講義	*
	LNG02340	フランス語の世界 2	2	1～4	講義	*
	LIT02330	フランス文学史 1	2	1～4	講義	*
	LIT02340	フランス文学史 2	2	1～4	講義	*
	LED22310	ドイツ語教育方法論 1	2	2～4	講義	*
	LED22320	ドイツ語教育方法論 2	2	2～4	講義	*
	LED22330	ドイツ語教育方法論 3	2	2～4	講義	*
	LED22340	ドイツ語教育方法論 4	2	2～4	講義	*
	LED22350	フランス語教育方法論 1	2	2～4	講義	*
	LED22360	フランス語教育方法論 2	2	2～4	講義	*
	LED22370	フランス語教育方法論 3	2	2～4	講義	*
	LED22380	フランス語教育方法論 4	2	2～4	講義	*
	LIT02350	ヨーロッパ古典文学	2	1～4	講義	*
	LIT02360	ヨーロッパ小説論	2	1～4	講義	*
	LIT02370	ヨーロッパの文学	2	1～4	講義	*
	LIT22380	ヨーロッパの中世文化	2	2～4	講義	*
	LNG02350	ラテン語学 1	2	1～4	講義	*
LNG02360	ラテン語学 2	2	1～4	講義	*	
LNG02370	ギリシア語学 1	2	1～4	講義	*	
LNG02380	ギリシア語学 2	2	1～4	講義	*	
LIT02390	比較文学論 (日欧)	2	1～4	講義	*	
② 芸術と生活	ART02310	ドイツ語圏の芸術	2	1～4	講義	*
	ART02340	ヨーロッパの芸術 1	2	1～4	講義	*
	ART02320	ヨーロッパの芸術 2	2	1～4	講義	*
	ART02330	フランスの芸術	2	1～4	講義	*
	ART22350	ヨーロッパの映画	2	2～4	講義	*
	FOL22310	ヨーロッパの民俗文化	2	2～4	講義	*
	ART22360	ヨーロッパの舞台芸術	2	2～4	講義	*
	EUS22330	ヨーロッパ生活文化論	2	2～4	講義	*
	ART22370	ヨーロッパの音楽文化	2	2～4	講義	*
	EUS22340	ヨーロッパ宮廷文化論	2	2～4	講義	*
	ART02380	比較芸術論 1	2	1～4	講義	*
	ART02390	比較芸術論 2	2	1～4	講義	*
	ART02400	イメージ文化論	2	1～4	講義	*
	GLS02310	越境文化論	2	1～4	講義	*
	ART22410	ヨーロッパ建築史	2	2～4	講義	*
	ART22420	音響文化論	2	2～4	講義	*
	EUS02350	テクノロジー文化論	2	1～4	講義	*
	EUS02360	観光文化論 (ヨーロッパ)	2	1～4	講義	*

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
③ 歴史と思想	HST02310	ドイツ中世史	2	1～4	講義	*
	HST02320	ドイツ近現代史	2	1～4	講義	*
	PHI02310	ドイツ語圏の思想と文化	2	1～4	講義	*
	HST02330	フランス史	2	1～4	講義	*
	HST02340	ヨーロッパ対外交流史	2	1～4	講義	*
	PHI02330	フランス思想史1	2	1～4	講義	*
	PHI02340	フランス思想史2	2	1～4	講義	*
	HST02350	ギリシア・ローマ史	2	1～4	講義	*
	HST02360	ヨーロッパ形成史	2	1～4	講義	*
	HST02370	ヨーロッパ交流史	2	1～4	講義	*
	PHI02350	ヨーロッパの哲学	2	1～4	講義	*
	PHI02360	ヨーロッパ思想史	2	1～4	講義	*
	PHI02370	比較思想(日欧)	2	1～4	講義	*
	REL22310	キリスト教文化論	2	2～4	講義	*
	EUS02370	比較文化史	2	1～4	講義	*
EUS02380	ヨーロッパの神話と伝説	2	1～4	講義	*	
HIS02380	国際関係史	2	1～4	講義	*	
④ 環境と社会	GES22310	ドイツ語圏の社会と文化1	2	2～4	講義	ドイツ語による授業
	GES22320	ドイツ語圏の社会と文化2	2	2～4	講義	ドイツ語による授業
	FRS02310	フランス語圏の文化と社会	2	1～4	講義	*
	FRS22320	フランスの歴史と社会1	2	2～4	講義	フランス語による授業
	FRS22330	フランスの歴史と社会2	2	2～4	講義	フランス語による授業
	EUS02390	ヨーロッパ統合論	2	1～4	講義	*
	EUS02400	ヨーロッパ都市論	2	1～4	講義	*
	EUS02410	現代ヨーロッパ社会論	2	1～4	講義	*
	ENV02310	ヨーロッパ環境論	2	1～4	講義	*
	EUS02420	ルネサンス文化論	2	1～4	講義	*
	ARE02310	北欧文化論	2	1～4	講義	*
	ARE02320	オーストリア・東欧文化論	2	1～4	講義	*
	ARE02330	イタリア文化論	2	1～4	講義	*
ARE22340	スイス文化論	2	2～4	講義	*	
GLS02320	地中海文明論	2	1～4	講義	*	
⑤ 教職の教科に関する概説科目	TCP12010	日本史概説	2	1～4	講義	
	TCP12020	外国史概説	2	1～4	講義	
	TCP12030	法学概説(国際法を含む)	2	1～4	講義	
	TCP12040	政治学概説(国際政治を含む)	2	1～4	講義	
	TCP12050	経済学概説(国際経済を含む)	2	1～4	講義	
	TCP12060	社会学概説	2	1～4	講義	
	TCP12070	地誌概説	2	1～4	講義	
	TCP12080	人文地理学概説	2	1～4	講義	
	TCP12090	自然地理学概説	2	1～4	講義	
	TCP12100	倫理学概説	2	1～4	講義	
	TCP12110	宗教学概説	2	1～4	講義	
	TCP12120	哲学概説	2	1～4	講義	
	TCP12130	心理学概説	2	1～4	講義	

◆備考欄に「ドイツ語による授業」「フランス語による授業」とある授業は、GCドイツ語/フランス語プログラム履修中の学生、ドイツやフランスに長期留学したい学生、その他高度なドイツ語、フランス語の運用能力をつけたい学生のための授業です(前出の「5 ヨーロッパ文化学科 外国語科目」のなかの3. 外国語学習の手引き、及び「9 グローバル・チャレンジ(GC)ドイツ語/フランス語プログラム」も参照のこと)。留学・国際交流関連科目の留学準備講座として、他学部・他学科の学生にも開講されています。「【3 学科共通】3 留学・国際交流関連科目」の説明も参照してください。

8 ヨーロッパ文化学科 卒業論文履修資格

「卒業論文」、「卒業論文ゼミナール1」および「卒業論文ゼミナール2」は、以下の条件を満たさない場合は、履修することができません。

- ① 大学に3年以上在学していること。
- ② 1年次の必修外国語および選択外国語Ⅰ（1A）（1B）の計10単位すべてと、2年次の選択外国語Ⅰ（1B）および選択外国語Ⅰ（2）の計10単位のうちの8単位を修得していること。
- ③ 専攻基礎必修科目「ヨーロッパ文化入門講座」「ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1」「ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2」の計6単位を修得していること。
- ④ 卒業に必要な124単位のうち、76単位以上を修得していること。

【注意】

「卒業論文」「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を履修するためには、卒業論文ゼミナール登録届の提出が必要となります。届の提出手続きを行わなかった場合は上記資格を満たしても履修できないため、必ず定められた提出手続きを行うこと。

卒業論文および卒業論文準備ゼミナール、卒業論文ゼミナール履修に関する注意

1. 卒業論文指導および「卒業論文準備ゼミナール」「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」の履修について

卒業論文は、4年間の学修の総仕上げとして、学生自らの関心に基づいてテーマを設定し、研究・調査をおこない、執筆するものです。

卒業論文の指導は「卒業論文準備ゼミナール」および「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」でおこないます。これらの授業はヨーロッパ文化学科の専任教員が担当します。3年次生が秋学期に履修するのが「卒業論文準備ゼミナール」です。その時点で卒業論文指導を希望する教員が担当する同ゼミナールを履修してください。4年次（卒業年次）には、卒業論文指導を受ける教員が担当する「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を履修しなければなりません。学生は、同ゼミナール担当教員の指示、指導に従って卒業論文を執筆します。

卒業論文の執筆と「卒業論文」と冠された上記3つのゼミナールは一体になっています。卒業論文の執筆にあたっては、この点に十分留意してください。

なお、自然科学担当専任教員・身体運動科学担当専任教員・教職課程担当専任教員を卒業論文指導教授とする場合の要件については152～154頁を参照してください。

協定留学または認定留学により4年次春学期に不在となる場合は、特例として、4年次秋学期に「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を同時履修することを認めます（4年次に1年間不在となる場合は、翌年度春学期の同時履修を認めます。また、休学等により履修学期がそれ以降となる場合も、協定留学を含めて3年半以上の在学を経ていれば同時履修が可能です。詳細は教務課に確認してください）。希望する場合は、留学前に指導教授に相談の上、了承を得てください。また、帰国後は速やかに教務課にて手続きを行ってください。

2. 卒業論文の提出

卒業論文は、3S 掲示や指導教員の指示に従ってオンラインで提出すること。提出期限は公平性の確保のため厳格に定められており、原則としてそれ以降は受理できないので厳守してください。

【注意】

- ◇ 診断書や証明書等を提出しうる学校感染症等の急病、不慮の事故、不測の事態などによって締め切り日時までの本人による提出が困難な場合、または提出できなかった場合には、速やかに教務課に申し出て、指示を受けてください。考慮すべき特別の理由があると学部が認めた場合、代理人による提出や締め切り日後の提出を認めることがあります。

3. 卒業論文作成要領

細かい執筆要領（和文・欧文引用等）については「卒業論文準備ゼミナール」で配布される「卒業論文の書き方」（ドイツ語履修者用・フランス語履修者用）を参考にし、かつ同ゼミナール担当教員の指導に従うこと。

卒業論文の体裁は次のとおりです（オンライン提出となる場合には、用紙とファイルに関する記載は除外します）。

卒業論文の体裁

- (1) 用紙：原則としてA4 版用紙（感熱紙不可）を使用してください。
- (2) 構成：卒業論文は、①和文要約、②目次、③本文、[④資料・図版]、⑤参考文献の順に綴じます。本文は（Ⅰ）序論、（Ⅱ）本論、（Ⅲ）結論から構成されます。（Ⅱ）本論は章、節に分けてください。
- (3) 本文：原則として20,000字以上（400字詰め原稿用紙50枚相当以上）。A4版用紙を使用する場合、1枚あたり40字×20～30行とします。上下左右に余白を3センチ程度とり、ページ番号をふる。本文の文字サイズは10.5～12ポイントを基本とします（注は本文のポイントより下げる）。本文を欧文（独文、仏文、または英文）で書く場合、A4版用紙に半角80字×25行で、20～30枚を目安としてください。
- (4) 和文要約：本文のレイアウトに準じ1,200～1,600字程度（本文が欧文の場合は2,000～4,000字程度）にまとめます。要約は本文の序論ではないので、意図や構成の紹介に始終するのではなく、結論までを含めた論文全体の概要を示すように注意してください。
- (5) 装丁：表紙に論文題目、提出年度、学籍番号、氏名（フリガナを付すこと）、論文指導教授（主査）名を明記し、本文とともに透明ファイルに綴じ込みます。ファイルは原則として生協扱いのものをを用いること（A4版、透明ビニール製・表裏紙付き、縦長・横綴じ形式。挿入して糊付け、またはホチキス止め。最大50枚程度。これを超える場合は分冊にしてください。）

【注意】卒業論文における引用の扱いについて

卒業論文の執筆にあたっては、「本文」と「引用」を明確に区別してください。内容・量の観点から「主」となるのが「本文」で、「引用」は「従」の役割を果たします。意図的に出典を明確にせず、印刷物やインターネット上にある文章を写して自分で書いた「本文」とすることは、「剽窃」にあたります。

4. 卒業論文口述試験

面接形式で個別におこなわれる試験で、卒業論文を提出した者は必ず受験しなければなりません。この試験を受験しなかった場合、卒業論文は自動的に不合格となります。試験日時は秋学期提出の場合は1月中旬～下旬、春学期提出の場合は7月中です。詳細は、卒業論文提出日以降に決まり、3Sで掲示されます。

5. 卒業論文報告会（1月下旬）

卒業論文報告会では、優れた卒業論文・独創的な卒業論文について研究発表がおこなわれます。卒業論文の準備を開始した3年次の学生は、かならず出席するようにしてください。1、2年生のみなさんももちろん歓迎します。ふるってご参加ください。

6. 『卒業論文成果報告書』と優秀卒論

優れた卒業論文・独創的な卒業論文は、卒業論文報告会での研究発表の対象となるだけでなく、当該年度の『卒業論文成果報告書』への抄録掲載の対象となります。『卒業論文成果報告書』はグループスタディールームで閲覧に供されるとともに、オープンキャンパスなどにおいて人文学部の教育の成果として配布されます。

また、とりわけ優秀な卒業論文は、装丁されグループスタディールームで閲覧に供されます。

9 グローバル・チャレンジ（GC）ドイツ語／フランス語プログラム

ヨーロッパ文化学科には、ドイツ語／フランス語の力を十分に伸ばし、現地で通用する語学力を獲得して、国際語学検定試験合格や留学の実現を目指す人のために、グローバル・チャレンジ（GC）というプログラムが用意されています。ヨーロッパ文化学科のカリキュラムのもとで学びながら、ドイツ語／フランス語の学習にとくに力を注ぎたい人を対象とした特訓プログラムです。

【特徴】

- ① GC 必修科目の履修を軸に学修を進め、プログラム修了時まで、留学に必要な外国語能力の目安となる国際語学検定試験 CEFR B1 レベルに到達するよう構成されています。

GC（ドイツ語／フランス語）プログラムの必修科目は以下の通りです。

ドイツ語：「GC ドイツ語 A1」「GC ドイツ語 A2」「GC ドイツ語 B1」「GC ドイツ語 B2」

フランス語：「GC フランス語 A1」「GC フランス語 A2」「GC フランス語 B1」「GC フランス語 B2」

（A1 と A2 はレベルが異なり、A1 は CEFR A1 レベル、A2 は CEFR A2 レベルへの到達をそれぞれ目標としています）

（B1・B2 は同一レベルで、CEFR B1 レベル到達以上を目標としています）

< CEFR（セファール）とは？ >

欧州評議会（European Council）が制定した語学レベルの指標である「ヨーロッパ言語共通参照枠（Common European Framework of Reference for Languages）」の略称です。CEFR に準拠した試験では、聴解・読解・文書作成・口頭表現の四技能にわたる言語能力が問われます。いずれも国際的に通用する語学検定試験で、グローバル社会で活躍するために役立ちます。

ヨーロッパ言語共通参照枠等級	言語使用者の分類	段階	学習時間の目安
A1	基礎段階の言語使用者	入門	60-100 時間
A2		初級	150-200 時間
B1	自立した言語使用者	中級	350-400 時間
B2		上級	550-650 時間
C1	熟達した言語使用者	自主的運用	800-950 時間
C2		熟練	1000 時間以上

- ② GC 必修科目のほか、指定された「GC（ドイツ語／フランス語）」関連科目・準関連科目も合わせて履修する必要があります。
- ③ プログラム履修中の学生には、個別指導形式の授業外のサポート（コーチング）が提供されます（授業の補習・相談、学習のペースメイキング、検定試験受験学習・相談、短期留学や長期留学についての個別相談、ドイツ語またはフランス語を用いる卒業論文執筆のサポートなど）。なお、「プログラム履修中」とは、1年次は当該学期に GC 必修科目履修中、2年次以上は当該学期の GC 必修科目履修に加え、関連科目・準関連科目群を履修中または履修終了

した状態を指します。不明の場合は教員に質問してください。

- ④ ドイツ語／フランス語検定試験のほか、国際語学検定試験を積極的に受験し、学習のリズム作りに役立ててください。ドイツ語／フランス語のB1 / 2 級以上の合格については、外国語学習褒賞制度があります。
- ⑤ 短期語学研修（外国語現地実習（ドイツ語／フランス語））の参加を推奨します。

【注意】

- * プログラム履修希望者は積極的に教員に事前相談してください。ガイダンスにも参加して、学習リズムを維持してください。
- * 協定留学志願者は、ぜひ本プログラムを利用して効果的な準備を行ってください。協定留学申請にあたってはある一定レベル以上の語学試験への合格が、また協定留学出発までには4技能の訓練継続が必要です。
- * 外国語学習褒賞制度の申請はグローバル教育センターが定めた所定の期間内に行う必要があります。グローバル教育センターのホームページや3Sなどで申請時期を事前に確認してください。

1. GC ドイツ語プログラム

(1) 概要

- [1] 目標：コース修了時まで、ヨーロッパ言語共通参照枠 CEFR に準拠した国際的なドイツ語検定試験（ゲーテ・インスティトゥートやオーストリア政府などが運営する各種のドイツ語検定試験）のB1 レベル以上での合格を目指します。ドイツの大学に正規留学する場合、通常B2～C1レベルのドイツ語力が要求されます。
- [2] ドイツ語技能検定試験とCEFRの対応関係：上述のCEFRとドイツ語技能検定試験（独検）は大まかに次のように対応しています。

CEFR	ドイツ語技能検定試験	実用英語技能検定（参考）
A1	5級～4級	3級～準2級
A2	4級～3級	準2級～2級
B1	2級	2級～準1級
B2	準1級	準1級～1級

- [3] プログラム開始時期の目安：学習歴やGCドイツ語必修科目（A1・A2およびB1・B2）のクラスレベルによって、プログラムの開始時期の目安が分かれます。以下の5つのモデルを参考にしてください。あくまでも目安ですので、教員にも積極的に相談してください。

学習歴	履修開始時期モデル
入学時ドイツ語未習	1年次春学期または秋学期から
入学時に独検3級相当のドイツ語力がある	1年次春学期から
入学時に独検2級相当のドイツ語力がある	1年次春学期から
本学入学後1年以上の学習歴あり（独検4級程度）	2年次春学期から
本学入学後1年以上の学習歴あり（独検3級程度）	2年次春学期から

- [4] 協定留学希望者のプログラム履修：協定留学希望者で、4年間で卒業を希望する場合は、1年次春学期からのプログラム履修開始を強く推奨します。

(2) 修了要件

以下の4要件を満たし、必要な認定申請を行うと、卒業時に修了証が授与されます。

- [1] 下表の必修科目から8単位以上修得すること。
- [2] 下表の関連科目から6単位以上修得すること。
- [3] 下表の準関連科目から5単位以上修得すること。
- [4] 以下のいずれかの条件を満たした卒業論文を執筆し、単位を修得すること
 1. 卒業論文をドイツ語で執筆する
 2. ドイツ語文献を研究対象または参考図書とした日本語の卒業論文を執筆し、ドイツ語の要旨を付す

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分	CEFR 合格目標レベル
GC ドイツ語 必修科目	8	GC ドイツ語 A1	2	共通専門科目	CEFR A1 合格目標
		GC ドイツ語 A2	2	共通専門科目	CEFR A2 合格目標
		GC ドイツ語 B1	2	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		GC ドイツ語 B2	2	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
GC ドイツ語 関連科目	6	ドイツ語論述実習 1	1	専攻専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		ドイツ語論述実習 2	1	専攻専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		ドイツ語圏の社会と文化 1	2	専攻専門科目	CEFR A2 合格目標
		ドイツ語圏の社会と文化 2	2	専攻専門科目	CEFR A2 合格目標
GC ドイツ語 準関連科目	5	中級ドイツ語作文 1	1	専攻専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		中級ドイツ語作文 2	1	専攻専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		中級ドイツ語会話 1	1	専攻専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		中級ドイツ語会話 2	1	専攻専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		上級ドイツ語講読 1	1	専攻専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		上級ドイツ語講読 2	1	専攻専門科目	CEFR B1 以上合格目標

【注意】

- * GC ドイツ語必修科目は重複履修が可能です。合計 10 単位まで卒業に必要な単位に算入できます。
- * 履修にあたっては、ガイダンスなども利用しながら、教員に事前に相談するようにしてください。
- * GC ドイツ語関連科目・準関連科目は、大学入学時ドイツ語未習者は 2 年次以降に履修します（これらの科目は、GC ドイツ語必修科目を履修中でない学生も履修できます）。
- * 入学前にドイツ語学習歴のある場合は、1・2 年次に選択外国語として履修する外国語科目のドイツ語を、GC ドイツ語必修科目・関連科目・準関連科目に読み替えて履修できる場合があります。教員の指示に従ってください。
- * 上記の場合、読み替えて履修した GC ドイツ語必修科目・関連科目・準関連科目を、本プログラム修了に必要な単位のうちに算入できます。
- * GC ドイツ語プログラム履修中の学生にはコーチングが提供されます。コーチングは正課外のため、単位は与えられません。そのため、上の表には含まれませんが、とくに会話力アップのために非常に有効です。参加にあたっては、ガイダンスや 3S 等で伝達される担当教員の指示に従ってください。

(3) 履修モデル

留学時期や学習計画によってさまざまな履修パターンがあります。以下は理想的に学習が進んだ場合の一例です。教員の助言も仰ぎながら、最適ナリズムを見出してください。正課外のコーチングについては、記載されていません。

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
3 年次春学期から 1 年間の協定留学をする場合 (入学時未習者)	〔春学期〕 GC ドイツ語 A1 〔秋学期〕 GC ドイツ語 A1	〔春学期〕 GC ドイツ語 A2 ドイツ語論述実習 1 ドイツ語圏の社会と文化 1 中級ドイツ語作文 1 〔夏休み〕 外国語現地実習 (ドイツ語) 2 〔秋学期〕 GC ドイツ語 B1 ドイツ語論述実習 2 ドイツ語圏の社会と文化 2 中級ドイツ語作文 2 中級ドイツ語会話 2	〔春学期〕 ドイツ協定留学 〔秋学期〕 ドイツ協定留学	〔春学期〕 GC ドイツ語 B2 上級ドイツ語講読 1 または 2 中級ドイツ語会話 1 〔秋学期〕 GC ドイツ語 B1
語学研修のみをしながら、プログラム修了を目指す場合 (入学時未習者)	〔春学期〕 GC ドイツ語 A1 〔秋学期〕 GC ドイツ語 A1	〔春学期〕 GC ドイツ語 A2 中級ドイツ語会話 1 〔秋学期〕 GC ドイツ語 B1 中級ドイツ語会話 2 〔春休み〕 外国語現地実習 (ドイツ語) 1	〔春学期〕 GC ドイツ語 B2 ドイツ語論述実習 1 ドイツ語圏の社会と文化 1 中級ドイツ語作文 1 上級ドイツ語講読 1 または 2 〔秋学期〕 GC ドイツ語 B1 ドイツ語論述実習 2 ドイツ語圏の社会と文化 2 中級ドイツ語作文 2	〔春学期〕 GC ドイツ語 B2 〔秋学期〕 GC ドイツ語 B1

	1年次	2年次	3年次	4年次
入学時未習者で協定留学する場合の検定取得目標	独検3級（秋学期） CEFR A2 レベル（秋学期）	独検2級（春学期） CEFR B1 レベル（春学期） CEFR C1 レベル（秋学期）		
協定留学なしの場合の検定取得目標	独検4級（秋学期）	独検3級（春学期） 独検2級（秋学期） CEFR A2 レベル（春学期）	独検準1級 CEFR B1 レベル	

【注意】

- * 各種語学検定試験の受験は、学習リズムを保つためにも重要です。受験時期は、コース所属の期間や学修進度を考慮しながら決めていきます。教員にも相談してください。CEFRに準拠した検定試験については受験料割引が受けられることがあるので、3S 掲示を確認してください。なお、入学後に B1 / 2 級以上に合格した場合は、外国語学習褒賞制度への申請が可能です。グローバル教育センターのホームページや 3S など申請時期を事前に確認してください。
- * e-learning も活用を推奨します。履修する授業で案内されない場合には、ドイツ語担当の専任教員に申し出てください。
- * 「外国語現地実習（ドイツ語）」（語学研修の短期留学）の履修を強く推奨します。

(4) GC ドイツ語プログラム修了証の申請手続きについて

プログラム修了の認定申請は卒業する年度に行わなければなりません。認定された場合には、卒業式当日に「GC ドイツ語プログラム修了証」が授与されます。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合には、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。卒業後に授与を希望する場合は証明書（有料）が発行されます。

4年次	9月卒業予定者 7月	GC ドイツ語プログラム 認定申請書提出	申請書提出期限：授業終了日
	3月卒業予定者 12月		

2. GC フランス語プログラム

(1) 概要

[1] 目標：コース修了時まで、フランス語実用技能検定試験（仏検）2 級だけでなく、ヨーロッパ言語共通参照枠 CEFR に準拠した国際的なフランス語検定試験（フランス国民教育省認定試験は DELF/DALF または TCF*）の B1 以上の合格を目指します。B1 は自立した言語使用者レベルのスタート地点であり、留学生がフランスの学部に登録するために必要な最低語学力の目安ともされています。GC フランス語プログラム（コーチング含む）は、協定留学希望の有無にかかわらず、このレベルへの到達を目標として設計されています。

* DELF は A1 ~ B2、DALF は C1 ~ C2 に対応し、どちらの資格も生涯有効です。TCF は全レベル統一のマークシート方式（文法問題含む）で、不合格がありません。公的書類としてのスコア有効期限は 2 年です。

[2] 語学試験の対応レベル：大学からフランス語を始める学生について、仏検と CEFR の大まかな対応を挙げるとすれば、以下の通りです。既習者についてはそれまでの学習内容により、必ずしも一致しない場合もあります。

CEFR	仏検	実用英語技能検定（参考）
A1	4 級	3 級～準 2 級
A2	3 級～準 2 級	準 2 級～2 級
B1	2 級	2 級～準 1 級
B2	準 1 級	準 1 級～1 級

[3] プログラム開始時期の目安：学習歴やクラスレベル（A1, A2 および B1・B2）によって、プログラムの開始時期の目安が分かれます。以下の 5 つのモデルを参考にしてください。あくまでも目安ですので、教員にも積極的に相談してください。

学習歴	履修開始時期モデル
入学時フランス語未習者	1 年次春学期または秋学期から
入学時に仏検 3 級相当のフランス語力がある	1 年次春学期から
入学時に仏検準 2 級・DELF B1（junior 含む）相当のフランス語力がある	1 年次春学期から
本学入学後 1 年以上の学習歴あり（仏検 4 級程度）	2 年次春学期から
本学入学後 1 年以上の学習歴あり（仏検 3 級程度）	2 年次春学期から

[4] 協定留学希望者のプログラム履修：協定留学希望者で、4年間で卒業を希望する場合は、1年次春学期からのプログラム履修開始を強く推奨します。

(2) 修了要件

以下の4要件を満たし、必要な認定申請を行うと、卒業時に修了証が授与されます。

- [1] 下表の必修科目から8単位以上修得すること。
- [2] 下表の関連科目から6単位以上修得すること。
- [3] 下表の準関連科目から5単位以上修得すること。
- [4] 以下のいずれかの条件を満たした卒業論文を執筆し、単位を修得すること
 1. 卒業論文をフランス語で執筆する
 2. フランス語文献を研究対象または参考図書とした日本語の卒業論文を執筆し、フランス語の要旨を付す

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分	CFR 合格目標レベル
GC フランス語 必修科目	8	GC フランス語 A1	2	共通専門科目	CEFR A1 合格目標
		GC フランス語 A2	2	共通専門科目	CEFR A2 合格目標
		GC フランス語 B1	2	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		GC フランス語 B2	2	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
GC フランス語 関連科目	6	フランス語論述実習 1	1	専攻専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		フランス語論述実習 2	1	専攻専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		フランスの歴史と社会 1	2	専攻専門科目	CEFR A2 合格目標
		フランスの歴史と社会 2	2	専攻専門科目	CEFR A2 合格目標
GC フランス語 準関連科目	5	中級フランス語作文 1	1	専攻専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		中級フランス語作文 2	1	専攻専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		中級フランス語会話 1	1	専攻専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		中級フランス語会話 2	1	専攻専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		上級フランス語講読 1	1	専攻専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		上級フランス語講読 2	1	専攻専門科目	CEFR B1 以上合格目標

【注意】

- * GC フランス語必修科目は重複履修が可能です。合計 10 単位まで卒業に必要な単位に算入できます。
- * とくに GC フランス語 B1・B2 の履修にあたっては、ガイダンスなども利用しながら、教員に事前に相談するようにしてください。
- * GC フランス語関連科目・準関連科目は、大学入学時フランス語未習者は2年次以降に履修します（これらの科目は、GC フランス語必修科目を履修中でない学生も履修できます）。
- * 入学前にフランス語学習歴のある場合は、1・2年次に選択外国語として履修する外国語科目のフランス語を、GC フランス語必修科目・関連科目・準関連科目に読み替えて履修できる場合があります。教員の指示に従ってください。
- * 上記の場合、読み替えて履修した GC フランス語必修科目・関連科目・準関連科目を、本プログラム修了に必要な単位のうちに算入できます。
- * GC フランス語プログラム履修中の学生には、コーチングが提供されます。コーチングは正課外のため、単位は与えられません。そのため、上記の表には含まれませんが、とくに会話力アップのために非常に有効です。参加にあたっては、ガイダンスや3S等で伝達される担当教員の指示に従ってください。

(3) 履修モデル

留学時期や学習計画によってさまざまな履修パターンがあります。以下は理想的に学習が進んだ場合の一例です。教員の助言も仰ぎながら、最適ナリズムを見出してください。正課外のコーチングについては、記載されていません。

	1年次	2年次	3年次	4年次
3年次秋学期から1年間の協定留学をする場合 (入学時未習者)	〔春学期〕 GC フランス語 A1 〔秋学期〕 GC フランス語 A1	〔春学期〕 GC フランス語 A2 フランス語論述実習 1 中級フランス語作文 1 〔夏休み〕 外国語現地実習 (フランス語) 2 〔秋学期〕 GC フランス語 B1 フランス語論述実習 2 フランスの歴史と社会 2 中級フランス語作文 2 中級フランス語会話 2	〔春学期〕 GC フランス語 B2 フランスの歴史と社会 1 中級フランス語会話 1 上級フランス語講読 1 または 2 〔秋学期〕 フランス協定留学	〔春学期〕 フランス協定留学 〔秋学期〕 GC フランス語 B1 中級フランス語会話 2
2年次秋学期から1年間の協定留学をする場合 (既習者)	〔春学期〕 GC フランス語 A2 または B2 指示された関連科目 指示された準関連科目 〔秋学期〕 GC フランス語 B1 指示された関連科目 指示された準関連科目 〔春休み〕 外国語現地実習 (フランス語) 1	〔春学期〕 GC フランス語 B2 中級フランス語会話、 上級フランス語講読 1 または 2 その他指示された関連科目・ 準関連科目 〔秋学期〕 フランス協定留学	〔春学期〕 フランス協定留学 〔秋学期〕 GC フランス語 B1 中級フランス語会話 2	〔春学期〕 GC フランス語 B2 中級フランス語会話 1 上級フランス語講読 1 または 2 〔秋学期〕 GC フランス語 B1 中級フランス語会話 2
語学研修のみをしながら、プログラム修了を目指す場合 (入学時未習者)	〔春学期〕 GC フランス語 A1 〔秋学期〕 GC フランス語 A1	〔春学期〕 GC フランス語 A2 中級フランス語作文 1 〔夏休み〕 外国語現地実習 (フランス語) 2 〔秋学期〕 GC フランス語 B1 フランス語論述実習 2 フランス語中級作文 2	〔春学期〕 GC フランス語 B2 フランス語論述実習 1 フランスの歴史と社会 1 フランス語中級会話 1 上級フランス語講読 1 または 2 〔秋学期〕 GC フランス語 B1 フランスの歴史と社会 2 フランス語中級会話 2	〔春学期〕 GC フランス語 B2 フランス語中級会話 1 上級フランス語講読 1 または 2 〔秋学期〕 GC フランス語 B1 フランス語中級会話 2
入学時未習者で協定留学をする場合の検定取得目標	仏検 4 級～3 級 (秋学期)	仏検 3 級～準 2 級 (春学期) TCF または DELF A2 (秋学期)	仏検 2 級 (春学期) DELF B1 (春学期)	仏検準 1 級 TCF または DELF B2 (現地受験または帰国後)
入学時 B1 junior 相当で協定留学をする場合の検定取得目標	仏検 2 級 (秋学期) TCF B1 (秋学期)	仏検 2 級 (春学期)	仏検準 1 級 DELF B2 (現地受験または帰国後)	
入学時 B1 相当で協定留学をする場合の検定取得目標	仏検 2 級 (秋学期)	TCF または DELF B2 (春学期)	仏検準 1 級 TCF または DALF C1 (現地受験または帰国後)	
協定留学なしの場合の検定取得目標 (入学時未習者)	仏検 4 級 (秋学期)	仏検 3 級 (春学期) 準 2 級 (秋学期) TCF または DELF A2 (秋学期)	仏検 2 級 TCF または DELF B1	

【注意】

* 各種語学検定試験の受験は、学習リズムを保つためにも重要です。受験時期は、コース所属の期間や学修進度を考慮しながら決めていきます。教員にも相談してください。

1. 仏検は団体出願の制度がありますので、利用してください (受験料割引)。

2. DELF は受験枠が非常に少ないので、出願期間開始直後に申し込みを済ませるようにしてください。

3. 入学後、B1 / 2 級以上に合格した場合は、外国語学習褒賞制度への申請が可能です。グローバル教育センターのホームページや 3S など申請時期を事前に確認してください。

* e-learning の活用も推奨します。履修する授業で案内されない場合には、フランス語担当の専任教員に申し出てください。

*「外国語現地実習（フランス語）」（語学研修の短期留学）の履修を強く推奨します。

(4) GC フランス語プログラム修了証の申請手続きについて

プログラム修了の認定申請は卒業する年度に行わなければなりません。認定された場合には、卒業式当日に「GC フランス語プログラム修了証」が授与されます。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合には、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。卒業に授与を希望する場合は証明書（有料）が発行されます。

4年次	9月卒業予定者	GC フランス語プログラム 認定申請書提出	申請書提出期限：授業終了日
	7月		
	3月卒業予定者		
	12月		

10 グローバル・チャレンジ（GC）英語プログラム

ヨーロッパ文化学科と日本・東アジア文化学科には、英語の力を十分に伸ばし、検定試験合格や留学の実現を目指す人のために、グローバル・チャレンジ（GC）というプログラムが用意されています。ヨーロッパ文化学科と日本・東アジア文化学科のカリキュラムのもとで学びながら、英語の学習にとくに力を注ぎたい人を対象とした特訓プログラムです。

(1) 概要

目標：

- [1] 英語検定試験に挑戦する場合は、3年次終了時で IELTS 5.5 以上、実用英語技能検定 CSE 2300 以上、TOEIC (LRSW) 1560 以上に相当するスコアを目指します。
- [2] すでに上記のレベルにある場合は、そのレベルをさらに向上させ、英語で行われる本学の授業を受講できるレベルの語学能力や教養を身につけます。
- [3] 英語圏の大学に（長期または短期）留学を目指します。現地の学生と対等に議論をおこない、また留学先の授業において十分知識を得られるだけの語学能力を身につけます。
- [4] 英語の教職免許取得を目指す場合にも、英語教員として不可欠な英語力を身につけます。

(2) 修了要件

以下の3要件を満たし、必要な認定申請を行うと卒業時に修了証が授与されます。

- [1] 下表に定める「GC 英語必修科目」から12単位以上修得すること。
- [2] 下表に定める「GC 英語関連科目」から8単位以上修得すること。
- [3] 4年次に「卒業論文ゼミナール1」（2単位）「卒業論文ゼミナール2」（2単位）において、以下の1・2いずれかの条件を満たした卒業論文を執筆し、「卒業論文」（4単位）と合わせ8単位を修得すること。
 1. 英語で卒業論文を執筆する。
 2. 英語文献を研究対象または参考図書とした卒業論文を日本語で執筆し、英語のレジュメを付す。

第1章 授業科目の履修

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分
GC 英語 必修科目	12	GC 英語 A1	2	共通専門科目
		GC 英語 A2	2	共通専門科目
		GC 英語 B1	2	共通専門科目
		GC 英語 B2	2	共通専門科目
		GC 英語 C1	2	共通専門科目
		GC 英語 C2	2	共通専門科目
		GC 英語 D1	2	共通専門科目
		GC 英語 D2	2	共通専門科目
GC 英語 関連科目	8	プラクティカル・イングリッシュ 1	1	外国語科目 (選択外国語 II)
		プラクティカル・イングリッシュ 2	1	外国語科目 (選択外国語 II)
		イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング 1	1	外国語科目 (選択外国語 II)
		イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング 2	1	外国語科目 (選択外国語 II)
		イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ 1	1	外国語科目 (選択外国語 II)
		イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ 2	1	外国語科目 (選択外国語 II)
		ディスカッション・ディベート英語 1	1	外国語科目 (選択外国語 II)
		ディスカッション・ディベート英語 2	1	外国語科目 (選択外国語 II)
		クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 1	1	外国語科目 (選択外国語 II)
		クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 2	1	外国語科目 (選択外国語 II)
		ビジネス・コミュニケーション英語 1	1	外国語科目 (選択外国語 II)
		ビジネス・コミュニケーション英語 2	1	外国語科目 (選択外国語 II)
		イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 1	1	外国語科目 (選択外国語 II)
		イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 2	1	外国語科目 (選択外国語 II)
		TOEIC 対策英語 1	1	外国語科目 (選択外国語 II)
		TOEIC 対策英語 2	1	外国語科目 (選択外国語 II)
		外国語現地実習 (英語) 1	2	外国語科目 (選択外国語 II)
		外国語現地実習 (英語) 2	2	外国語科目 (選択外国語 II)
		Information Technology and Global Communication	2	総合科目
		Japan in the Modern World	2	総合科目
		Introduction to Race, Ethnicity and Nation	2	総合科目
		Introduction to Human Rights	2	総合科目
		Introduction to Gender and Sexuality Studies	2	総合科目
		Global Environmental Issues	2	総合科目
		Introduction to Human Geography	2	総合科目
		Introduction to Personal Health and Wellness	2	総合科目
		Career Design in a Global Age	2	総合科目
		インターネット・イングリッシュ	2	総合科目
		Introduction to Global History 1	2	共通専門科目
		Introduction to Global History 2	2	共通専門科目
		Transnational Issues 1	2	共通専門科目
		Transnational Issues 2	2	共通専門科目
		Understanding Foreign Affairs and the Global Economy	2	共通専門科目
		Global Service Learning A1	1	共通専門科目
		Global Service Learning A2	1	共通専門科目
		Global Service Learning B1	2	共通専門科目
		Global Service Learning B2	2	共通専門科目
		Global Service Learning C1	4	共通専門科目
		Global Service Learning C2	4	共通専門科目
		Introduction to Economics (a)	4	共通専門科目
		Foundations of Political Science	2	共通専門科目
		Introduction to Management	2	共通専門科目
		Trade Economics	2	共通専門科目
		International Finance	2	共通専門科目
		Industrial Organization	2	共通専門科目
		Business and Society	2	共通専門科目
		Survey of Global Studies 1	2	共通専門科目
Survey of Global Studies 2	2	共通専門科目		
Survey of Transcultural Studies 1	2	共通専門科目		
Survey of Transcultural Studies 2	2	共通専門科目		
Topics in Foreign Policy and Diplomacy 1	2	共通専門科目		
Topics in Foreign Policy and Diplomacy 2	2	共通専門科目		
Survey of Futures Studies 1	2	共通専門科目		
Survey of Futures Studies 2	2	共通専門科目		
Survey of Comparative Politics 1	2	共通専門科目		
Survey of Comparative Politics 2	2	共通専門科目		
Global Civics 1	2	共通専門科目		
Global Civics 2	2	共通専門科目		

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分
GC 英語 関連科目 (続き)		Survey of Political Ideas 1	2	共通専門科目
		Survey of Political Ideas 2	2	共通専門科目
		Peace Studies 1	2	共通専門科目
		Peace Studies 2	2	共通専門科目
		Communication Studies 1	2	共通専門科目
		Communication Studies 2	2	共通専門科目
		Second Language Studies 1	2	共通専門科目
		Second Language Studies 2	2	共通専門科目
		World Englishes 1	2	共通専門科目
		World Englishes 2	2	共通専門科目
		Media Communications 1	2	共通専門科目
		Media Communications 2	2	共通専門科目
		Language & Communication Barriers 1	2	共通専門科目
		Language & Communication Barriers 2	2	共通専門科目
		Translation & Interpretation Studies 1	2	共通専門科目
		Translation & Interpretation Studies 2	2	共通専門科目
		Cultural Representations 1	2	共通専門科目
		Cultural Representations 2	2	共通専門科目
		Global Literatures in English 1	2	共通専門科目
		Global Literatures in English 2	2	共通専門科目
		Japanese Studies 1	2	共通専門科目
		Japanese Studies 2	2	共通専門科目
		Topics in Japanese Culture 1	2	共通専門科目
		Topics in Japanese Culture 2	2	共通専門科目
		Japanese History in Global Perspective 1	2	共通専門科目
		Japanese History in Global Perspective 2	2	共通専門科目
		Transnational Cultures 1	2	共通専門科目
		Transnational Cultures 2	2	共通専門科目
		Diversity in Stories and Societies 1	2	共通専門科目
		Diversity in Stories and Societies 2	2	共通専門科目
		Japan and International Society	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Studies of Asian Economies	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Politics in Asia	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Japanese History	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Survey of Japanese Literature	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Japanese Culture and Society	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Traditional Arts of Asia	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Modern Arts of Asia	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Seminar in Entrepreneurship	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Comparative Perspectives on Asian Societies	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Comparative Cultures and Histories	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Asian Philosophies & Thought	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Survey in Comparative Literatures	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Globalization and Asia	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Environmental Issues in a Global Context	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Topics in Global Business	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Topics in Technology & Society	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Seminar in Visual Cultures	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Special Topics in Global Asia	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Survey of Global Media & Communication	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
Topics in Gender & Sexuality	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
Survey of Identities in Asia	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
Seminar in Global Asia Issues	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
Global Asia in the 21st Century	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
Survey of Global Issues	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
Fieldwork in Japan	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
アメリカの社会と文化 1	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
アメリカの社会と文化 2	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
イギリスの社会と文化 1	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
イギリスの社会と文化 2	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
日本の社会と文化 1	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
日本の社会と文化 2	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
現代世界の諸問題 1	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
現代世界の諸問題 2	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
インターカルチュラルスキル養成講座 1	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
インターカルチュラルスキル養成講座 2	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分
GC 英語 関連科目 (続き)		グローバル・リーダーシップ養成講座 1	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		グローバル・リーダーシップ養成講座 2	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		留学入門ゼミナール	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		グローバル・コミュニケーション 1	1	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		グローバル・コミュニケーション 2	1	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		留学のための英語講座 A1[TOEFL]	1	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		留学のための英語講座 A2[TOEFL]	1	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		留学のための英語講座 B1[IELTS]	1	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		留学のための英語講座 B2[IELTS]	1	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		イングリッシュ・サマースクール 1	1	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
イングリッシュ・サマースクール 2	1	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		

【注意】

① GC 英語必修科目「GC 英語」について

* この科目は少人数制の英語の授業です。上限 15 名程度です。希望者が多い場合には、選考が行われることがあります（英語強化クラスの学生やはじめて受講する学生が優先される場合があります）。

* 複数年度にまたがった重複履修が可能です。2 回目以降に修得した単位も、卒業および修了に必要な単位として算入できます。また GC 英語プログラムの修了要件は 12 単位ですが、卒業に必要な単位には最大で 16 単位まで算入できます。

* 「GC 英語」には A, B, C, D があります。A は Grammar and Syntax, B は Listening and Notetaking に主眼があります。この 2 つは基礎力の強化を目標としています。C と D は、4 技能実践英語です。ニュース・時事問題、現代社会、伝統文化・歴史などのトピックスを通じて、とくにディスカッションやライティングのスキルを強化し、英語を自由に使いこなす力を伸ばします。対象となる学年は主として、A と B は 1～2 年生、C と D は 2～4 年生です。いずれもシラバスをよく読んで履修する科目を考えてください。

② GC 英語プログラムの認定申請を行う予定の場合、4 年次の卒業論文執筆に際しても、全学対象の英語コーチングを受けることを推奨します。

③ MCV（履修要項 73、74 頁参照）の英語関連プログラムも積極的に活用してください。

(3) 履修モデル

留学時期や学修計画によってさまざまな履修パターンがあります。以下はその一例です。

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
3 年次に 長期留学 する場合	GC 英語 A1・A2 GC 英語 B1・B2 GC 英語関連科目（留学の ための英語講座 A1・A2 [TOEFL] など）	GC 英語 B1・B2 GC 英語 C1・C2 GC 英語関連科目（留学入 門ゼミナールなど）	英語圏長期留学（1 年間）	卒業論文ゼミナール 卒業論文 GC 英語関連科目 （英語名称の科目など）
2 年次に 長期留学 する場合	GC 英語 A1・A2 GC 英語 B1・B2 GC 英語関連科目（留学のた めの英語講座 B1・B2 [IELTS] など）	英語圏長期留学（1 年間）	GC 英語 C1・C2 GC 英語 D1・D2 GC 英語関連科目 (Topics in Japanese Culture 1・2 など)	
短期留学をする場合	GC 英語 A1・A2 GC 英語 B1・B2 GC 英語関連科目（ディス カッション・ディベート英 語 1・2 など）	GC 英語 C1・C2 外国語現地実習（英語）1 GC 英語関連科目（クワイ ティブ・ライティング・イン ・イングリッシュ 1・2 など）	外国語現地実習（英語）2 GC 英語 D1・D2 GC 英語関連科目（ビジネ ス・コミュニケーション英 語 1・2 など）	
検定試験 スコア目標	IELTS 4.5 実用英語技能検定 CSE 2067 TOEIC (LRSW) 1290	IELTS 5.0 実用英語技能検定 CSE 2184 TOEIC (LRSW) 1425	IELTS 5.5 実用英語技能検定 CSE 2300 TOEIC (LRSW) 1560	

※ 検定試験は各自で積極的に受験してください。

※ 外国語現地実習や長期協定留学の活用を推奨します。

※ GC 英語関連科目（総合科目、外国語科目、共通専門科目など）も積極的に履修してください。

(4) GC 英語プログラム修了証の申請手続きについて

プログラム修了の認定申請は卒業する年度に行わなければなりません。認定された場合には、卒業式当日に「GC 英語プログラム修了証」が授与されます。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。卒業後に授与を希望する場合は証明書（有料）が発行されます。

4 年次	9月卒業予定者 7月	GC 英語プログラム 認定申請書提出	申請書提出期限：授業終了日
	3月卒業予定者 12月		

11 グローバルチャレンジ (GC) 中国語／韓国・朝鮮語アソシエイトプログラム**1. GC 中国語アソシエイトプログラム**

人文学部の英語英米文化学科およびヨーロッパ文化学科の学生を対象とした、中国語と中国語圏の文化を深く学びたい人のためのプログラムです。以下の条件を満たした者については、「GC 中国語アソシエイトプログラム修了証」が発行されます。

(1) 修了条件

[1] 以下に定める「GC 中国語必修科目」から 8 単位以上修得すること。

[2] 以下に定める「GC 中国語関連科目」から 6 単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目	単位	種別
GC 中国語 必修科目	8	GC 中国語 A1	2	共通専門科目
		GC 中国語 A2	2	共通専門科目
		GC 中国語 B1	2	共通専門科目
		GC 中国語 B2	2	共通専門科目
GC 中国語 関連科目	6	中国の社会と文化 1	2	共通専門科目 (中国語による授業)
		中国の社会と文化 2	2	共通専門科目 (中国語による授業)
		中国語論述実習 1	1	共通専門科目 (中国語による授業)
		中国語論述実習 2	1	共通専門科目 (中国語による授業)

* 必修科目は重複履修が可能です。卒業に必要な単位への算入は、英語英米文化学科では不可、ヨーロッパ文化学科では 8 単位まで可能です。

* 長期留学をした学生は、留学中に修得した語学科目の単位を各科目の学習内容に合った上記科目に読み替えることが可能です。

(2) GC 中国語アソシエイトプログラム修了証の申請手続きについて

プログラム修了の認定申請は卒業する年度に行わなければなりません。認定された場合には、卒業式当日に「GC 中国語アソシエイトプログラム修了証」が授与されます。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。卒業後に授与を希望する場合は証明書（有料）が発行されます。

4 年次	9月卒業予定者 7月	GC 中国語アソシエイトプログラム 認定申請書提出	申請書提出期限：授業終了日
	3月卒業予定者 12月		

2. GC 韓国・朝鮮語アソシエイトプログラム

人文学部の英語英米文化学科およびヨーロッパ文化学科の学生を対象とした、韓国・朝鮮語と韓国・朝鮮文化を深く学びたい人のためのプログラムです。以下の条件を満たした者については、「GC 韓国・朝鮮語アソシエイトプログラム修了証」が発行されます。

(1) 修了条件

[1] 以下に定める「GC 韓国・朝鮮語必修科目」から8単位以上修得すること。

[2] 以下に定める「GC 韓国・朝鮮語関連科目」から6単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目名	単位数	種別
GC 韓国・朝鮮語 必修科目	8	GC 韓国・朝鮮語 A1	2	共通専門科目
		GC 韓国・朝鮮語 A2	2	共通専門科目
		GC 韓国・朝鮮語 B1	2	共通専門科目
		GC 韓国・朝鮮語 B2	2	共通専門科目
GC 韓国・朝鮮語 関連科目	6	韓国・朝鮮の社会と文化 1	2	共通専門科目 (韓国・朝鮮語による授業)
		韓国・朝鮮の社会と文化 2	2	共通専門科目 (韓国・朝鮮語による授業)
		韓国・朝鮮語論述実習 1	1	共通専門科目 (韓国・朝鮮語による授業)
		韓国・朝鮮語論述実習 2	1	共通専門科目 (韓国・朝鮮語による授業)

* 必修科目は重複履修が可能です。卒業に必要な単位への算入は、英語英米文化学科では不可、ヨーロッパ文化学科では8単位まで可能です。

* 長期留学をした学生は、留学中に修得した語学科目の単位を各科目の学習内容に合った上記科目に読み替えることが可能です。

(2) GC 韓国・朝鮮語アソシエイトプログラム修了証の申請手続きについて

プログラム修了の認定申請は卒業する年度に行わなければなりません。認定された場合には、卒業式当日に「GC 韓国・朝鮮語アソシエイトプログラム修了証」が授与されます。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。卒業後に授与を希望する場合は証明書（有料）が発行されます。

4 年次	9月卒業予定者 7月	GC 韓国・朝鮮語アソシエイトプログラム 認定申請書提出	申請書提出期限：授業終了日
	3月卒業予定者 12月		

日本・東アジア文化学科

1 日本・東アジア文化学科 卒業要件

本学に4年以上在学し、履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。113頁以降に各区分の履修方法が記載されていますので、よく読んで間違いのないように履修してください。また、以下のことにも注意して計画的に単位を修得してください。

- ・2年次外国語を履修するためには、必要な単位を1年次に修得しなければなりません。詳細は118頁に記載してあります。
- ・2年次終了時点で、卒業に必要な修得単位が28単位未満かつ、履修登録単位制限の緩和措置対象とならない等の場合には、4年間での卒業が不可能となります。
- ・4年次の必修科目である「卒業論文」を履修するには、3年の在学期間を充足した上で、必要な科目と単位を修得しなければなりません。「卒業論文ゼミナール登録届」の提出も必要です。詳細は139頁に記載してあります。なお、3年次終了時点で卒業論文履修資格を満たさない場合は、4年間での卒業が不可能となります。
- ・学科の「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」の代わりに、「卒業論文ゼミナール1（人間・環境）」「卒業論文ゼミナール2（人間・環境）」を履修し単位を修得することによっても、卒業要件を満たすことができます（152頁参照）。

[日本・東アジア文化学科]

区分	修得すべき 単位数	内 訳	
総合科目	20 単位	6分野（A～F）すべてからセクションを問わず最低2単位を修得し（計12単位）、さらに分野を問わず8単位以上修得すること。ただし、実践セクションの科目を必ず1科目（1単位）以上含むこと。	
外国語科目	12 単位	必修外国語（1）（2）（英語） 4 単位 選択外国語Ⅰ（1）（2）（学科指定） （英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語） 8 単位	
	（自由選択）	選択外国語Ⅱ（修得単位は総合科目の「分野を問わない8単位」に含めることができる） 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語	
専門科目	共通専門科目	24 単位	（指定された人文学部の他学科の専攻科目、他学部の専門科目などより選択） ※「学芸員課程関連科目」の修得単位は、8単位まで共通専門科目に算入することができる。 ※「GCドイツ語」「GCフランス語」は各10単位まで、「GC英語」「GC中国語」「GC韓国・朝鮮語」は各16単位まで、修得単位を共通専門科目に算入することができる。 ※「日本語ワークショップ」は、8単位まで共通専門科目に算入することができる。
	専攻科目	68 単位	専攻基礎科目 4 単位 必修科目 日本・東アジア文化基礎ゼミナール1 2 単位 日本・東アジア文化基礎ゼミナール2 2 単位
		専攻専門科目 64 単位	必修科目 卒業論文 4 単位 卒業論文ゼミナール1 2 単位 卒業論文ゼミナール2 2 単位 選択科目 専門科目（講義） ①「ことば・文学・思想」4 単位以上 ②「芸術・身体・環境」4 単位以上 ③「歴史・民俗・宗教」4 単位以上 ——3分野すべてを履修 ※⑤「Global Challenge 関連科目」は8単位まで、⑥「教職の教科に関する概説科目」は4単位まで、算入することができる 専門科目（演習・実習） ①「ことば・文学・思想」 ②「芸術・身体・環境」 ③「歴史・民俗・宗教」 ④「スキル科目」 ——うち3分野以上（各分野4単位以上） ※⑤「Global Challenge 関連科目」は4単位まで算入することができる
合 計	124 単位		

※ 以下の科目に関しては、同じ科目を重複して履修することができます。重複履修をした場合、2度目以降の修得単位も卒業要件に算入できます。ただし、一部の共通専門科目の合計修得単位数には上記の制限があります。

- ・共通専門科目の「GHゼミナール」「日本語ワークショップ」及びGlobal Challenge分野の科目
- ・専門科目（演習・実習） ※ただし、④「スキル科目」は「卒業論文準備ゼミナール」を除いて重複履修することができない。

【注意】

表の合計124単位は最小限必要な単位数であり、これ以上の単位を余裕をもって履修することを勧めます。

2 日本・東アジア文化学科 コース制度とプログラム

人文学部では学科ごとに複数のコースが用意されています。これらのコースは、自分の興味や関心がどこに向いているかを自覚し、その関心に従って科目履修や卒業論文のテーマ選択をしていく際に参照すべき学修上の指針（履修モデル）と考えてください。また、次項の履修モデルはコースごとに作成されていますので、こちらも参考にしてください。

いったんコースを決めても、その後の関心の変化によってコースを変更することは自由ですし、特定のコースによって履修できない科目が生じるということもありませんので、安心して選択してください。

1. 開講コース

日本・東アジア文化学科では、卒業までの学習計画を立てる際の一助となるように、自分の興味・関心に基づいてコース選択をします。どのコースを選択した場合でも、コース区分を超えて自由に講義科目や演習科目を履修できます。各コースに開設されている科目には次のような特徴があります。

◇ 日本文化コース

日本文化全般にわたる幅広い講義科目と資料探求を中心に研究方法を学ぶ演習科目を設置し、日本文化の特質を歴史をひもときながら明らかにしていきます。文字資料や絵画資料を読み込んだり、伝承等の調査のためにフィールドワークをおこなうなど、オーソドックスな研究方法を中心とする科目群です。

◇ 東アジア文化コース

主に中国、韓国・朝鮮の文学、歴史、語学から生活文化に至るまで、多分野にわたる授業科目があります。中国、韓国への「海外実習」によって、海外留学協定校などでの語学習得や文化体験をおこなうことなども奨励されます。実践的、行動的性格の強い科目群です。

◇ 比較・交流文化コース

地域を超えた視点から文化の比較・交流について学ぶコースです。文化、思想、美術などの比較・交流はもちろん、ジャンルや地域、時代を越えた学問分野を横断するような、多彩な授業科目があります。既存の研究手法にとらわれない、学際的性格の強い科目群です。

2. コース選択手続き予定表（詳細は3Sにて周知します）

コース希望届を1年次秋学期に提出します。正式に所属コースが決まるのは2年次4月です。

【注意】

- ① 原則的に本人の希望にしたがってコース配属をおこなうため、選考はありません。
- ② コース希望届未提出者は、日本文化コースに配属されます。

3. コース変更について

所属コース決定後に変更を希望する場合は、所定の用紙にて教務課に願い出てください。手続期間は毎年度4月、履修登録期間開始前までを締め切りとします。

コース変更は個人の判断でおこなえますが、必要に応じて指導教授や教務委員に相談してください。

4. 設置プログラム

3 学科共通の学修プログラム（154 頁）に加えて、日本・東アジア文化学科には、グローバル・チャレンジ（GC）中国語／韓国・朝鮮語プログラム（142 頁）、英語プログラム（145 頁）、ドイツ語／フランス語アソシエイトプログラム（149 頁）が設置されています。どのプログラムにも、誰でも参加できます。詳細は各頁を参照してください。

◆東アジア文化コース履修モデル・東アジアの文化や言語を学び、中国との貿易活動に従事する人物を育てる。

DP:3 言語・文学・歴史・民俗・思想・芸術・社会等の分野に関する専門的かつ横断的な知識を修得していること

区分	総合科目		外国語科目		共通専門科目		専門科目			合計 単位数	
	20単位		12単位		24単位		専攻基礎科目		専攻専門科目		
	8単位		8単位		8単位		4単位		36単位		
卒業要件							4単位		36単位		20単位
1年次 春学期	データ分析の基礎(A) 国際社会における紛争と協働(C) 芸術・実践フィールドワーク(D)(実務)	2 英語 2 選択外国語 I (1) 2	1 2	1 2	1 2	2 2	2 2	2 2	2 2 2	2 2 2	17
1年次 秋学期	現代社会とアート(C)	2 英語 2 選択外国語 I (1)	1 2	1 2	1 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	13
2年次 春学期	スポーツの心理学(E) キャリアデザイン論A(F) 外国語現地実習(中国語)	2 英語 2 選択外国語 I (2) 2	1 2	1 2	1 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	20
2年次 秋学期	キャリアデザイン演習(F)	2 英語 2 選択外国語 I (2)	1 2	1 2	1 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	18
3年次 春学期	インターンシップ(F) インターンシップ特講(F)	1 1	1 1	1 1	1 1	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	18
3年次 秋学期	社会思想の歴史(B)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	14
4年次 春学期		2	2	2	2	2	2	2	2	2	10
4年次 秋学期		2	2	2	2	2	2	2	2	2	14
合計	18	14	24	4	36	20	124				

※外国語科目の「選択外国語 II」は8単位まで総合科目の単位として算入できる。ここでは「外国語現地実習(中国語)」がそれに該当する。

◆比較・交流文化コース履修モデル: 日韓の交流の歴史を学び、日韓交流の仕事に携わる人物を育てる。

DP:5 現代社会の特徴である多文化・多言語環境のなかで異文化間の理解・共感・連帯を求め、在学中に得た知識や技能をグローバルな枠組みで社会生活に応用しうる力を身につけていること

区分	総合科目	外国語科目			共通専門科目		専攻基礎科目			専攻専門科目			合計 単位数	
		外国語科目			共通専門科目		専攻基礎科目			専攻専門科目				
		12単位	24単位	4単位	8単位	36単位	20単位	8単位	36単位	20単位				
卒業要件	20単位	2 英語	1	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	20
1年次 春学期	20単位	2 英語	1	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	18
1年次 秋学期	20単位	2 英語	1	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	13
2年次 春学期	20単位	2 英語	1	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	20
2年次 秋学期	20単位	2 英語	1	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	15
3年次 春学期	20単位	2 英語	1	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	16
3年次 秋学期	20単位	2 英語	1	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	16
4年次 春学期	20単位	2 英語	1	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	10
4年次 秋学期	20単位	2 英語	1	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	2 英語	2	16
小計	18	14	4	24	4	36	20	36	20	8	36	20	124	

※外国語科目の「選択外国語Ⅱ」は8単位まで総合科目の単位として算入できる。ここでは「外国語現地実習(韓国・朝鮮語)」がそれに該当する。

◆GC(中国語プログラム)の修了を目指す場合

DP-5 現代社会の特徴である多文化・多言語環境のなかで異文化間の理解・共感・連帯を求め、在学中に得た知識や技能をグローバルな枠組みで社会生活に応用しうる力を身につけていること

区分	総合科目		外国語科目		共通専門科目		専攻基礎科目		専門科目		合計 単位数
	20単位		12単位		24単位		4単位		専攻専門科目 選択科目(履修)		
	20単位		12単位		8単位		36単位		20単位		
卒業要件	多文化共生の現在(B)	2	英語	1	GO中国語A1	2	日本・東アジア文化基礎ゼミナール1	2	⑤*中国の社会と文化1	2	18
	情報技術と人間社会(A)	2	選択外国語 I (1)(中国語)	2				②現代中国論1	2		
			中国語中級1	1				③中国史1	2		
1年次 春学期											18
1年次 秋学期	現代社会とグローバル化(C)	2	英語	1	GO中国語A2	2	日本・東アジア文化基礎ゼミナール2	2	⑤*中国の社会と文化2	2	20
	自己理解の哲学(F)	2	選択外国語 I (1)(中国語)	2				②現代中国論2	2		
	人間と環境(D)	2	中国語中級2	1				③中国史2	2		
2年次 春学期											19
2年次 秋学期	日本と世界の宗教(B)	2	英語	1	異文化コミュニケーション論1	2		②東アジアの地理と環境1	2	⑤*中国語論述実習1	19
			選択外国語 I (2)(中国語)	2	GO中国語A2	2		①中国思想史1	2	③イスラーム文化演習1	
			中国語コミュニケーション2	1							
3年次 春学期											13
3年次 秋学期	スロープ履修(バレーボール)(E)(履修)	1									13
4年次 春学期											8
4年次 秋学期											14
合計		14									124

※ 外国語科目の「選択外国語 II」は8単位まで総合科目の単位として算入できる。ここでは「中国語中級1・2」「中国語コミュニケーション1・2」「外国語現地実習(中国語)1」がそれに該当する。
 ※ 協定留学先で修得した単位を、本学の単位で読み替えることができる。ここでは、3年次に1年間留学し、留学先で20単位修得したと想定し、規定に応じて換算している。
 ※ *が付いている科目は、GC(中国語プログラム)を想定した専門科目である。
 ※ 卒業論文は中国語で執筆することを推奨する。

◆GC(韓国・朝鮮語プログラム)の修了を目指す場合

DP:5 現代社会の特徴である多文化・多言語環境のなかで異文化間の理解・共感・連帯を求め、在学中に得た知識や技能をグローバルな枠組みで社会生活に応用しうる力をつけること

区分	総合科目		外国語科目		共通専門科目		専攻基礎科目		専門科目		合計 単位数
	20単位		12単位		24単位		4単位		専攻専門科目		
	20単位	20単位	12単位	12単位	24単位	24単位	4単位	4単位	必修科目 8単位	選択科目(講義) 36単位	
卒業要件	20単位	20単位	12単位	12単位	24単位	24単位	4単位	4単位	8単位	36単位	20単位
1年次 春学期	多文化共生の現在(B) 2 社会学概論(A) 2 スポーツ概論(I)(A)・(B)・(E)・(漢語) 1	2 英語 2 選外外国語 I(1)(韓国・朝鮮語) 2 韓国・朝鮮語中級1 1	1 GC韓国・朝鮮語A1 2	2 日本・東アジア文化基礎ゼミナール1 2							21
	小計 5	小計 4	小計 4	小計 2	小計 2	小計 0	小計 8	小計 0		小計 0	
1年次 秋学期	自己理解の哲学(F) 2 スポーツ概論2(A)・(B)・(C)・(E)・(漢語) 1	2 英語 2 選外外国語 I(1)(韓国・朝鮮語) 2 韓国・朝鮮語中級2 1	1 GC韓国・朝鮮語A2 2	2 日本・東アジア文化基礎ゼミナール2 2							19
	小計 3	小計 4	小計 4	小計 2	小計 2	小計 0	小計 8	小計 0		小計 0	
2年次 春学期	人間と環境(D) 2	2 英語 2 選外外国語 I(2)(韓国・朝鮮語) 2 韓国・朝鮮語コミュニケーション2 1	1 GC韓国・朝鮮語A1 2 異文化コミュニケーション論1 2 観光文化論(ヨーロッパ) 1	2 韓国・朝鮮語中級1 2 外国語現地実習(韓国・朝鮮語)1 2							19
	小計 0	小計 6	小計 6	小計 6	小計 0	小計 0	小計 4	小計 0		小計 3	
2年次 秋学期	人間と環境(D) 2	2 英語 2 選外外国語 I(2)(韓国・朝鮮語) 2 韓国・朝鮮語コミュニケーション2 1	1 GC韓国・朝鮮語A2 2 異文化コミュニケーション論2 2 人文情報リテラシー 1	2 韓国・朝鮮語中級2 2 外国語現地実習(韓国・朝鮮語)1 2							19
	小計 2	小計 4	小計 4	小計 6	小計 0	小計 0	小計 4	小計 0		小計 3	
3年次 春学期	日本と世界の宗教(B) 2	2 比較思想(日欧) 2	2 越境文化論 2	2 東アジアの宗教1 2 東アジアの美術工芸史1 2 東アジアの歴史演習1 2							12
	小計 0	小計 2	小計 2	小計 2	小計 0	小計 0	小計 4	小計 0		小計 6	
3年次 秋学期	日本と世界の宗教(B) 2	2 比較思想(日欧) 2	2 越境文化論 2	2 東アジアの宗教2 2 東アジアの美術工芸史2 2 東アジアの歴史演習2 2							14
	小計 2	小計 0	小計 0	小計 2	小計 0	小計 0	小計 4	小計 0		小計 2	
4年次 春学期	現代社会とグローバルゼミナール(C) 2	2 卒業論文ゼミナール1 2	2 比較文学論(日欧) 2	2 卒業論文ゼミナール1 2 東アジアの地理と環境1 2							8
	小計 0	小計 0	小計 0	小計 2	小計 0	小計 2	小計 2	小計 2		小計 2	
4年次 秋学期	現代社会とグローバルゼミナール(C) 2	2 卒業論文ゼミナール2 2 卒業論文 4	2 テクノロジー文化論 2	2 卒業論文ゼミナール2 2 卒業論文 4							12
	小計 2	小計 0	小計 0	小計 2	小計 0	小計 6	小計 2	小計 2		小計 0	
	計 14	計 18	計 24	計 4	計 8	計 36	計 20	計 124			

※ 外国語科目の「選外外国語 II」は8単位まで総合科目の単位として算入できる。ここでは「韓国・朝鮮語中級1・2」「韓国・朝鮮語コミュニケーション1・2」「外国語現地実習(韓国・朝鮮語)」がそれに該当する。

※ 協定留学先で修得した単位を、本学の単位で読み替えることができる。ここでは、3年次に1年間留学し、留学先で26単位修得したと想定し、規定に応じて換算している。

※ *が付いている科目は、GC(韓国・朝鮮語プログラム)を想定した専門科目である。

※ 卒業論文は韓国・朝鮮語で執筆することを推奨する。

◆ 英語強化クラスに所属し、かつGC英語プログラムの修了を目指す場合(所属コース:日本文化コース)

DP:2 外国語の実践的な運用能力を身につけていること

区分	総合科目		外国語科目		共通専門科目		専攻基礎科目			専門科目			合計 単位数	
	20単位		12単位		24単位		4単位			8単位		36単位		
	2	2	2	2	1	GC英語A1	2	2	2	2	2	2		20単位
卒業要件	情報技術と人間社会(A)	英語	英語	英語	1	GC英語A1	2	2	2	2	2	2	20	
1年次 春学期	情報技術と人間社会(A)(実践)	2 選択外国語 I (1)(英語)	2 英語	2 選択外国語 I (1)(英語)	2									17
	小計	4	小計	3	小計	2	小計	2	小計	0	小計	6	小計	0
1年次 秋学期	アカデミックライティング(A)	2 英語	2 英語	1 GC英語A2	2									19
	日本と世界の宗教(B)	2 選択外国語 I (1)(英語)	2 英語	2 選択外国語 I (1)(英語)	2									
	キャリアデザイン論A(F)	2												
	小計	6	小計	3	小計	2	小計	2	小計	0	小計	6	小計	0
2年次 春学期	現代社会と法(C)	2 英語	1 GC英語B1	2										15
		2 選択外国語 I (2)(英語)	2											
	小計	2	小計	3	小計	2	小計	2	小計	0	小計	4	小計	4
2年次 秋学期	キャリアデザイン演習(F)	2 英語	1 GC英語B2	2										17
	現代社会と人権(C)	2 選択外国語 I (2)(英語)	2											
	小計	4	小計	3	小計	2	小計	2	小計	0	小計	4	小計	4
3年次 春学期	インターンシップ(F)	1	GC英語C1	2										16
	インターンシップ特講(F)	1	Transnational Cultures 1	2										
	小計	2	小計	0	小計	4	小計	4	小計	0	小計	4	小計	6
3年次 秋学期			GC英語C2	2										14
			Transnational Cultures2	2										
	小計	0	小計	0	小計	4	小計	4	小計	0	小計	4	小計	6
4年次 春学期	スポーツの心理学(E)	2	GC英語D1	2										12
			Global Literatures in English1	2										
	小計	2	小計	0	小計	4	小計	4	小計	0	小計	4	小計	0
4年次 秋学期			GC英語D2	2										14
			Global Literatures in English2	2										
	小計	0	小計	0	小計	4	小計	4	小計	0	小計	4	小計	0
	小計	20	小計	12	小計	24	小計	4	小計	8	小計	36	小計	20

※専攻専門科目の選択科目(演習)は、重複履修が可能である。ここでは、「日本古典文学演習(古代)1・2」がそれに該当する。
※この履修モデルは、英語強化クラスに所属し、かつGC英語プログラムの修了を目指す履修モデルとなっている。

◆GHの修了を目指す場合(所属コース:東アジア文化コース)

DP:1 幅広い教養、グローバルな視野、人権尊重および他者との協調の精神を身につけていること

区分	専門科目				共通専門科目 24単位	専攻基礎科目 4単位				専攻専門科目 36単位		合計 単位数
	総合科目 20単位		外国語科目 12単位			専攻基礎科目 4単位		専攻専門科目 36単位		専攻専門科目 36単位		
	総合科目 20単位		外国語科目 12単位			専攻基礎科目 4単位		専攻専門科目 36単位		専攻専門科目 36単位		
卒業要件	情報技術と人間社会(A) 2 英語		1 日本語ワーキングショップ[文章表現]		2 日本・東アジア文化基礎ゼミナール1		2 比較文化論1		2 ②比較文化論1		20	21
1年次 春学期	国際社会における紛争と協働(C) 2 選択外国語 I (1)		2 世界の中の日本文学		2		2 ①中国文学史1		2 ③イスラーム文化論1		2	21
	武蔵・東洋フイルムワーク(D)(実務)		2		2		2 ③イスラーム文化論1		2 小計 6		2	21
	小計 6		小計 4		2		2 小計 0		2 小計 6		2	21
1年次 秋学期	現代社会と経済(C) 2 英語		1		2		2 ②比較文化論2		2 ①中国文学史2		2	15
	人文学入門(B) 2 選択外国語 I (1)		2		2		2 ③イスラーム文化論2		2 ③イスラーム文化論2		2	15
	小計 4		小計 3		2		2 小計 0		2 小計 6		2	15
2年次 春学期	スポーツの心理学(E) 2 英語		1 デジタル・ヒューマニティーズ		2		2 ③日中交流史1		2 ④中国語応用1		2	20
	キャリアデザイン論A(F) 2 選択外国語 I (2)		2 GHゼミナールI[国際日本学]		2		2 ③中国史1		2 ③中国史演習1		2	20
	小計 4		小計 5		2		2 小計 0		2 小計 4		2	20
2年次 秋学期	キャリアデザイン演習(F) 2 英語		1 GHゼミナール2[国際日本学]		2		2 ③日中交流史2		2 ④中国語応用2		2	14
	小計 2		2		2		2 ③中国史2		2 ③中国史演習2		2	14
	小計 2		小計 3		2		2 小計 0		2 小計 4		2	14
3年次 春学期	インターンシップ(F) 1		英語学概論1		2		2 ③朝鮮史1		2 ②朝鮮文化演習1		2	18
	小計 1		2		2		2 ①中国思想史1		2 ①中国思想史演習1		2	18
	小計 2		小計 4		2		2 ②東アジアの美術工芸史1		2 ④卒業論文準備ゼミナール1		2	18
	小計 2		小計 4		2		2 小計 0		2 小計 6		2	18
3年次 秋学期	小計 0		ナショナルリズムの社会学		2		2 ③朝鮮史2		2 ②朝鮮文化演習2		2	14
	小計 0		観光と社会		2		2 ①中国思想史2		2 ④卒業論文準備ゼミナール2		2	14
	小計 0		小計 4		2		2 ②東アジアの美術工芸史2		2 ②		2	14
	小計 0		小計 4		2		2 小計 0		2 小計 6		2	14
4年次 春学期	小計 0		異文化コミュニケーション論1		2		2 卒業論文ゼミナール1		2 ①中国文学演習1		2	8
	小計 0		小計 2		2		2 小計 0		2 小計 2		2	8
	小計 0		異文化コミュニケーション論2		2		2 卒業論文ゼミナール2		2 ②現代中国論2		2	14
	小計 0		エスニシティの社会学		2		2 卒業論文		2 ①中国文学演習2		2	14
	小計 0		小計 4		2		2 小計 0		2 小計 2		2	14
	小計 0		小計 14		24		2 小計 4		2 計 36		20	124

※外国語科目の「選択外国語 II」は8単位まで総合科目の単位として算入できる。ここでは「外国語現地実習(中国語)」がそれに該当する。

4 日本・東アジア文化学科 総合科目

1. 目的と特徴

総合科目は幅広い教養と知識、豊かな人間性と良識、柔軟な思考力、判断力、そして創造的な実践力を養うことを目的としています。総合科目の特徴は、全学部および関係するセンターが協力して企画、運営している共通科目（スタンダード科目）であること、全学部の学生が同じ教室で受講することです。総合科目は、価値の多様化、異文化およびダイバーシティ理解、男女共同参画をはじめとする 21 世紀を生きる私たちが直面している状況や取り組むべき課題を具体的に意識して精選されたものです。

なお、それぞれの授業群における独自の目標を、以下のように定めています。

- (A) 情報とコミュニケーション : 情報化社会で学び、生活し、仕事をするための知識と力を養う
- (B) 歴史と文化 : 日本と世界各地の伝統文化や思想、宗教などへの理解を深める
- (C) 現代社会 : 政治、法、経済、社会構造など、多様な視点から現代をとらえる
- (D) 自然と環境 : 地球環境や生物環境の基礎知識を身につけ、自然と人間の共生を考える
- (E) 心と体 : 人間の心と体をトータルにとらえ、健康づくりのスキルと姿勢を身につける
- (F) ライフマネジメントとキャリアデザイン : 大学卒業後の進路に夢を描き、具体化するための力を養う

2. 学年配当

ほとんどの科目は 1 年次から 4 年次までいつでも履修できますが、学年が限定されている科目も一部にありますので、一覧表をよく確認してください。

3. 授業科目の編成、分類、単位数など

総合科目は 6 分野（A～F）からなり、それぞれの授業科目は講義セクションと実践セクションに分かれています。講義セクションには総合的内容の講義（講義科目）が置かれ、実践セクションには演習・実習・実技・実験その他の体験授業（実践科目）が置かれています。講義セクションで得た知識を実践的レベルでも追究したい場合に実践セクションの科目を履修すると効果的です。それぞれの分野は、知と実践（知ることとおこなうこと）の循環・統合を実感できるように構成されています。ただし、総合科目の授業内容は、一部のセット科目を除いてそれぞれ独立していますので、各人の興味と必要に応じて、セクションを気にせずに個々に履修することもできます。単位数については授業の形態や密度、学修時間に応じて 1 単位・2 単位の区別があります。一覧表でよく確認してください。

4. 修得すべき単位数

6 分野（A～F）すべてからセクションを問わず最低 2 単位を修得し（計 12 単位）、かつ分野を問わずさらに 8 単位以上を修得すること。ただし、実践セクションの科目を 1 単位以上含めなければなりません（総合科目全体として合計 20 単位以上が卒業に必要な条件です）。なお、後述する外国語科目の選択外国語Ⅱを 8 単位まで「分野を問わない 8 単位」に含めることができます。

【注意】

同一科目（同一名称の科目）を履修した場合、2 度目以降は重複履修として自由科目の扱いになるため、卒業に必要な単位に算入することができません。ただし同一名称でありながら、記号や番号で区別がなされている科目については別科目として扱う場合があります。詳細については教務課に問い合わせてください。

区分	修得すべき単位数	詳細		注意
総合科目	20 単位	(A) 情報とコミュニケーション	2 単位以上	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野最低 2 単位（合計 12 単位）と分野を問わず 8 単位、合わせて 20 単位を修得すること。 ・分野を問わず実践セクションの科目を最低 1 単位以上含めること。 ・「分野を問わない 8 単位」の中に、選択外国語 II を 8 単位まで算入できる。
		(B) 歴史と文化	2 単位以上	
		(C) 現代社会	2 単位以上	
		(D) 自然と環境	2 単位以上	
		(E) 心と体	2 単位以上	
		(F) ライフマネジメントとキャリアデザイン	2 単位以上	

5. 「(E) 心と体」分野のスポーツ実践

総合科目のうち、**スポーツ実践**を履修する際には以下の事項に注意してください。

- ① 成績評価にあたっては、授業への参加度および履修態度（平常点）を主要なものとし、欠席数が多い場合や履修態度が著しく悪い場合は不合格となり、単位の認定がおこなわれません。ただし、特別な事情がある場合は別に考慮することがあるので、その旨を申し出てください。
- ② 健康診断を受けていない場合は、速やかに大学保健室および身体運動科学研究室に申し出て、指示を受けてください。健康診断では、健康状態をはじめ、疾病・異常の有無を確認しています。スポーツ活動、身体活動を通して、健康の維持増進を図るためにも、自身の健康状態を把握しておくことは非常に重要です。
- ③ スポーツ実践は実技です。必ず運動に適した服装で授業を受けてください。
- ④ 実技科目であるため、履修者数を制限します。

6. 実践セクションの特殊な履修手続きについて

実践セクションの授業のうち F 群の「海外フィールド実習」は、通常の履修登録の手続きとは異なり、ガイダンスを実施するなどしたのちに、授業担当者に直接履修登録の申請をおこないます。通常の履修登録期間・履修取消期間外におこなわれるため、履修取消の対象外ですので、注意してください。

総合科目は、下表の通りです。

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	
(A) 情報とコミュニケーション	講義	GEOA02020	情報技術と人間社会	2	1～4	講義	
		GEOA02030	メディアと社会	2	1～4	講義	
		GEOA02040	データ分析の基礎	2	1～4	講義	
		GEOA02050	データ分析の応用	2	1～4	講義	
		GEOA02060	Information Technology and Global Communication	2	1～4	講義	* ※ (1)
	実践	GEOA01010	表現技法とインタラクション	2	1～4	演習	
		GEOA01020	問題解決とコンピューティング	2	1～4	演習	
		GEOA01030	デジタル協働学	2	1～4	演習	
		GEOA01040	データマイニング入門	2	1～4	演習	
		GEOA01050	インターネット・イングリッシュ	2	1～4	演習	
		GEOA01060	クリエイティブ・ライティング	2	1～4	演習	
		GEOA01070	アカデミック・ディベート	2	1～4	演習	
		GEOA01080	クリティカル・シンキング	2	1～2	演習	※ (2)
GEOA01090	Digital Media Training	2	1～4	演習	※ (1)、(3)		
GEOA01100	Accounting and Finance (a)	4	1	演習	※ (4)		
(B) 歴史と文化	講義	GEB02010	グローバル時代の歴史認識	2	1～4	講義	
		GEB02020	20世紀の世界	2	1～4	講義	
		GEB02030	20世紀の日本	2	1～4	講義	
		GEB02040	社会思想の歴史	2	1～4	講義	*
		GEB02050	人文学入門	2	1～4	講義	
		GEB02060	日本と世界の宗教	2	1～4	講義	
		GEB02070	日本の伝統と文化	2	1～4	講義	
		GEB02080	現代の世界と人々	2	1～4	講義	
		GEB02090	多文化共生の現在	2	1～4	講義	
		GEB02100	Japan in the Modern World	2	1～4	講義	* ※ (1)
		GEB02110	Introduction to Race, Ethnicity and Nation	2	1～4	講義	* ※ (1)
	実践	GEB01010	世界の名著	2	1～4	演習	
		GEB01020	日本の名著	2	1～4	演習	
		GEB01030	サイエンスラボ講座 (文理融合)	2	1～4	演習	
		GEB01040	リベラルアーツの名著	2	1～4	演習	
GEB01050	分野横断型アカデミック・リーディング	2	1～4	演習			
(C) 現代社会	講義	GEC02010	日本国憲法	2	1～4	講義	
		GEC02020	現代社会と政治	2	1～4	講義	
		GEC02030	現代社会と法	2	1～4	講義	
		GEC02040	現代社会と経済	2	1～4	講義	*
		GEC02050	現代社会と人権	2	1～4	講義	
		GEC02070	現代社会とジェンダー	2	1～4	講義	*
		GEC02080	現代社会とアート	2	1～4	講義	*
		GEC02090	国際社会における紛争と協調	2	1～4	講義	*
		GEC02100	現代社会とグローバル化	2	1～4	講義	*
		GEC02110	現代日本の課題	2	1～4	講義	
		GEC02140	Introduction to Human Rights	2	1～4	講義	* ※ (1)
		GEC02150	Introduction to Gender and Sexuality Studies	2	1～4	講義	※ (1)
	GEC02160	社会学概論	2	1～4	講義		
	実践	GEC01030	現代アート・ワークショップ	2	1～4	演習	
		GEC01060	Politics (a)	4	1	演習	* ※ (4)
		GEC01070	International Relations (a)	4	1	演習	* ※ (4)
(D) 自然と環境	講義	GED02010	地球の自然史	2	1～4	講義	
		GED02020	環境論	2	1～4	講義	
		GED02030	人間と環境	2	1～4	講義	
		GED02040	数学の世界	2	1～4	講義	
		GED02050	自然と生活のなかの物理	2	1～4	講義	
		GED02060	化学と現代社会	2	1～4	講義	
		GED02070	生物の進化	2	1～4	講義	
		GED02080	生物学と現代社会	2	1～4	講義	
		GED02090	科学と歴史	2	1～4	講義	
		GED02100	先進の科学技術	2	1～4	講義	
		GED02110	Global Environmental Issues	2	1～4	講義	* ※ (1)
		GED02120	Introduction to Human Geography	2	1～4	講義	* ※ (1)
	実践	GED01010	武威・環境フィールドワーク	2	1～4	演習	
		GED01020	サイエンスラボ集中講座 A	2	1～4	演習	
		GED01030	サイエンスラボ集中講座 B	2	1～4	演習	
		GED01050	サイエンスラボ講座 (物理学) A	2	1～4	演習	
		GED01060	サイエンスラボ講座 (物理学) B	2	1～4	演習	
		GED01070	サイエンスラボ講座 (化学) A	2	1～4	演習	
		GED01080	サイエンスラボ講座 (化学) B	2	1～4	演習	
		GED01090	サイエンスラボ講座 (生物学) A	2	1～4	演習	
GED01100	サイエンスラボ講座 (生物学) B	2	1～4	演習			
GED01040	Mathematics and Statistics (a)	4	1	演習	※ (4)		
GED01110	Pure Mathematics (a)	4	1	演習	* ※ (4)		

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
(E) 心と体	講義	GEE02010	2	1～4	講義	
		GEE02020	2	1～4	講義	
		GEE02030	2	1～4	講義	
		GEE02040	2	1～4	講義	
		GEE02050	2	1～4	講義	
		GEE02060	2	1～4	講義	
		GEE02070	2	1～4	講義	
	GEE02080	2	1～4	講義	※ (1)	
	実践	GEE01010	2	1～4	演習	
		GEE01020	2	1～4	演習	
		GEE06010	1	1～4	実技	
		GEE06020	1	1～4	実技	
		GEE06030	1	1～4	実技	*
		GEE06040	1	1～4	実技	
GEE06050		1	1～4	実技		
GEE06060		1	1～4	実技		
GEE06070		1	1～4	実技	*	
GEE06080		1	1～4	実技		
GEE06090		1	1～4	実技		
GEE06100		1	1～4	実技		
GEE06110		1	1～4	実技		
GEE06120	1	1～4	実技			
GEE06130	1	1～4	実技	*		
GEE06140	1	1～4	実技	*		
(F) キャリアデザイン	講義	GEF02010	2	1～4	講義	
		GEF02020	2	1～4	講義	
		GEF02030	2	1～4	講義	
		GEF22010	2	2～4	講義	
		GEF02040	2	1～4	講義	
		GEF02050	2	1～4	講義	
		GEF02060	2	1～4	講義	※ (1)
	GEF02070	2	1～4	講義		
	実践	GEF21010	2	2～4	演習	
		GEF06010	1	1～4	実習	*
		GEF01040	4	1	演習	※ (4)
		GEF31010	1	3・4	演習	
		GEF36010	1	3・4	実習	
GEF01050		2	1～4	演習		

注意事項

- ※ (1) 授業で用いられる主要言語は英語です。授業内容をシラバスでよく確認したうえで、履修を決定して下さい。
- ※ (2) 原則として社会学部のグローバル・データサイエンスコース所属者の履修を優先します。
- ※ (3) 原則として国際教養学部グローバルスタディーズ専攻の学生の履修を優先します。
- ※ (4) PDP 科目となります。履修にあたり、IELTS overall5.5 以上（各項目 5.0 以上）の取得および、ロンドン大学への登録が必要となります。
これらの科目は週 2 回、英語で行われます。

5 日本・東アジア文化学科 外国語科目

本学科の卒業に必要な外国語科目の単位は以下のとおりです。外国語科目は特に出席が重視され、授業回数の3分の1以上を欠席した場合、単位が与えられません。また、外国語科目を指定された年次で修得できない場合、専門科目の履修に制限を受けたり、卒業論文履修資格を得られなくなることがあります。場合によっては4年間での卒業ができなくなることもあるので十分に注意してください。

1. 必修外国語と選択外国語 I

「学科基本クラス」と「英語強化クラス」があります。「英語強化クラス」への所属を希望しない場合は「学科基本クラス」所属となります。「英語強化クラス」は希望者多数の場合に選考があり、選考に漏れた場合には、「学科基本クラス」所属となります。

◇ 外国語修得必要単位数 (①学科基本クラス/②英語強化クラス共通)

必修外国語 (1) (英語)	2 単位	12 単位
必修外国語 (2) (英語)	2 単位	
選択外国語 I (1) (ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語、英語から 1 言語)	4 単位	
選択外国語 I (2) (ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語、英語から 1 言語)	4 単位	

=クラス編成表=

① 学科基本クラス

- ① 1 年次では必修外国語 (1) (英語) と英語以外の選択外国語 I (1) を履修します。英語については、英語 I を人文学部・経済学部・社会学部合同の到達度別クラスで授業を受けます。
- ② 2 年次では必修外国語 (2) (英語) と英語以外の選択外国語 I (2) を指定されたクラスで履修します。

履修年次	授業名	必修外国語 (1) (2 授業 2 単位)
1 年次	英語 I	総合英語

履修年次	授業名	必修外国語 (2) (2 授業 2 単位)
2 年次	英語 II	講読

履修年次	クラス名	選択外国語 I (1) (必要数 4 授業 4 単位)
1 年次	N1G	ドイツ語 I
	N1F	フランス語 I
	N1C	中国語 I
	N1K	韓国・朝鮮語 I
	N1J	日本語 I

履修年次	クラス名	選択外国語 I (2) (必要数 4 授業 4 単位)
2 年次	N2G	ドイツ語 II
	N2F	フランス語 II
	N2C	中国語 II
	N2K	韓国・朝鮮語 II
	N2J	日本語 II

② 英語強化クラス

- ① 1 年次では必修外国語 (1) と選択外国語 I (1) (いずれも英語) を履修します。必修外国語と選択外国語 I の英語 I [強化] は、ヨーロッパ文化学科との合同クラスです。
- ② 2 年次では必修外国語 (1) と選択外国語 I (1) (いずれも英語) を履修します。

履修年次	授業名	必修外国語 (1) (2 授業 2 単位)
1 年次	英語 I [強化]	Workshop

履修年次	授業名	必修外国語 (1) (2 授業 2 単位)
2 年次	英語 II [強化]	Workshop

履修年次	授業名	選択外国語Ⅰ(1)(4授業4単位)
1年次	英語Ⅰ[強化]	Reading & Writing
	英語Ⅰ[強化]	Listening & Speaking

履修年次	授業名	選択外国語Ⅰ(2)(4授業4単位)
2年次	英語Ⅱ[強化]	Reading & Writing
	英語Ⅱ[強化]	Listening & Speaking

外国語科目の履修に当たっては以下の注意をよく読んでください。

- ① 必修外国語(1)(2)(英語)と選択外国語Ⅰ(1)(2)は、必ず自分の配属されているクラスで履修してください。
- ② 必修外国語(1)(2)(英語)と選択外国語Ⅰ(1)(2)は、必要な単位を超えて履修することはできません。
- ③ 外国語の授業は出席が特に重視されるので注意してください。
- ④ 高等学校等でドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修した者については、本人の希望に基づき審査を経て、他の関連科目等で読み替えることを認めます。希望者はガイダンス終了時に教務課に申し出て指示を受けてください。
- ⑤ 選択外国語Ⅰ(2)は1年次に履修している言語(「選択外国語Ⅰ(1)」で選択した言語)と同じになります。
- ⑥ 選択外国語Ⅰ(1)の「日本語」は外国人学生特別入学試験で入学した学生等が履修できます。また外国人学生特別入学試験で入学した学生が履修する外国語(必修外国語(1)(2)、選択外国語Ⅰ(1)(2))のなかに母語*を含めることはできません。

*「母語」とは入学願書に記載した「第1言語」のことで、幼少期から自然に習得した言語のことを指します(出身国の公用語や国語と異なってもかまいません)。

◆ 2年次外国語履修条件

1年次終了の段階で以下の条件を満たしていない場合は、2年次外国語を履修することができず、翌年度に再び1年次クラスで未修得の授業を履修しなければなりません。なお、履修すべき授業は翌年度初めに指定します。

① 学科基本クラス

必修外国語(1)(英語)2授業(2単位)のうち1授業(1単位)以上でかつ選択外国語Ⅰ(1)4授業(4単位)のうち2授業(2単位)以上を修得していること

② 英語強化クラス

選択外国語Ⅰ(2)(2年次科目)については、必修及び選択外国語Ⅰ(1)(1年次科目)6授業(6単位)のうち1単位以上修得していること。ただし、修得単位が1~2単位の場合、選択外国語Ⅰ(2)2年次科目のうち履修できるのは2単位までとする(この場合、残りの2年次配当授業(2単位)は3年次に履修する)

2. 選択外国語Ⅱ

- ① 以下の表に示されているのは「選択外国語Ⅱ」と呼ばれる科目群です。
- ② 卒業のために単位修得が必要とされる科目ではありませんが、最大8単位まで総合科目の履修単位として、卒業必要単位に算入することができます。
- ③ 日本語科目は主として外国人留学生のために開講されています。日本語を母語とする学生で履修を希望する者は教務課に問い合わせてください。外国語科目として日本語を履修できるのは、協定留学生や外国人学生特別入学試験によって入学した学生、外国語の高校を卒業した学生などに限定されています。詳細は「【3学科共通】3留学・国際交流関連科目」のEAS科目一覧の注(158頁)を参照してください。

第1章 授業科目の履修

ナンバリング	科目名	単位	配当年度	授業形態	備考
LEN26011	ブラクティカル・イングリッシュ 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26012	ブラクティカル・イングリッシュ 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26021	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26022	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26031	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ 1	1	1～4	実習 (外国語)	*
LEN26032	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ 2	1	1～4	実習 (外国語)	*
LEN26041	ディスカッション・ディベート英語 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26042	ディスカッション・ディベート英語 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26051	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 1	1	1～4	実習 (外国語)	*
LEN26052	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 2	1	1～4	実習 (外国語)	*
LEN26061	ビジネス・コミュニケーション英語 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26062	ビジネス・コミュニケーション英語 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26071	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26072	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26081	TOEIC 対策英語 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LEN26082	TOEIC 対策英語 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LGE16031	ドイツ語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LGE16032	ドイツ語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LGE26021	ドイツ語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LGE26022	ドイツ語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LGE26031	ドイツ語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LGE26032	ドイツ語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LFR16031	フランス語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LFR16032	フランス語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LFR26021	フランス語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LFR26022	フランス語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LFR26031	フランス語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LFR26032	フランス語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LIA16031	イタリア語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LIA16032	イタリア語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LIA26011	イタリア語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LIA26012	イタリア語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LIA26021	イタリア語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LIA26022	イタリア語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LRU16011	ロシア語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LRU16012	ロシア語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LRU26011	ロシア語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LRU26012	ロシア語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LRU26021	ロシア語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LRU26022	ロシア語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LSP16031	スペイン語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LSP16032	スペイン語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LSP26021	スペイン語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LSP26022	スペイン語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LSP26031	スペイン語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LSP26032	スペイン語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LCH16031	中国語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LCH16032	中国語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LCH26021	中国語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LCH26022	中国語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LCH26031	中国語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LCH26032	中国語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LKO16031	韓国・朝鮮語入門 1	1	1～4	実習 (外国語)	
LKO16032	韓国・朝鮮語入門 2	1	1～4	実習 (外国語)	
LKO26021	韓国・朝鮮語中級 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LKO26022	韓国・朝鮮語中級 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LKO26031	韓国・朝鮮語コミュニケーション 1	1	2～4	実習 (外国語)	*
LKO26032	韓国・朝鮮語コミュニケーション 2	1	2～4	実習 (外国語)	*
LEN06010	外国語現地実習 (英語) 1	2	1～4	実習	
LEN06020	外国語現地実習 (英語) 2	2	1～4	実習	
LGE06010	外国語現地実習 (ドイツ語) 1	2	1～4	実習	
LGE06020	外国語現地実習 (ドイツ語) 2	2	1～4	実習	
LFR06010	外国語現地実習 (フランス語) 1	2	1～4	実習	
LFR06020	外国語現地実習 (フランス語) 2	2	1～4	実習	
LCH06010	外国語現地実習 (中国語) 1	2	1～4	実習	
LCH06020	外国語現地実習 (中国語) 2	2	1～4	実習	

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LKO06010	外国語現地実習(韓国・朝鮮語) 1	2	1～4	実習	
LKO06020	外国語現地実習(韓国・朝鮮語) 2	2	1～4	実習	
LJA16020	日本語(コンプリートビギナー)	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA16040	日本語(入門)	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA26010	日本語(初級)	1	1～4	実習(外国語)	
LJA26030	日本語(初中級)	1	1～4	実習(外国語)	
LJA36010	日本語(中級)	1	1～4	実習(外国語)	
LJA46010	日本語(上級)	1	1～4	実習(外国語)	

※ 各国語の入門1・2(「〇〇語入門1」「〇〇語入門2」)以外の科目は、履修に先だって、当該外国語の初級文法の学習を終えていることが条件となります。初級文法授業とは、各学部学科の当該外国語の1年次配当授業のうち初級文法の内容を含むもの、全学共通の入門授業、もしくは高等学校や大学等で入学前に受けた授業(初級文法を含むと判断できるもの)です。1年次生や編転入学者など、入学1年目の学生については、入学前に受けた初級文法授業がある場合にのみ、申請によって履修登録をおこなうことができます。

3. 外国語学習の手引き

(1) 英語について

大学で学ぶ英語は、入学時まで学習してきた内容を確認なものとするという側面と、それをふまえてより発展的な学習をおこなうという二つの性格をあわせ持っています。様々な学習・研究のなかで英語文献や資料を読む必要が出てくる場合に備えて、的確に英文の内容をつかむことができるだけの英語力を身につけておかなければなりません。それと同時に、異文化コミュニケーションの現場で必要とされる英語を聞く力・話す力の養成も重視するという観点から、実践的な英語力をつけるための学習にも力をいれるようにしてください。

まず、入学時に英語クラス分け試験を受験し、その結果に基づいて配属された到達度別クラスで授業を受けます。英語強化クラスの選考も原則として同じ試験の結果に基づきます。

① 学科基本クラスの学生は、1年次に必修外国語(1)として「総合英語」を受講します。入学時に受験する英語クラス分け試験の成績に基づいたクラスに配属され、履修者の英語力の現状に応じた英語授業を受けることとなります。また2年次に必修外国語(2)として「講読」を受講することとなります。

② 英語強化クラスの学生は、1年次に必修外国語(1)と選択外国語I(1)として、Reading&Writing、Listening&Speaking、Workshopなど、基本的な英語力を高めるための授業を受講します。2年次には必修外国語(2)と選択外国語I(2)として、1年次の内容をさらに発展させた6授業を受講して、より高度な英語運用能力の獲得を目指します。いずれも、ヨーロッパ文化学科との合同クラスです。

◇ 選択外国語IIとしての英語

日本・東アジア文化学科では、選択外国語IIの英語科目として、「プラクティカル・イングリッシュ1」「プラクティカル・イングリッシュ2」「イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング1」「イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング2」「イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ1」「イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ2」「ディスカッション・ディベート英語1」「ディスカッション・ディベート英語2」「クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ1」「クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ2」「ビジネス・コミュニケーション英語1」「ビジネス・コミュニケーション英語2」「イングリッシュ・ライティング・ワークショップ1」「イングリッシュ・ライティング・ワークショップ2」「TOEIC対策英語1」「TOEIC対策英語2」「外国語現地実習(英語)1」「外国語現地実習(英語)2」を履修することができます。8単位まで卒業単位の総合科目20単位の中に含めることができます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座科目」の英語

「グローバル・コミュニケーション1」「グローバル・コミュニケーション2」、「留学のための英語講座A1」「留学のための英語講座A2」「留学のための英語講座B1」「留学のための英語講座B2」など留学を希望する学生、あるいはより高い英語学習を求める学生のためのクラスが設けられています(A1・A2がTOEFL対策、B1・B2がIELTS対

策のクラスです)。

(2) ドイツ語について

ドイツ語はほとんどの学生にとって大学ではじめて学ぶ言語です。

選択外国語Ⅰ(1)として1年次に春学期・秋学期合わせて4授業(4単位)を履修します。内容は文法2授業、会話2授業です。文法の時間には、文法の基礎知識を身につけます。会話の時間は、ネイティブ・スピーカー教員による指導を受けてドイツ語会話の基礎を身につけます。2年次には選択外国語Ⅰ(2)として春学期、秋学期合わせて4授業が準備されています。

◇ 選択外国語Ⅱのドイツ語

「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」:

はじめてドイツ語を学ぶ人のための初級文法の授業です。選択外国語Ⅰとしてドイツ語を履修していない人が、第3の外国語としてドイツ語を学べるようになっています。

「ドイツ語中級1」「ドイツ語中級2」:

上記の「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」ないし選択外国語Ⅰのドイツ語授業を履修した人のための授業です。

「ドイツ語コミュニケーション1」「ドイツ語コミュニケーション2」:

上記の「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」ないし選択外国語Ⅰのドイツ語授業を履修した人のための授業です。

「外国語現地実習(ドイツ語)1」「外国語現地実習(ドイツ語)2」:

選択外国語ⅠまたはⅡとしてドイツ語を履修した人にお勧めします。「外国語現地実習(ドイツ語)1」は春季に、「外国語現地実習(ドイツ語)2」は夏季にドイツで実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座科目」のドイツ語

「ドイツ語論述実習1」「ドイツ語論述実習2」、「ドイツ語圏の社会と文化1」「ドイツ語圏の社会と文化2」:

ドイツに長期留学したい人、また高度なドイツ語の運用能力を身につけたい人のための授業です。授業はドイツ語でおこないます。

(3) フランス語について

フランス語は、ほとんどの学生にとってはじめて出会う外国語です。

1年次は、選択外国語Ⅰ(1)として、春学期、秋学期合わせて4授業です。内容は文法2授業、会話2授業です。文法の時間には、文法の基礎知識を身につけます。会話の時間は、ネイティブ・スピーカー教員による指導を受けてフランス語会話の基礎を身につけます。

2年次は、選択外国語Ⅰ(2)として、春学期、秋学期合わせて4授業が準備されています。

◇ 選択外国語Ⅱのフランス語

「フランス語入門1」「フランス語入門2」:

はじめてフランス語を学ぶ人のための初級文法の授業です。選択外国語Ⅰとしてフランス語を履修していない人が、第3の外国語として学べるようになっています。

「フランス語中級1」「フランス語中級2」:

上記の「フランス語入門1」「フランス語入門2」ないし選択外国語Ⅰのフランス語授業を履修した人のための授業です。

「フランス語コミュニケーション1」「フランス語コミュニケーション2」:

上記の「フランス語入門1」「フランス語入門2」ないし選択外国語Ⅰのフランス語授業を履修した人のための授業です。

「外国語現地実習(フランス語)1」「外国語現地実習(フランス語)2」:

選択外国語ⅠまたはⅡとしてフランス語を履修した人にお勧めします。「外国語現地実習(フランス語)1」は春季に、「外国語現地実習(フランス語)2」は夏季にフランスで実施されます。

◇ 留学・国際交流関連科目（共通専門科目）「留学準備講座科目」のフランス語

「フランス語論述実習 1」「フランス語論述実習 2」、「フランスの歴史と社会 1」「フランスの歴史と社会 2」:

フランスに長期留学したい人、また高度なフランス語の運用能力を身につけたい人のための授業です。授業はフランス語でおこないます。

(4) 中国語について

人文学部で選択外国語 I として中国語の授業を展開しているのは、日本・東アジア文化学科のみとなっています。中国語は、高校で学習したことのある一部の学生を除けば、初めて学ぶ外国語です。そこで授業では、発音から文法、会話、講読と、基礎から分かりやすく学べるように工夫しています。

また、中国語担当の教員のうち、半分ほどはネイティブ・スピーカーになっており、日本人教員による文法や講読の授業と、ネイティブ・スピーカーの教員による発音や会話の授業とがなるべくペアになるように、授業も組み合わせにしています。

2年間、しっかりと学習すれば、中国語の基礎は身に付きますが、語学の勉強は一生続けるものと思ってください。したがって、3年次以降は自分で学習を続けることを勧めます。このような学生のために開講されているのが、「中国語応用」です。卒業論文で、中国語圏に関連するテーマを選んだ場合には、特に中国語の読解力が必要とされます。その時のためにも、1、2年次の学習をまじめにおこない、基礎をしっかりと学んでおくことが必要です。そうすれば、「中国語応用」を履修する効果も倍増するでしょう。

中国語 I

中国語の基礎的な発音（音声と声調）や基本的な文法を体系的かつ実践的に学びます。特に春学期は、中国語の基本的な発音や声調の正確な習得を目指します。そうした前提の上で、更に初級程度の文法を学び、それを構造的に理解することを目標とします。一年度を通じて、初級程度の音読や会話、初歩的な読解力や作文能力を養います。また、各自の必要や問題意識に応じて、引き続き、自力で辞書を用いて学習し得る能力も養成します。

中国語 II

一年次に引き続き、中級程度の文法を習得すると共に、同じく中級程度の読解力を養い、あわせて、さらに進んだ会話・作文能力を習得することを目指します。最終的には、文法の正確な理解・把握の上に、読解・会話・作文にわたる総合的な能力を高めることを目標とします。各自の必要や問題意識に応じて、辞書を用いて、自力でさらに高度な文章の読解や作文も可能となるよう、全般的な学習能力も養います。

中国語応用

日本・東アジア文化学科では専門スキル科目として履修できます。名称は「応用」ですが、意欲的な学生は2年次から履修しています。卒業論文で、中国語圏に関連するテーマを選んだ場合には、特に中国語の読解力も必要とされますが、この演習でスキルアップすることで、卒業論文の資料収集能力も抜群なものになるでしょう。

◇ 選択外国語 II の中国語

「中国語入門 1」「中国語入門 2」「中国語中級 1」「中国語中級 2」「中国語コミュニケーション 1」「中国語コミュニケーション 2」は、選択外国語 I で中国語を履修しながら、さらに実力をあげたいという学生、および選択外国語 I では他の外国語を履修したが、第3の外国語として中国語も学習したいという学生のために開設されている、それぞれ週1回の授業です。「外国語現地実習（中国語）1」「外国語現地実習（中国語）2」は、春季および夏季に中国または台湾でおこなわれる短期留学です。

「中国語入門 1」「中国語入門 2」:

はじめて中国語を学ぶ人のための初級クラス。

「中国語中級 1」「中国語中級 2」:

入門を終えた人が履修する中級レベルの授業。

「中国語コミュニケーション 1」「中国語コミュニケーション 2」:

入門を終えた人が履修する会話の授業。

「外国語現地実習（中国語）1」「外国語現地実習（中国語）2」:

選択外国語として中国語を履修した人にお勧めします。武蔵大学の中国語のカリキュラムで1年間学習した学生ならば、これに参加できる能力が充分についているでしょう。「外国語現地実習（中国語）1」「外国語現地実習（中国語）2」は、春季および夏季に中国または台湾で、集中的に実施されます。この現地実習に参加して自信をつけた学生の中には、さらに交換留学生として1年間留学し、本格的に現地で勉強する者もいます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座」の中国語

「中国の社会と文化1」「中国の社会と文化2」「中国語論述実習1」「中国語論述実習2」:

中国語圏に長期留学したい人や高度な中国語の運用能力を身につけたい人のための授業です。授業は中国語でおこないます。

(5) 韓国・朝鮮語について

韓国・朝鮮語Ⅰ

春学期は、文字を正確に書くこと、正しく発音することを中心に学習し、簡単な会話・作文ができるようにします。秋学期は、文法を学びつつ平易な文章を読むことに1授業、会話を中心に基本文型の学習に1授業をあてます。また、授業中に、基本を身につけるための小テストをおこないます。それから韓国・朝鮮語の生の会話を聞き、言語の背景にある文化の学習をするために、韓国の音楽や映画、演劇を鑑賞する機会を設けます。授業の前後にはきちんと予習・復習をおこなってください。

韓国・朝鮮語Ⅱ

前年の学習を基礎に1つの授業では日常会話に習熟し、もう1つの授業では文法の理解を深めつつ、韓国・朝鮮語の文章を読んでいきます。会話では、新しい表現を使って話す練習を取り入れながら、自分の言葉として語ることを目標とします。読解では、辞書を使って正確に読むことを基本にして、重要構文・表現を学習します。授業の前後にはきちんと予習・復習をおこなってください。

韓国・朝鮮語応用

日本・東アジア文化学科では専門スキル科目として履修できます。意欲的な学生は2年次から履修しています。簡単な時事文やニュース動画などを教材として学習し、簡単なプレゼンテーションもできるようにします。また、卒業論文で、韓国・朝鮮に関連するテーマを選んだ場合には、特に韓国・朝鮮語の読解力も必要とされますが、この演習でスキルアップすることで、卒業論文の資料収集能力も抜群なものになるでしょう。

◇ 選択外国語Ⅱの韓国・朝鮮語

「韓国・朝鮮語入門1」「韓国・朝鮮語入門2」「韓国・朝鮮語中級1」「韓国・朝鮮語中級2」「韓国・朝鮮語コミュニケーション1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション2」は、選択外国語Ⅰで韓国・朝鮮語を履修しながら、さらに実力をあげたいという学生、および選択外国語Ⅰでは他の外国語を履修したが、第3の外国語として韓国・朝鮮語も学習したいという学生のために開設されている、それぞれ週1回の授業です。「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」は、春季および夏季に韓国でおこなわれる短期留学です。

「韓国・朝鮮語入門1」「韓国・朝鮮語入門2」:

はじめて韓国・朝鮮語を学ぶ人のための初級クラス。

「韓国・朝鮮語中級1」「韓国・朝鮮語中級2」:

入門を終えた人が履修する中級レベルの授業。

「韓国・朝鮮語コミュニケーション1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション2」:

入門を終えた人が履修する会話の授業。

「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」:

選択外国語として韓国・朝鮮語を履修した人にお勧めします。武蔵大学の韓国・朝鮮語のカリキュラムで1年間学習した学生ならば、これに参加できる能力が充分についているでしょう。「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」は春季に、「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」は夏季に集中的に韓国で実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座」の韓国・朝鮮語

「韓国・朝鮮の社会と文化1」「韓国・朝鮮の社会と文化2」「韓国・朝鮮語論述実習1」「韓国・朝鮮語論述実習2」：韓国に長期留学したい人や高度な韓国語の運用能力を身につけたい人のための授業です。授業は韓国語でおこないます。

(6) イタリア語について

日本・東アジア文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱのイタリア語です。教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力を身につけることを目標としています。

◇ 選択外国語Ⅱのイタリア語

「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」：

はじめてイタリア語を学ぶ人のための初級文法の授業です。第3の外国語として学べるようになっています。

「イタリア語中級1」「イタリア語中級2」：

上記の「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」を履修し終えた人のための授業です。

「イタリア語コミュニケーション1」「イタリア語コミュニケーション2」：

上記の「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」を履修し終えた人のための授業です。

(7) スペイン語について

日本・東アジア文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱのスペイン語です。教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力を身につけることを目標としています。

◇ 選択外国語Ⅱのスペイン語

「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」：

はじめてスペイン語を学ぶ人のための初級文法の授業です。第3の外国語としてスペイン語を学べるようになっています。

「スペイン語中級1」「スペイン語中級2」：

上記の「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」ないし選択外国語Ⅰのスペイン語授業を履修した人のための授業です。

「スペイン語コミュニケーション1」「スペイン語コミュニケーション2」：

上記の「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」ないし選択外国語Ⅰのスペイン語授業を履修した人のための授業です。

(8) ロシア語について

ロシア語は選択外国語Ⅱの1つで、第3の外国語として学ぶことができます。教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力を身につけることを目標としています。

「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」：

はじめてロシア語を学ぶ人のための初級文法の授業です。

「ロシア語中級1」「ロシア語中級2」：

上記の「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」の単位を修得した人のための授業です。

「ロシア語コミュニケーション1」「ロシア語コミュニケーション2」：

上記の「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」の単位を修得した人のための授業です。

(9) グローバル教育センターによる外国語学習プログラム他

グローバル教育センターでは、以下のような様々な異文化体験や外国語学習の機会を用意しています。正課の授業で基礎力を確保し、さらにそれを発展させるような機会を積極的に利用して、実力をアップさせていくことが望まれます。

(1) 武蔵大学外国語学習褒賞制度

対象の言語は、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語（日本語教育能力検定試験）等です。それぞれの基準や条件については、3S や武蔵大学ウェブサイトを確認してください。

(2) Musashi Communication Village (MCV) 1号館3階

MCV は、武蔵大学にある参加体験型学習スペースで、英会話や異文化イベント等の参加を通じて他者と「コミュニケーション」することで主に語学力を上げたり、異文化を体験・理解することを目的とした施設です。MCV 内には、語学やコミュニケーションが堪能な学生スタッフや、多様な国のスタッフが常駐し、利用者の語学学習や異文化体験のために手厚くサポートしてくれます。本施設は学部学年問わず、武蔵大学生に無料で開放しており、基本的に予約も必要ないので気軽に利用できます。「留学」や「国際交流」、「語学学習」に興味がある方はもちろん、学生生活を通じてあらゆる人と繋がりたい、日本とは異なる文化、芸術、言語を知りたいという方にもぜひ来てもらいたいおすすめのエリアです。

● フリートーク（予約不要）

様々な国出身のフロアスタッフや学生スタッフと授業の空き時間に気軽に英会話を楽しむことができます。

● イベント（予約不要）

MCV では、世界の文化や言語を学べるイベントを開催し、様々な形で留学生と交流することで異文化を体験できます。ぜひ、学内にいながら、海外の文化について学び、肌で体感し、自分の視野を広げてみませんか。

● 英語学習サポート（予約制）

1 コマ 45 分制でネイティブスピーカーの講師があなたの英語学習のお手伝いをします。「語学試験のスコアをもっと上げたい」、「Speaking や Writing のコツが知りたい」など一人一人の希望に合った学習方法や目標達成のためのアドバイスを受けられます。予約は 3S から行えます。

(3) 日本語チューター制度

日本語チューターが留学生の日本語学習や日本文化の体験をお手伝いします。

【注意】

MCV でおこなわれるプログラムは年度ごとに変ります。また、状況に応じて一部内容の変更等生じる可能性があります。プログラムの詳細やスケジュールについてはグローバル教育センターに確認してください。

4. 外国語現地実習

「外国語現地実習」は海外でおこなう語学の集中授業です。イギリス、オーストラリア、フィリピン、ドイツ、フランス、中国、台湾、韓国において、集中授業として実施します。実施時期が春季と夏季の2種類あり、春季集中授業は次年度の春学期科目、夏季集中授業は実施年度の秋学期科目となります。授業内容についてはシラバスを参照してください。

外国語現地実習の授業科目には、「外国語現地実習（英語）」、「外国語現地実習（ドイツ語）」、「外国語現地実習（フランス語）」、「外国語現地実習（中国語）」、「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）」があります。国際情勢によっては一部変更や中止となる可能性があります。

(1) 外国語現地実習の履修条件

これらの科目を履修するには、グローバル教育センターの定めた規則に従い、参加の手続きをグローバル教育センターでとるとともに、履修の詳細、スケジュールに注意して履修登録をしなければなりません。規則を守れない場合、履修登録は完了せず、すでに登録していたとしても無効となりますので、十分注意してください。

(2) 外国語現地実習の履修の詳細

下記（5）外国語現地実習のスケジュール（予定）を参照してください。各科目は履修取消し制度および履修登録科目制限の対象外とします。なお、履修期に休学、退学をすると、単位認定はおこなわれません。

(3) 外国語現地実習の成績評価

成績評価は「P」を合格とし、単位2単位です。帰国後に提出するレポートと現地での学習成果に基づいて評価し

ます。

(4) 外国語現地実習のガイダンス

履修を希望する場合はグローバル教育センターのガイダンスに出席してください。

(5) 外国語現地実習のスケジュール (予定)

① 夏季集中授業スケジュール

4月	グローバル教育センターによる募集ガイダンス
5～7月	参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス、事前学習
8～9月	現地実習 レポート提出
9月	履修登録確認 (履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自、登録内容を確認してください。)
翌3月上旬	成績確認

② 春季集中授業スケジュール

単位認定を希望する4年次生の春季現地実習への参加は認められませんので、注意してください。

10月	グローバル教育センターによる募集ガイダンス
11～1月	参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス、事前学習
2～3月	現地実習
4月	履修登録確認 (履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自、登録内容を確認してください。)
	レポート提出
9月	成績確認

6 日本・東アジア文化学科 専門科目 (共通専門科目)

人文学部では、所属学科の専門分野にとどまらず、幅広く深い知識を修得できるよう、人文学部他学科の専攻専門科目、グローバル・ヒューマニティーズやグローバル・チャレンジなどの3学科共通科目、学部横断型のプロジェクト科目、他学部の専門科目(全学対象専門科目)、留学・国際交流関連科目、教職課程関連科目、学芸員課程関連科目などを共通専門科目に指定し、定められた数の単位修得を求めています。科目によっては特別な履修条件が定められているので、記されている注意事項をよく読んでください。

なお、「GHゼミナール」「日本語ワークショップ」「GCドイツ語」「GCフランス語」「GC英語」「GC中国語」「GC韓国・朝鮮語」については、同じ科目を重複して履修することができます。この場合、2度目以降に修得した単位も、卒業に必要な単位に含めることができます。ただし、「GHゼミナール」を除く各科目の合計修得単位数には所定の制限があります。詳細は各科目の備考欄を参照してください。

卒業に必要な共通専門科目単位	
日本・東アジア文化学科	24単位

◆ 学部共通科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	
Global Humanities	LIT02000	世界の中の日本文学	2	1～4	講義	*	
	JPS02000	日本の表象文化	2	1～4	講義	*	
	ISC02000	デジタル・ヒューマニティーズ	2	1～4	講義	*	
	GLS02000	世界の言語と社会	2	1～4	講義	*	
	GSS02000	ジェンダー研究入門	2	1～4	講義	*	
	ART02000	身体と芸術	2	1～4	講義	*	
	HST02000	歴史・記憶・アーカイブ	2	1～4	講義	*	
	CST02000	人文批評入門	2	1～4	講義	*	
	GLS21000	GHゼミナール1 [国際日本学]	2	2～4	演習		
	GLS21020	GHゼミナール1 [人文フィールドワーク]	2	2～4	演習	*	
	GLS21040	GHゼミナール1 [身体文化と実践]	2	2～4	演習	左記は同一科目として扱う	
	GLS21060	GHゼミナール1 [アート&テキスト]	2	2～4	演習		
	GLS21080	GHゼミナール1 [現代社会と政治思想]	2	2～4	演習		
	GLS21010	GHゼミナール2 [国際日本学]	2	2～4	演習		
	GLS21030	GHゼミナール2 [人文フィールドワーク]	2	2～4	演習	*	
	GLS21050	GHゼミナール2 [身体文化と実践]	2	2～4	演習	左記は同一科目として扱う	
	GLS21070	GHゼミナール2 [アート&テキスト]	2	2～4	演習		
	異文化交流 比較文化と	LIT02390	比較文学論 (日欧)	2	2～4	講義	*
HST02340		ヨーロッパ対外交流史	2	2～4	講義	*	
ART02380		比較芸術論 1	2	2～4	講義	*	
ART02390		比較芸術論 2	2	2～4	講義	*	
ART02400		イメージ文化論	2	2～4	講義	*	
ART22410		ヨーロッパ建築史	2	2～4	講義	*	
ART22420		音響文化論	2	2～4	講義	*	
PHI02370		比較思想 (日欧)	2	2～4	講義	*	
EUS02350		テクノロジー文化論	2	2～4	講義	*	
BAS12010		観光文化論 (英米) 1	2	2～4	講義	*	
BAS12020		観光文化論 (英米) 2	2	2～4	講義	*	
EUS02360		観光文化論 (ヨーロッパ)	2	2～4	講義	*	
GLS02310		越境文化論	2	2～4	講義	*	
OTH02040		芸術の科学	2	1～4	講義		
(言語・文学) 欧米の文化		LNG12030	英語学概論 1	2	2～4	講義	
		LNG12040	英語学概論 2	2	2～4	講義	
		LED12010	英語教育学 1	2	2～4	講義	
		LED12020	英語教育学 2	2	2～4	講義	
	LNG12010	異文化コミュニケーション論 1	2	2～4	講義	*	
	LNG12020	異文化コミュニケーション論 2	2	2～4	講義	*	
	LIT12030	イギリスの文学 1	2	2～4	講義	*	
	LIT12040	イギリスの文学 2	2	2～4	講義	*	
	LIT12010	アメリカの文学 1	2	2～4	講義		
	LIT12020	アメリカの文学 2	2	2～4	講義		
	LIT12050	英語圏文学入門 1	2	2～4	講義	*	
	LIT12060	英語圏文学入門 2	2	2～4	講義	*	
	LIT02350	ヨーロッパ古典文学	2	2～4	講義	*	
	LIT02360	ヨーロッパ小説論	2	2～4	講義	*	
	LIT02370	ヨーロッパの文学	2	2～4	講義	*	
	LNG02370	ギリシア語学 1	2	2～4	講義	*	
	LNG02380	ギリシア語学 2	2	2～4	講義	*	
	LNG02350	ラテン語学 1	2	2～4	講義	*	
	LNG02360	ラテン語学 2	2	2～4	講義	*	
	LNG02310	ドイツ語の世界 1	2	2～4	講義	*	
	LNG02320	ドイツ語の世界 2	2	2～4	講義	*	
	LNG02330	フランス語の世界 1	2	2～4	講義	*	
	LNG02340	フランス語の世界 2	2	2～4	講義	*	
	LIT02310	ドイツ文学史 1	2	2～4	講義	*	
	LIT02320	ドイツ文学史 2	2	2～4	講義	*	
	LIT02330	フランス文学史 1	2	2～4	講義	*	
	LIT02340	フランス文学史 2	2	2～4	講義	*	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
(芸術・思想・宗教) 欧米の文化	ART12010	英米の芸術 1	2	2～4	講義	*
	ART12020	英米の芸術 2	2	2～4	講義	*
	PHI12010	英米の思想 1	2	2～4	講義	*
	PHI12020	英米の思想 2	2	2～4	講義	*
	REL12010	英語圏の宗教と文化 1	2	2～4	講義	*
	REL12020	英語圏の宗教と文化 2	2	2～4	講義	*
	ART02310	ドイツ語圏の芸術	2	2～4	講義	*
	ART02340	ヨーロッパの芸術 1	2	2～4	講義	*
	ART02320	ヨーロッパの芸術 2	2	2～4	講義	*
	EUS02370	比較文化史	2	2～4	講義	*
	EUS02380	ヨーロッパの神話と伝説	2	2～4	講義	*
	ART02330	フランスの芸術	2	2～4	講義	*
	PHI02360	ヨーロッパ思想史	2	2～4	講義	*
	PHI02310	ドイツ語圏の思想と文化	2	2～4	講義	*
	PHI02330	フランス思想史 1	2	2～4	講義	*
	PHI02340	フランス思想史 2	2	2～4	講義	*
	PHI02350	ヨーロッパの哲学	2	2～4	講義	*
	欧米の歴史と現在	HST12030	イギリス史 1	2	2～4	講義
HST12040		イギリス史 2	2	2～4	講義	*
HST12010		アメリカ史 1	2	2～4	講義	*
HST12020		アメリカ史 2	2	2～4	講義	*
BRS12010		イギリス文化論 1	2	2～4	講義	*
BRS12020		イギリス文化論 2	2	2～4	講義	*
AMS12010		アメリカ文化論 1	2	2～4	講義	*
AMS12020		アメリカ文化論 2	2	2～4	講義	*
HST02350		ギリシア・ローマ史	2	2～4	講義	*
HST02310		ドイツ中世史	2	2～4	講義	*
HST02320		ドイツ近現代史	2	2～4	講義	*
HST02330		フランス史	2	2～4	講義	*
FRS02310		フランス語圏の文化と社会	2	2～4	講義	*
GLS02320		地中海文明論	2	2～4	講義	*
ARE02310		北欧文化論	2	2～4	講義	*
ARE02320		オーストリア・東欧文化論	2	2～4	講義	*
EUS02390		ヨーロッパ統合論	2	2～4	講義	*
EUS02400		ヨーロッパ都市論	2	2～4	講義	*
EUS02410		現代ヨーロッパ社会論	2	2～4	講義	*
HST02360		ヨーロッパ形成史	2	2～4	講義	*
HST02370		ヨーロッパ交流史	2	2～4	講義	*
EUS02420		ルネサンス文化論	2	2～4	講義	*
HST22030		英米の歴史と社会 1	2	2～4	講義	*
HST22040		英米の歴史と社会 2	2	2～4	講義	*
BAS12030	広域英語圏文化論 1	2	2～4	講義	*	
BAS12040	広域英語圏文化論 2	2	2～4	講義	*	
HIS02380	国際関係史	2	2～4	講義	*	
日本語教育	LED02610	日本語の教授法 1	2	1～4	講義	
	LED02620	日本語の教授法 2	2	1～4	講義	
	LED21610	日本語の教授法演習 1	2	1～4	演習	
	LED21620	日本語の教授法演習 2	2	1～4	演習	
人間科学と環境	OTH02020	現代スポーツ論	2	1～4	講義	
	OTH02070	スポーツ身体論	2	1～4	講義	*
	OTH02030	スポーツイメージ文化論	2	1～4	講義	*
	OTH02050	生物多様性の科学	2	1～4	講義	
	OTH02060	生物学のフロンティア	2	1～4	講義	
	ENV12310	地球と宇宙のフロンティア	2	1～4	講義	
	OTH02010	宇宙観の歴史	2	1～4	講義	
	ENV02320	都市環境論	2	1～4	講義	
	ENV02310	ヨーロッパ環境論	2	2～4	講義	*
	MCC11010	人文情報リテラシー	2	1～4	演習	
Challenge Global	GES01000	GC ドイツ語 A1	2	1～4	演習	GC ドイツ語は、合計 10 単位まで算入可
	GES01010	GC ドイツ語 A2	2	1～4	演習	
	GES01020	GC ドイツ語 B1	2	1～4	演習	
	GES01030	GC ドイツ語 B2	2	1～4	演習	
	FRS01000	GC フランス語 A1	2	1～4	演習	GC フランス語は、合計 10 単位まで算入可
	FRS01010	GC フランス語 A2	2	1～4	演習	
	FRS01020	GC フランス語 B1	2	1～4	演習	
FRS01030	GC フランス語 B2	2	1～4	演習		

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
Global Challenge	BAS01000	GC 英語 A1	2	1～4	演習	*
	BAS01010	GC 英語 A2	2	1～4	演習	*
	BAS01020	GC 英語 B1	2	1～4	演習	*
	BAS01030	GC 英語 B2	2	1～4	演習	* GC 英語は、合計 16 単位まで算入可
	BAS01040	GC 英語 C1	2	2～4	演習	*
	BAS01050	GC 英語 C2	2	2～4	演習	*
	BAS01060	GC 英語 D1	2	2～4	演習	*
	BAS01070	GC 英語 D2	2	2～4	演習	*
	CHS01000	GC 中国語 A1	2	1～4	演習	
	CHS01010	GC 中国語 A2	2	1～4	演習	GC 中国語は、合計 16 単位まで算入可
	CHS01020	GC 中国語 B1	2	1～4	演習	
	CHS01030	GC 中国語 B2	2	1～4	演習	
	KOS01000	GC 韓国・朝鮮語 A1	2	1～4	演習	
	KOS01010	GC 韓国・朝鮮語 A2	2	1～4	演習	GC 韓国・朝鮮語は、合計 16 単位まで算入可
KOS01020	GC 韓国・朝鮮語 B1	2	1～4	演習		
KOS01030	GC 韓国・朝鮮語 B2	2	1～4	演習		
(中級・上級) 実習科目 ドイツ語／フランス語	GES26380	中級ドイツ語作文 1	1	2～4	実習	
	GES26390	中級ドイツ語作文 2	1	2～4	実習	
	GES26340	中級ドイツ語会話 1	1	2～4	実習	
	GES26350	中級ドイツ語会話 2	1	2～4	実習	
	GES26430	上級ドイツ語講読 1	1	2～4	実習	*
	GES26440	上級ドイツ語講読 2	1	2～4	実習	*
	FRS26380	中級フランス語作文 1	1	2～4	実習	
	FRS26390	中級フランス語作文 2	1	2～4	実習	
	FRS26340	中級フランス語会話 1	1	2～4	実習	
	FRS26350	中級フランス語会話 2	1	2～4	実習	
	FRS26430	上級フランス語講読 1	1	2～4	実習	*
	FRS26440	上級フランス語講読 2	1	2～4	実習	*
科目 プロジェクト	CRO21010	学部横断型課題解決プロジェクト	4	1～4	演習	1年次は秋学期からとする。

◆ 全学対象専門科目

◇ 経済学部提供科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
国際経済・経営	ECO22040	アジア経済	2	3・4	講義	
	ECO32010	開発経済学 1	2	3・4	講義	*
	ECO32020	開発経済学 2	2	3・4	講義	*
	ECO22850	国際法 1	2	3・4	講義	*
	ECO22860	国際法 2	2	3・4	講義	*
	ECO22460	世界経済	2	3・4	講義	*
経済学と現代経済	ECO22260	ゲーム理論入門	2	3・4	講義	
	ECO22200	経済政策 1	2	3・4	講義	*
	ECO22210	経済政策 2	2	3・4	講義	*
	ECO22290	憲法 1	2	3・4	講義	
	ECO22300	憲法 2	2	3・4	講義	
	ECO22100	行政法 1	2	3・4	講義	*
	ECO22110	行政法 2	2	3・4	講義	*
	ECO22370	産業組織論 1	2	3・4	講義	
	ECO22380	産業組織論 2	2	3・4	講義	
	ECO22440	西洋経済史 1	2	3・4	講義	
	ECO22450	西洋経済史 2	2	3・4	講義	
	ECO32030	日本経済史 1	2	3・4	講義	
	ECO32040	日本経済史 2	2	3・4	講義	
	ECO22640	労働経済 1	2	3・4	講義	
ECO22650	労働経済 2	2	3・4	講義		
ビジネス	MAN22080	イノベーション論	2	3・4	講義	
	MAN12020	経営管理論 1	2	3・4	講義	
	MAN22090	経営管理論 2	2	3・4	講義	
	MAN22130	国際経営論	2	3・4	講義	
	MAN22150	人事管理論 1	2	3・4	講義	
	MAN22160	人事管理論 2	2	3・4	講義	
	MAN22170	組織論 1	2	3・4	講義	
	MAN22180	組織論 2	2	3・4	講義	
	MAN22140	多国籍企業論	2	3・4	講義	*

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
ビジネスデザイン	MIS22030	情報ネットワーク基礎	2	3・4	講義	
	MIS22090	コンピュータシステム基礎	2	3・4	講義	
	MIS22010	サービスマネジメント	2	3・4	講義	
	MAN22240	ベンチャー企業論 1	2	3・4	講義	
	MAN22250	ベンチャー企業論 2	2	3・4	講義	*
	MIS12010	経営情報基礎	2	2～4	講義	
	MIS12020	情報と職業	2	2～4	講義	*
	MAN12040	経営統計学	2	3・4	講義	
企業会計	ACC22070	企業法	2	3・4	講義	
	ACC12050	企業法基礎	2	2～4	講義	
	ACC12020	簿記演習 1	2	2～4	講義	
	ECO22590	民法 1	2	3・4	講義	*
	ECO22600	民法 2	2	3・4	講義	*
	ACC12040	会計学基礎	2	2～4	講義	
	ACC22080	財務会計論 1	2	3・4	講義	
	ACC22090	財務会計論 2	2	3・4	講義	
	ACC22130	経営分析論	2	3・4	講義	
金融	FIN22010	ファイナンス 1	2	3・4	講義	
	FIN22020	ファイナンス 2	2	3・4	講義	
	FIN32110	ファイナンス 3	2	3・4	講義	
	FIN22030	財務報告論 1	2	2～4	講義	
	FIN22040	財務報告論 2	2	2～4	講義	
	FIN22050	証券市場論 1	2	3・4	講義	
	FIN22060	証券市場論 2	2	3・4	講義	
	FIN32150	信託論	2	3・4	講義	*
	FIN32400	保険・年金論	2	3・4	講義	
	FIN32030	金融法 1	2	3・4	講義	

◇ 社会学部提供科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
社会学部方法科目	ISC24020	コンピューティング応用 B	2	2～4	講義	
	ISC24030	コンピューティング応用 C	2	2～4	講義	*
	ISC24050	プログラミング基礎 A	2	2～4	講義	*
	ISC24060	プログラミング基礎 B	2	2～4	講義	*
	ISC24070	プログラミング応用 A	2	2～4	講義	*
	ISC24080	プログラミング応用 B	2	2～4	講義	*
	ISC14020	データサイエンス基礎	2	2～4	講義	
	ISC24090	データサイエンス応用	2	3・4	講義	
	ISC34010	ビッグデータ解析方法論	2	2～4	講義	*
	ISC34030	定量データ分析方法論	2	2～4	講義	*
	STA24020	社会統計学 1	2	2～4	講義	
	STA24030	社会統計学 2	2	2～4	講義	
社会問題とエンパワメント	ANT33010	開発と社会	2	3・4	講義	*
	ANT33020	多文化共生の人類学	2	3・4	講義	*
	SOC33010	家族社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33020	教育社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33030	ケアの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33040	ジェンダーの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33050	仕事の社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33060	社会問題の社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33070	人口問題の社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33080	福祉社会学	2	3・4	講義	*
SOC33090	不平等の社会学	2	3・4	講義	*	
文化とアイデンティティ	ANT33030	家族と結婚の人類学	2	3・4	講義	*
	ANT33040	宗教と社会	2	3・4	講義	*
	ANT33050	文化人類学	2	3・4	講義	*
	SOC33100	アイデンティティの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33110	カルチュラルスタディーズ	2	3・4	講義	*
	SOC33120	コミュニケーションの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33130	消費社会論	2	3・4	講義	*
	SOC33320	恋愛の社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33150	セクシュアリティの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33160	文化社会学	2	3・4	講義	*
SOC33170	若者の社会学	2	3・4	講義	*	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
国際社会とネットワーク	ANT33060	観光と社会	2	3・4	講義	*
	SOC33180	エスニシティの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33190	現代社会と科学	2	3・4	講義	*
	SOC33200	グローバリゼーションの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33210	社会運動論	2	3・4	講義	*
	SOC33220	政治社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33230	地域とコミュニティの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33240	都市社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33250	ナショナリズムの社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33330	国際比較社会学	2	3・4	講義	*
	SOC33270	歴史社会学	2	3・4	講義	*
	メディアコミュニケーション	MCC33010	映画研究	2	3・4	講義
MCC33020		エレクトリックメディア論	2	3・4	講義	*
MCC33030		グローバリゼーションとメディア	2	3・4	講義	*
MCC33040		デジタル社会論	2	3・4	講義	*
MCC33050		ポピュラー音楽論	2	3・4	講義	*
MCC33060		マスコミュニケーション論	2	3・4	講義	*
PSY33010		情報とネットワークの社会心理	2	3・4	講義	*
SOC33280		音楽文化の社会学	2	3・4	講義	*
SOC33290		活字メディアの社会学	2	3・4	講義	*
SOC33300		サブカルチャーの社会学	2	3・4	講義	*
SOC33310		放送メディアの社会学	2	3・4	講義	*
パブリックコミュニケーション	MCC33070	コンピューティング社会論	2	3・4	講義	*
	MCC33080	エスニシティとメディア	2	3・4	講義	*
	MCC33090	NPO・NGOとメディア	2	3・4	講義	*
	MCC33270	ゲーミフィケーション論	2	3・4	講義	*
	MCC33110	広告論	2	3・4	講義	*
	MCC33120	広報論	2	3・4	講義	*
	MCC33130	スポーツとメディア	2	3・4	講義	*
	MCC33140	電子コミュニケーション論	2	3・4	講義	*
	MCC33150	メディアリテラシー論	2	3・4	講義	*
	PSY33020	ファッションと流行の社会心理	2	3・4	講義	*
	PSY33030	社会心理学	2	3・4	講義	*
メディアプロデュース	MCC33160	映像アーカイブ論	2	3・4	講義	*
	MCC33170	映像メディア制作論	2	3・4	講義	*
	MCC33180	国際ニュース研究	2	3・4	講義	*
	MCC33190	CM企画・制作論	2	3・4	講義	*
	MCC33200	デジタルアーカイブ論	2	3・4	講義	*
	MCC33210	ジャーナリズム論	2	3・4	講義	*
	MCC33280	知とデータ	2	3・4	講義	*
	MCC33230	地域メディア論	2	3・4	講義	*
	MCC33240	データ社会のガバナンス	2	3・4	講義	*
	MCC33250	ドキュメンタリー研究	2	3・4	講義	*
MCC33260	メディア倫理と法制	2	3・4	講義	*	
社会学部特講	SOC35020	現代社会の諸相	2	3・4	講義	*
	SOC35030	グローバル社会の諸相	2	3・4	講義	*
	SOC35040	ホットトピック特別講義	2	3・4	講義	*
	MCC35020	メディア社会の諸相	2	3・4	講義	*
	ISC35010	データサイエンス特別講義	2	3・4	講義	*

◇ 国際教養学部提供科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
学部共通科目	HST12010	Introduction to Global History 1	2	1～4	講義	※
	HST12020	Introduction to Global History 2	2	1～4	講義	※
	IRL12010	Transnational Issues 1	2	1～4	講義	※
	IRL12020	Transnational Issues 2	2	1～4	講義	※
	IRL12030	Understanding Foreign Affairs and the Global Economy	2	1～4	講義	※
	GLS16010	Global Service Learning A1	1	1～4	実習	※
	GLS16020	Global Service Learning A2	1	1～4	実習	※
	GLS16030	Global Service Learning B1	2	1～4	実習	※
	GLS16040	Global Service Learning B2	2	1～4	実習	※
	GLS16050	Global Service Learning C1	4	1～4	実習	※
	GLS16060	Global Service Learning C2	4	1～4	実習	※
	ECO22030	Introduction to Economics (a)	4	2～4	講義	※

第1章 授業科目の履修

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
専攻科目 経済経営学	POL12030	Foundations of Political Science	2	1～4	講義	※
	MAN12010	Introduction to Management	2	1～4	講義	※
	ECO22230	Trade Economics	2	2～4	講義	* ※
	ECO22240	International Finance	2	2～4	講義	* ※
	MAN22010	Industrial Organization	2	2～4	講義	※
	MAN22060	Business and Society	2	2～4	講義	※
グローバルスタディーズ専攻科目	GLS12010	Survey of Global Studies 1	2	1	講義	※
	GLS12020	Survey of Global Studies 2	2	1	講義	※
	GLS12030	Survey of Transcultural Studies 1	2	1	講義	※
	GLS12040	Survey of Transcultural Studies 2	2	1	講義	※
	IRL22010	Topics in Foreign Policy and Diplomacy 1	2	2～4	講義	※
	IRL22020	Topics in Foreign Policy and Diplomacy 2	2	2～4	講義	※
	GLS22010	Survey of Futures Studies 1	2	2～4	講義	※
	GLS22020	Survey of Futures Studies 2	2	2～4	講義	※
	POL32060	Survey of Comparative Politics 1	2	2～4	講義	* ※
	POL32070	Survey of Comparative Politics 2	2	2～4	講義	* ※
	GLS32010	Global Civics 1	2	2～4	講義	* ※
	GLS32020	Global Civics 2	2	2～4	講義	* ※
	POL32080	Survey of Political Ideas 1	2	2～4	講義	* ※
	POL32090	Survey of Political Ideas 2	2	2～4	講義	* ※
	IRL32010	Peace Studies 1	2	2～4	講義	* ※
	IRL32020	Peace Studies 2	2	2～4	講義	* ※
	COM22010	Communication Studies 1	2	2～4	講義	※
	COM22020	Communication Studies 2	2	2～4	講義	※
	LNG22010	Second Language Studies 1	2	2～4	講義	※
	LNG22020	Second Language Studies 2	2	2～4	講義	※
	LNG32010	World Englishes 1	2	2～4	講義	* ※
	LNG32020	World Englishes 2	2	2～4	講義	* ※
	COM32010	Media Communications 1	2	2～4	講義	* ※
	COM32020	Media Communications 2	2	2～4	講義	* ※
	LNG32030	Language & Communication Barriers 1	2	2～4	講義	* ※
	LNG32040	Language & Communication Barriers 2	2	2～4	講義	* ※
	COM32030	Translation & Interpretation Studies 1	2	2～4	講義	* ※
	COM32040	Translation & Interpretation Studies 2	2	2～4	講義	* ※
	CST22010	Cultural Representations 1	2	2～4	講義	※
	CST22020	Cultural Representations 2	2	2～4	講義	※
	LIT22010	Global Literatures in English 1	2	2～4	講義	※
	LIT22020	Global Literatures in English 2	2	2～4	講義	※
	JPS22010	Japanese Studies 1	2	2～4	講義	※
	JPS22020	Japanese Studies 2	2	2～4	講義	※
	JPS32010	Topics in Japanese Culture 1	2	2～4	講義	* ※
	JPS32020	Topics in Japanese Culture 2	2	2～4	講義	* ※
	HST32010	Japanese History in Global Perspective 1	2	2～4	講義	* ※
	HST32020	Japanese History in Global Perspective 2	2	2～4	講義	* ※
	HST32030	Transnational Cultures 1	2	2～4	講義	* ※
	HST32040	Transnational Cultures 2	2	2～4	講義	* ※
LIT32010	Diversity in Stories and Societies 1	2	2～4	講義	* ※	
LIT32020	Diversity in Stories and Societies 2	2	2～4	講義	* ※	
SEM31040	副専攻ゼミナール 1	2	3・4	演習	※	
SEM31050	副専攻ゼミナール 2	2	3・4	演習	※	

※ ※印の科目は履修するにあたり、IELTS5.0 相当の英語力が必要となります。

◇ 留学・国際交流関連科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
EAS科目	JPS32040	Japan and International Society	4	2～4	講義	
	AST32160	Studies of Asian Economies	2	2～4	講義	
	AST32150	Politics in Asia	2	2～4	講義	
	JPS32010	Japanese History	4	2～4	講義	*
	JPS32030	Survey of Japanese Literature	4	2～4	講義	*
	JPS32020	Japanese Culture and Society	4	2～4	講義	*
	AST32170	Traditional Arts of Asia	2	2～4	講義	*
	AST32180	Modern Arts of Asia	2	2～4	講義	*
	AST32040	Comparative Perspectives on Asian Societies	4	2～4	講義	*
	AST32050	Comparative Cultures and Histories	4	2～4	講義	*
	AST32070	Asian Philosophies & Thought	4	2～4	講義	*
	AST32080	Survey in Comparative Literatures	2	2～4	講義	*
	AST32060	Globalization and Asia	4	2～4	講義	
	AST32140	Environmental Issues in a Global Context	4	2～4	講義	
	AST32030	Topics in Global Business	4	2～4	講義	
	AST32020	Topics in Technology & Society	2	2～4	講義	
	AST31020	Seminar in Visual Cultures	2	2～4	演習	
	AST32010	Special Topics in Global Asia	2	2～4	講義	*
	AST32090	Survey of Global Media & Communication	2	2～4	講義	
	AST32100	Topics in Gender & Sexuality	4	2～4	講義	
	AST32110	Survey of Identities in Asia	4	2～4	講義	
	AST32120	Global Asia in the 21st Century	4	2～4	講義	
	AST32130	Survey of Global Issues	2	2～4	講義	
	JPS31010	Seminar in Entrepreneurship	2	2～4	演習	
AST31010	Seminar in Global Asia Issues	2	2～4	演習	*	
JPS31020	Fieldwork in Japan	2	2～4	演習		
留学準備講座	IRL01010	留学入門ゼミナール	2	1～4	演習	
	AMS02011	アメリカの社会と文化 1	2	1～4	講義	
	AMS02012	アメリカの社会と文化 2	2	1～4	講義	
	BRS02011	イギリスの社会と文化 1	2	1～4	講義	
	BRS02012	イギリスの社会と文化 2	2	1～4	講義	
	GES22310	ドイツ語圏の社会と文化 1	2	2～4	講義	ドイツ語による授業
	GES22320	ドイツ語圏の社会と文化 2	2	2～4	講義	ドイツ語による授業
	FRS22320	フランスの歴史と社会 1	2	2～4	講義	フランス語による授業
	FRS22330	フランスの歴史と社会 2	2	2～4	講義	フランス語による授業
	JPS02071	日本の社会と文化 1	2	1～4	講義	*
	JPS02072	日本の社会と文化 2	2	1～4	講義	*
	AST02171	中国の社会と文化 1	2	2～4	講義	* 中国語による授業
	AST02172	中国の社会と文化 2	2	2～4	講義	* 中国語による授業
	AST02181	韓国・朝鮮の社会と文化 1	2	2～4	講義	* 韓国・朝鮮語による授業
	AST02182	韓国・朝鮮の社会と文化 2	2	2～4	講義	* 韓国・朝鮮語による授業
	IRL02011	現代世界の諸問題 1	2	1～4	講義	
	IRL02012	現代世界の諸問題 2	2	1～4	講義	
	LED02011	インターカルチュラルスキル養成講座 1	2	1～4	講義	
	LED02012	インターカルチュラルスキル養成講座 2	2	1～4	講義	
	IRL02021	グローバル・リーダーシップ養成講座 1	2	1～4	講義	
	IRL02022	グローバル・リーダーシップ養成講座 2	2	1～4	講義	
	LED06011	グローバル・コミュニケーション 1	1	1～4	実習	*
	LED06012	グローバル・コミュニケーション 2	1	1～4	実習	*
	LED06013	イングリッシュ・サマースクール 1	1	1～4	実習	
	LED06014	イングリッシュ・サマースクール 2	1	1～4	実習	
	LED06041	留学のための英語講座 A1 (TOEFL)	1	1～4	実習	
	LED06042	留学のための英語講座 A2 (TOEFL)	1	1～4	実習	
	LED06051	留学のための英語講座 B1 (IELTS)	1	1～4	実習	
	LED06052	留学のための英語講座 B2 (IELTS)	1	1～4	実習	
	GES26410	ドイツ語論述実習 1	1	2～4	実習	ドイツ語による授業
	GES26420	ドイツ語論述実習 2	1	2～4	実習	ドイツ語による授業
	FRS26410	フランス語論述実習 1	1	2～4	実習	フランス語による授業
	FRS26420	フランス語論述実習 2	1	2～4	実習	フランス語による授業
LED06061	中国語論述実習 1	1	2～4	実習	* 中国語による授業	
LED06062	中国語論述実習 2	1	2～4	実習	* 中国語による授業	
LED06071	韓国・朝鮮語論述実習 1	1	2～4	実習	* 韓国・朝鮮語による授業	
LED06072	韓国・朝鮮語論述実習 2	1	2～4	実習	* 韓国・朝鮮語による授業	

※「EAS科目」および「留学準備講座」の履修についての詳細は、「【3学科共通】3 留学・国際交流関連科目」を参照してください。

※「留学準備講座」で備考欄に記載がない科目は英語による授業となります。

※「中国の社会と文化1・2」「韓国・朝鮮の社会と文化1・2」「中国語論述実習1・2」「韓国・朝鮮語論述実習1・2」は、日本・東アジア文化学科の学生は共通専門科目としてではなく専攻科目として履修します。

◇ 教職課程関連科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
教職課程 関連科目	EDU12010	教職入門	2	1～4	講義	
	EDU12020	教育基礎論	2	1～4	講義	
	EDU22010	教育心理学 1	2	2～4	講義	履修条件：「教職入門」又は「教育基礎論」を修得済であること。
	EDU32040	教育方法論	2	3～4	講義	

※ 教職課程登録者は、各授業科目の配当年次が異なります。詳細は「教職課程」の頁を参照してください。

※ 履修登録希望者が定員を超過した場合は教職課程登録者を優先し、残枠については抽選により履修者を決定します。

◇ 学芸員課程関連科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
学芸員課程 関連科目	CTP02010	生涯学習概論	2	1～4	講義	
	CTP02020	博物館概論	2	1～4	講義	
	CTP02030	博物館経営論	2	1～4	講義	
	CTP02070	博物館情報・メディア論	2	1～4	講義	
	CTP02040	博物館資料論	2	1～4	講義	
	CTP02050	博物館資料保存論	2	1～4	講義	
	CTP02060	博物館展示論	2	1～4	講義	

※ 「学芸員課程関連科目」の修得単位のうち、8単位まで共通専門科目として卒業に必要な単位に算入することができます。8単位を超えて修得した単位は自由科目扱いとなり、卒業に必要な単位の中に算入することはできません。

7 日本・東アジア文化学科 専門科目（専攻科目）

1. 履修上の注意

本学の学生は、以下の条件に従って、卒業時まで専攻科目を68単位以上修得しなければなりません。履修に際しては配当年次に注意してください。

- ① 専攻基礎科目の必修科目「日本・東アジア文化基礎ゼミナール 1」「日本・東アジア文化基礎ゼミナール 2」を、必ず1年次に履修しなければなりません。
- ② 専攻専門科目・選択科目の講義科目を、①「ことば・文学・思想」、②「芸術・身体・環境」、③「歴史・民俗・宗教」の3領域すべてにわたって、各領域4単位以上、合計36単位以上を修得しなければなりません。3領域以外の⑤「Global Challenge 関連科目」については8単位まで、⑥「教職の教科に関する概説科目」については4単位まで卒業に必要な単位36単位に算入できます。
- ③ 専攻専門科目・選択科目の演習・実習科目を、①「ことば・文学・思想」、②「芸術・身体・環境」、③「歴史・民俗・宗教」の3領域に④「スキル科目」を加えた4つのグループから、3つ以上のグループにわたって各グループ4単位以上、合計20単位以上を修得しなければなりません。4つのグループ以外の⑤「Global Challenge 関連科目」については4単位まで卒業に必要な単位20単位に算入できます。なお、1つの演習に履修登録できる人数には上限が定められています（原則20名程度、卒業論文準備ゼミナールは原則15名程度まで）。各学生の演習への配属を決める方法は、年度当初のガイダンスで詳しく説明しますので、ガイダンスに必ず出席してください。
- ④ ④「スキル科目」の「卒業論文準備ゼミナール」は、留学など特別な理由がある場合を除いて3年次の春学期・秋学期に履修してください。
- ⑤ 専攻専門科目・必修科目の「卒業論文」および「卒業論文ゼミナール 1」「卒業論文ゼミナール 2」は、必ず4年次に履修しなければなりません。ただしこれらの単位を卒業年次に修得したものの、卒業に必要な他の単位を修得できずに留年となった場合はその限りではありません。

2. 再履修と重複履修

◇ 再履修

履修した授業科目の成績評価が不合格となったために、再度同じ科目を履修することを再履修といいます。必修科目が不合格となった場合、必ず再履修し、単位を修得しなければ卒業することができませんので十分注意してください。再履修をする場合、クラス（授業科目）は事前に指定される場合があります。その場合には指定されたクラス（授業科目）を履修しなければなりません。他の必修科目と重なっているような場合にはすみやかに教務課に申し出て指

示を受けてください。

◇ 重複履修

単位がすでに認定された授業科目を再び履修することを重複履修といいます。重複履修した場合、2回目以降に修得した単位は、原則として卒業要件に含まれません。ただし、以下の科目に関しては、同じ科目を重複して履修することができます。重複履修をした場合、2度目以降の修得単位も卒業単位に算入できます（ただし、上限がある場合があります）。

- ・ 共通専門科目の「GHゼミナール」「日本語ワークショップ」及び Global Challenge 分野の科目
- ・ 専攻科目の専門科目（演習・実習） ※ただし、④「スキル科目」は「卒業論文準備ゼミナール」を除いて重複履修することができない。

3. 年次別履修案内

◆ 1年次生のための履修案内

- ① 日本・東アジア文化学科の1年次生は、「日本・東アジア文化基礎ゼミナール1」、「日本・東アジア文化基礎ゼミナール2」を必ず履修しなければなりません。なお、1年次に単位を修得できなかった場合には2年次に再履修しなければなりません。
- ② 1年次生が選択履修できる科目は、総合科目の一部（1年次以上に担当されている科目）、共通専門科目の一部（1年次以上に担当されている科目）、専門科目のうちの講義科目（1年次以上に担当されている科目）と演習・実習科目の一部があります。演習・実習科目のなかで1年次生が履修できるのは、「日本文化情報演習1」「日本文化情報演習2」「書道演習1」「書道演習2」「くずし字入門演習1」「くずし字入門演習2」「伝統文化実技演習1」「伝統文化実技演習2」「中国語応用1」「中国語応用2」「韓国・朝鮮語応用1」「韓国・朝鮮語応用2」です。①であげた必修科目や外国語科目、総合科目の履修に支障がでないかぎり、積極的に履修してかまいません。

◆ 2年次生のための履修案内

演習・実習科目を8単位程度を目安に修得してください。

◆ 3年次生のための履修案内

- ① 3年次に海外留学をするなど特別な理由がある場合を除き、「卒業論文準備ゼミナール」をできる限り春学期、秋学期に履修してください。
- ② 3年次終了時点で「卒業論文」、「卒業論文ゼミナール1」および「卒業論文ゼミナール2」の履修資格がない場合は、4年間では卒業できません。

◆ 4年次生のための履修案内

- ① 必修科目として「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を履修してください。
- ② 「卒業論文」を指定の期日までに提出してください。

日本・東アジア文化学科卒業までの4年間

各項目の詳細（様式、配付、提出日、提出方法等）は3Sで掲示します。また、各ガイダンスにて指示します。

1年次

- 3月 英語クラス分け試験
- 4月 ガイダンス
- 6月 2年次選択外国語希望届提出
- 1月 コース選択希望届提出

2年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出
- 12月 卒業論文準備ゼミナールガイダンス
- 1月 卒業論文準備ゼミナール希望届提出

3年次

- 4月 ガイダンス
- 1月 卒業論文報告会への参加
- 1月 卒業論文・卒業論文ゼミナール1・2登録届
- 3月 卒業論文履修有資格者発表

4年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出（卒業論文指導教授が未定の者および卒業論文指導教授が学科外の教員の場合のみ）
- 6月 卒業論文題目届（6月）提出
- 11月 卒業論文題目届（11月）提出
- 12月 卒業論文提出
- 1月 卒業論文口述試験
- 1月 卒業論文報告会
- 3月 卒業資格充足者発表
- 3月 卒業式

◆ 専攻基礎科目

◇ 必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
OTH11611	日本・東アジア文化基礎ゼミナール1	2	1	演習	
OTH11622	日本・東アジア文化基礎ゼミナール2	2	1	演習	

◆ 専攻専門科目

◇ 必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
THE41011	卒業論文ゼミナール1	2	4	演習	
THE41012	卒業論文ゼミナール2	2	4	演習	
THE41030	卒業論文	4	4	演習	

◇ 選択科目

[専門科目 (講義科目、演習・実習科目)]

分野	科目群	講義						演習・実習						
		ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	
① ことば・文学・思想 専攻専門 選択科目		LNG02610	日本の言語文化1	2	1~4	講義		LNG21610	日本の言語文化演習1	2	2~4	演習	*	
		LNG02620	日本の言語文化2	2	1~4	講義		LNG21620	日本の言語文化演習2	2	2~4	演習	*	
		LNG02630	日本語の表現1	2	1~4	講義	*	LNG21630	日本語の表現演習1	2	2~4	演習	*	
		LNG02640	日本語の表現2	2	1~4	講義	*	LNG21640	日本語の表現演習2	2	2~4	演習	*	
		LNG02650	日本の地域言語1	2	1~4	講義	*	LNG21650	日本の地域言語演習1	2	2~4	演習	*	
		LNG02660	日本の地域言語2	2	1~4	講義	*	LNG21660	日本の地域言語演習2	2	2~4	演習	*	
		LIT02610	日本古典文学史1	2	1~4	講義								
		LIT02620	日本古典文学史2	2	1~4	講義								
		LIT02630	日本近現代文学史1	2	1~4	講義								
		LIT02640	日本近現代文学史2	2	1~4	講義								
		LIT02650	日本古典文学(上代・中古)1	2	1~4	講義	*	LIT21610	日本古典文学演習(古代)1	2	2~4	演習	*	
		LIT02660	日本古典文学(上代・中古)2	2	1~4	講義	*	LIT21620	日本古典文学演習(古代)2	2	2~4	演習	*	
		LIT02810	日本古典文学(中世・近世)1	2	1~4	講義	*	LIT21630	日本古典文学演習(中世)1	2	2~4	演習	*	
		LIT02820	日本古典文学(中世・近世)2	2	1~4	講義	*	LIT21640	日本古典文学演習(中世)2	2	2~4	演習	*	
								LIT21650	日本古典文学演習(近世)1	2	2~4	演習	*	
								LIT21660	日本古典文学演習(近世)2	2	2~4	演習	*	
								LIT21690	日本現代文学演習1	2	2~4	演習	*	
								LIT21700	日本現代文学演習2	2	2~4	演習	*	
								LIT21670	日本近代文学演習1	2	2~4	演習	*	
								LIT21680	日本近代文学演習2	2	2~4	演習	*	
								PHI21610	日本思想史演習1	2	2~4	演習	*	
								PHI21620	日本思想史演習2	2	2~4	演習	*	
								PHI21630	日本の思想演習1	2	2~4	演習	*	
								PHI21640	日本の思想演習2	2	2~4	演習	*	
								PHI21650	中国思想史演習1	2	2~4	演習	*	
								PHI21660	中国思想史演習2	2	2~4	演習	*	
								LIT21730	中国文学演習1	2	2~4	演習	*	
								LIT21740	中国文学演習2	2	2~4	演習	*	
								LIT21750	朝鮮文学演習1	2	2~4	演習	*	
								LIT21760	朝鮮文学演習2	2	2~4	演習	*	
								LNG21670	東アジアの漢字文化演習1	2	2~4	演習	*	
								LNG21680	東アジアの漢字文化演習2	2	2~4	演習	*	
						PHI21670	比較思想演習(東アジア)1	2	2~4	演習	*			
						PHI21680	比較思想演習(東アジア)2	2	2~4	演習	*			
② 芸術・身体・環境 専攻専門 選択科目		JPS02610	日本文化論1	2	1~4	講義								
		JPS02620	日本文化論2	2	1~4	講義								
		ARE02610	比較文化論1	2	1~4	講義	*							
		ARE02620	比較文化論2	2	1~4	講義	*							
		HST02610	日本服飾文化史1	2	1~4	講義		HST21610	日本服飾文化史演習1	2	2~4	演習	*	
		HST02620	日本服飾文化史2	2	1~4	講義		HST21620	日本服飾文化史演習2	2	2~4	演習	*	
		HST02630	日本建築史1	2	1~4	講義								
		HST02640	日本建築史2	2	1~4	講義								
		HST02650	日本文化史1	2	1~4	講義	*	HST21630	日本文化史演習1	2	2~4	演習	*	
		HST02660	日本文化史2	2	1~4	講義	*	HST21640	日本文化史演習2	2	2~4	演習	*	
		HST02670	日本美術工芸史1	2	1~4	講義		HST21650	日本美術工芸史演習1	2	2~4	演習	*	
		HST02680	日本美術工芸史2	2	1~4	講義		HST21660	日本美術工芸史演習2	2	2~4	演習	*	

第1章 授業科目の履修

分野	科目群	講義						演習・実習							
		ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考		
② 芸術・身体・環境	専攻専門 選択科目	JPS02630	日本の身体文化 1	2	1~4	講義	*	JPS21610	日本の身体文化演習 1	2	2~4	演習	*		
		JPS02640	日本の身体文化 2	2	1~4	講義	*	JPS21620	日本の身体文化演習 2	2	2~4	演習	*		
		HST02690	日本芸能史 1	2	1~4	講義	*	HST21670	日本芸能史演習 1	2	2~4	演習	*		
		HST02700	日本芸能史 2	2	1~4	講義	*	HST21680	日本芸能史演習 2	2	2~4	演習	*		
		CHS02610	現代中国論 1	2	1~4	講義									
		CHS02620	現代中国論 2	2	1~4	講義									
		KOS02710	現代韓国論 1	2	1~4	講義									
		KOS02720	現代韓国論 2	2	1~4	講義									
		AST02610	琉球文化論 1	2	1~4	講義		AST21610	琉球文化演習 1	2	2~4	演習	*		
		AST02620	琉球文化論 2	2	1~4	講義		AST21620	琉球文化演習 2	2	2~4	演習	*		
		KOS02730	朝鮮文化論 1	2	1~4	講義	*	KOS21610	朝鮮文化演習 1	2	2~4	演習	*		
		KOS02740	朝鮮文化論 2	2	1~4	講義	*	KOS21620	朝鮮文化演習 2	2	2~4	演習	*		
		HST02710	東アジアの美術工芸史 1	2	1~4	講義	*								
		HST02720	東アジアの美術工芸史 2	2	1~4	講義	*								
		AST02630	東アジアの地理と環境 1	2	1~4	講義	*								
		AST02640	東アジアの地理と環境 2	2	1~4	講義	*								
		③ 歴史・民俗・宗教	専攻専門 選択科目	HST02730	日本古代史 1	2	1~4	講義	*	HST21690	日本古代史演習 1	2	2~4	演習	*
				HST02740	日本古代史 2	2	1~4	講義	*	HST21700	日本古代史演習 2	2	2~4	演習	*
				HST02750	日本中世史 1	2	1~4	講義	*	HST21710	日本中世史演習 1	2	2~4	演習	*
				HST02760	日本中世史 2	2	1~4	講義	*	HST21720	日本中世史演習 2	2	2~4	演習	*
HST02770	日本近世史 1			2	1~4	講義	*	HST21730	日本近世史演習 1	2	2~4	演習	*		
HST02780	日本近世史 2			2	1~4	講義	*	HST21740	日本近世史演習 2	2	2~4	演習	*		
HST02790	日本近現代史 1			2	1~4	講義	*	HST21750	日本近現代史演習 1	2	2~4	演習	*		
HST02800	日本近現代史 2			2	1~4	講義	*	HST21760	日本近現代史演習 2	2	2~4	演習	*		
HST02810	日本考古学 1			2	1~4	講義	*	HST21770	日本考古学演習 1	2	2~4	演習	*		
HST02820	日本考古学 2			2	1~4	講義	*	HST21780	日本考古学演習 2	2	2~4	演習	*		
FOL02610	日本民俗史 1			2	1~4	講義		FOL21610	日本民俗史演習 1	2	2~4	演習	*		
FOL02620	日本民俗史 2			2	1~4	講義		FOL21620	日本民俗史演習 2	2	2~4	演習	*		
HST02830	日本生活文化史 1			2	1~4	講義	*	HST21790	日本生活文化史演習 1	2	2~4	演習	*		
HST02840	日本生活文化史 2			2	1~4	講義	*	HST21800	日本生活文化史演習 2	2	2~4	演習	*		
REL02610	日本の仏教 1			2	1~4	講義	*								
REL02620	日本の仏教 2			2	1~4	講義	*								
								HST21810	日本古文書学演習 1	2	2~4	演習	*		
								HST21820	日本古文書学演習 2	2	2~4	演習	*		
CHS02650	中国史 1			2	1~4	講義	*	CHS21630	中国史演習 1	2	2~4	演習	*		
CHS02660	中国史 2			2	1~4	講義	*	CHS21640	中国史演習 2	2	2~4	演習	*		
KOS02750	朝鮮史 1			2	1~4	講義	*	KOS21630	朝鮮史演習 1	2	2~4	演習	*		
KOS02760	朝鮮史 2			2	1~4	講義	*	KOS21640	朝鮮史演習 2	2	2~4	演習	*		
FOL02630	民俗宗教論 1			2	1~4	講義	*	FOL21630	民俗宗教演習 1	2	2~4	演習	*		
FOL02640	民俗宗教論 2			2	1~4	講義	*	FOL21640	民俗宗教演習 2	2	2~4	演習	*		
REL02630	東アジアの宗教 1			2	1~4	講義									
REL02640	東アジアの宗教 2			2	1~4	講義									
FOL02650	比較生活文化論 1			2	1~4	講義	*	FOL21650	比較生活文化演習 1	2	2~4	演習	*		
FOL02660	比較生活文化論 2			2	1~4	講義	*	FOL21660	比較生活文化演習 2	2	2~4	演習	*		
HST02850	日中交流史 1			2	1~4	講義	*								
HST02860	日中交流史 2			2	1~4	講義	*								
HST02870	日朝交流史 1	2	1~4	講義	*	HST21850	日朝交流史演習 1	2	2~4	演習	*				
HST02880	日朝交流史 2	2	1~4	講義	*	HST21860	日朝交流史演習 2	2	2~4	演習	*				
IAS02610	イスラーム文化論 1	2	1~4	講義		IAS21610	イスラーム文化演習 1	2	2~4	演習					
IAS02620	イスラーム文化論 2	2	1~4	講義		IAS21620	イスラーム文化演習 2	2	2~4	演習					
④ スキル科目	専攻専門 選択科目							THE31010	卒業論文準備ゼミナール	2	3	演習	春学期・秋学期に各2単位計4単位を履修		
								JPS21630	日本文化情報演習 1	2	1~4	演習			
								JPS21640	日本文化情報演習 2	2	1~4	演習			
								JPS21650	書道演習 1	2	1~4	演習			
								JPS21660	書道演習 2	2	1~4	演習			
								JPS21670	くずし字入門演習 1	2	1~4	演習	*		
								JPS21680	くずし字入門演習 2	2	1~4	演習	*		
								LNG26090	ジャパロジ-イングリッシュ1	1	2~4	実習	*		
								LNG26100	ジャパロジ-イングリッシュ2	1	2~4	実習	*		
								CHS26610	中国語応用 1	1	1~4	実習			
						CHS26620	中国語応用 2	1	1~4	実習					

分野	科目群	講義					演習・実習								
		ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考		
4 スキル科目 専攻専門 選択科目	5 Godai-Culture 専攻専門 選択科目 副課程							KOS26610	韓国・朝鮮語応用1	1	1~4	実習			
								KOS26620	韓国・朝鮮語応用2	1	1~4	実習			
								JPS21690	伝統文化実技演習1	2	1~4	演習	*		
								JPS21700	伝統文化実技演習2	2	1~4	演習	*		
								BAS26310	英会話中級1	1	2~4	実習	*		
								BAS26320	英会話中級2	1	2~4	実習	*		
								BAS26330	英作文中級1	1	2~4	実習	*		
								BAS26340	英作文中級2	1	2~4	実習	*		
	6 教職の教科に関する概説科目 専攻専門 選択科目	6 教職の教科に関する概説科目 専攻専門 選択科目	AST02171	中国の社会と文化1	2	1~4	講義	*							
			AST02172	中国の社会と文化2	2	1~4	講義	*							
			AST02181	韓国・朝鮮の社会と文化1	2	1~4	講義	*							
			AST02182	韓国・朝鮮の社会と文化2	2	1~4	講義	*							
										LED06061	中国語論述実習1	1	1~4	実習	*
										LED06062	中国語論述実習2	1	1~4	実習	*
										LED06071	韓国・朝鮮語論述実習1	1	1~4	実習	*
								LED06072	韓国・朝鮮語論述実習2	1	1~4	実習	*		
	6 教職の教科に関する概説科目 専攻専門 選択科目	6 教職の教科に関する概説科目 専攻専門 選択科目	TCP12010	日本史概説	2	1~4	講義								
			TCP12020	外国史概説	2	1~4	講義								
			TCP12030	法学概説(国際法を含む)	2	1~4	講義								
			TCP12040	政治学概説(国際政治を含む)	2	1~4	講義								
			TCP12050	経済学概説(国際経済を含む)	2	1~4	講義								
			TCP12060	社会学概説	2	1~4	講義								
			TCP12070	地誌概説	2	1~4	講義								
			TCP12080	人文地理学概説	2	1~4	講義								
			TCP12090	自然地理学概説	2	1~4	講義								
			TCP12100	倫理学概説	2	1~4	講義								
			TCP12110	宗教学概説	2	1~4	講義								
			TCP12120	哲学概説	2	1~4	講義								
TCP12130			心理学概説	2	1~4	講義									

* 左右に並んでいる講義と演習は、セットで履修を推奨している場合があります。

* 日本・東アジア文化学科では、卒業までの学習計画を立てる際の一助となるように、自分の興味・関心に基づいてコース選択をしてもらっています。なおどのコースを選択した場合でも、表の科目群を超えて自由に講義科目や演習科目を履修できます。

* 「中国の社会と文化1・2」「中国語論述実習1・2」は中国語で、「韓国・朝鮮の社会と文化1・2」「韓国・朝鮮語論述実習1・2」は韓国語で行われる授業です。日本・東アジア文化学科の学生は共通専門科目としてではなく専攻科目として履修します。

8 日本・東アジア文化学科 卒業論文履修資格

「卒業論文」、「卒業論文ゼミナール1」および「卒業論文ゼミナール2」は、以下の条件を満たさない場合は、履修することができません。

- ① 大学に3年以上在学していること。
- ② 1年次必修外国語(英語)2単位および選択外国語I(1)4単位の計6単位すべてと、2年次必修外国語(英語)2単位および選択外国語I(2)4単位の計6単位のうちの4単位を修得していること。
- ③ 専攻基礎科目「日本・東アジア文化基礎ゼミナール1」「日本・東アジア文化基礎ゼミナール2」の計4単位を修得していること。
- ④ 卒業に必要な124単位のうち、76単位以上を修得していること。

【注意】

「卒業論文」「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を履修するためには、卒業論文ゼミナール登録届の提出が必要となります。届の提出手続きを行わなかった場合は上記資格を満たしても履修できないため、必ず定められた提出手続きを行うこと。

卒業論文および卒業論文準備ゼミナール、卒業論文ゼミナール履修に関する注意

1. 日本・東アジア文化学科における卒業論文

武蔵大学人文学部日本・東アジア文化学科では、卒業までに400字詰原稿用紙50枚相当以上の卒業論文を書いて提出し、口述試験に合格しなければなりません。ぜひ卒業論文を書く楽しさや喜びを味わい、難関を突破して卒業していただきたいと思います。

400字詰原稿用紙50枚という分量は、パソコンでいえばA4で15ページを超えるものです。これだけの分量の論文は一朝一夕には書けません。それなりの準備が必要です。その準備を1年生の時から演習（ゼミナール）でやっていくよう心がけてください。演習（ゼミナール）の担当教員も、みなさんの論文作成に向けての意欲を積極的に受けとめて、しっかりと指導していきます。

以下は、3年生の「卒業論文準備ゼミナール」、および4年生の「卒業論文ゼミナール」「卒業論文」科目の履修に関する注意事項ですが、1年生や2年生のみなさんも、ぜひこれを熟読し、大学での学びとはどのようなものか、そのために自分は何をするべきか、よく考えて、日頃の学修に生かすようにしてください。

2. 卒業論文の指導について

卒業論文の指導は、3年次に履修する「卒業論文準備ゼミナール」（春学期・秋学期）および4年次に履修する「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」でおこないます。3年次生は、前年度の12月におこなわれる卒業論文準備ゼミナールガイダンスで説明を聞いた上で、その時点で希望している日本・東アジア文化学科専任教員の「卒業論文準備ゼミナール」を春学期と秋学期に履修しなければなりません（海外に留学するなど特別な事情がある学生を除く）。

4年次生は本学科の専任教員が担当する「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を原則として履修しなければなりません。そして最後に卒業論文を提出し、口述試験を受験します。「卒業論文」の成績は、論文そのもののレベルと、口述試験での出来を総合してつけられます。卒業論文の執筆に際しては、それぞれのゼミナール担当者の指示・指導に従ってください。このように「卒業論文」と4つのゼミナール科目における指導は一体となっています。この点を各自しっかりと認識して卒業論文の執筆に臨んでください。

【注意】

- ◇ 自然科学担当専任教員・身体運動科学担当専任教員・教職課程担当専任教員を卒業論文指導教授とする場合の要件については、履修要項の152～154頁を参照してください。
- ◇ 協定留学または認定留学により4年次春学期に不在となる場合は、特例として、4年次秋学期に「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を同時履修することを認めます（4年次に1年間不在となる場合は、翌年度春学期の同時履修を認めます。また、休学等により履修学期がそれ以降となる場合も、協定留学を含めて3年半以上の在学を経ている場合は同時履修が可能です。詳細は教務課に確認してください）。希望する場合は、留学前に指導教授に相談の上、了承を得てください。また、帰国後は速やかに教務課にて手続きを行ってください。

3. 卒業論文の提出

卒業論文は、3S 掲示や指導教員の指示に従ってオンラインで提出すること。提出期限は公平性の確保のため厳格に定められており、原則としてそれ以降は受理できないので厳守してください。

【注意】

- ◇ 診断書や証明書等を提出しうる学校感染症等の急病、不慮の事故、不測の事態などによって締め切り日時までの本人による提出が困難な場合、または提出できなかった場合には、速やかに教務課に申し出て、指示を受けてください。考慮すべき特別の理由があると学部が認めた場合、代理人による提出や締め切り日後の提出を認めることがあります。

4. 卒業論文の体裁、書き方、作成の要領など

卒業論文の執筆に関する詳細については、毎年春に3Sに掲示する「卒業論文作成のてびき」を参照してください。どのような先生のもとでどのような論文が書かれているか、本文の書き方、表紙のサンプルなど、みなさんが疑問に思うことのすべてが、このてびきに掲載されています。このマニュアルは日本・東アジア文化学科のすべての学生がダウンロードできるようになっています。各種ガイダンスでも使用しますので、かならずこのマニュアルを履修要項と一緒に保管するようにしてください。

5. 卒業論文口述試験

口述試験の日程は卒業論文提出後に決定します。秋学期提出の場合、12月中旬に3Sで掲示し、試験自体は1月中旬におこないます。口述試験は教員2名（主査1名、副査1名）と学生1名の面接形式でおこなわれます。時間は30分程度です。本人保管用の論文を口述試験までもう一度熟読して、どのような質問にも答えられるようにしてください。また口述試験の時には、本人保管用の論文はもちろんのこと、論文を執筆するために使用した資料、文献、ノート、カードなどを持ち込んでも構いません。万全の態勢で臨んでください。

6. 卒業論文の評価基準

卒業論文は、次の6つの基準を中心に審査されます。いずれも論文を書くためには必要な条件で、それぞれの演習（ゼミナール）や卒業論文関連の授業では、これらの基準を満たした論文を書くためのトレーニングがおこなわれます。

〔基準〕

- (1) 論理性、説得力…明確な論理構成がとれているか。
- (2) 文章力、表現力…論文にふさわしい文体で書かれているか。
- (3) 調査力、分析力…一次資料、二次資料ないし参考文献をきちんと分けて使用しているか。資料が充実しているか。
- (4) 形式…引用や注などをきちんと明示しているか。
- (5) 先行研究の検討…そのテーマに関する研究史を検討し、それをきちんと理解し活用しているか。
- (6) 独自性、着想性…どれだけ新しいことをやったか。

7. 卒業論文報告会（1月下旬）

卒業論文報告会では、優れた卒業論文あるいはユニークな卒業論文について研究発表がおこなわれます。また「卒業論文準備ゼミナール」（秋学期）を履修している3年次の学生は、かならず出席するようにしてください。1、2年生のみなさんももちろん歓迎します。ふるってご参加ください。

8. 『卒業論文成果報告書』

優れた卒業論文・独創的な卒業論文は、卒業論文報告会での研究発表の対象となるだけでなく、当該年度の『卒業論文成果報告書』への抄録掲載の対象となります。『卒業論文成果報告書』はグループスタディールームで閲覧に供されるとともに、オープンキャンパスなどにおいて人文学部の教育の成果として配布されます。

9 グローバル・チャレンジ (GC) 中国語／韓国・朝鮮語プログラム

日本・東アジア文化学科には、中国語／韓国・朝鮮語の力を十分に伸ばし、留学の実現や検定試験合格を目指す人のために、グローバル・チャレンジ (GC) というプログラムが用意されています。日本・東アジア文化学科のカリキュラムのもとで学びながら、中国語／韓国・朝鮮語の学習にとくに力を注ぎたい人を対象とした特訓プログラムです。

1. GC 中国語プログラム

(1) 概要

- [1] 中国語圏の大学に（長期または短期）留学を目指します。現地の学生と対等に議論をおこない、また留学先の授業において十分知識を得られるだけの語学能力を身につけます。
- [2] 中国語既修者については、そのレベルをさらに向上させ、現地の大学院に修学できるレベルの語学能力や教養を身につけます。
- [3] 中国語検定試験に挑戦する場合は、3年次終了時で中国語検定試験（中検）2級以上、漢語水平考試（HSK）5級以上、華語文能力測検（TOCFL）Level 4以上の獲得を目指します。

(2) 修了要件

以下の3要件を満たし、必要な認定申請を行うと卒業時に修了証が授与されます。

- [1] 以下に定める「GC 中国語必修科目」から8単位以上修得すること。
- [2] 以下に定める「GC 中国語関連科目」から6単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分
GC 中国語 必修科目	8	GC 中国語 A1	2	共通専門科目
		GC 中国語 A2	2	共通専門科目
		GC 中国語 B1	2	共通専門科目
		GC 中国語 B2	2	共通専門科目
GC 中国語 関連科目	6	中国の社会と文化 1	2	専門科目 (GC 関連科目) (中国語による授業)
		中国の社会と文化 2	2	専門科目 (GC 関連科目) (中国語による授業)
		中国語論述実習 1	1	専門科目 (GC 関連科目) (中国語による授業)
		中国語論述実習 2	1	専門科目 (GC 関連科目) (中国語による授業)

- [3] 4年次に「卒業論文ゼミナール 1」（2単位）「卒業論文ゼミナール 2」（2単位）において、以下の1・2いずれかの条件を満たした卒業論文を執筆し、「卒業論文」（4単位）と合わせ8単位を修得すること。

- 中国語で卒業論文を執筆する。
- 中国語文献を研究対象または参考図書とした卒業論文を日本語で執筆し、中国語のレジュメを付す。

【注意】

① GC 中国語必修科目「GC 中国語」について

- * この科目は中国語の個別指導の授業です。受講生のそれぞれのレベルに合わせた指導をおこないません。また授業時間外に行われるコーチングによって、勉強の仕方、ペースメイキング、語学試験受験準備、留学準備などについて、個別相談をおこないます。
- * 複数年度にまたがった重複履修が可能です。2回目以降に修得した単位も、卒業および修了に必要な単位として算入できます。また修了要件は8単位ですが、卒業に必要な単位には最大で16単位まで算入できます。
- * 「GC 中国語」にはAとBがあります。この二つは学習内容が異なるだけで、レベルの違いはありません。ガイダンスの説明をよく聞いて履修する科目を決めてください。なお、留学や検定試験に向けて学習量を増やしたい場合などは、AとBの両方を複数年履修することを強く推奨します。

- ##### ② GC 中国語プログラムの認定申請を行う予定の場合、4年次の卒業論文執筆に際しても、コーチングを受けてください。

- ##### ③ 日本・東アジア文化学科で定められた必修の選択外国語では中国語を履修してください。ただし中国語既修者は教員と相談のうえ履修のしかたを決めてください。

(3) 履修モデル

留学時期や学修計画によってさまざまな履修パターンがあります。以下はその一例です。

	1年次	2年次	3年次	4年次
3年次に長期留学する場合	GC 中国語 A1・A2 GC 中国語 B1・B2 その他関連科目	中国の社会と文化 1・2 中国語論述実習 1・2 中国語応用 1・2 その他関連科目	中国語圏長期留学(1年間)	卒業論文ゼミナール 卒業論文 GC 中国語 A1・A2 GC 中国語 B1・B2
2年次に長期留学する場合	GC 中国語 A1・A2 中国の社会と文化 1・2 中国語応用 1・2 その他関連科目	中国語圏長期留学(1年間)	GC 中国語 B1・B2 中国語論述実習 1・2	
短期留学をする場合	GC 中国語 A1・A2 GC 中国語 B1・B2 その他関連科目	中国の社会と文化 1・2 中国語論述実習 1・2 その他関連科目	外国語現地実習(中国語) 中国語応用 1・2 その他関連科目	
初修者の検定取得目標	中検 4 級 HSK3 級 TOCFLLevel2	中検 3 級 HSK4 級 TOCFLLevel3	中検 2 級 HSK 5 級 TOCFLLevel4	

(4) GC 中国語プログラム修了証の申請手続きについて

プログラム修了の認定申請は卒業する年度に行わなければなりません。認定された場合には、卒業式当日に「GC 中国語プログラム修了証」が授与されます。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。卒業後に授与を希望する場合は証明書(有料)が発行されます。

4年次	9月卒業予定者	GC 中国語プログラム 認定申請書提出	申請書提出期限：授業終了日
	7月		
	3月卒業予定者 12月		

2. GC 韓国・朝鮮語プログラム

(1) 概要

- [1] 韓国・朝鮮語圏の大学に(長期または短期)留学を目指します。現地の学生と対等に議論をおこない、また留学先の授業において十分知識を得られるだけの語学能力を身につけます。
- [2] 韓国・朝鮮語既修者については、そのレベルをさらに向上させ、現地の大学院に修学できるレベルの語学能力や教養を身につけます。
- [3] 韓国・朝鮮語検定試験に挑戦する場合は、3年次終了時で韓国語能力試験 4 級以上、ハングル能力検定試験 2 級以上の獲得を目指します。

(2) 修了要件

以下の3要件を満たし、必要な認定申請を行うと卒業時に修了証が授与されます。

- [1] 以下に定める「GC(韓国・朝鮮語)必修科目」から8単位以上修得すること。
- [2] 以下に定める「GC(韓国・朝鮮語)関連科目」から6単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分
GC 韓国・朝鮮語 必修科目	8	GC 韓国・朝鮮語 A1	2	共通専門科目
		GC 韓国・朝鮮語 A2	2	共通専門科目
		GC 韓国・朝鮮語 B1	2	共通専門科目
		GC 韓国・朝鮮語 B2	2	共通専門科目
GC 韓国・朝鮮語 関連科目	6	韓国・朝鮮の社会と文化 1	2	専門科目 (GC 関連科目) (韓国・朝鮮語による授業)
		韓国・朝鮮の社会と文化 2	2	専門科目 (GC 関連科目) (韓国・朝鮮語による授業)
		韓国・朝鮮語論述実習 1	1	専門科目 (GC 関連科目) (韓国・朝鮮語による授業)
		韓国・朝鮮語論述実習 2	1	専門科目 (GC 関連科目) (韓国・朝鮮語による授業)

- [3] 4年次に「卒業論文ゼミナール 1」(2単位)「卒業論文ゼミナール 2」(2単位)において、以下の1・2いずれかの条件を満たした卒業論文を執筆し、「卒業論文」(4単位)と合わせ8単位を修得すること。

1. 韓国・朝鮮語で卒業論文を執筆する。
2. 韓国・朝鮮語文献を研究対象または参考図書とした卒業論文を日本語で執筆し、韓国・朝鮮語のレジュメを付す。

【注意】

① GC 韓国・朝鮮語必修科目「GC 韓国・朝鮮語」について

*この科目は韓国・朝鮮語の個別指導の授業です。受講生のそれぞれのレベルに合わせた指導をおこないます。また授業外に行われるコーチングによって、勉強の仕方、ペースメイキング、語学試験受験準備、留学準備などについて、個別相談をおこないます。

*複数年度にまたがった重複履修が可能です。2回目以降に修得した単位も、卒業および修了に必要な単位として算入できます。また修了要件は8単位ですが、卒業に必要な単位には最大で16単位まで算入できます。

*「GC 韓国・朝鮮語」にはAとBがあります。この二つは学習内容が異なるだけで、レベルの違いはありません。ガイダンスの説明をよく聞いて履修する科目を決めてください。なお、留学や検定試験に向けて学習量を増やしたい場合などは、AとBの両方を複数年履修することを強く推奨します。

② GC 韓国・朝鮮語プログラムの認定申請を行う予定の場合、4年次の卒業論文執筆に際しても、コーチングを受けてください。

③ 日本・東アジア文化学科で定められた必修の選択外国語では韓国・朝鮮語を履修してください。ただし韓国・朝鮮語既修者は教員と相談のうえ履修のしかたを決めてください。

(3) 履修モデル

留学時期や学修計画によってさまざまな履修パターンがありえます。以下はその一例です。

	1年次	2年次	3年次	4年次
3年次に長期留学する場合	GC 韓国・朝鮮語 A1・A2 GC 韓国・朝鮮語 B1・B2 その他関連科目	韓国・朝鮮の社会と文化1・2 韓国・朝鮮語論述実習1・2 韓国・朝鮮語応用1・2 その他関連科目	韓国長期留学（1年間）	卒業論文ゼミナール 卒業論文 GC 韓国・朝鮮語 A1・A2 GC 韓国・朝鮮語 B1・B2
2年次に長期留学する場合	GC 韓国・朝鮮語 A1・A2 韓国・朝鮮の社会と文化1・2 韓国・朝鮮語応用1・2 その他関連科目	韓国長期留学（1年間）	GC 韓国・朝鮮語 B1・B2 韓国・朝鮮語論述実習1・2 その他関連科目	
短期留学をする場合	GC 韓国・朝鮮語 A1・A2 GC 韓国・朝鮮語 B1・B2 その他関連科目	韓国・朝鮮の社会と文化1・2 韓国・朝鮮語論述実習1・2 その他関連科目	外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1 韓国・朝鮮語応用1・2 その他関連科目	
初修者の検定取得目標	韓国語能力試験2級 ハングル能力検定試験4級	韓国語能力試験3級 ハングル能力検定試験3級	韓国語能力試験4級 ハングル能力検定試験2級	

(4) GC 韓国・朝鮮語プログラム修了証の申請手続きについて

プログラム修了の認定申請は卒業する年度に行わなければなりません。認定された場合には、卒業式当日に「GC 韓国・朝鮮語プログラム修了証」が授与されます。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。卒業後に授与を希望する場合は証明書（有料）が発行されます。

4年次	9月卒業予定者 7月	GC 韓国・朝鮮語プログラム 認定申請書提出	申請書提出期限：授業終了日
	3月卒業予定者 12月		

3. 中国語プログラム／韓国・朝鮮語プログラムの同時修了について

「GC 中国語プログラム」と「GC 韓国・朝鮮語プログラム」は、同時に修了することができます。両プログラムの修了要件を満たす必要がありますが、卒業論文については、かならずしも中国語圏と韓国・朝鮮の双方にまたがるテーマでなくても構いません。「GC 中国語」「GC 韓国・朝鮮語」は合わせて最大で16単位まで卒業に必要な単位として算入できます。詳しくは担当の教員に問い合わせてください。

履修モデル

	1年次	2年次	3年次		4年次
中国語圏・韓国に長期留学する場合	GC 中国語 GC 韓国・朝鮮語 中国の社会と文化 1・2 韓国・朝鮮の社会と文化 1・2 中国語応用 1・2 韓国・朝鮮語応用 1・2 その他関連科目	韓国・朝鮮の社会と文化 1・2 韓国・朝鮮語論述実習 1・2 韓国・朝鮮語応用 1・2 その他関連科目	中国語圏長期留学 (6か月)	韓国長期留学 (6か月)	卒業論文ゼミナール 卒業論文 GC 韓国・朝鮮語 GC 韓国・朝鮮語
中国語圏・韓国に長期・短期留学する場合	GC 韓国・朝鮮語 A1・A2 韓国・朝鮮の社会と文化 1・2 韓国・朝鮮語応用 1・2 その他関連科目	外国語現地実習 (韓国・朝鮮語) GC 中国語 中国の社会と文化 1・2 中国語論述実習 1・2 その他関連科目	中国語圏長期留学 (1年間)		
日本国内で語学学習に専念する場合	GC 中国語 GC 韓国・朝鮮語 中国の社会と文化 1・2 韓国・朝鮮の社会と文化 1・2 中国語応用 1・2 韓国・朝鮮語応用 1・2 その他関連科目	GC 中国語 GC 韓国・朝鮮語 中国語論述実習 1・2 韓国・朝鮮語論述実習 1・2 その他関連科目	GC 中国語 GC 韓国・朝鮮語 その他関連科目		

10 グローバル・チャレンジ (GC) 英語プログラム

ヨーロッパ文化学科と日本・東アジア文化学科には、英語の力を十分に伸ばし、検定試験合格や留学の実現を目指す人のために、グローバル・チャレンジ (GC) というプログラムが用意されています。ヨーロッパ文化学科と日本・東アジア文化学科のカリキュラムのもとで学びながら、英語の学習にとくに力を注ぎたい人を対象とした特訓プログラムです。

(1) 概要

目標：

- [1] 英語検定試験に挑戦する場合は、3年次終了時で IELTS 5.5 以上、実用英語技能検定 CSE 2300 以上、TOEIC (LRSW) 1560 以上に相当するスコアを目指します。
- [2] すでに上記のレベルにある場合は、そのレベルをさらに向上させ、英語で行われる本学の授業を受講できるレベルの語学能力や教養を身につけます。
- [3] 英語圏の大学に（長期または短期）留学を目指します。現地の学生と対等に議論をおこない、また留学先の授業において十分知識を得られるだけの語学能力を身につけます。
- [4] 英語の教職免許取得を目指す場合にも、英語教員として不可欠な英語力を身につけます。

(2) 修了要件

以下の3要件を満たし、必要な認定申請を行うと卒業時に修了証が授与されます。

- [1] 下表に定める「GC 英語必修科目」から 12 単位以上修得すること。
- [2] 下表に定める「GC 英語関連科目」から 8 単位以上修得すること。
- [3] 4年次に「卒業論文ゼミナール 1」（2 単位）「卒業論文ゼミナール 2」（2 単位）において、以下の 1・2 いずれかの条件を満たした卒業論文を執筆し、「卒業論文」（4 単位）と合わせ 8 単位を修得すること。
 1. 英語で卒業論文を執筆する。
 2. 英語文献を研究対象または参考図書とした卒業論文を日本語で執筆し、英語のレジュメを付す。

第1章 授業科目の履修

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分
GC 英語 必修科目	12	GC 英語 A1	2	共通専門科目
		GC 英語 A2	2	共通専門科目
		GC 英語 B1	2	共通専門科目
		GC 英語 B2	2	共通専門科目
		GC 英語 C1	2	共通専門科目
		GC 英語 C2	2	共通専門科目
		GC 英語 D1	2	共通専門科目
		GC 英語 D2	2	共通専門科目
GC 英語 関連科目	8	プラクティカル・イングリッシュ1	1	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		プラクティカル・イングリッシュ2	1	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング1	1	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング2	1	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ1	1	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ2	1	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		ディスカッション・ディベート英語1	1	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		ディスカッション・ディベート英語2	1	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ1	1	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ2	1	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		ビジネス・コミュニケーション英語1	1	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		ビジネス・コミュニケーション英語2	1	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		イングリッシュ・ライティング・ワークショップ1	1	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		イングリッシュ・ライティング・ワークショップ2	1	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		TOEIC 対策英語1	1	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		TOEIC 対策英語2	1	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		外国語現地実習 (英語) 1	2	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		外国語現地実習 (英語) 2	2	外国語科目 (選択外国語Ⅱ)
		Information Technology and Global Communication	2	総合科目
		Japan in the Modern World	2	総合科目
		Introduction to Race, Ethnicity and Nation	2	総合科目
		Introduction to Human Rights	2	総合科目
		Introduction to Gender and Sexuality Studies	2	総合科目
		Global Environmental Issues	2	総合科目
		Introduction to Human Geography	2	総合科目
		Introduction to Personal Health and Wellness	2	総合科目
		Career Design in a Global Age	2	総合科目
		インターネット・イングリッシュ	2	総合科目
		Introduction to Global History 1	2	共通専門科目
		Introduction to Global History 2	2	共通専門科目
		Transnational Issues 1	2	共通専門科目
		Transnational Issues 2	2	共通専門科目
		Understanding Foreign Affairs and the Global Economy	2	共通専門科目
		Global Service Learning A1	1	共通専門科目
		Global Service Learning A2	1	共通専門科目
		Global Service Learning B1	2	共通専門科目
		Global Service Learning B2	2	共通専門科目
		Global Service Learning C1	4	共通専門科目
		Global Service Learning C2	4	共通専門科目
		Introduction to Economics (a)	4	共通専門科目
		Foundations of Political Science	2	共通専門科目
Introduction to Management	2	共通専門科目		
Trade Economics	2	共通専門科目		
International Finance	2	共通専門科目		
Industrial Organization	2	共通専門科目		
Business and Society	2	共通専門科目		
Survey of Global Studies 1	2	共通専門科目		
Survey of Global Studies 2	2	共通専門科目		
Survey of Transcultural Studies 1	2	共通専門科目		
Survey of Transcultural Studies 2	2	共通専門科目		
Topics in Foreign Policy and Diplomacy 1	2	共通専門科目		
Topics in Foreign Policy and Diplomacy 2	2	共通専門科目		
Survey of Futures Studies 1	2	共通専門科目		
Survey of Futures Studies 2	2	共通専門科目		
Survey of Comparative Politics 1	2	共通専門科目		
Survey of Comparative Politics 2	2	共通専門科目		
Global Civics 1	2	共通専門科目		
Global Civics 2	2	共通専門科目		

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分
GC 英語 関連科目 (続き)		Survey of Political Ideas 1	2	共通専門科目
		Survey of Political Ideas 2	2	共通専門科目
		Peace Studies 1	2	共通専門科目
		Peace Studies 2	2	共通専門科目
		Communication Studies 1	2	共通専門科目
		Communication Studies 2	2	共通専門科目
		Second Language Studies 1	2	共通専門科目
		Second Language Studies 2	2	共通専門科目
		World Englishes 1	2	共通専門科目
		World Englishes 2	2	共通専門科目
		Media Communications 1	2	共通専門科目
		Media Communications 2	2	共通専門科目
		Language & Communication Barriers 1	2	共通専門科目
		Language & Communication Barriers 2	2	共通専門科目
		Translation & Interpretation Studies 1	2	共通専門科目
		Translation & Interpretation Studies 2	2	共通専門科目
		Cultural Representations 1	2	共通専門科目
		Cultural Representations 2	2	共通専門科目
		Global Literatures in English 1	2	共通専門科目
		Global Literatures in English 2	2	共通専門科目
		Japanese Studies 1	2	共通専門科目
		Japanese Studies 2	2	共通専門科目
		Topics in Japanese Culture 1	2	共通専門科目
		Topics in Japanese Culture 2	2	共通専門科目
		Japanese History in Global Perspective 1	2	共通専門科目
		Japanese History in Global Perspective 2	2	共通専門科目
		Transnational Cultures 1	2	共通専門科目
		Transnational Cultures 2	2	共通専門科目
		Diversity in Stories and Societies 1	2	共通専門科目
		Diversity in Stories and Societies 2	2	共通専門科目
		Japan and International Society	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Studies of Asian Economies	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Politics in Asia	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Japanese History	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Survey of Japanese Literature	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Japanese Culture and Society	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Traditional Arts of Asia	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Modern Arts of Asia	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Seminar in Entrepreneurship	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Comparative Perspectives on Asian Societies	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Comparative Cultures and Histories	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Asian Philosophies & Thought	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Survey in Comparative Literatures	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Globalization and Asia	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Environmental Issues in a Global Context	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Topics in Global Business	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Topics in Technology & Society	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Seminar in Visual Cultures	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Special Topics in Global Asia	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		Survey of Global Media & Communication	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
Topics in Gender & Sexuality	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
Survey of Identities in Asia	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
Seminar in Global Asia Issues	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
Global Asia in the 21st Century	4	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
Survey of Global Issues	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
Fieldwork in Japan	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
アメリカの社会と文化 1	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
アメリカの社会と文化 2	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
イギリスの社会と文化 1	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
イギリスの社会と文化 2	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
日本の社会と文化 1	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
日本の社会と文化 2	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
現代世界の諸問題 1	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
現代世界の諸問題 2	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
インターカルチュラルスキル養成講座 1	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		
インターカルチュラルスキル養成講座 2	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分
GC 英語 関連科目 (続き)		グローバル・リーダーシップ養成講座 1	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		グローバル・リーダーシップ養成講座 2	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		留学入門ゼミナール	2	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		グローバル・コミュニケーション 1	1	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		グローバル・コミュニケーション 2	1	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		留学のための英語講座 A1[TOEFL]	1	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		留学のための英語講座 A2[TOEFL]	1	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		留学のための英語講座 B1[IELTS]	1	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		留学のための英語講座 B2[IELTS]	1	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
		イングリッシュ・サマースクール 1	1	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)
イングリッシュ・サマースクール 2	1	共通専門科目 (EAS / 留学準備講座)		

【注意】

① GC 英語必修科目「GC 英語」について

※ この科目は少人数制の英語の授業です。上限 15 名程度です。希望者が多い場合には、選考が行われることがあります（英語強化クラスの学生やはじめて受講する学生が優先される場合があります）。

※ 複数年度にまたがった重複履修が可能です。2 回目以降に修得した単位も、卒業および修了に必要な単位として算入できます。また GC 英語プログラムの修了要件は 12 単位ですが、卒業に必要な単位には最大で 16 単位まで算入できます。

※ 「GC 英語」には A, B, C, D があります。A は Grammar and Syntax, B は Listening and Notetaking に主眼があります。この 2 つは基礎力の強化を目標としています。C と D は、4 技能実践英語です。ニュース・時事問題、現代社会、伝統文化・歴史などのトピックスを通じて、とくにディスカッションやライティングのスキルを強化し、英語を自由に使いこなす力を伸ばします。対象となる学年は主として、A と B は 1～2 年生、C と D は 2～4 年生です。いずれもシラバスをよく読んで履修する科目を考えてください。

② GC 英語プログラムの認定申請を行う予定の場合、4 年次の卒業論文執筆に際しても、全学対象の英語コーチングを受けることを推奨します。

③ MCV (履修要項 73、74 頁参照) の英語関連プログラムも積極的に活用してください。

(3) 履修モデル

留学時期や学修計画によってさまざまな履修パターンがあります。以下はその一例です。

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
3 年次に 長期留学 する場合	GC 英語 A1・A2 GC 英語 B1・B2 GC 英語関連科目 (留学の ための英語講座 A1・A2 [TOEFL] など)	GC 英語 B1・B2 GC 英語 C1・C2 GC 英語関連科目 (留学入 門ゼミナールなど)	英語圏長期留学 (1 年間)	卒業論文ゼミナール 卒業論文 GC 英語関連科目 (英語名称の科目など)
2 年次に 長期留学 する場合	GC 英語 A1・A2 GC 英語 B1・B2 GC 英語関連科目 (留学のた めの英語講座 B1・B2 [IELTS] など)	英語圏長期留学 (1 年間)	GC 英語 C1・C2 GC 英語 D1・D2 GC 英語関連科目 (Topics in Japanese Culture 1・2 など)	
短期留学をする場合	GC 英語 A1・A2 GC 英語 B1・B2 GC 英語関連科目 (ディス カッション・ディベート英 語 1・2 など)	GC 英語 C1・C2 外国語現地実習 (英語) 1 GC 英語関連科目 (クリエイ ティブ・ライティング・イン ・イングリッシュ 1・2 など)	外国語現地実習 (英語) 2 GC 英語 D1・D2 GC 英語関連科目 (ビジネ ス・コミュニケーション英 語 1・2 など)	
検定試験 スコア目標	IELTS 4.5 実用英語技能検定 CSE 2067 TOEIC (LRSW) 1290	IELTS 5.0 実用英語技能検定 CSE 2184 TOEIC (LRSW) 1425	IELTS 5.5 実用英語技能検定 CSE 2300 TOEIC (LRSW) 1560	

※ 検定試験は各自で積極的に受験してください。

※ 外国語現地実習や長期協定留学の活用を推奨します。

※ GC 英語関連科目 (総合科目、外国語科目、共通専門科目など) も積極的に履修してください。

(4) GC 英語プログラム修了証の申請手続きについて

プログラム修了の認定申請は卒業する年度に行わなければなりません。認定された場合には、卒業式当日に「GC 英語プログラム修了証」が授与されます。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。卒業後に授与を希望する場合は証明書（有料）が発行されます。

4年次	9月卒業予定者	GC 英語プログラム 認定申請書提出	申請書提出期限：授業終了日
	7月 3月卒業予定者 12月		

11 グローバルチャレンジ (GC) ドイツ語／フランス語アソシエイトプログラム

1. GC ドイツ語アソシエイトプログラム

人文学部の英語英米文化学科および日本・東アジア文化学科の学生を対象とした、ドイツ語とドイツ文化を深く学びたい人のためのプログラムです。以下の条件を満たした者については、「GC フランス語アソシエイトプログラム修了証」が発行されます。

(1) 修了要件

以下の3要件を満たし、必要な認定申請を行うと、卒業時に修了証が授与されます。

- [1] 下表の必修科目から8単位以上修得すること。
- [2] 下表の関連科目から6単位以上修得すること。
- [3] 下表の準関連科目から5単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分	CEFR 合格目標レベル
GC ドイツ語 必修科目	8	GC ドイツ語 A1	2	共通専門科目	CEFR A1 合格目標
		GC ドイツ語 A2	2	共通専門科目	CEFR A2 合格目標
		GC ドイツ語 B1	2	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		GC ドイツ語 B2	2	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
GC ドイツ語 関連科目	6	ドイツ語論述実習 1	1	共通専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		ドイツ語論述実習 2	1	共通専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		ドイツ語圏の社会と文化 1	2	共通専門科目	CEFR A2 合格目標
		ドイツ語圏の社会と文化 2	2	共通専門科目	CEFR A2 合格目標
GC ドイツ語 準関連科目	5	中級ドイツ語作文 1	1	共通専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		中級ドイツ語作文 2	1	共通専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		中級ドイツ語会話 1	1	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		中級ドイツ語会話 2	1	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		上級ドイツ語講読 1	1	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		上級ドイツ語講読 2	1	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標

- * 必修科目は重複履修が可能です。卒業に必要な単位への算入は、英語英米文化学科では不可、日本・東アジア文化学科では10単位まで可能です。
- * 準関連科目は、英語英米文化学科では卒業に必要な単位に算入できません。
- * 長期留学をした学生は、留学中に修得した語学科目の単位を各科目の学習内容に合った上記科目に読み替えることが可能です。
- * CEFR 合格レベルについては、ヨーロッパ文化学科の「GC ドイツ語／フランス語プログラム」のページ(91、92頁)を参照してください。
- * 入学後に B1 / 2 級以上に合格した場合は、外国語学習褒賞制度への申請が可能です。グローバル教育センターのホームページや3Sなどで申請時期を事前に確認してください。

(2) GC ドイツ語アソシエイトプログラム修了時の申請手続きについて

プログラム修了の認定申請は卒業する年度に行わなければなりません。認定された場合には、卒業式当日に「GC ドイツ語アソシエイトプログラム修了証」が授与されます。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合には、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申

請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。卒業に授与を希望する場合は証明書（有料）が発行されます。

4年次	9月卒業予定者 7月	GC ドイツ語アソシエイトプログラム 認定申請書提出	申請書提出期限：授業終了日
	3月卒業予定者 12月		

2. GC フランス語アソシエイトプログラム

人文学部の英語英米文化学科および日本・東アジア文化学科の学生を対象とした、フランス語とフランス文化を深く学びたい人のためのプログラムです。以下の条件を満たした者については、「GC フランス語アソシエイトプログラム修了証」が発行されます。

(1) 修了要件

以下の3要件を満たし、必要な認定申請を行うと、卒業時に修了証が授与されます。

- [1] 下表の必修科目から8単位以上修得すること。
 [2] 下表の関連科目から6単位以上修得すること。
 [3] 下表の準関連科目から5単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分	CEFR 合格目標レベル
GC フランス語 必修科目	8	GC フランス語 A1	2	共通専門科目	CEFR A1 合格目標
		GC フランス語 A2	2	共通専門科目	CEFR A2 合格目標
		GC フランス語 B1	2	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		GC フランス語 B2	2	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
GC フランス語 関連科目	6	フランス語論述実習 1	1	共通専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		フランス語論述実習 2	1	共通専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		フランスの歴史と社会 1	2	共通専門科目	CEFR A2 合格目標
		フランスの歴史と社会 2	2	共通専門科目	CEFR A2 合格目標
GC フランス語 準関連科目	5	中級フランス語作文 1	1	共通専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		中級フランス語作文 2	1	共通専門科目	CEFR A1 ~ A2 合格目標
		中級フランス語会話 1	1	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		中級フランス語会話 2	1	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
		上級フランス語講読 1	1	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標
上級フランス語講読 2	1	共通専門科目	CEFR B1 以上合格目標		

- * 必修科目は重複履修が可能です。卒業に必要な単位への算入は、英語英米文化学科では不可、日本・東アジア文化学科では10単位まで可能です。
- * 準関連科目は、英語英米文化学科では卒業に必要な単位に算入できません。
- * 長期留学をした学生は、留学中に修得した語学科目の単位を各科目の学習内容に合った上記科目に読み替えることが可能です。
- * CEFR 合格レベルについては、ヨーロッパ文化学科の「GC ドイツ語／フランス語プログラム」のページ（91、92頁）を参照してください。
- * 入学後に B1 / 2 級以上に合格した場合は、外国語学習褒賞制度への申請が可能です。グローバル教育センターのホームページや3Sなどで申請時期を事前に確認してください。

(2) GC フランス語アソシエイトプログラム修了時の申請手続きについて

プログラム修了の認定申請は卒業する年度に行わなければなりません。認定された場合には、卒業式当日に「GC フランス語アソシエイトプログラム修了証」が授与されます。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。卒業後に授与を希望する場合は証明書（有料）が発行されます。

4年次	9月卒業予定者 7月	GC フランス語アソシエイトプログラム 認定申請書提出	申請書提出期限：授業終了日
	3月卒業予定者 12月		

3 学科共通

1 自然科学 / 身体運動科学 / 教育学 / 心理学分野での卒業論文の執筆について

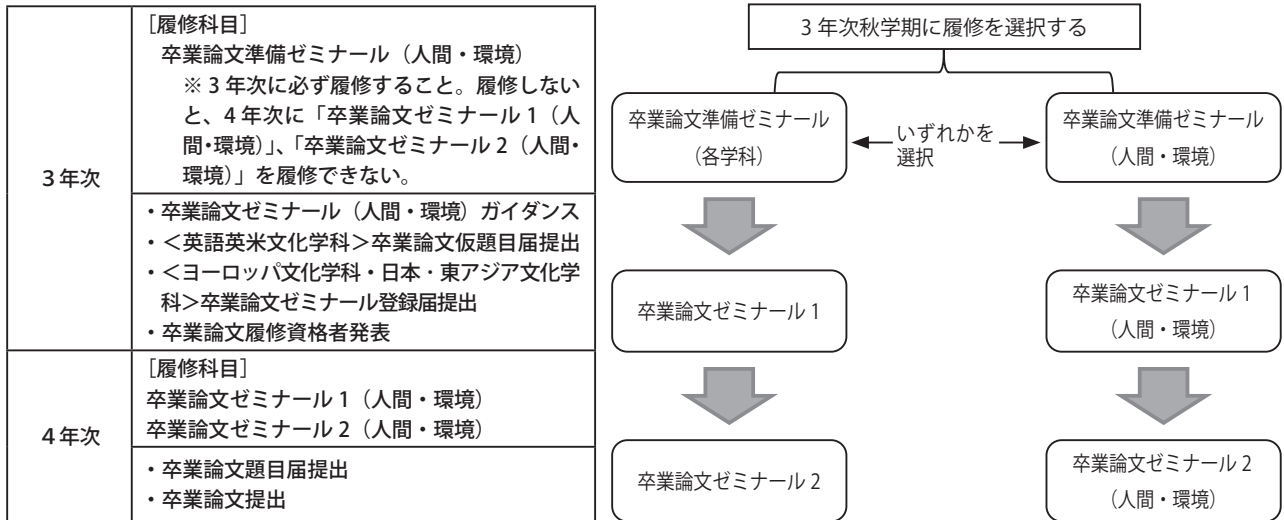
卒業論文の執筆に際しては、所属学部（学科）の教員ではなく、自然科学／身体運動科学／教育学／心理学分野の4領域を専門とする人文学部以外の教員が担当する「卒業論文ゼミナール（人間・環境）」を履修することもできます。ただし授業担当者や開講状況は年度によって異なるため、毎年すべての分野から選択できるとは限りません。

希望する学生は、3年次において「卒業論文ゼミナール（人間・環境）ガイダンス」に参加し（6月下旬に3Sにて告知）、そこで指示される内容を遵守してください。

「卒業論文準備ゼミナール（人間・環境）」では、選択した分野（自然科学／身体運動科学／教育学／心理学分野）で卒業論文を執筆する際に必要となる文献講読や実地調査の方法などの方法論、テーマ設定といった卒業論文執筆にあたっての基本的な事柄を身につけます。履修にあたっては、3年次秋学期履修登録期間終了時まで希望する卒業論文指導教員と面談をおこない、各自の卒業論文の研究内容と教員の研究分野が合致し、論文指導が可能であるかどうか確認します。

また、4年次の「卒業論文ゼミナール（人間・環境）」を履修するためには、3年次秋学期に「卒業論文準備ゼミナール（人間・環境）」の単位を修得し、所属学科の卒業論文の履修資格を満たしていることが条件となります。

[卒業論文に関する科目履修と手続き]



卒業論文の作成要領については、各学科のページで詳細が記載されています。なお、自然科学・身体運動科学・教育学・心理学担当の教員に卒業論文の指導を希望する場合は、以下の特徴および履修上のルールを熟読してください。

◆ 自然科学 / 身体運動科学 / 教育学 / 心理学分野の特徴

自然科学分野は、自然科学によって解明された原理に基づき、地球環境問題の現状を理解し、不確実性を含みながらも未来を予測し選択肢を考えることをテーマとしています。

身体運動科学分野は、スポーツそのものを歴史的、哲学的に考察すること、あるいはアスリートを題材とし、スポーツ科学の観点からパフォーマンス向上のための知見を得ることやアスリートの心理を明らかにしていくことをテーマとしています。

教育学分野は、教育学（教育哲学、カリキュラム、教育方法・実践等）に関わるテーマでの卒業論文の執筆が可能です。これまでのテーマには、歴史教科書の国際比較、高校キャリア教育、ICT教育、外国語教育におけるALT（外国語指導助手）の役割、学校における子どもの居場所づくり等があります。

心理学分野は、臨床心理学、スポーツ心理学を主とした関連領域を研究します。現代の家族に関する諸問題や青年期の心理的発達課題、スポーツ選手の心理的競技力向上やスポーツの心理臨床について考察していくことをテーマとしています。

◆ 自然科学・身体運動科学・教育学・心理学担当の教員を卒業論文指導教授とする際の履修上の条件

- ① 自然科学分野において研究・教育に携わっている教員を希望する場合には、自然科学系科目の中から、原則として、2年次までに少なくとも6単位以上修得済みであることが望ましく、かつ3年次において4単位以上の単位（「卒業論文準備ゼミナール（人間・環境）」を含む）について履修登録をおこなっているか、あるいは、単位修得済であること。
- ② 身体運動科学分野において研究・教育に携わっている教員を希望する場合には、身体運動科学系科目の中から、原則として、2年次までに少なくとも6単位以上修得済みであることが望ましく、かつ3年次において4単位以上の単位（「卒業論文準備ゼミナール（人間・環境）」を含む）について履修登録をおこなっているか、あるいは、単位修得済であること。
- ③ 教育学分野の研究・教育に携わっている教員を希望する場合には、教職課程関連科目のうち、卒業論文のテーマに関連する授業を、2年次までに少なくとも8単位以上修得済であることが望ましく、かつ3年次において4単位以上の単位（「卒業論文準備ゼミナール（人間・環境）」を含む）について履修登録をおこなっているか、あるいは単位修得済であること。
- ④ 心理学の研究・教育に携わっている教員を希望する場合には、人文学部科目のうち、卒業論文のテーマに関連する授業を、2年次までに少なくとも6単位以上修得済であることが望ましく、かつ3年次において4単位以上の単位（「卒業論文準備ゼミナール（人間・環境）」を含む）について履修登録をおこなっているか、あるいは単位修得済であること。

◆ 自然科学・身体運動科学・教育学・心理学担当の教員を卒論指導教授にする場合の、ゼミナール履修上の重要事項

「卒業論文」の執筆と「卒業論文準備ゼミナール（人間・環境）」「卒業論文ゼミナール1（人間・環境）」「卒業論文ゼミナール2（人間・環境）」の単位修得は一体です。原則として、卒業論文準備ゼミナールは3年次秋学期に履修し、卒業論文ゼミナール1および2は4年次に履修しなければなりません。なお、「卒業論文準備ゼミナール（人間・環境）」は各学科の「卒業論文準備ゼミナール」に相当するものです。3年次秋学期にいずれかを選択して履修してください。

- ① 「卒業論文準備ゼミナール（人間・環境）」と各学科の「卒業論文準備ゼミナール」は、いずれか一方しか履修することはできません。また、日本・東アジア文化学科の学生は、3年次春学期にも「卒業論文準備ゼミナール」（春学期）を原則として全員が履修します。
- ② 「卒業論文準備ゼミナール（人間・環境）」の単位を修得し、引き続き卒業論文指導を希望する場合には、「卒業論文ゼミナール1（人間・環境）」「卒業論文ゼミナール2（人間・環境）」を履修し、単位を修得しなければなりません。
- ③ 3年次の秋学期に「卒業論文準備ゼミナール（人間・環境）」の単位を修得できなかった場合には、当該指導教授による卒業論文指導の継続が不可能となったと判断され、当該学生は所属学科教務委員による履修指導に基づき、卒業論文指導教授を変更しなければなりません。
- ④ 「卒業論文準備ゼミナール（人間・環境）」の授業終了後、論文指導教授を変更することができます。その場合には、3年次1月の卒業論文仮題目届（英米）・卒業論文ゼミナール登録届（ヨーロッパ、日東）の提出に先立ち、当該学科教務委員による履修指導に従わなければなりません。

◆ 卒論ガイダンス

3年次において「卒業論文ゼミナール（人間・環境）ガイダンス」を受け（6月下旬にアナウンス）、指示された重要事項を的確に遵守しなければなりません。当該学生は、ガイダンス後、希望教員と卒業論文の内容と方向性について面談し、その上で指導適格性判断のための課題レポートを提出してください。課題レポートの詳細については、希望教員から指示されます。

協定留学または認定留学により4年次春学期に不在となる場合は、特例として4年次秋学期に「卒業論文ゼミナール

ル1（人間・環境）」「卒業論文ゼミナール2（人間・環境）」を同時履修することを認める場合があります（4年次に1年間不在となる場合は、翌年度春学期の同時履修を認める場合があります）。

ただし、3年次秋学期からの協定留学で、「卒業論文準備ゼミナール（人間・環境）」の単位未修得の場合は適用されません。希望する場合は、必ず、留学前に卒業論文の指導教授に相談の上、了承を得てください。了承が得られなかった場合は、同時履修は認められません。また、帰国後は速やかに教務課にて手続きを行ってください。

2 学修プログラム（グローバル・ヒューマニティーズ（GH）、日本語教員、自然・環境）

人文学部の学生は、所属する各学科で定められた履修条件を満たして単位を修得することによって卒業しますが、それとは別に、定められた単位修得条件を満たすことによって、特定のプログラムを修了したものと認定する制度があります。こうしたプログラムを「学修プログラム」と呼びます。

1. グローバル・ヒューマニティーズ（GH）プログラム

各学科における地域別の専門的な学びに加えて、総合的でグローバルな人文学的観点から物事を捉える眼を養うこと、またそのようにして捉えた物事を的確な日本語・外国語で表現することを目標とする3学科共通のグローバルプログラムです。

（1）グローバル・ヒューマニティーズ（GH）プログラム修了要件

以下の要件を満たし、必要な認定申請を行うと卒業時に修了証が授与されます。

- [1] 総合科目の「人文学入門」2単位を修得すること。
- [2] 下表に定めるGH講義科目または日本語ワークショップから6単位以上修得すること。
- [3] 下表に定めるGHゼミナールから4単位以上修得すること。
- [4] 4年次に「卒業論文ゼミナール1」（2単位）「卒業論文ゼミナール2」（2単位）において、以下の1・2いずれかの条件を満たした卒業論文を執筆し、「卒業論文」（4単位）と合わせ8単位を修得すること。
 1. 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語）で卒業論文を執筆する。
 2. 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語）文献を研究対象または参考図書とした卒業論文を日本語で執筆し、外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語）のレジュメを付す。

*上記1・2で使用する外国語は、各学科内で指導可能な外国語とする。

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分
総合科目	2	人文学入門	2	総合科目
GH 講義科目	6	世界の中の日本文学	2	共通専門科目
		日本の表象文化	2	共通専門科目
		デジタル・ヒューマニティーズ	2	共通専門科目
		世界の言語と社会	2	共通専門科目
		ジェンダー研究入門	2	共通専門科目
		身体と芸術	2	共通専門科目
		歴史・記憶・アーカイブ	2	共通専門科目
		人文批評入門	2	共通専門科目
日本語ワークショップ		日本語ワークショップ [文章表現論]	2	共通専門科目
		日本語ワークショップ [クリティカル・ディベート]	2	共通専門科目
		日本語ワークショップ [ロジカル・ライティング]	2	共通専門科目
		日本語ワークショップ [文芸批評]	2	共通専門科目
GH ゼミナール	4	GH ゼミナール1 [国際日本学]	2	共通専門科目
		GH ゼミナール2 [国際日本学]	2	共通専門科目
		GH ゼミナール1 [人文フィールドワーク]	2	共通専門科目
		GH ゼミナール2 [人文フィールドワーク]	2	共通専門科目
		GH ゼミナール1 [身体文化と実践]	2	共通専門科目
		GH ゼミナール2 [身体文化と実践]	2	共通専門科目

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分
GHゼミナール (続き)		GHゼミナール1 [アート&テキスト]	2	共通専門科目
		GHゼミナール2 [アート&テキスト]	2	共通専門科目
		GHゼミナール1 [現代社会と政治思想]	2	共通専門科目
		GHゼミナール2 [現代社会と政治思想]	2	共通専門科目

(2) 履修モデル

各自の興味・関心や学修計画によってさまざまな履修パターンがあります。以下はその例です。

例	1年次	2年次	3年次	4年次
1	人文学入門 日本語ワークショップ [文章表現論]	世界の中の日本文学 日本の表象文化	GHゼミナール1・2 [国際日本学]	卒業論文ゼミナール1・2 卒業論文
2	人文学入門 デジタル・ヒューマニティーズ	GHゼミナール2 [人文フィールドワーク] 身体と芸術	GHゼミナール1 [身体文化と実践] ジェンダー研究入門	卒業論文ゼミナール1・2 卒業論文
3	歴史・記憶・アーカイブ 人文批評入門	人文学入門 GHゼミナール1 [アート&テキスト]	日本語ワークショップ [文芸批評] GHゼミナール2 [現代社会と政治思想]	卒業論文ゼミナール1・2 卒業論文

(3) グローバル・ヒューマニティーズ (GH) プログラム修了証の申請手続きについて

プログラム修了の認定申請は卒業する年度に行わなければなりません。認定された場合には、卒業式当日に「グローバル・ヒューマニティーズ (GH) プログラム修了証」が授与されます。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。卒業後に授与を希望する場合は証明書(有料)が発行されます。

4年次	9月卒業予定者 7月	GHプログラム 認定申請書提出	申請書提出期限：授業終了日
	3月卒業予定者 12月		

2. 日本語教員プログラム

人文学部生のうち、以下の条件を満たした者については、申請提出期間に「日本語教員プログラム認定申請書」を出すことにより「日本語教員プログラム修了証」が発行されます。これは日本語教員として活動する能力を本学が認めるものではありませんが、日本語学校等の教員として就職する場合には(財)日本国際教育支援協会の「日本語教育能力検定試験」を受験することを推奨します。

(1) 日本語教員プログラム修了要件

- ① 区分「日本語の教授に関する科目」から8単位以上修得すること。
- ② 区分「日本語に関する科目」から、8単位以上修得すること。
- ③ 区分「日本・東アジア文化に関する科目」から10単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目	単位
日本語の教授に関する科目	8単位	日本語の教授法 1	2
		日本語の教授法 2	2
		日本語の教授法演習 1	2
		日本語の教授法演習 2	2
日本語に関する科目	8単位	日本の言語文化 1	2
		日本の言語文化 2	2
		日本語の表現 1	2
		日本語の表現 2	2
		日本の地域言語 1	2
		日本の地域言語 2	2
		日本の言語文化演習 1	2
		日本の言語文化演習 2	2
		日本語の表現演習 1	2
		日本語の表現演習 2	2
		日本の地域言語演習 1	2
		日本の地域言語演習 2	2

区分	必要単位数	科目	単位
日本・東アジア文化に関する科目	10 単位	上記以外の日本・東アジア文化学科専攻専門科目から選択	
合計	26 単位		

※ 上記科目は、日本・東アジア文化学科の専攻科目におかれているので、詳細については、履修要項・シラバスの該当ページを参照し、開講状況、履修条件等を確認してください。

(2) 「プログラム修了証」の授与

認定された場合は、卒業式当日に「日本語教員プログラム修了証」が授与されます。さらに、卒業後希望する者には、証明書（有料）が発行されます。

(3) 日本語教員プログラム修了証の申請手続きについて

4 年 次	9月卒業予定者 7月	日本語教員プログラム 認定申請書提出	申請期間：授業終了日
	3月卒業予定者 12月		

※ 日本語教員プログラム認定申請は、卒業する年度に提出しなければなりません。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、延期された卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。

※ やむを得ない理由で指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。

3. 自然・環境プログラム

武蔵大学のカリキュラム・ポリシーでは、「文理の壁を越えたりベラルアーツに基づく広い教養を身につける」ことを目標のひとつとして定めています。このプログラムは、今日人間生活のあらゆる分野の基礎となっている自然科学の研究・調査技法を学ぶとともに、地球環境問題の現状を理解し、未来を予測し、選択肢を考え、「文理の壁を越えた教養」を身につけることを目標としています。実験（ラボワーク科目）やフィールドワークを柱とする実践科目を多分野にわたって履修することがこのプログラムの最大の特徴です。

(1) 自然・環境プログラム修了要件

- ① 区分「実験・フィールドワーク科目」から4単位以上修得すること。
- ② 区分「自然・環境系講義科目」から8単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目	単位
実験・フィールドワーク科目	4 単位	武蔵・環境フィールドワーク	2
		サイエンスラボ集中講座 A	2
		サイエンスラボ集中講座 B	2
		サイエンスラボ講座（物理学）A	2
		サイエンスラボ講座（物理学）B	2
		サイエンスラボ講座（化学）A	2
		サイエンスラボ講座（化学）B	2
		サイエンスラボ講座（生物学）A	2
		サイエンスラボ講座（生物学）B	2
		サイエンスラボ講座（文理融合）	2
		自然・環境系講義科目	8 単位
環境論	2		
人間と環境	2		
数学の世界	2		
自然と生活のなかの物理	2		
化学と現代社会	2		
生物の進化	2		
生物学と現代社会	2		
科学と歴史	2		
先進の科学技術	2		
宇宙観の歴史	2		
地球と宇宙のフロンティア	2		
都市環境論	2		
芸術の科学	2		
生物多様性の科学	2		
生物学のフロンティア	2		
合計	12 単位		

※自然科学担当専任教員が担当する「卒業論文準備ゼミナール(人間・環境)」「卒業論文ゼミナール1(人間・環境)」「卒業論文ゼミナール2(人間・環境)」の単位を修得した場合、区分：自然・環境系講義科目8単位に算入することができます。

(2) 「プログラム修了証」の授与

認定された場合は、卒業式当日に「自然・環境プログラム修了証」が授与されます。さらに、卒業後希望する者には、証明書（有料）が発行されます。

(3) 自然・環境プログラム修了証の申請手続きについて

4 年 次	9月卒業予定者 7月	自然・環境プログラム 認定申請書提出	申請期間：授業終了日
	3月卒業予定者 12月		

※ 自然・環境プログラム認定申請は、卒業する年度に提出しなければなりません。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、卒業時にあらためて申請書を提出しなければなりません。

※ やむを得ない理由で指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。

3 留学・国際交流関連科目

1.EAS (East Asian Studies、東アジア研究)

(1) EASの開講目的

EAS (East Asian Studies) は、受入れ交換留学生を主な対象とした東アジアの国際関係、経済、文化、社会などを総合的に学修する、少人数制の英語による授業です。英語で専門科目を学習する能力のある武蔵大学生の履修を大いに歓迎します。

◇ EAS 科目一覧

科目名	単位	授業と単位
Topics in Global Business	4	週2回の授業で4単位
Globalization and Asia	4	週2回の授業で4単位
Japanese History	4	週2回の授業で4単位
Japanese Culture and Society	4	週2回の授業で4単位
Survey of Japanese Literature	4	週2回の授業で4単位
Comparative Perspectives on Asian Societies	4	週2回の授業で4単位
Comparative Cultures and Histories	4	週2回の授業で4単位
Japan and International Society	4	週2回の授業で4単位
Traditional Arts of Asia	2	週1回の授業で2単位
Modern Arts of Asia	2	週1回の授業で2単位
Asian Philosophies & Thought	4	週2回の授業で4単位
Survey in Comparative Literatures	2	週1回の授業で2単位
Seminar in Visual Cultures	2	週1回の授業で2単位
Survey of Global Media & Communication	2	週1回の授業で2単位
Topics in Gender & Sexuality	4	週2回の授業で4単位
Survey of Identities in Asia	4	週2回の授業で4単位
Seminar in Global Asia Issues	2	週1回の授業で2単位
Global Asia in the 21st Century	4	週2回の授業で4単位
Survey of Global Issues	2	週1回の授業で2単位
Environmental Issues in a Global Context	4	週2回の授業で4単位
Special Topics in Global Asia	2	週1回の授業で2単位
Politics in Asia	2	週1回の授業で2単位
Studies of Asian Economies	2	週1回の授業で2単位
Topics in Technology & Society	2	週1回の授業で2単位
Seminar in Entrepreneurship	2	週1回の授業で2単位
Fieldwork in Japan	2	週1回の授業で2単位
日本語（コンプリートビギナー）	1	週1回の授業で1単位
日本語（入門）	1	週1回の授業で1単位
日本語（初級）	1	週1回の授業で1単位
日本語（初中級）	1	週1回の授業で1単位
日本語（中級）	1	週1回の授業で1単位
日本語（上級）	1	週1回の授業で1単位

注1) 週2回の授業はセットで履修して成績評価がおこなわれ、週1回だけの授業出席では成績評価は与えられません。

注2)「日本語」は、外国語科目の扱いとなります。履修できる学生は、以下に該当する者のみとなります。

ただし、(2)～(5)に関しては当該授業の履修者数が20人を超える場合は選考があります。

また、EAS科目として「日本語」を履修した場合は自由科目となり、卒業要件には含まれません。

(1) 協定留学生、Independent Student

(2) 「外国高等学校卒業生および帰国生徒対象入学試験」によって入学した学生

(3) 「外国人学生特別入学試験」によって入学した学生

(4) 外国の大学から編入学・転入学・学士入学試験によって入学した学生

(5) 日本以外の学校教育制度による12年以上の課程を修了した者（ただし、12年以上の課程のうち、日本にある外国人学校における在籍期間が3年を超えるか、当該学校における日本の中学校・高等学校に相当する在籍期間が2年を超える者を除く）。または、これに準ずる者で次の①～②のいずれかに該当する者。

① 外国において、学校教育における12年以上の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に合格した者（国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア（フランス共和国）については日本国内で取得した場合を含む）。

② 通常の中高等教育の課程の修了までに12年を要しない国において、中高等教育の課程を修了した者で、文部科学省の指定する日本の大学に入学するための準備教育課程を修了した者。

(2) 授業科目の分類

EAS科目の科目分類は履修要項で確認してください。

(3) 武蔵大学在学生在がEAS科目を履修する場合の注意

① 履修登録前に履修の可否を決める選考は起こりませんが、評価基準が高いため以下の②、③を熟読の上、各人の判断と責任で履修登録をしてください。

② 授業を理解するためには英語圏の大学3年生と同等の英語力と専門知識を必要とします。

③ 留学生のペースで授業がおこなわれます。本学生在が受講する場合に、本学生在に合わせてペースやレベルを調整することはありません。

④ 科目等履修生（武蔵高校からの科目等履修生を除く）、練馬区特別履修生は、EAS科目を履修することができません。

⑤ 履修登録の際は、履修要項とシラバスを必ず確認してください。

2. 留学準備講座

(1) 留学準備講座の開講目的

留学準備講座は、留学希望の学生を支援するために設置された科目で、開講科目は以下の2種類に分かれます。

① 留学に必要な語学力を養成するための授業

② 入門的な講義

(2) 開講時期と単位

科目名の末尾に、春学期開講科目の場合は1、秋学期開講科目の場合は2が付されています。春学期開講科目と秋学期開講科目は、名称が同一の場合であっても互いに独立した科目であり、1・2のいずれかのみを履修しても、1・2を連続して履修してもかまいません。1単位科目（上記①）と2単位科目（上記②）があります。なお、イングリッシュ・サマースクール1・2についてはどちらも春学期開講科目で、単位認定されるのは1科目分のみです（◆）。

◇ 留学準備講座 科目一覧

科目名	単位	※使用言語	授業と単位
アメリカの社会と文化1	2	E	週1回の授業で2単位
アメリカの社会と文化2	2	E	週1回の授業で2単位
イギリスの社会と文化1	2	E	週1回の授業で2単位
イギリスの社会と文化2	2	E	週1回の授業で2単位
日本の社会と文化1	2	E	週1回の授業で2単位
日本の社会と文化2	2	E	週1回の授業で2単位
現代世界の諸問題1	2	E	週1回の授業で2単位
現代世界の諸問題2	2	E	週1回の授業で2単位

科目名	単位	※使用言語	授業と単位
ドイツ語圏の社会と文化 1	2	G	週1回の授業で2単位
ドイツ語圏の社会と文化 2	2	G	週1回の授業で2単位
フランスの歴史と社会 1	2	F	週1回の授業で2単位
フランスの歴史と社会 2	2	F	週1回の授業で2単位
中国の社会と文化 1	2	C	週1回の授業で2単位
中国の社会と文化 2	2	C	週1回の授業で2単位
韓国・朝鮮の社会と文化 1	2	K	週1回の授業で2単位
韓国・朝鮮の社会と文化 2	2	K	週1回の授業で2単位
インターカルチュラルスキル養成講座 1	2	E	週1回の授業で2単位
インターカルチュラルスキル養成講座 2	2	E	週1回の授業で2単位
グローバル・リーダーシップ養成講座 1	2	E	週1回の授業で2単位
グローバル・リーダーシップ養成講座 2	2	E	週1回の授業で2単位
留学入門セミナー	2	E	週1回の授業で2単位
グローバル・コミュニケーション 1	1	E	週1回の授業で1単位
グローバル・コミュニケーション 2	1	E	週1回の授業で1単位
留学のための英語講座 A1 (TOEFL)	1	E	週1回の授業で1単位
イングリッシュ・サマースクール 1◆	1	E	夏季集中授業で1単位
イングリッシュ・サマースクール 2◆	1	E	夏季集中授業で1単位
留学のための英語講座 A2 (TOEFL)	1	E	週1回の授業で1単位
留学のための英語講座 B1 (IELTS)	1	E	週1回の授業で1単位
留学のための英語講座 B2 (IELTS)	1	E	週1回の授業で1単位
ドイツ語論述実習 1	1	G	週1回の授業で1単位
ドイツ語論述実習 2	1	G	週1回の授業で1単位
フランス語論述実習 1	1	F	週1回の授業で1単位
フランス語論述実習 2	1	F	週1回の授業で1単位
中国語論述実習 1	1	C	週1回の授業で1単位
中国語論述実習 2	1	C	週1回の授業で1単位
韓国・朝鮮語論述実習 1	1	K	週1回の授業で1単位
韓国・朝鮮語論述実習 2	1	K	週1回の授業で1単位

※ E：英語 G：ドイツ語 F：フランス語 C：中国語 K：韓国・朝鮮語

◆イングリッシュ・サマースクール 1・2の詳細はグローバル教育センターにお問い合わせください。

(3) 授業科目の分類

留学準備講座の科目分類は履修要項で確認してください。

(4) 留学準備講座を履修する場合の注意

- ① 留学準備講座は、学生の積極的な授業参加を前提とし、明確な効果を上げるために少人数クラスで授業をおこないます。従って参加者が多数の場合は、初回の授業で授業担当者の判断で選抜テストなどを実施し人数制限がおこなわれる場合があります。
- ② 科目等履修生（武蔵高校からの科目等履修生を除く）、練馬区特別履修生は、留学準備講座を履修できません。
- ③ 履修登録の際は、履修要項とシラバスを必ず確認してください。

第2章 教職課程、学芸員課程

- 1 教職課程履修方法 < 2022年度以降入学生用 > 164～184頁
- 2 学芸員課程履修方法 186頁

教職課程

< 2022 年度以降 入学生用 > 164 ~ 184 頁

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

1. 教職課程とは

教職課程とは、大学卒業後、国公立・私立学校の教育職員（以下、教員）になろうとする者に必要な教育職員免許状（以下、教員免許状）の取得を希望する学生のために設けられている課程です。

教員免許状の取得には、卒業に必要な単位のほかに、教員免許取得に必要な単位や体験・実習などの修得が必要です。なお、本学では**中学校・高等学校の両方の教員免許状を取得することを原則**としています。

（1）単位の修得

①「基本的教職必修科目」

「教育職員免許法施行規則（以下、施行規則）」第66条の6に定める科目です。武蔵大学における授業科目及び単位数は、「8. 本学で履修する授業科目①」を参照してください。これらの授業科目は、「卒業要件」に沿って、「卒業に必要な単位」として算入することができます。

②「教科及び教職に関する科目」

「教育職員免許法（以下、免許法）」及び施行規則で定められている科目です。武蔵大学における授業科目及び単位数は、「8. 本学で履修する授業科目②」を参照してください。これらの授業科目は、以下の科目（※）を除き、「卒業に必要な単位」として算入することはできません。

※「教科に関する専門的事項」、「教職入門」、「教育基礎論」、「教育心理学1」、「教育方法論」は「卒業に必要な単位」として算入することができます。

（2）体験・実習などの実施

①介護等体験（3年次）

中学校免許状を取得する場合には**合計7日間の介護等体験**が必要です。

②フィールドワーク（3年次）

「教育実習1」（2単位）の授業の一環として、**中学校・高等学校で合計4時間のフィールドワーク**を行います。

③教育実習（4年次）

中学校・高等学校の教員免許状を取得する場合は3週間、高等学校のみの場合は2週間の教育実習を行います。

（3）ガイダンス等への出席・健康診断の受診

①必要なガイダンスへの出席

教職課程のガイダンスのほか、情報セキュリティテスト、図書館ガイダンスなども必ず受講してください。

②健康診断の受診（毎年度4月）

上記のことから、履修すべき単位数が多いうえ、ガイダンスや必要な手続きが多くあり、時間割上、1時限、5時限に開講されている授業科目も少なくないため、計画的に取り組んでいくことが大切です。諸連絡は**3S**で行いますので、定期的に確認する習慣をつけてください。

なお、教職課程履修に関する事務は、**教務課（教職課程）**で行います。また、教職課程には、**教職課程実習室、教職課程実習準備室（ともに3号館2階）**があり、履修学生は利用することができます。

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

2. 本学で取得できる教員免許状の種類と教科（2023年度以降入学生）

本学で取得できる教員免許状の種類と教科は以下のとおりです。

学科名	取得できる教員免許状の種類	教員免許状の教科
経済学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史、公民
経営学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	公民、商業
金融学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	公民、商業
英語英米文化学科	中学校教諭一種免許状	英語
	高等学校教諭一種免許状	英語
ヨーロッパ文化学科	中学校教諭一種免許状	社会、英語
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史、英語
日本・東アジア文化学科	中学校教諭一種免許状	国語、社会
	高等学校教諭一種免許状	国語、地理歴史、公民
社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史、公民
メディア社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史、公民

※複数教科の教員免許状取得希望者、他学科の教員免許状取得希望者は、教職課程事務室へ申し出てください。

3. 本学で取得できる教員免許状の種類と教科（2022年度入学生）

本学で取得できる教員免許状の種類と教科は以下のとおりです。

学科名	取得できる教員免許状の種類	教員免許状の教科
経済学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史、公民
経営学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	公民、商業
金融学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	公民、商業
英語英米文化学科	中学校教諭一種免許状	英語
	高等学校教諭一種免許状	英語
ヨーロッパ文化学科	中学校教諭一種免許状	社会、英語、ドイツ語、フランス語
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史、英語、ドイツ語、フランス語
日本・東アジア文化学科	中学校教諭一種免許状	国語、社会
	高等学校教諭一種免許状	国語、地理歴史、公民
社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史、公民
メディア社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史、公民

※複数教科の教員免許状取得希望者、他学科の教員免許状取得希望者及び「ドイツ語」もしくは「フランス語」教員免許状のみの取得希望者は、教職課程事務室へ申し出てください。

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

4. 教職課程履修にかかる諸費用

教職課程費

種別	学年	詳細	納付が必要な教職課程費	納付時期
仮登録	1年次 【注1】	教職課程科目を履修している1年生	下表「第1次」	4月
	2年次 【注2】	教職課程科目を履修している2年生 (第1次登録費を納付済みの者)	下表「第2次」	毎年前年度 ※3S掲示「教職 課程費の納付 方法」を参照 のこと。
新規に教職課程科目の履修を開始する2年生		下表「第1次」「第2次」		
本登録	3年次 【注3】	教職課程科目を履修している3年生 (第1、2次登録費を納付済みの者)	下表「第3次」	
		新規に教職課程科目の履修を開始する3年生	下表「第1次」「第2次」「第3次」	
	4年次	教職課程科目を履修している4年生 (第1～3次登録費を納付済みの者)	下表「第4次」	

注意事項

【注1】計画的な履修のため、1年次からの教職課程登録を推奨します。

【注2】3年次以降も教職課程を続けるためには、2年次の秋学期に面談を受ける必要があります。詳細はガイド
ンス等で連絡します。

【注3】3年次から新規に教職課程登録をした場合、在学4年間での免許状取得はできません。最低でもプラス1
年の履修が必要となります。該当者は教職課程事務室へ相談してください。

教職課程費	第1次	第2次	第3次	第4次
納付金額	20,000円	20,000円	40,000円	40,000円

その他諸費用

教員免許状申請にかかる費用（1免許状につき、3,300円）、体験や実習に要する交通費、各種検査費用及び証明
書発行手数料等は、各自の負担となります。

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

5. 教職課程の登録

(1) 教職課程登録および教職課程費

教職課程登録は年度ごとに行います。

1、2年生は仮登録となり、所定の教職課程費を納付します。必要な手続きについては、年度初めの教職課程ガイダンスや3S掲示の指示に従ってください。教職課程登録者は、「教職入門」、「教育基礎論」、「教育心理学1」の履修抽選で優遇されます。

また、教職課程の授業科目を3年次以降も続けて履修し、介護等体験（3年次）や教育実習（4年次）を行うためには、本登録を行う必要があります。希望者は2年次秋学期に面談を受け、教職課程費納付のほか必要な手続きを経て本登録を完了しなければなりません。

いずれの場合においても、いったん納付された教職課程費は、理由のいかんによらず返還できません。

(2) 仮登録から本登録への手続き

①「教職課程ガイダンス」に出席する（2年次4月）。

手続きの日程、課題、課題締切日等について指示します。

②課題を提出し、教職課程担当教員等の面談を受ける（2年次秋学期）。

③所定の期日までに教職課程登録願と必要書類の提出をする（2年次秋学期）。

登録にあたっては、原則として2年次春学期末のGPAが1.8以上であることが条件となります。

（登録後もGPA1.8以上を維持するよう努力しなければなりません。）

④「教職課程ガイダンス」に出席する。

教育実習に必要な手続き、準備等について指示します。

⑤教職課程費を納付する。【本登録】

2年次3月に本登録できない場合は、4年間での教員免許状取得は困難になります。

(3) 登録の取り消しと辞退

必要なガイダンスに出席していないなど、手続きをとらない場合は、登録が取り消されることがあります。また、登録後に進路変更等で教職課程の履修を辞退する場合は、速やかに教職課程事務室に申し出て、辞退届を提出してください。

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

6. 教員免許状を取得するための所要資格一覧

中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状を取得するためには、免許法で定められた基礎資格（卒業要件を満たす）が必要であり、合わせて以下に示す定められた科目の単位を修得しなければなりません。

本学での所要資格一覧 ※ドイツ語・フランス語は2022年度入学生が対象です。

教員免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数										介護等体験	修得すべき単位数の合計
		教科及び教職に関する科目					基本的必修科目 (免許法施行規則第66条の6に定める科目)						
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	日本国憲法	「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」又は「情報機器の操作」	外国語コミュニケーション	体育			
中学一種	学士の学位を有すること	国語	28	14	10	9	4	2	2	2	2	必修	
		社会	28										
		英語	28										
		ドイツ語	28										
		フランス語	28										
高校一種	学士の学位を有すること	国語	24	14	8	7	12	2	2	2	2	73	
		地理歴史	24										
		公民	24										
		商業	24										
		英語	24										
		ドイツ語	24										
フランス語	24												

—参考—

次の表は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要資格を示したものです。

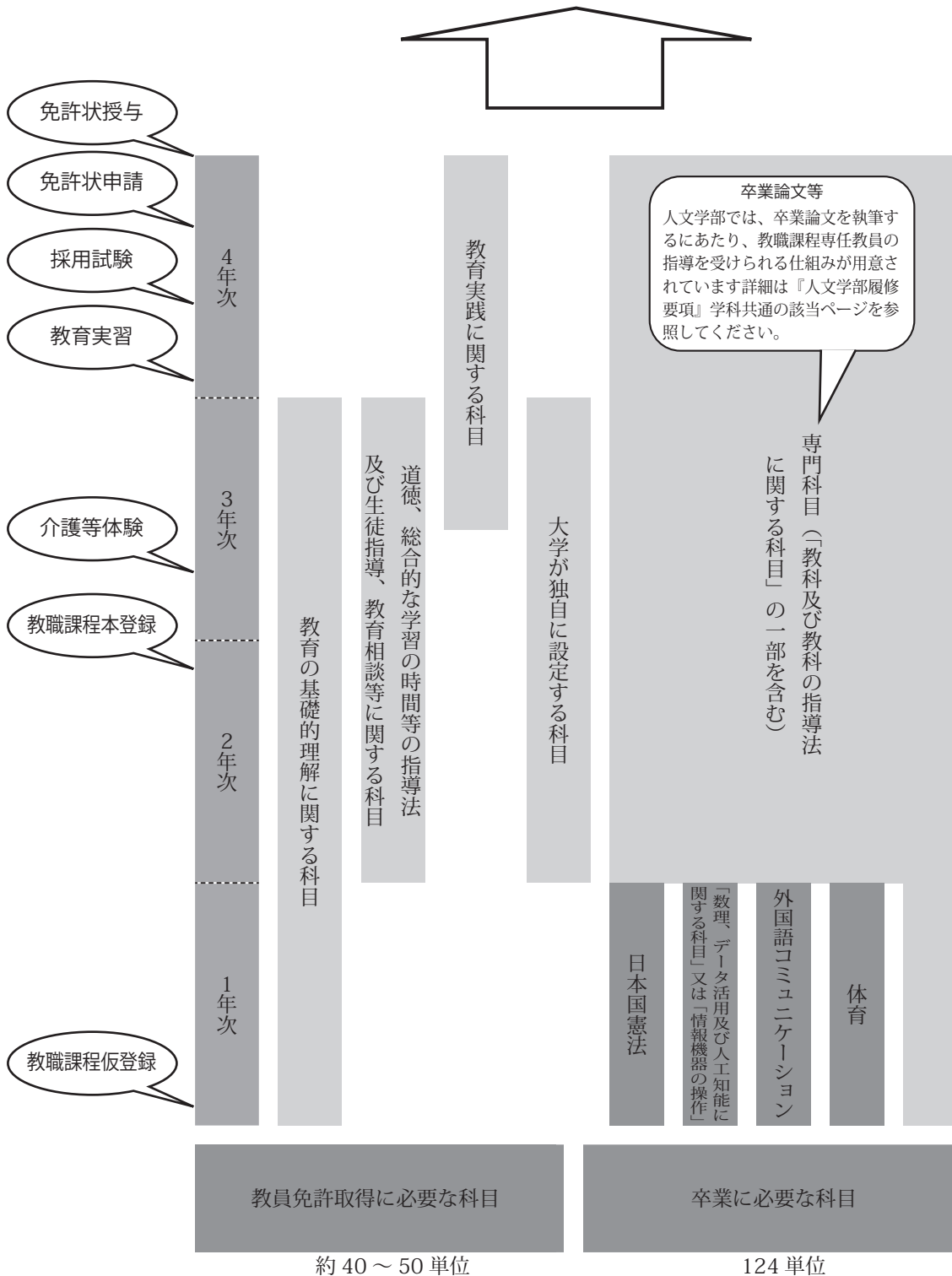
教員免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数										介護等体験	修得すべき単位数の合計
		教科及び教職に関する科目					基本的必修科目 (免許法施行規則第66条の6に定める科目)						
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	日本国憲法	「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」又は「情報機器の操作」	外国語コミュニケーション	体育			
中学一種	学士の学位を有すること	国語	28	10	10	7	4	2	2	2	2	必修	
		社会	28										
		英語	28										
		ドイツ語	28										
		フランス語	28										
高校一種	学士の学位を有すること	国語	24	10	8	5	12	2	2	2	2	67	
		地理歴史	24										
		公民	24										
		情報	24										
		商業	24										
		英語	24										
ドイツ語	24												
フランス語	24												

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

7. 武蔵大学教職課程のカリキュラムイメージ

教員免許取得に必要な科目の履修を通して、「教育理念」、「人間理解」、「教育方法」の学びを深めていきます。

リベラルアーツ&サイエンスの理念に基づく総合知・専門知・他者と協働する力・実践力の涵養



第2章 教職課程、学芸員課程
教職課程（2022年度以降入学生用）

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

8. 本学で履修する授業科目

①基本的教職必修科目（免許法施行規則第66条の6に定める科目）

次の表に沿って必要な授業科目を履修してください。1年次で履修可能な科目は、できるだけ1年次で履修してください。

法令科目 区分	最低修得 単位数	武蔵大学での授業科目及び単位数								
		経済学部			人文学部			社会学部		
		科目名	単位数	科目 区分	科目名	単位数	科目 区分	科目名	単位数	科目 区分
日本国憲法	2	日本国憲法	2	総合	日本国憲法	2	総合	日本国憲法	2	総合
		憲法1	2	専門	憲法1	2	全学対 象専門	憲法1	2	全学対 象専門
		憲法2	2		憲法2	2		憲法2	2	
「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」又は「情報機器の操作」	2	情報処理入門	2	専門	人文情報リテラシー	2	共通 専門	コンピューティング基礎	2	専門
								コンピューティング応用A	2	
								コンピューティング応用B	2	
								コンピューティング応用C	2	
								コンピューティング応用D	2	
外国語コミュニケーション	2	英語	1	外国語	英語	1	外国語	英語	1	外国語
		ドイツ語	1		ドイツ語	1				
		フランス語	1		フランス語	1				
		中国語	1		スペイン語	1				
		韓国・朝鮮語	1		イタリア語	1				
					中国語	1				
					韓国・朝鮮語	1				
体育	2	スポーツ実践1	1	総合	スポーツ実践1	1	総合	スポーツ実践1	1	総合
		スポーツ実践2	1		スポーツ実践2	1		スポーツ実践2	1	
		スポーツ実践3	1		スポーツ実践3	1		スポーツ実践3	1	
		スポーツ実践4	1		スポーツ実践4	1		スポーツ実践4	1	
		スポーツ実践5	1		スポーツ実践5	1		スポーツ実践5	1	
		スポーツ実践6	1		スポーツ実践6	1		スポーツ実践6	1	
		スポーツ実践7	1		スポーツ実践7	1		スポーツ実践7	1	
		スポーツ実践8	1		スポーツ実践8	1		スポーツ実践8	1	
		スポーツ実践9	1		スポーツ実践9	1		スポーツ実践9	1	
		スポーツ実践10	1		スポーツ実践10	1		スポーツ実践10	1	
		スポーツ実践11	1		スポーツ実践11	1		スポーツ実践11	1	
		スポーツ実践12	1		スポーツ実践12	1		スポーツ実践12	1	
		スポーツ実践13	1		スポーツ実践13	1		スポーツ実践13	1	
		スポーツ実践14	1		スポーツ実践14	1		スポーツ実践14	1	

※ 以上の授業科目は、「卒業要件」に沿って、「卒業に必要な単位」として算入することができます。

※ 外国語科目は、卒業要件を満たすように履修をすすめ単位を修得すれば、免許状取得要件の2単位も修得することになります。

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

②「教科及び教職に関する科目」

次の表に沿って必要な授業科目を履修してください。1年次で履修可能な科目は、できるだけ1年次で履修してください。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目・最低修得単位数				武蔵大学での授業科目・最低修得単位数					
法令科目区分	左項の各科目に含めることが必要な事項	中学 一種	高校 一種	本学での授業科目	単位数	中学 一種	高校 一種	配当 年次	備考
教科及び教科の指導法に関する科目 (a)	教科に関する専門的事項	28	24	付表A～X参照	中28 高24	◎	◎	—	配当は2年次以上
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）						2		
教育の基礎的理解に関する科目 (b)	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育基礎論	2	◎	◎	1	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			2	○	○	3		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			2	◎	◎	1		
	教育制度論			2	◎	◎	2		
	教育行政学			2	○	○	2		
	教育経営学			2	○	○	2		
	教育心理学1			2	◎	◎	2		
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	10	10	教育心理学2（特別支援教育を含む）	2	◎	◎	2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			2	◎	◎	2			
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			2	◎	◎	2			
特別支援教育概論			2	◎	◎	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 (c)	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と実践	2	◎	◎	2	中学のみ
	総合的な学習の時間の指導法			2	◎	◎	3		
	特別活動の指導法			2	◎	◎	3		
	「教育の方法及び技術」及び「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」			2	◎	◎	3	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む	
	生徒指導の理論及び方法			2	◎	◎	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			2	◎	◎	3		
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	5	3	教育実習1	2	◎	◎	3		
教育実践に関する科目 (d)			教育実習	5	◎	◎	4	中学もしくは中・高両方の場合	
			教育実習3	3	◎	◎	4	高校のみの場合	
教職実践演習	2	◎	◎	4					
大学が独自に設定する科目 (e)		4	12	「教育史」、「教育行政学」、「教育経営学」のうちから1科目	2	◎	◎	—	高校の場合、「道徳教育の理論と実践」も可
				教育学特論A	2	○	○	2	
				教育学特論B	2	○	○	2	
				中等社会科研究1	2	○	○	3	中学社会、高校地歴、高校公民のみ
				中等社会科研究2	2	○	○	3	中学社会、高校地歴、高校公民のみ
				「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、必要最低修得単位（中学28単位、高校24単位）を超える授業科目	左記単位数	○	○	—	
合計	59	59	最低修得単位数	65	65				

※各科目区分の注意事項は次頁を参照してください。

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

「教科及び教職に関する科目」履修上の諸注意

「教科及び教職に関する科目」全般

- ①「教科及び教職に関する科目」の授業科目は、「教科に関する専門的事項」及び「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の一部を除き、履修登録単位制限の対象外です。
また、以下の科目は全学対象専門科目／共通専門科目でもあります。履修登録単位制限の対象となりますので注意してください。「教職入門」「教育基礎論」「教育心理学1」「教育方法論」の4科目
- ②配当年次が指定されているものは、それ以前の年次では履修できません。
- ③各年度の時間割編成上、配当年次で履修できない場合もあります。必修科目がとれない場合は、ガイダンス・3Sでの指示に従うほか、教職課程事務室・所属学科教務委員に相談してください。選択科目の場合は、翌年度以降に履修することとなります。
- ④同一授業を春学期・秋学期複数クラスで開講している場合、同じ年度で履修できるのはそのうち1授業のみです。

(a) 「教科及び教科の指導法に関する科目」

「教科及び教科の指導法に関する科目」は、取得する教員免許状の教科に関する専門的知識及び指導法を深く身につけるために設けられたものです。各学科で取得できる教員免許状の授業科目一覧は、「1.3. 「教科及び教科の指導法に関する科目」の授業科目一覧」の付表を参照してください。入学年度により参照する付表は異なりますので注意してください。

※ドイツ語・フランス語は2022年度入学生が対象です。

学科	免許教科	種別	参照付表	学科	免許教科	種別	参照付表	学科	免許教科	種別	参照付表
経済	社会	中学	付表A	英語英米文化	英語	中学・高校	付表H	社会	社会	中学	付表V
	地理歴史	高校	付表B		社会	中学	付表I		地理歴史	高校	付表W
	公民	高校	付表C		地理歴史	高校	付表J		公民	高校	付表X
経営	社会	中学	付表A	ヨーロッパ文化	英語	中学・高校	付表K	メディア 社会	社会	中学	付表V
	公民	高校	付表C		ドイツ語	中学・高校	付表L		地理歴史	高校	付表W
	商業	高校	付表E		フランス語	中学・高校	付表M		公民	高校	付表X
金融	社会	中学	付表A	日本・東アジア文化	国語	中学・高校	付表N				
	公民	高校	付表C		社会	中学	付表O				
	商業	高校	付表E		地理歴史	高校	付表P				
					公民	高校	付表Q				

(b) 「教育の基礎的理解に関する科目」

- ①教員免許状取得に必要な科目の履修は1年次から始まります。希望者は、計画的に履修をすすめてください。
- ②「教職入門」は、1年次春学期必修科目です。1年次Spring 2で海外英語研修を履修する学生は、2年次春学期に必ず「教職入門」を履修してください。

(c) 「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」

「道徳教育の理論と実践」は、中学校免許状における必修科目です。高等学校免許状を取得する場合、「大学が独自に設定する科目」として数えることができます。

(d) 「教育実践に関する科目」

- ①「教育実習2」、「教育実習3」の単位計算については、学則第17条第3号を適用します。
- ②中学校免許状を取得する場合は、「教育実習2」(5単位)を履修します。本科目は高等学校免許状にも適用されます。従って、中学校免許状と高等学校免許状を合わせて取得する場合は「教育実習2」(5単位)を履修することになります。高等学校免許状のみを取得する場合は、「教育実習3」(3単位)を履修します。本科目は、中学校免許状には適用されません。

(e) 「大学が独自に設定する科目」

武蔵大学で独自に設定している科目です。指定された授業科目の中から、中学校4単位以上、高等学校12単位以上を修得してください。

- ①選択必修科目「教育史」、「教育行政学」、「教育経営学」のうちから1科目以上を修得してください。
- ②「中等社会科研究1」「中等社会科研究2」は中学校一種免許状(社会)、高等学校一種免許状(地理歴史)及び高等学校一種免許状(公民)にのみ適用される授業科目ですので注意してください。
- ③「大学が独自に設定する科目」に含まれない授業科目
他教科の教育方法論等、特定の教員免許状取得に必要な「授業科目」は、「大学が独自に設定する科目」として数えることはできません。

例1) 英語の教員免許状を取得する場合：他教科の教育方法論(「ドイツ語教育方法論1」など)

例2) 高校国語の教員免許状を取得する場合：「書道(書写を中心とする。)」の科目区分に配置されている授業科目(「書道演習1」、「書道演習2」)

- ④同一の免許課程において、同一の授業科目を複数回カウントすることはできません。
- ⑤中学校免許状と高等学校免許状でカウントする授業科目が異なる場合があるので、それぞれの視点で条件を満たすかどうか確認してください。

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

9. 介護等体験について

介護等体験特例法により、中学校免許状の取得を希望するものは、7日間の介護等体験を行うことが義務付けられています。介護等体験ガイダンスに出席し、登録をした上で、3年次に、特別支援学校へ2日間、社会福祉施設へ5日間の体験を行います。体験先や日程は大学を通して決定されます。

介護等体験にあたってはその手続きや条件があります。詳しい手続きについては、介護等体験ガイダンスで説明します。必ず関連する全てのガイダンスに出席してください。なお、中学校教員免許状の申請には体験終了後に体験先から発行される「介護等体験証明書」が必要です。

※「介護等体験特例法」とは、小中学校教員免許状取得希望者に義務付けられており、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」を言います。

介護等体験についての参加条件

- ① 教職課程登録者であること。
- ② 介護等体験の登録者であること。介護等体験の登録は3年次の4月におこなう教職課程ガイダンスにて配付する「介護等体験希望学生個人票」を提出することで完了します。
- ③ 介護等体験のための保険加入を行います（登録後、大学一括で加入します）。
- ④ 「教育心理学2（特別支援教育を含む）」、及び「特別支援教育概論」は原則として修得済みでなければなりません。

10. 教育実習について

教育実習を行うことは、教員免許状取得に必要な要件であり、それまでに学んできた知識や理論をもとに学校教育の現場で、教員としての基本的で実践的な知識・技能を修得することを目指しています。本学では、中学校免許状のみ、もしくは中学校・高等学校両方の教員免許状を取得する場合は3週間、高等学校のみの教員免許状を取得する場合は2週間、教育実習校において行います。

教育実習にあたってはその手続きや条件があります。詳しい手続きや書類の配付については、教職課程登録後のガイダンス、教育実習ガイダンスにて説明します。関連する全てのガイダンスに必ず出席してください。

教育実習を行うにあたっての条件

- ① 卒業見込みの条件と免許状取得見込みの条件を両方満たすこと。
- ② 「教育実習1」を修得済みであること。
- ③ 4年次生以上で、「教育実習2」もしくは「教育実習3」の履修者であること。
- ④ 「各教科の教育方法論1・2」を原則として修得済みであること。
- ⑤ 教育実習をおこなう実習予定校より、あらかじめ教育実習についての内諾を得ていること。
- ⑥ 3年次1月末及び4年次4月当初の教職課程ガイダンスに出席し、さらに「教育実習2」もしくは「教育実習3」への出席をすること。

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

11. 教員免許状の申請手続きについて

免許法で定める教員免許状取得のための所要資格を満たした者は、都道府県教育委員会に申請することにより教員免許状を取得することができます。申請の方法には「一括申請」と「個人申請」の2つがありますが、卒業時に教員免許状を取得する場合には大学における「一括申請」にて申請の手続きをします。「一括申請」の手続き方法は、4年次の一括申請ガイダンスで詳しく説明します。希望する学生は必ず出席してください。

12. 編入学生・他大学在籍後入学した者・留学予定者の教職課程の履修について

- ① 編入学生および本学入学前に他大学で教員免許状取得に関連する単位を修得した学生は、教職課程事務室に申し出て今後の手続きなどについての指示を受けてください。単位の読み替えにあたっては一部制限がある場合があります。
- ② 留学を予定している学生は、必ず教職課程事務室に申し出て、今後の手続きなどについての相談をしてください。4年間では必要な単位が修得できない可能性があります。

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

13. 「教科及び教科の指導法に関する科目」の授業科目一覧

付表H 英語英米文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（英語）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた中学校 28 単位以上、高等学校 24 単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
英語学	4 以上	◎英語学概論 1	2 単位	英語学ゼミナール 1	2		
		◎英語学概論 2	2	英語学ゼミナール 2	2		
英語文学	4 以上	○英語圏文学入門 1	2	アメリカの文学 1	2	イギリスの文学 1	2
		○英語圏文学入門 2	2	アメリカの文学 2	2	イギリスの文学 2	2
		○Global Literatures in English 1	2	アメリカ文学ゼミナール 1	2	イギリス文学ゼミナール 1	2
		○Global Literatures in English 2	2	アメリカ文学ゼミナール 2	2	イギリス文学ゼミナール 2	2
英語コミュニケーション	4 以上	○英作文中級 1	1	○ Listening & Note-taking 1	1	通訳翻訳実習（英語） 1	1
		○英作文中級 2	1	○ Listening & Note-taking 2	1	通訳翻訳実習（英語） 2	1
		○英会話中級 1	1	○ Discussion and Presentation 1	1		
		○英会話中級 2	1	○ Discussion and Presentation 2	1		
異文化理解	4 以上	◎異文化コミュニケーション論 1	2	○ Global Civics 1	2	芸術文化ゼミナール 1	2
		◎異文化コミュニケーション論 2	2	○ Global Civics 2	2	芸術文化ゼミナール 2	2
		○アメリカ文化論 1	2	アメリカ史ゼミナール 1	2		
		○アメリカ文化論 2	2	アメリカ史ゼミナール 2	2		
		○イギリス文化論 1	2	イギリス史ゼミナール 1	2		
		○イギリス文化論 2	2	イギリス史ゼミナール 2	2		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	(中学) 8 以上	◎英語教育方法論 1	2	◎英語教育方法論 3	2		
		◎英語教育方法論 2	2	◎英語教育方法論 4	2		
	(高校) 4 以上	◎英語教育方法論 1	2	英語教育方法論 3	2		
		◎英語教育方法論 2	2	英語教育方法論 4	2		
合計		中学 28 以上、高校 24 以上					

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも 3 年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 英語表記の科目は、高い英語運用能力が必要となりますので、履修要項やシラバスを熟読したうえで履修してください。

※ 英語教育方法論の配当年次は、「1」と「2」は 2 年次、「3」と「4」は 3 年次となります。

※ 英語英米文化学科の学生が「英語教育方法論 1」及び「英語教育方法論 2」を履修する場合、学科の専攻専門科目に指定されている関係上、これらは「履修登録単位制限」内の単位にカウントされます。

※ 英語教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として英語教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

※ 英語教育方法論の「3」と「4」の履修について：

「1」、「2」の履修方法と同様です。ただし、「1」、「2」の単位を修得していなくても「3」は履修可能です。

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

付表1 ヨーロッパ文化学科における中学校教諭一種免許状（社会）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた28単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
日本史・外国史	4以上	◎日本史概説	2単位	ヨーロッパ交流史	2	ドイツ近現代史	2
		◎外国史概説	2	フランス史	2	国際関係史	2
		ギリシア・ローマ史	2	ヨーロッパ対外交流史	2		
		ヨーロッパ形成史	2	ドイツ中世史	2		
地理学（地誌を含む。）	6以上	◎人文地理学概説	2	ヨーロッパ都市論	2	北欧文化論	2
		◎自然地理学概説	2	オーストリア・東欧文化論	2	イタリア文化論	2
		◎地誌概説	2	地中海文明論	2		
「法学、政治学」	2以上	○法学概説（国際法を含む）	2	国際法1	2	メディア倫理と法制	2
		○政治学概説（国際政治を含む）	2	国際法2	2	グローバリゼーションの社会学	2
		不平等の社会学	2	憲法1	2	社会運動論	2
		政治社会学	2	憲法2	2	地域とコミュニティの社会学	2
「社会学、経済学」	2以上	○社会学概説	2	ヨーロッパ環境論	2	現代ヨーロッパ社会論	2
		○経済学概説（国際経済を含む）	2	テクノロジー文化論	2	越境文化論	2
「哲学、倫理学、宗教学」	2以上	○哲学概説	2	比較思想（日欧）	2	フランス思想史1	2
		○倫理学概説	2	ヨーロッパの哲学	2	フランス思想史2	2
		○宗教学概説	2	キリスト教文化論	2	ドイツ語圏の思想と文化	2
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	8以上	◎社会科・地歴科教育方法論1	2				
		◎社会科・地歴科教育方法論2	2				
		◎社会科・公民科教育方法論1	2				
		◎社会科・公民科教育方法論2	2				
合計		28以上					

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 各教科教育方法論の配当年次は、「1」と「2」とも2年次となります。

※ 各教科教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として各教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

付表J ヨーロッパ文化学科における高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎を含めた24単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
日本史	2以上	◎日本史概説	2単位	日本建築史1	2	日本服飾文化史2	2
		日本経済史1	2	日本建築史2	2	日本民俗史1	2
		日本経済史2	2	日本美術工芸史1	2	日本民俗史2	2
		日本芸能史1	2	日本美術工芸史2	2		
		日本芸能史2	2	日本服飾文化史1	2		
外国史	2以上	◎外国史概説	2	フランス史	2	国際関係史	2
		ギリシア・ローマ史	2	ヨーロッパ対外交流史	2		
		ヨーロッパ形成史	2	ドイツ中世史	2		
		ヨーロッパ交流史	2	ドイツ近現代史	2		
人文地理学・自然地理学	4以上	◎人文地理学概説	2	ヨーロッパ都市論	2	北欧文化論	2
		◎自然地理学概説	2	オーストリア・東欧文化論	2	イタリア文化論	2
地誌	2以上	◎地誌概説	2	地中海文明論	2		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	4以上	◎社会科・地歴科教育方法論1	2				
		◎社会科・地歴科教育方法論2	2				
合計			24以上				

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 社会科・地歴科教育方法論の配当年次は、「1」と「2」とも2年次となります。

※ 社会科・地歴科教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として社会科・地歴科教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

付表K ヨーロッパ文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（英語）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた**中学校 28 単位以上、高等学校 24 単位以上**を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
英語学	2以上	◎英語学概論1 英語学概論2	2単位 2	英語教育学1 英語教育学2	2 2		
英語文学	2以上	○英語圏文学入門1 ○Global Literatures in English 1 ○Global Literatures in English 2	2 2 2	英語圏文学入門2 アメリカの文学1 アメリカの文学2	2 2 2	イギリスの文学1 イギリスの文学2	2 2
英語コミュニケーション	2以上	◎英会話中級1 ◎英作文中級1	1 1	英会話中級2 英作文中級2	1 1		
異文化理解	2以上	◎ヨーロッパ統合論 ヨーロッパ小説論 ヨーロッパの文学	2 2 2	比較文化史 ヨーロッパの神話と伝説 ヨーロッパの芸術1 ヨーロッパの芸術2	2 2 2 2	比較芸術論1 比較芸術論2 比較文学論（日欧）	2 2 2
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	（中学） 8以上	◎英語教育方法論1 ◎英語教育方法論2	2 2	◎英語教育方法論3 ◎英語教育方法論4	2 2		
	（高校） 4以上	◎英語教育方法論1 ◎英語教育方法論2	2 2	英語教育方法論3 英語教育方法論4	2 2		
合計		中学 28 以上、高校 24 以上					

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 英語表記の科目は、主として GSC 英語プログラムの所属学生を対象とした科目です。高い英語運用能力が必要となりますので、履修要項やシラバスを熟読したうえで履修してください。

※ 英語教育方法論の配当年次は、「1」と「2」は2年次、「3」と「4」は3年次となります。

※ 英語教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として英語教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

※ 英語教育方法論の「3」と「4」の履修について：

「1」、「2」の履修方法と同様です。ただし、「1」、「2」の単位を修得していなくても「3」は履修可能です。

教職課程履修方法（2022年度入学生用）

※ 2023年度入学生は「ドイツ語」教員免許状の取得はできません。

付表L ヨーロッパ文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（ドイツ語）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた**中学校 28 単位以上、高等学校 24 単位以上**を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
ドイツ語学	2以上	◎ドイツ語の世界1	2単位	ドイツ語の世界2	2		
ドイツ文学	2以上	◎ドイツ文学史1	2	上級ドイツ語講読1	1	ドイツ語論述実習1	1
		ドイツ文学史2	2	上級ドイツ語講読2	1	ドイツ語論述実習2	1
ドイツ語コミュニケーション	2以上	◎初級ドイツ語作文1	1	初級ドイツ語作文2	1	ドイツ語コミュニケーション総合1	1
		◎中級ドイツ語会話1	1	中級ドイツ語会話2	1	ドイツ語コミュニケーション総合2	1
異文化理解	2以上	○ドイツ語圏の芸術	2	スイス文化論	2	ヨーロッパの舞台芸術	2
		○ドイツ語圏の社会と文化1	2	ヨーロッパの民俗文化	2	ヨーロッパの音楽文化	2
		○ドイツ語圏の社会と文化2	2				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	(中学) 8以上	◎ドイツ語教育方法論1	2	◎ドイツ語教育方法論3	2		
		◎ドイツ語教育方法論2	2	◎ドイツ語教育方法論4	2		
	(高校) 4以上	◎ドイツ語教育方法論1	2	ドイツ語教育方法論3	2		
		◎ドイツ語教育方法論2	2	ドイツ語教育方法論4	2		
合計		中学 28 以上、高校 24 以上					

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 「ドイツ語教育方法論1・2」と「ドイツ語教育方法論3・4」は隔年開講です。履修に当たっては十分注意してください。

※ ドイツ語教育方法論の配当年次は、「1」と「2」は2年次、「3」と「4」は3年次となります。ただしヨーロッパ文化学科の学生に限り、「3」と「4」も2年次から履修可能です。

※ ヨーロッパ文化学科の学生が「ドイツ語教育方法論1」、「ドイツ語教育方法論2」、「ドイツ語教育方法論3」及び「ドイツ語教育方法論4」を履修する場合、学科の専攻専門科目に指定されている関係上、これらは「履修登録単位制限」内の単位にカウントされます。

※ ドイツ語教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則としてドイツ語教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

※ ドイツ語教育方法論の「3」と「4」の履修について：

「1」、「2」の履修方法と同様です。ただし、「1」、「2」の単位を修得していなくても「3」は履修可能です。

教職課程履修方法（2022年度入学生用）

※ 2023年度入学生は「フランス語」教員免許状の取得はできません。

付表M ヨーロッパ文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（フランス語）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた**中学校 28 単位以上、高等学校 24 単位以上**を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
フランス語学	2以上	◎フランス語の世界1 フランス語の世界2	2単位 2	中級フランス語作文1 中級フランス語作文2	1 1		
フランス文学	2以上	◎フランス文学史1 フランス文学史2	2 2	上級フランス語講読1 上級フランス語講読2	1 1		
フランス語コミュニケーション	2以上	◎初級フランス語作文1 ◎中級フランス語会話1	1 1	初級フランス語作文2 中級フランス語会話2	1 1	フランス語コミュニケーション総合1 フランス語コミュニケーション総合2	1 1
異文化理解	2以上	○フランスの歴史と社会1 ○フランスの歴史と社会2 ○フランス語圏の文化と社会 ○フランスの芸術	2 2 2 2	ヨーロッパ思想史 ヨーロッパの映画	2 2	観光文化論（ヨーロッパ）	2
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	（中学） 8以上	◎フランス語教育方法論1 ◎フランス語教育方法論2	2 2	◎フランス語教育方法論3 ◎フランス語教育方法論4	2 2		
	（高校） 4以上	◎フランス語教育方法論1 ◎フランス語教育方法論2	2 2	フランス語教育方法論3 フランス語教育方法論4	2 2		
合計		中学 28 以上、高校 24 以上					

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 「フランス語教育方法論1・2」と「フランス語教育方法論3・4」は隔年開講です。履修に当たっては十分注意してください。

※ フランス語教育方法論の配当年次は、「1」と「2」は2年次、「3」と「4」は3年次となります。ただしヨーロッパ文化学科の学生に限り、「3」と「4」も2年次から履修可能です。

※ ヨーロッパ文化学科の学生が「フランス語教育方法論1」、「フランス語教育方法論2」、「フランス語教育方法論3」及び「フランス語教育方法論4」を履修する場合、学科の専攻専門科目に指定されている関係上、これらは「履修登録単位制限」内の単位にカウントされます。

※ フランス語教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則としてフランス語教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

※ フランス語教育方法論の「3」と「4」の履修について：

「1」、「2」の履修方法と同様です。ただし、「1」、「2」の単位を修得していなくても「3」は履修可能です。

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

付表N 日本・東アジア文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（国語）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた中学校28単位以上、高等学校24単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	4以上	◎日本の言語文化1	2単位	日本の地域言語1	2	日本語の表現演習1	2
		◎日本の言語文化2	2	日本の地域言語2	2	日本語の表現演習2	2
		日本語の表現1	2	日本の言語文化演習1	2	日本の地域言語演習1	2
		日本語の表現2	2	日本の言語文化演習2	2	日本の地域言語演習2	2
国文学（国文学史を含む。）	8以上	◎日本古典文学史1	2	日本古典文学演習（中世）1	2	日本近代文学1	2
		◎日本古典文学史2	2	日本古典文学演習（中世）2	2	日本近代文学2	2
		◎日本近現代文学史1	2	日本古典文学演習（近世）1	2	くずし字入門演習1	2
		◎日本近現代文学史2	2	日本古典文学演習（近世）2	2	くずし字入門演習2	2
		日本現代文学1	2	日本近代文学演習1	2		
		日本現代文学2	2	日本近代文学演習2	2		
		日本古典文学演習（古代）1	2	日本現代文学演習1	2		
		日本古典文学演習（古代）2	2	日本現代文学演習2	2		
漢文学	4以上	◎中国文学史1	2	中国文学演習1	2	東アジアの漢字文化演習1	2
		◎中国文学史2	2	中国文学演習2	2	東アジアの漢字文化演習2	2
書道（書写を中心とする。）	(中学) 2以上	○書道演習1	2				
		○書道演習2	2				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	(中学) 8以上	◎国語教育方法論1	2	◎国語教育方法論3	2		
		◎国語教育方法論2	2	◎国語教育方法論4	2		
	(高校) 4以上	◎国語教育方法論1	2	国語教育方法論3	2		
		◎国語教育方法論2	2	国語教育方法論4	2		
合計		中学28以上、高校24以上					

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 「書道（書写を中心とする）」は中学校免許状取得の場合にのみ必要な科目です（1科目選択必修）。高等学校免許状取得の場合「書道（書写を中心とする）」を「教科及び教科の指導法に関する科目」「大学が独自に設定する科目」の単位としてカウントすることはできません。

※ 国語教育方法論の配当年次は、「1」と「2」は2年次、「3」と「4」は3年次となります。

※ 国語教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として国語教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

※ 国語教育方法論の「3」と「4」の履修について：

「1」、「2」の履修方法と同様です。ただし、「1」、「2」の単位を修得していなくても「3」は履修可能です。

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

付表O 日本・東アジア文化学科における中学校教諭一種免許状（社会）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた28単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
日本史・外国史	4以上	◎日本史概説	2単位	日本近現代史1	2	日本美術工芸史1	2
		◎外国史概説	2	日本近現代史2	2	日本美術工芸史2	2
		日本古代史1	2	日本芸能史1	2	日本服飾文化史1	2
		日本古代史2	2	日本芸能史2	2	日本服飾文化史2	2
		日本中世史1	2	日本考古学1	2	日本生活文化史1	2
		日本中世史2	2	日本考古学2	2	日本生活文化史2	2
		日本中世史演習1	2	日本民俗史1	2	日中交流史1	2
		日本中世史演習2	2	日本民俗史2	2	日中交流史2	2
		日本近世史1	2	日本建築史1	2	中国史1	2
		日本近世史2	2	日本建築史2	2	中国史2	2
地理学（地誌を含む。）	6以上	◎人文地理学概説	2	◎地誌概説	2		
		◎自然地理学概説	2				
「法学、政治学」	2以上	○法学概説（国際法を含む）	2	国際法1	2	民法2	2
		○政治学概説（国際政治を含む）	2	国際法2	2	行政法1	2
				民法1	2	行政法2	2
「社会学、経済学」	2以上	○社会学概説	2	琉球文化論1	2	琉球文化演習1	2
		○経済学概説（国際経済を含む）	2	琉球文化論2	2	琉球文化演習2	2
「哲学、倫理学、宗教学」	2以上	○哲学概説	2	比較思想（東アジア）1	2	中国思想史演習1	2
		○倫理学概説	2	比較思想（東アジア）2	2	中国思想史演習2	2
		○宗教学概説	2	民俗宗教論1	2	日本思想史1	2
		東アジアの宗教1	2	民俗宗教論2	2	日本思想史2	2
		東アジアの宗教2	2	民俗宗教演習1	2	日本思想史演習1	2
		日本の仏教1	2	民俗宗教演習2	2	日本思想史演習2	2
		日本の仏教2	2	中国思想史1	2	日本の思想1	2
		中国思想史2	2	日本の思想2	2		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	8以上	◎社会科・地歴科教育方法論1	2	◎社会科・公民科教育方法論1	2		
		◎社会科・地歴科教育方法論2	2	◎社会科・公民科教育方法論2	2		
合計		28以上					

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 各教科教育方法論の配当年次は、「1」と「2」とも2年次となります。

※ 各教科教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として各教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

付表P 日本・東アジア文化学科における高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎を含めた24単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
日本史	2以上	◎日本史概説	2単位	日本近現代史1	2	日本建築史1	2
		日本古代史1	2	日本近現代史2	2	日本建築史2	2
		日本古代史2	2	日本芸能史1	2	日本美術工芸史1	2
		日本中世史1	2	日本芸能史2	2	日本美術工芸史2	2
		日本中世史2	2	日本考古学1	2	日本服飾文化史1	2
		日本中世史演習1	2	日本考古学2	2	日本服飾文化史2	2
		日本中世史演習2	2	日本民俗史1	2	日本生活文化史1	2
		日本近世史1	2	日本民俗史2	2	日本生活文化史2	2
		日本近世史2	2				
外国史	2以上	◎外国史概説	2	中国史1	2	イスラーム文化論1	2
		日中交流史1	2	中国史2	2	イスラーム文化論2	2
		日中交流史2	2	朝鮮史1	2	日朝交流史1	2
				朝鮮史2	2	日朝交流史2	2
人文地理学・自然地理学	4以上	◎人文地理学概説	2	東アジアの地理と環境1	2	比較生活文化演習1	2
		◎自然地理学概説	2	東アジアの地理と環境2	2	比較生活文化演習2	2
地誌	2以上	◎地誌概説	2				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	4以上	◎社会科・地歴科教育方法論1	2				
		◎社会科・地歴科教育方法論2	2				
合計			24以上				

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 社会科・地歴科教育方法論の配当年次は、「1」と「2」とも2年次となります。

※ 社会科・地歴科教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として社会科・地歴科教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

教職課程履修方法（2022年度以降入学生用）

付表Q 日本・東アジア文化学科における高等学校教諭一種免許状（公民）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた24単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	2以上	○法律学概説（国際法を含む）	2単位	国際法1	2	行政法1	2
		○政治学概説（国際政治を含む）	2	国際法2	2	行政法2	2
				民法1	2		
				民法2	2		
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	2以上	○社会学概説	2	琉球文化論1	2	琉球文化演習1	2
		○経済学概説（国際経済を含む）	2	琉球文化論2	2	琉球文化演習2	2
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	2以上	○哲学概説	2	比較思想（東アジア）1	2	中国思想史演習1	2
		○倫理学概説	2	比較思想（東アジア）2	2	中国思想史演習2	2
		○宗教学概説	2	民俗宗教論1	2	日本思想史1	2
		○心理学概説	2	民俗宗教論2	2	日本思想史2	2
		東アジアの宗教1	2	民俗宗教演習1	2	日本思想史演習1	2
		東アジアの宗教2	2	民俗宗教演習2	2	日本思想史演習2	2
		日本の仏教1	2	中国思想史1	2	日本の思想1	2
日本の仏教2	2	中国思想史2	2	日本の思想2	2		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	4以上	◎社会科・公民科教育方法論1	2				
		◎社会科・公民科教育方法論2	2				
合計			24以上				

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 社会科・公民科教育方法論の配当年次は、「1」と「2」とも2年次となります。

※ 社会科・公民科教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として社会科・公民科教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

学芸員課程

学芸員課程履修方法

1. 博物館と学芸員

博物館とは、博物館法第2条によって、「歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業をおこない、併せてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関」と定義されています。具体的には、博物館と名乗る施設だけでなく、美術館、資料館、動物園、植物園等をも含めて博物館といい、地方公共団体の設置する公立博物館と法人の設置する私立博物館に大別されます。なお、独立行政法人国立博物館や独立行政法人国立美術館は、厳密には上記の博物館には含まれず、独立行政法人の法令や規程に則って運営されています。

学芸員の職務について「公立博物館の設置及び運営上望ましい基準」文部科学省告示第165号によれば、教育、学術及び文化の発展並びに地域の活性化に貢献するよう、「博物館の設置」「資料の収集、保管、展示」「調査研究」「学習機会の提供」「情報の提供」「利用者に対応したサービスの提供」「学校、家庭及び地域社会との連携」など時代の変化に対応した役割を含め、当該博物館に求められる役割を十分に果たすことのできるよう努めるものとあります。本学の課程は、この主旨に対応したものです。

2. 学芸員の資格と学芸員課程

本学の学芸員課程は、博物館法第5条の「学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得した者」という学芸員資格規定に基づき、学芸員資格を得るために必要な科目を開講するとともに、種々の専門的知識や技能の修得を指導することを目的として設置されたものです。

3. 定員

学芸員課程では教育効果を高めるため定員を設けています。

定員は、原則として学部生（18名）、大学院生（2名）で合計20名とします。

4. 課程登録選考について

(1) 応募条件

学部学生を対象とする選考審査は、本学に在学している2年次生（経済・人文・社会学部）のみを対象とします。

選考審査応募時（2年次）に原則として、学芸員課程必修科目を少なくとも4科目以上単位修得済み、もしくは履修中であること、2年次春学期末（3期通算）のGPAが2.0以上であることを条件とします。

1年次・2年次での科目履修にあたっては、所属する学部・学科の学修要件と学芸員課程科目をうまく組み合わせ履修してください。

なお、大学院生を対象とする選考応募条件については、別途定めます。

(2) 選考方法

2年次生で学芸員課程の履修登録を希望する学生は、2年次の6月（予定）におこなわれる履修登録希望学生を対象とするガイダンスに必ず出席してください。博物館実習科目の授業カリキュラムの詳細な内容、選考と登録手続きのスケジュール、選考課題レポート、履修願書などについての説明をおこないます。10月（予定）に学芸員課程委員会が諸資料に基づき選考します。選考に関する事項は、3Sに掲示します。

(3) 課程登録手続き（学芸員課程費）

課程登録を認められた者は、所定の期日までに学芸員課程費を納付しなければなりません。

詳細は、3Sに掲示します。

(4) 本学の学芸員課程で選択できる分野

本学の学芸員課程では、各学部開講科目を考慮して、選択できる分野を、歴史・民俗・美術・考古としています。選考応募登録時に分野を1つ選択しなければなりません。分野の選択は、履修学生の自由選択であり自己責任とします。

学芸員資格取得には、学芸員課程必修科目の他に、分野に関する科目として、指定する各学部開講科目を修得しな

ければなりません。博物館の就職採用条件として専門知識が要求されるため、本学学芸員課程では、学芸員資格証明書とともに分野に関する科目の履修状況書を発行しています。4年次に履修する学芸員実習では、受入条件として分野に関する科目の履修状況が採否の要件となる場合や分野を指定されていることがあります。1年次から計画的に、分野に関する講義科目やゼミ・演習科目を履修してください。自らが所属する学部の科目だけでなく、必要に応じて、他学部が開講されている科目も履修するように努めてください。ただし、履修にあたっては、各学部の履修要項上の注意事項に留意してください。

学芸員課程委員会が作成する上記4分野に対応する『学芸員課程 分野科目表』を、1年次の4月に行われる学芸員課程ガイダンスで受け取り、参考にして履修登録してください。

5. 学芸員課程登録期間

学部学生は学部3年次と4年次の2年間、大学院生は原則として登録後2年間とします。ただし、3年次に長期留学をする人については、卒業を1年間延長する場合にかぎり、帰国後の2年間の履修を認めます。2年次に学芸員課程の必修科目を少なくとも4科目以上履修しておくようにして下さい。

6. 学芸員課程必修科目と履修方法

(1) 必修科目

以下の表には、博物館法施行規則に規定する科目と本学で開講している学芸員課程必修科目との対照表が示されています。

必修科目

博物館法施行規則に規定する科目		本学授業科目	
科目名	単位	科目名	(単位)
生涯学習概論	2	生涯学習概論	(2)
博物館概論	2	博物館概論	(2)
博物館経営論	2	博物館経営論	(2)
博物館資料論	2	博物館資料論	(2)
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	(2)
博物館展示論	2	博物館展示論	(2)
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	(2)
博物館教育論	2	博物館教育論	(2)
博物館実習	3	博物館実習 1	(1)
		博物館実習 2	(1)
		博物館実習 3	(1)
		博物館実習 4	(1)

(2) 必修科目の履修方法

- ① 1年次から2年次の2年間では、2年次での選考応募条件（原則として4科目以上の単位修得あるいは履修中）を満たすよう、計画的に必修科目を履修してください。

課程登録後に必修科目を多数履修する必要がある場合には、3年次での学部・学科の必修科目と時間割が重複し、学芸員課程必修科目が履修できなくなり、資格取得要件を満たせない場合が生じる恐れがあります。

したがって2年間に可能な限り多数の学芸員課程必修科目を履修することが望ましいです。

- ② 課程登録3年次生：博物館実習1と博物館実習2は、必ず春学期・秋学期2科目セットで履修してください。
- ③ 課程登録4年次生：前年度までに博物館実習3と博物館実習4を除くすべての学芸員課程必修科目の単位を修得した者だけが、原則として博物館実習3と博物館実習4を履修できます。これらの2科目は、必ず春学期・秋学期セットで履修してください。

なお、学芸員実習館の選択について、学芸員課程は指導・助言をおこないますが、採否については自己責任となります。そのため、登録時に選択した分野の十分な学修をすすめ、博物館活動について深く研究・体験に努めてください。

7. 選択分野の履修について

自ら選んだ分野の講義科目 8 単位とゼミ・演習科目 4 単位以上を修得するように努めなければなりません。

4 年次に履修する学芸員実習の受入条件として、講義科目やゼミ・演習科目の履修状況が採否の要件となる場合や分野を指定されることがあります。可能な限り、自ら選んだ分野の講義科目やゼミ・演習科目を、上記に示した単位以上に数多く履修するように努めなければなりません。

8. 学芸員資格取得証明書

本学の基準に基づいて所定の科目の単位を修得し、卒業が確定した者に対し卒業式当日に学芸員資格証明書を授与します。

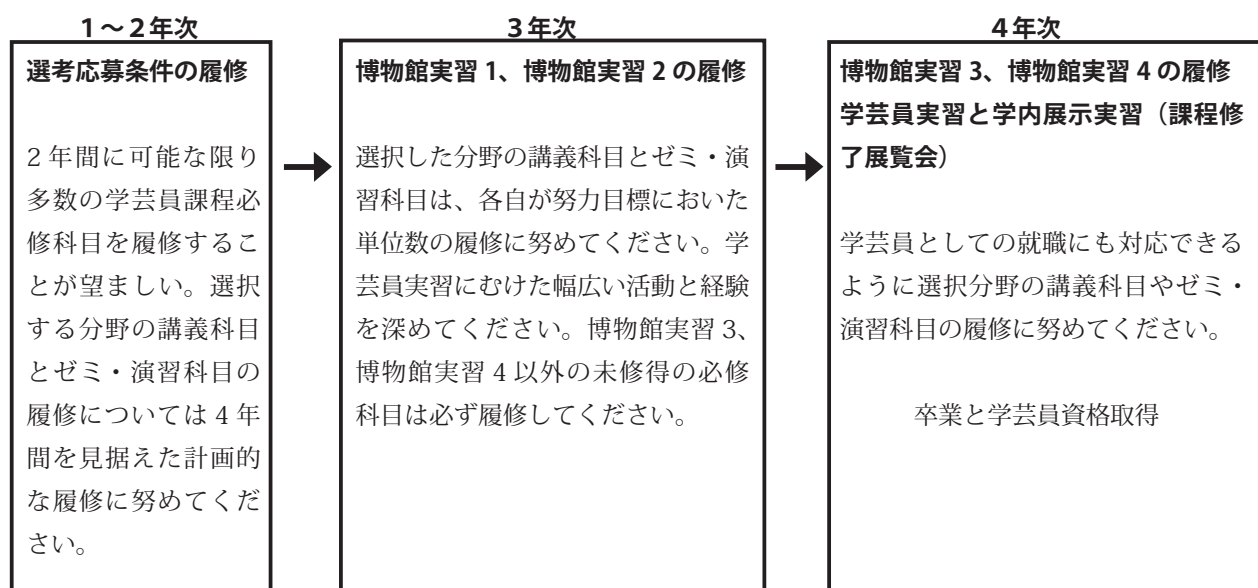
9. 運営組織

学芸員課程の運営は、学芸員課程委員会がおこないます。

10. そのほか

学芸員課程履修については、原則として入学した年度の学芸員課程履修方法が適用されます。

<学芸員課程の4年間の学修概要>



2024年度

2024年4月1日発行

編集・発行 武蔵大学 人文学部
(教務課)

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1



MUSASHI
UNIVERSITY